THE TAIWAN JIHO

臺灣時報

十二月號

EAST ASIATIC ECONOMIC INVESTIGATION BUREAU
登錄濟
南滿洲鐵道株式會社
DEC 27 1927
SOUTH MANCHURIA RAILWAY CO., LIMITED.

臺灣時報發行所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣時報發行の趣旨

政事、時事、農事、工事、商事、學術技藝、統計等の報道評論特に臺灣に於ける統治狀態及び諸般の情況並に南支南洋に關する事項を周知せしむる爲め臺灣時報を發行す。（發行規定第一條）

臺灣時報發行所役員

評議員長　後藤文夫

評議員（以下イロハ順）

石黑英彥　石坂莊作　伊藤兼吉　西川利藤太　醫學博士 堀內次雄　富田松彥　宮地近思　陳鴻鳴　陳中和　林熊徵　林献堂　林烈堂　林鶴壽　李延禧　太田吾一　大竹勝一郎　農學博士 大島金太郎

大越大藏　小野時雄　簡朗山　片山三郎　吉岡荒造　楊吉臣　醫學博士 高木友枝　高橋親吉　田村武七　田村藤四郎　田丸直之　高山仰　武田英一　津久井誠一郎　鼓包美　津田毅一　妻木栗造

永山止米郞　中田秀造　宇賀四郎　草鹿砥祐吉　醫學博士 倉岡彥助　久米孝藏　松岡富雄　牧山濟砂　松本晃吉　増永吉次郎　藤野幹　小松吉久　吳昌才　辜顯榮　古賀三千人　黃欣　吳汝祥　黃春帆　後藤和佐二　枝德二　遠藤所六　鄭神寶　後宮信太郎

近江時五郎　相原祐彌　赤司初太郎　赤石定藏　坂本素魯哉　佐々木紀綱　柵瀨軍之佐　皿谷廣次　蔡蓮舫　齋藤透　佐藤得太郎　木村久太郎　木村泰治　許廷光　木下信　三好德三郎　三浦碌郎　白勢黎吉　徐杰夫　平山寅次郎　久宗董　本山文平　鈴木重臣

編纂委員

生駒高常　猪股松之助　服部武彥

原口竹次郎　大澤清高　大竹勇

常務員

和田一次　和田博　鎌田正威　橫光吉規　田端幸三郎　中瀨拙夫

中田榮次郎　內田隆　深川繁治　淺野安吉　佐藤續　水越幸一

編輯係　秦滿　鷹取田一郎　泉芳德　葉山石雲

眞倉民治　安藤泰夫　鈴木重男　伊藤憐之助

昭和二年十二月十三日印刷（每月一回）
昭和二年十二月十五日發行（十五日發行）
（定價一部郵稅共金三十五錢）
（廣告料一頁金二十圓）

臺灣總督府內
發行所　臺灣時報發行所
振替貯金口座臺灣二〇七〇番
電話總督府內第八九番

臺北市東門町一五八番地
編輯兼發行人　伊藤憐之助

臺北市榮町二丁目十二番地
印刷者　加藤豐吉

臺北市京町一丁目四十三番地
印刷所　小塚本店印刷工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

大阪市高麗橋

株式會社三十四銀行

資本金五千萬圓

各地支店（東京、京橋（東京）、京都、神戸、兵庫、尼崎、尼崎東、西宮、姫路、廣島、德島、阿波池田、奈良、伊丹、傳法、臺南、高雄、（大阪市內）南天滿、雜喉場、堀江、日本橋、九條、朝日橋

本行之特色（銀行一般の業務の外擔保附社債信託法に依り信託事業を兼營す
事業資金部を置き工業資金の供給を爲す
外國爲替は香港上海銀行の代理店として最も便宜に取扱を爲す

臺北支店　臺北市本町二丁目

（電話三四、五六、二一九五）

臺灣時報 昭和二年十二月號 目次

口繪 ▼角板山蕃社に御成の朝香宮殿下▼臺灣軍大演習に於ける細木統監

時言

朝香宮殿下を奉送して……上山總督謹話……一

產業組合講習會に於ける後藤會頭訓示……六

臺灣に於ける貿易外の收入及支出に就て……中川榮次郎……七

特報

朝香宮殿下臺灣御成……一四

第六回臺灣總督府評議會……一六

時報

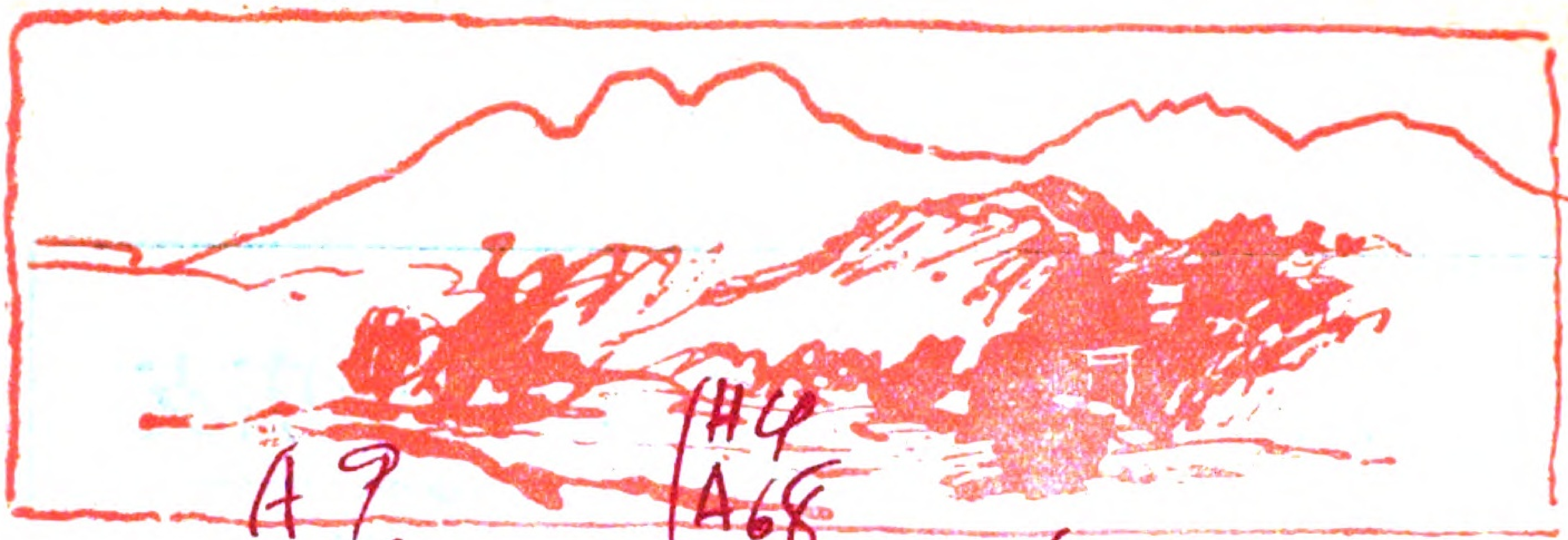
第一回明治節 社會事業助成金傳達 海軍油田綜合調查 全島國語演習大會 移出米激增 臺灣醫學會大會 全島水利事務打合 鳳梨罐詰檢查規則 蕃地水田一期作 全國師範學校長會議 產業組合講習會 上山總督上京 後藤長官東上……二六

寄書

支那の時局と支那貿易の消長……井出季和太……三五

9
264
1 臣 73

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



講演

亜細亜から歐米へ……鎌田正威……六二

說苑

凩の庭……石川欽一郎……七六

島を彩れる美術の秋……西岡塘翠……八二

南洋視記……室田有……九二

調査研究

大正十四年本島對內地外國貿易外收支調……財務局金融課……一二〇

農村市街地信用組合金融事情……泉芳徳……一二四

島情

臺灣貿易統計……總督府稅關……一四九

臺灣金融統計……財務局金融課……一五六

文苑

漢詩　俳句……一六七

臺灣日誌

人事消息　任命……一六九

支那及南洋情報……總督官房調査課……一七〇

支那　比律賓　佛領印度支那　暹羅　英領馬來　蘭領東印度　英領印度

支那及南洋其他海外重要記事索引……總督官房調査課……一七九

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

株式會社 臺灣銀行（臺北）

支店出張所

臺灣

基隆　新竹　臺中　嘉義　臺南

高雄　宜蘭　淡水　桃園　南投

屏東　臺東　花蓮港　澎湖島

支店出張所

支那　其他

上海　漢口　福州　厦門

汕頭　香港　廣東　新嘉坡

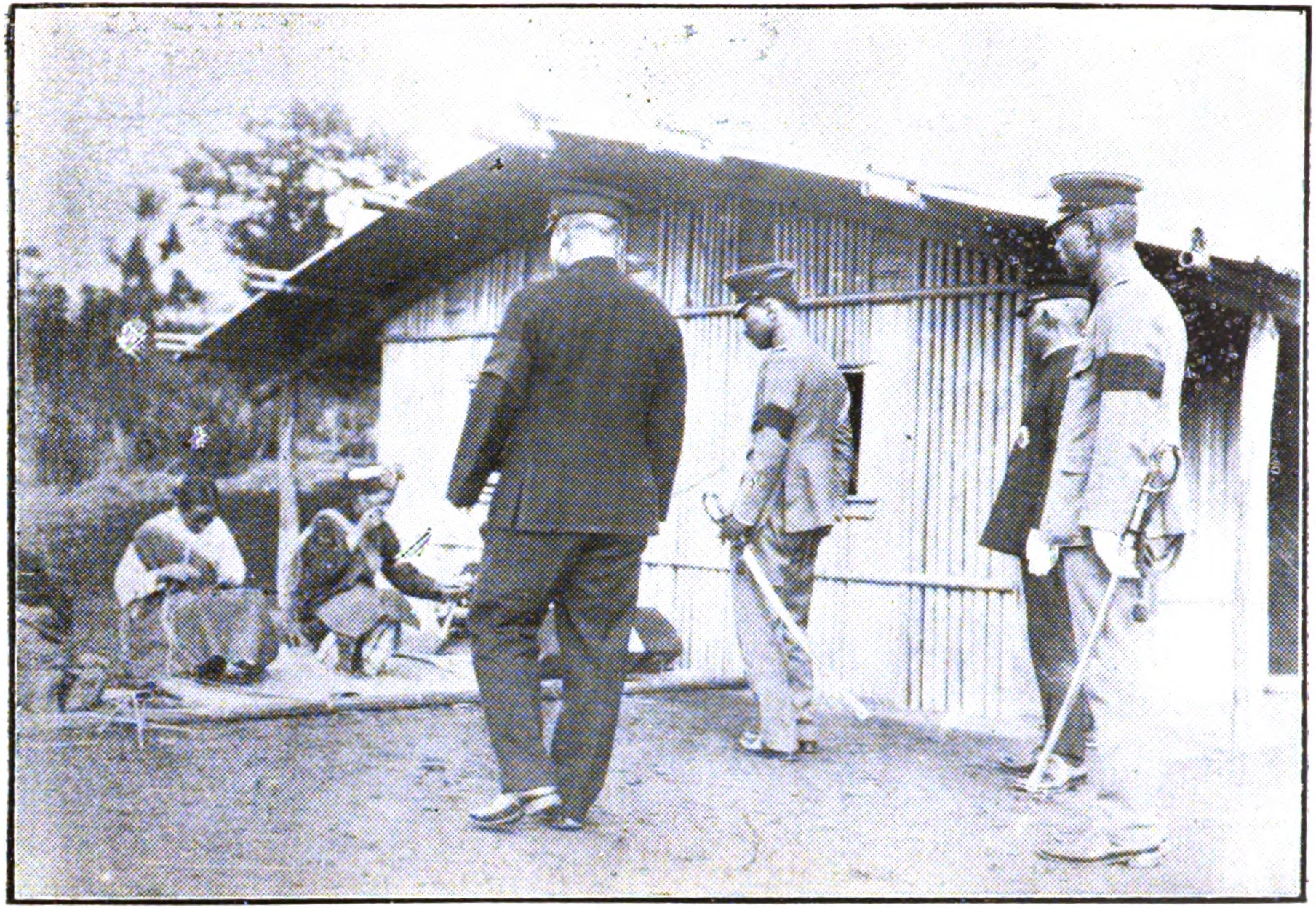
スラバヤ　スマラン　バタビヤ　孟買

カルカツタ　倫敦　紐育

内地

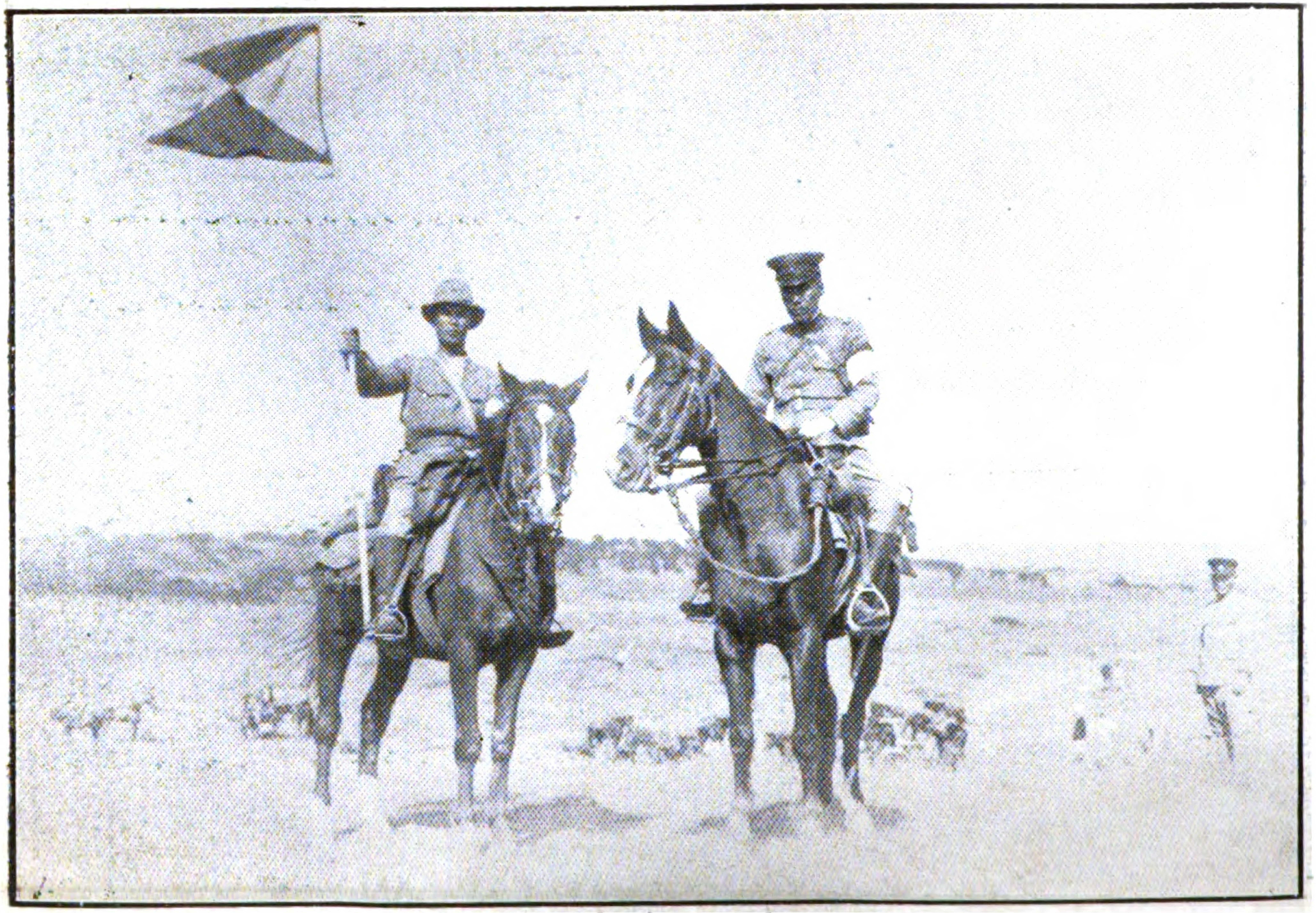
神戸　大阪　横濱　東京

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



角板山蕃社に御成の朝香宮殿下

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



臺灣軍大演習に於ける細木統監

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十二月號

朝香宮殿下を奉送して

上山總督謹話

此度朝香宮殿下を迎へ奉りて全島要部の御視察を仰ぎたることの臺灣の光榮たるは勿論、臺灣統治に至大の效果のあつたことは筆舌の能く盡し得る所でない。御在臺十六日の間、第三日の午後に臺北で降雨があつたのみでそれも何等御視察を御妨げする程でなく、終始日朗かに風恬かなる好天氣であつたことは、所謂天意の在る所知るべしで、洵に難有く又嬉しき極みである。

昨年七月私の就任以來この地に皇族を奉迎すること二回である。皇族に對し奉る國民の至情は今更ら喋々を要せぬが、

昨年の北白川宮大妃殿下と申し、今年の朝香宮殿下と申し、皇族の尊嚴と仁慈との權化とでも申し上ぐべき御態度を示したまひたることは層と一層深き感激を國民に與へたまふた。さればこそ、昨年も今年も、我臺灣四百萬の赤子は擧つて滿腹の誠意を捧げ御歡迎申上げた。而して皇族方のかく御見事なる御態度であらせらるゝのは御平常御心深く刻ませられたる列聖の一視同仁の御遺訓の自然的發露に外ならぬと恐察する。

殿下の御動靜が尊嚴と仁慈と兼ね至らせられた事實は、側近奉伺のものは言ふ迄もなく、沿道奉迎の人々も勿論、尊容こそ拜せざれ新聞の報道に親んだ一般民衆の凡て齊しく承知してゐる所であらう。抑も一視同仁とは上に在せらるゝ皇室が、下萬民を平等に愛したまふとの意であつて、その具體的發現が御尊嚴と御仁慈とであると思ふ。世界列國その數少きにあらず、又その歷史古からざるにあらず、然れども三千年來この君德を傳承したまひて萬世渝るなきは、唯一の我皇室あるのみである。而して我朝香宮殿下は今や四百萬同胞の眼前にこの皇室の御盛德の權化として現はれたまふた。これに關する殿下の御言動の一々を詳說するには維れ日も足らざる所であるから、今はその二三のみを陳ぶることに止むる。御渡臺御內定あらせらるゝや、先づ第一に「萬事質素」にとの御命令を事務官から電達して來た。諒闇中の故もあらうが、特に殿下の民苦を思はせたまふ御心に由ることたるは言ふ迄もなく、誠に恐縮の至である。種々の催し物を臺覽に供したいとの切なる願望が、諸方から出たが、吾々は一に御思召を奉戴してこれを見合せ、歡迎門さへも眞に已むを得ざる場所に、しかも極めて簡單なものを設くる程度に止むることに申し合はせたのである。

基隆御著の船中にて拜謁の際、隨員は御附武官と屬官各一人のみで、それで殿下は何の御不自由をも感じさせられざる御樣子を拜して御躬から質素の範を示させたまふ御思召を衷心から難有く感じた。御泊所は貴賓館のない所では官邸や私宅に御願ひすることに最初から豫定してゐた。所が、官邸や私宅では現住者の迷惑になるから普通の旅館にせよとの御思召

なりとの電報が宮家事務官から來た。さりながら皇族を旅館に御迎へするは禮にあらずと考へられ、又先例もなく、加之官邸でも私宅でも御用に立つことは現住者に取りて迷惑どころでなく、無上の光榮であるので、結局豫定通り御願ひした。然るに殿下は御泊所に於て現住者に對し御手厚き御挨拶を賜はつたので吾々は却つて恐縮した。

私は臺北附近と南方は嘉義迄御供をしたが、成るべく扈從者に手數や氣苦勞を掛けぬやうにとの御心が一々の御言動に拜せられた。その一二を言へば、萬事に頗る御氣輕で吾々扈從者はかゝる場合に於ける氣苦勞を少しも感ぜず、寧ろ或は恩遇に慣れたる擧動はなかつたかと時々自省するほどであつた。御言葉の如きも何人に向はせられても極めて御叮嚀で唯々痛み入るばかりであつた。

かくも慈愛の心に富ませたまふ殿下は又洵に御規律正しく嚴肅であらせられた。御滯在十六日の間に於て、阿里山で森林作業や風景を御見物あらせられたる一日と、最後の御休養の草山淡水方面の一日半との外は、終始軍服を召させられて奉迎者に對したまふた。前年の御負傷以來殿下の御片足は屈伸御自由ならず、それに軍服の長劍を佩かせたまふのであるから、御歩行の御不便は御察し申し上ぐるに餘りあり、特に階段の御昇降の如きは稍や御難儀に拜し奉つたこともある。その御不自由をも忍ばせたまひて規律正しく軍服を著けさせたまふたことは、軍職にあらせらるゝ故もあらうが、結局は皇族の尊嚴に心したまふ爲めに外ならぬと拜察した。

御著の翌日卽ち十一月二日圓山運動場に於ける諸學校生徒の運動會に臺臨あらせられたる際、設けの御席で御熱心に最初からの各種の運動を臺覽あらせられたが、番組がだんだん進んで愈々分列式に入らんとするや殿下は「前へ出やう」と仰せられて、御席から露臺に下り立たせたまひ、分列式の終る迄二十餘分間終始擧手の禮をたまひつゝ深き御注意を分列式に排はせられてあらせられた。これも軍職に在らせらるゝ爲めに、分列式が特別の御注視を惹いたのでもあらうが、御不

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

自由の御身にてわざわざ露臺に下らせたまひたる御心は、又御答禮をたまふ嚴肅なる御態度は實に尊嚴と仁慈との權化であらせられ、御側で尊容を拜し奉つた老臣の睫毛には自然に感激の露がおいた。

嘉義の農事試驗支所の農業部でのことであるが、場內一通りの御巡視が終つて、小高き所に設けた御休憩所で場內所産の果物の御試食を願ひ、御右に總督と軍參謀長、御左に御附武官と臺南州知事とが御陪食の榮に浴した。果物は種々あつたが殿下の御皿に別に一種の果物が二顆だけ添へてあつた、それはサボチユラである。御説明役の磯技師が、サボチユラは今は既に季節過ぎであるが、幸にして樹のウラに僅か二つほど殘つてゐたのを採りて、殿下にだけ差上げたのであると私に話した。默つてそれを聽いてあらせられた殿下は二つの一つを總督にとて賜つた、私は昨年も今年もその季節に飽く程食つてゐるので、初めての人にと思ひ、それを隣席の軍參謀長に渡した。

その中に殿下は御掌上の一顆を兩分あらせられ、その一片を御附武官に賜つた。軍參謀長も恩賜を二分して一片を誰にかとのことであつたが、私も臺南州知事も熟知の果物のこと迚、初めての人にと辭退したので、一同その一片の結末に困つてゐた。所が殿下が石井に遣れと仰せられた石井とは東京からの隨員の宮內屬である。石井屬は別席にゐたので誰かゞそれを持ち行きて珍果の難有き思召を頂かせた。一寸したことながら殿下の御仁徳は何事にも自然に流露して、こゝでも私は感涙を呑んだことである。

殿下は深く臺灣の民情民心に御心を注がせられ、御供中時に觸れ事に當りて種々の御下問を給はつた。其の中に本島人の住宅台覽の御希望を拜した。これは豫定になかつたことなので、奉迎準備委員も急に評議を凝らした。殿下に於かせられては唯御氣輕に思召してのことならんも、公式の御訪問でなければ突然の御立寄にては、萬々一にも病人でもあつては何とも恐懼の至りなので、相當の調査も遂げ主人には「或はこの意味で含ませ置き臺中では呉家、臺南では莊家を台覽に供

した。兩家に於ては御直に主人に御鄭重な御挨拶があつて一同恐縮したことは既に新聞に報道されてゐる所である。

蕃人の住宅も角板山に於て清潔なのを選擇して台覽に供した。角板山で思ひ出すのは蕃童教育所に於て兒童の國語や數學の實習を御熱心に御聽きになり、最後に恐れ入つたことには、御直に兒童に御懇切なる御褒詞と御訓諭を賜はつた。その時兒童の眼底には無限の感激の光が輝いた。殿下の御心には、同じき陛下の赤子としての内地人本島人蕃人の間に差別があらせられず、皇族の尊嚴を保たせられつゝも、深厚なる慈愛の御心を平等に披瀝せさせたまふたことは上に陳べた通りであつて、この外是等と同樣な御言動は僅か數月の御供の中でも指を屈するに遑あらず、その後總務長官御供中にも數限りなく拜せられたさうである。

列聖の一視同仁の御遺訓は實に殿下の先天的に體得したまふ所と申し上ぐべきであらう。尙ほ殿下が御本務たる軍事に御精通あらせらるゝは特に申す迄もなきことであるが、教育、産業その他各方面の御知識を兼備せさせたまひ、又種々の藝術に深き趣味を有したまふことには、恐れながら驚き入り奉るの外なく、それに御資性は最も御聰明であらせらる。されば御日程の窮屈なるに拘らず、毫も御倦怠の御模樣なく却て愈々御勵精で、御觀察も、形而上に、形而下に、共に頗る徹底的であらせられた。從つて御下問の如きも常に必ず要所に的中し、時には奉答に困つたこともあつたが、それは別に御咎めにもならなかつた。殿下の皇族としての御大德は既に縷々陳べた通りで感激の外ないが、私は更に又殿下のかくも御聰明で御學殖も廣大で百事に御熱心であらせらるゝを拜し奉りて、竹の園生の綠色滴るばかりに益々深く、彌榮えに榮えさせたまふことに、言ひ知れぬ歡喜を覺え、皇室の萬歳を奉祝せざるを得ぬ。

今や島内の御旅程終らせられ、吾々は我が難有き殿下を奉送せざるを得ぬ時が來た。玆に吾々臺灣在住の赤子は官民共皆一齊に還啓御台臨の御禮を申上げ、海路御恙なく御還京あらせられんことを祈り奉ると同時に、御在臺中殿下の示させたまひし皇室の尊嚴と仁慈の御德を夢寐にも仰ぎ參らせて、一意專念以て一視同仁の聖恩に奉答せんことを誓ひ奉る次第である。（文責在記者）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

後藤會頭訓示

‖昭和二年十一月十九日　於產業組合講習會終了式‖

今回の講習會は本會創立以來第二回の試みでありました、只今講習會の成績報告に徴するに豫期以上の成績を擧げたるものと認めます、斯る成績を見ることを得ましたのは要するに講師各位の御骨折と講習員諸子が連日怠りなく勉勵せられたる結果に外ならぬのでありまして產業組合發達の爲誠に喜ばしく存ずる次第であります。

抑も產業組合なる制度が現時の社會經濟組織に於て重要なる施設なることは玆に重て繰返すの要を認めませんが、唯一言致し度きは產業組合は直接產業の助長發達を期圖するを目的とするのみならず間接には之を以て地方公共團體の發達に貢し幾多の社會經濟問題に善處する上に於て亦極めて適切なる施設なることは諸子も此の機會に於て充分修得せられたる事と思ふのであります。本島產業組合の現狀に付ては諸子もよく御存知の如く其の成績は日を追うて良好に向上しつゝありますけれども前述の理想に照して前途尚ほ遼遠と謂はなければなりません。此の時に際し諸子は今回學び得たる所を今後に於て組合の指導監督上或は組合の實地經營上地方的に適當に應用實施せらるゝの責務を有し又之を實現せられたる曉に於ては本島產業組合の面目を新にするの域に到達することを信じて疑はないのであります。

冀くは諸子は此の期待に背かざる樣本島產業組合の發展に充分努力せられ當講習會開催の目的を十二分に達成せらるゝ事を希望して止まざる次第であります。

一言所感を述べて訓示と致します。尚ほ終りに望み講師各位の勞を謝し又來賓諸賢が御多端の際にも拘らず特に御臨席下さつたことを感謝致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣に於ける貿易外の收入及支出に就て

財務局金融課長　中田榮次郎

貿易外の收入支出の問題は近年著しく世人の注目を喚起したる事項にして一國財力の消長を考察する上に於ても常に貿易上の收支と貿易外の收支とを合せ考へて兩者差引の結果のプラス（積極）なるやマイナス（消極）なるやに由りて一國財力に關して樂悲の判斷を下すの傾向あり。特に本島の如き植民地にありては政府の行ふ土木殖産の諸事業を始とし一般産業開發の爲夥しき内地資本の投下せられ居る狀況なるを以て之に對する利子配當金の支拂の年々巨額を算するは元より其の所なるべく、從て是等利子配當金並運賃保險料等を賄ふ爲に年々巨額の輸移出超過を必要とするは謂ふ迄もなき所なり。唯問題は年々の貿易上の出超が年々の貿易外の支拂超過を裕に償ひて餘ありや否やにあり、若し前者が後者を滿す能はざるの狀況ならむか是本島として消費超過の狀態從て貧化—即ち經濟的亡國の狀態となるものにして由々敷大事なりと謂はざるべからず。

以上述ぶるが如き理由に依り貿易外收支の調査は事極めて大切なるものなれ共こは貿易上の收支の調査が稅關制度に依りて精密に行はるゝに比して之を精密に調査すべき特別の機關なく、從て極めて精密なる調査は之を行ひ難きも大體の調査は勿論可能にして大藏省に於ては夙に之を實行し居り臺灣に於ても大正十年分より之が調査を行ひ居れり、而して大藏省に於ては大正十四年分より之が調査の結果を公表して此の點に關する正確なる資料の供給に力むると共に國民の經濟的愛國心に訴ふる所あり本島に於ても今後年々調査の結果を發表して輿論を刺戟すると共に廣く江湖の後援に依りてより正

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

確なる資料の供給に力めたき考なり。

尙ほ玆に一言注意を要することは大藏省の行ふ調査に於ては啻に經常的貿易外收支と貿易上の收支との權衡に留意するの必要あるのみならず、更に進んで日本對外國の爲替相場との關係に關連して其の經常的收支たると臨時的收支たるとに論なく一切の貿易外の收支に留意し之と貿易上の收支との關係を顧慮するの必要あるに反し臺灣對內地、外國との間の貿易外收支に於ては爲替相場との關係に於て斯くの如き密接なる牽連性なきを以て內地に於けるが如く爾く緊張的に一切の貿易外の收支に關心するの要なく本島としては寧ろ經常的收支と貿易上の收支との權衡に問題の重要性を置くべきこと卽ち之なりとす。(斯く謂へばとて植民地開發に必要なる母國資本其の他の流入を毫も輕視するの謂には非ざるなり)

扨當局に於ける調査の結果に依れば大正十年中に於ける貿易外の原因に依る對內地外國の總收支關係は(以下當局調査の計數に對し其の一割の調査洩あるものと看做し之を加算したる金額を掲ぐ)

受取勘定	九六、三一七千円
支拂勘定	七八、二九一
差引受取超過額	一八、〇二七

大正十一年中に於けるものは

受取勘定	一五三、五〇五千円
支拂勘定	一三一、四二六
差引受取超過額	二二、〇七九

大正十二年中に於けるものは

受取勘定	九三、四二八千円
支拂勘定	一一七、四七七

差引支拂超過額	二四、〇四九

大正十三年中のものは

受取勘定	七九、五八四千円
支拂勘定	一二七、二五五
差引支拂超過額	四七、六七一

大正十四年中のものは

受取勘定	一二二、四一八千円
支拂勘定	一六六、七三九
差引支拂超過額	四、三二一

にして此の五年間に於ける貿易外の收支は結局三五、九三五千圓の支拂超過となり之に對する貿易上の收支は

大正十年

輸移出合計	一五二、四三八千円
輸移入合計	一三三、七七六
差引輸移出超過	一八、六六一

大正十一年

輸移出合計	一五七、八六四千円
輸移入合計	一一九、〇九五
差引輸移出超過	三八、七六九

大正十二年

輸移出合計	一九八、五九四千円
輸移入合計	一一〇、一三九

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

差引輸移出超過	八八、四六五
大正十三年	
輸移出合計	二五三、六七四千円
輸移入合計	一三三、〇二六
差引輸移出超過	一二〇、六四八
大正十四年	
輸移出合計	二六三、二一四千円
輸移入合計	一八六、三九五
差引輸移出超過	七六、八一九

合計三四三、三六二千圓を示し前記貿易外の支拂超過額三五、九三五千圓を差引く時は三〇七、四二七千圓の受取勘定となり、本島の經濟力は駸々乎として進歩しつゝあるが如き外觀を呈すと雖右貿易外受取勘定の內には臺灣總督府の事業公債の受入、電力會社製糖會社等の社債募集竝銀行借入金等に依る內地資金の流入等相當巨額に達するを以て是等內地資本の流入に依る受取勘定を除き從て之と對應して內地公債株式の購入、或は內地よりの借入金及社債の償還等に因る支拂勘定(之を要するに臨時的勘定)を除きて卽ち結局本島內外の資本の流出入に因る收支を除きて謂はゞ人及物の活動に依りて生じたる收支の關係(卽ち所謂經常的勘定)のみに限定して之を計算するときは(其の主要なる項目は受取勘定としては島外放資に對する利子受入、本島事業島外純益、海運關係收入、外國人及內地人の島內消費等にして支拂勘定としては督府事業公債利子、本島放資に對する利子、配當金の支拂、島外事業の島內純益、運賃保險料、內外國人の仕送及持歸金等)左表の通りなり。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

貿易外收支五箇年對照表（內外資本の流出入關係に依るもの即臨時的收支を除き經常的收支のみを揭く）

年別	受取勘定	支拂勘定	差引支拂超過額
大正十年	千円 二六、八三二	千円 六七、四二四	千円 四〇、五九二
同十一年	一九、四〇九	五三、八三〇	三四、四二一
同十二年	三八、〇六三	七二、九三三	三四、八七〇
同十三年	二四、九〇三	八〇、六一〇	五五、七〇七
同十四年	二二、五九九	七六、〇一四	五三、四一四
計	一三一、一八〇	三五〇、八一一	二一九、〇〇四
一箇年平均	二六、三六一	七〇、一六二	四三、八〇〇

右の如く五箇年合計にて二一九、〇〇四千圓の支拂超過を示し之を平均するときは年額四三、八〇〇千圓の支拂超過を示せり次に之を右五箇年間の貿易上の出超平均年額六八、六七二千圓と比較するときは平均年額二四、八七二千圓の受取超過なることを示せり。

內外資本の流出入關係を除く本島の貿易外支拂超過高が大體前記の如く年々四千數百萬圓を以て相足るや否やは本局の調査にも多少の遺漏あるを保し難きと他方右貿易外支拂超過高は時の經濟事情に依り相當の變動あるを免れざるを以て（例へば砂糖の生産高豐富にして且市況好況ならむか砂糖の移出金高は巨額に上るべきが之に對應して製糖會社の配當も高率に上るべく從て本島放資に對する配當金支拂高增加すべし）今假に之を斷定し難きも大體四千數百萬圓乃至五千萬圓程度を以て相當なりと考ふることを得べし。

果して然らば本島としては年々五千萬圓以上の貿易の出超を繼續するときは之を以て本島財力增進の徵候と看做して差

支なく若し貿易上の出超にして五千萬圓(場合に依りては四千數百萬圓)に相足らざるときは本島財力の消耗として之を慨嘆すべきものならむか。然るに本島に於ては大正十年乃至十四年の五箇年に前述の如く貿易上並に貿易外の收支を相差引して大約一億二千四百萬圓の出超を示し尚ほ大正十五年昭和元年には六八、〇一三千圓の貿易上の出超を繼續せるの實狀なるを以て假に大正十五年昭和元年の貿易外の支拂超過高を五千萬圓(此の計數は近日の内に明瞭となる筈)と假定するも該年にて更に一八、〇一三千圓の貿易上並に貿易外總收支上の出超を見たる計算となるを以て最近六箇年に大約一億四千二百萬圓の財力の増進(對外的に關係あるものゝみに於て)を見たる勘定となるべし。

本島財界の對外推移にして果して上記の如くんば本島財界は久しきに亘る沈衰の狀態より脱し今少しく活氣ある狀況を示すべき筈なるに、相も變らず不景氣裡に沈衰せるは其の根源何れにありや或は何等か有力なる事情あるに因るものなりや或は本調査の猶遺漏多きに因るものなりや識者と共に研究を續けんと欲する所なるも之が原因事情に關し予輩の思付けるもの大凡次の如し。

第一は貿易表上掲載の金額と生産費との關係なり、若し市況著しく不況にして生産品の取引價格卽ち貿易表上掲記の金額(取引價格は必ずしも貿易表上掲記の金額と一致するものには非ざるべけれど原則として一致する傾向あるものと見て可なるべし)が生産費に及ばざる場合に於ては表面上の貿易上の出超も實質的に見れば出超と謂ひ難く寧ろ之を入超と同樣に換言すれば生産費を割りて取引せられたる金額に相當する損失ありとして取扱ふことの妥當なる場合もあるべし。尚ほ實際の取引價格が貿易表掲記の金額と一致せざる場合も相當あり得るものと考へらるゝが右記の事情は斯くの如き場合にも準用し得ることとあるべし。

第二は租稅其の他の公課との關係なり、本島に於ける國稅、地方稅及租稅の性質を有する事實公金換言すれば本島々民

の純負擔額は最近の統計に依りて推算するに（最もこは全く單に予輩一個の推算にして何等公的確實性を有するものに非ず）少くとも五千萬圓內外を上下しつゝあるものと推定さるゝがこの島民負擔額の一部は實に此の貿易上及貿易外の總勘定に於ける受取勘定に因りて賄はるゝものに非ざるか。

第三に擧ぐべきは銀行、信用組合、郵便局等に於ける預金、貯金の增加なり。昭和元年末を大正九年末に比較するに銀行預金（日銀預金を除く）に於て一四、八八〇千圓、信用組合貯金に於て二三、四七五千圓、郵便貯金に於て二、一〇四千圓の增加を示し、此の三者合計に於て四〇、四五九千圓の增加を示せり（最も信用組合の貯金の一は餘裕金として再び銀行に預入せらるゝを以て右計數の內一部重複するものを生ずる次第にして右記四〇、四五九千圓中、重複金額と認めらるゝものは一一、二〇〇千圓なり）

第四は製糖會社等に於ける諸準備積立金、後期繰越金等の社內留保の增加に依る內容の充實なり、例へば島內に本店を有する諸製糖會社に於ける諸準備積立金及後期繰越金は昭和元年末に於ては大正九年末に比し一三、五九一千圓の增加を示せり。

尚ほ參考の爲附記せむに大正十年末現在を以て當局の調査したる結果に依れば本島より島外に對して有する債權額は九千三百七萬圓にして島外より負擔せる債務額即ち島外資本の本島放資額は三億七十七萬圓、うち外國よりの放資三百三十七萬圓（臺灣總督府事業公債及借入金九千七百二十九萬圓（昭和元年度末現在）を除く）なり。（大正十三年七月發行臺灣時報參照）

更に大正十四年十二月末を以て調査したる所に依れば內地より本島に放下せる資金は大約三億二千七百八十九萬圓の見込なり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

特報

朝香宮殿下臺灣御成

島都御巡視　朝香宮殿下には、本島御視察のため、瑞穂丸に御乘船遊ばされ一路御平安、十一月一日午後二時基隆に御上陸あらせられ、上山總督以下文武官民奉迎裡に御召列車にて島都臺北に向はせられた。臺北驛より御泊所までの沿道は文武官、各學校生徒、各種團體、一般市民萬數堵列して殿下の御安著をお待申上ぐれば、同日午後四時、御召列車は臺北驛に著き、殿下には自動車に召されて、長途の御旅行に聊かの御疲も見せさせられず、沿道の奉迎者に擧手の禮を給はりつゝ御泊所なる總督官邸に入らせ給ふた。

御泊所に島都の第一夜を明けさせ給ふた殿下には、同二日午前九時御泊所御出門、諸員奉迎裡に總督府に御成あり、それより市内の官衙、學校、軍隊、午後は圓山運動場に奉、迎運動會を、また樺山小學校に臺灣美術展覽會を台覽せられて、御渡臺第一日の御視察を終らせられた。

越えて翌三日、明治節の佳節、殿下には、御諒闇中とて臺灣神社への御參拜は御遠慮遊ばされ、同社に御寄、山口宮司より神社に就て御模樣を御聞遊ばされて後、百花研を競ふ植物園、商品陳列館に御成あり、それより專賣局にて各種製品並に製造作業を台覽せられ、午後太平公學校、博物館等に御成あり、秋雨に清められた常緑の島都を殊の外愛でさせられつゝ市内の御巡視を終らせ給ふた。

中南部御視察　朝香宮殿下には、十一月四日午前八時十八分御泊所御發、臺北驛より鐵路、南部御視察の途に就かせられた。角板山に於かせられては蕃人の生活を御興深く御覽遊ばされ、蕃童教育所を御視察ありて、翌五日は新竹神社に御參拜あり、故北白川宮殿下の御遺跡地に御感慨深く故殿下を偲ばせられ、午後同地小學校に國語演習會を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

台覽せられて、臺中に向はせ給ひ、知事官邸の御泊所に入らせられた。

翌六日、殿下には臺中州廳より同地駐屯大隊、芭蕉檢査所に御成あり、吳家に御立寄遊ばされて臺中御發、嘉義に御安著遊ばされた。越へて七日、殿下には阿里山へ御登山海拔八千尺の高所よりの御眺望を賞せられ、壯烈なる伐木作業を台覽ありて九日御下山の後、嘉義製材所を御視察遊ばされた。それより十日は嘉南大圳の事業御視察ありて舊都臺南に御安著、熱帶特有の風物に御感興をひかせられ、御泊所に御寬ぎの御一夜を送らせ給ふた。

本島の舊都臺南に於かせられては、臺南神社に御參拜ありて故北白川宮殿下の往時を偲ばせられ、第二高女、開山神社、孔子廟、養殖試驗場等に御成あり、篤農家韮泉方に御立寄遊ばされ、奉迎の氣に滿つる舊都の御巡視を終らせ給ふて御泊所に入らせられた。かくて殿下には、十二日午前九時臺南御發、鐵路直ちに屛東に向はせ給ひ、飛行第八聯隊、臺灣製糖會社等御覽遊ばされて、同日午後高雄御著、州廳及び同港御視察の後、南部臺灣に御名殘の夢を御泊所に結ばせ給ふた。十一月十三日殿下には、官民多數の奉送裡に高雄驛御發、一路臺北に向はせられ、直ちに草山の御泊所に入らせ給ふた。

御歸北、御歸還　中南部臺灣の御視察を終らせられた殿下には、晩秋の冷氣迫る草山溫泉に御寬ぎ遊ばされ、十日は淡水に御成ありてゴルフに御愉快な一日を過させ給ふて、再び草山に御歸還あらせられた。殿下には御離臺の前日北投公共浴場に御成あり、同夜は臺北御泊所に於かせられて總督其の他と御談話に映畫に島都最後の宵を過させ給ふた。

朝香宮殿下には、愈々御名殘を告げさせ給ふべく、十一月十四日午後一時、御泊所なる總督官邸御發、臺北驛より御召列車に御乘、御名殘を惜み奉る奉迎者に擧手の禮を給ひつゝ基隆に向はせ給ふ。同地にては重砲兵隊、要塞司令部に御成ありて後、汽艇に召されて港內を御巡視遊ばされ同日午後三時蓬萊丸に御乘船、埠頭に堵列する官民多數の奉送裡に同四時、秋晴の波靜かなる基隆港御發、御歸還の途に就かせ給ひ、本島官民一同は赤誠を罩めて御航海の御平安を祈奉つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六回臺灣總督府評議會

第五回臺灣總督府評議會の繼續とも稱すべき第六回臺灣總督府評議會は十月十八日午前十時より總督府三階貴賓室に於て開會された。定刻振鈴と共に相原、豐田、石黑、島田、赤石、三好、吳、顏、黃(純靑)、簡、坂本、辜、松岡、李、荒卷、鈴木、黃(欣)、鄭、古賀、藍、陳の各會員(高木、林、平山の三會員は缺席)及生駒、水越、一戶の各幹事次で上山會長、後藤副會長と云ふ順序にそれぞれ議場に著席す。

先づ水越幹事開會の旨を傳ふるや上山會長は起つて「第五回の本會に引續き諸君の御精勵に依り各特別委員會の報告を受け玆に之を審議する」旨の挨拶があり斯くて議事に入り今回の議事日程。

第一　現在ノ祭祀公業ニ對シテ執ルヘキ措置如何

第二　實業的敎育ノ普及徹底ニ付執ルヘキ方策如何

第三　本島住民ノ海外發展ヲ圖ルニ適切ナル方策如何

の順序にて第一諮問案に對しては相原主査より委員會の經過及報告の說明あり。直に質問次で討議に入り各會員交々起つて熱辯を奮ふ。第二諮問案に對しては石黑主査、第三諮問案に對しては豐田主査各々委員會の報告を爲す。第一諮問案に於けると同樣質問討議は何時果つるかとも思はれたが結局三諮問案共委員會報告通全會一致を以て議了せられた。

右の答申書は別項揭載の通である。

議事終了するや上山會長は左の如き閉會の挨拶を述べ午後三時散會した。

是にて第六回評議會を閉會致します。會長として前會以來の諸君の御勞苦に對しまして謝意を表します。尚ほ此の機會に總督として一言申述べて置き度いと思ひます。諸君の前會以來の熱心なる御勉强に依つて三案共充分に調査を遂げまして答申の完成を見るに至つたことも謝意を表します。本案に就ては先刻成るべく實行を速かにして呉れとの御希望を述べられた方があつたが蓋し一同御同感であらうと存じます。總督府と

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

致しましても評議會を開き苟も會議に案を出して之に對して答申のあつた以上其の實行を期すべきことは當然であります。唯評議會の答申に付ては評議會に於て充分に審議されたことは勿論でありますが總督府は總督府として實行の時期、方法、前後緩急と云ふことを能く考へなければならぬから之が直に事實に現れると云ふことには無論參らないのであるが唯心持だけは諸君の御意見を尊重して出來るだけ速かに出來るだけ多く而も適切に實行せんことを期して居ります。之だけは明かに御答へして置きます。之を以て閉會致します。

答申書

一、本島住民の海外發展を圖るに適切なる方策如何

右本會に於て審議の結果別紙の通議決候條此段及答申候也

昭和二年十月十八日　臺灣總督府評議會長　上山滿之進

臺灣總督上山滿之進殿

本島住民の海外發展を圖るに適切なる方策

一、緒言

世界の大勢を正視し、我國の現狀に想到するとき日本國民の海外發展は現在當面せる諸問題中最も重要なるもの丶一に數へざるべからず。而して我が臺灣は帝國の南端に位し西に南支那の要部を扼し南に南洋諸領の富源を擁し實に帝國の南方發展に對する飛石たるの好地位を占む、今や吾人が此の形勝に據り海外發展を策するに當りては南支南洋方面に對する貿易の振興を計り、企業の勃興を促し、移住の獎勵に力むるを以て刻下の急務なりと認む。而して吾人の所謂海外發展が平和的精神に則り、彼我相共に利するの共存共榮を主義とせざるべからざるや改めて絮說するを俟たず。

二、方策

一、各種事情の調查研究

我が國民が歷史、人情、風俗、習慣を異にし然も統治權を異にする地方に對して發展せむとするには先づ其の土地の事情を廣汎且詳細に亘りて調查研究することを要す、從來總督府には調查課の設ありて海外事情をも調查し又南洋協會支部ありて其の活動見るべきものありと雖未だ以て遺憾の點なしとせず。宜しく之が整備充實を計ると共に其の聯絡統轄に於て萬遺漏なきを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

期せざるべからず。

惟ふに産業奬勵の要諦は消費を前提とする生産の奬勵ならざるべからず於是乎充分なる經濟調査の必要生ず其の方法としては南支南洋樞要の地に商務官及農工技術者を派遣して夫々專門的の調査、研究竝に試驗を行はしめ各其の機能を發揮せしむる等は最も效果ありと信ず。殊に高等商業學校の教授を留學せしめ其の專門とする智識を中心に當該地方の經濟事情を調査研究せしめ一面官廳の調査に有力なる資料を提供すると同時に他面之が資料を活用し學校教育をして實際に意義あり精彩あるものたらしむるが如きは最も有效且適切なる一施設たるを疑はず。

更にあらゆる機會に於て官界民間の專門家を派して特種の事情に關し特種の調査研究を爲さしむるの必要なることは言を俟たざる所なり。

二、海外思想の宣傳

海外發展に關し最も有效なる成果を收めむが爲には國民自體に海外思想を充實せしめざるべからず。而して其の大前提を爲すものは實に國民の職業意識の透徹を以て其の最たるものと爲さゝるべからす。即ち共同生存の意義を正解せしめ國民の何人もか何等かの職司を分擔すべく無爲徒食の最も恥つべきを深刻に意識理解めしむることに外ならず。之れ國民意識に次で必要なる要件たるを以て有ゆる機會に於て此の意識の喚起養成に努むることを要す。

海外發展の機運を助成するが爲には宣傳の力に俟たざるべからざる所尠からず。宣傳は特設機關をして之に當らしむるを最も適當と信ずるも時宜に依り既設民間調査機關の事業の一部に加ふるも不可なし、宣傳の方法としては講演、講話、活動寫眞及印刷物の通俗化等に依り一般民衆をして南方事情に親炙せしめ其の興趣を喚起するの機會を多からしめざるべからず。又商品陳列館及博物館の材料の蒐集と選擇に意を用ひ之をして南方的特色を發揮せしむるが如きは最も喫緊の要務と云ふべく或は海外發展者の爲にする相談機關を設置し種々の指導便宜を與へ更に又視察團を組織せしめ必要ある場合は團體又は政府之に補助し海外の視察を爲さしむる等必要缺くべからざる施設と云ふべし。尚海外に於て共進會、博覽會等の催しあるときは努めて之に參加し或は隨時見本市を開催する等國產品の紹介宣

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

傳を行ひ以て貿易の振興に資し更に海外に邦人の機關新聞を創設し彼我の親密、誤解の排除等に力むるも亦有力なる一手段たるを失はず。

三、海外發展に必要なる人物の養成

海外發展の目的を遂ぐる爲には幾多の施設に俟つべきは勿論なるも施設は畢竟末節のみ、要は之を運用する人物の如何に存す。卽ち本問に付ても適當なる人物の養成は必要缺くべからざる重要事項たり。本島には高等商業、高等農林等の專門學校あり各特種の使命を帶ひ海外發展に貢獻しつゝあるも更に一層の努力を爲し優秀なる人物を海外に送るべく工夫を廻らすの必要あり、若し夫れ海外發展に必要なる語學其の他教育の爲にする講習會の開催等に關しては當事者の格段なる努力に訴へざるべからず。

四、保護便宜の供與

凡そ國家的施設を遂行するに當り之が計畫當初に於ては國家の熱心なる保護に依らざるべからざるや言を俟たず。海外發展の如き事業に於て特に其の必要を認む故に事情の許す限り海外移住組合法を援用して同法の庶幾する便宜と保護を與ふべきは勿論醫師互認制の確立、防疫醫療機關の設備、學校寺廟の建設等衛生、教育、宗教の諸方面に亘りても設備を完備し、移住者をして安心して定住し得るが如く保護と便宜とを與へざるべからず更に渡航手續、通關手續等の簡捷を計り進では特定運賃の制定、關稅政策の更改等に深甚なる考慮を加ふるの要あるべし。

五、金融機關の整備

海外發展は企業發展に依て初めて其の基礎を鞏固にす、從て金融機關の整備なる問題は最も重要なる意義を有すること論を俟たず。故に出來得れば債券の發行權ある特殊の金融機關を設置し長期低利の金融に付遺憾なく機能を發揮せしめざるべからず。

尙南洋方面に於ては小中貿易業者、小商人、小企業者に對する金融も亦大企業者に對するものと同樣其の必要を痛感せられつゝあり。輸出組合、重要輸出品工業組合產業組合、等の組織によりて金融の圓滑を期するも一方法なるべく更に進んでは大企業會社を創立し之をして併せて前記の者に對する金融を行はしむるも亦一方法たるべし。

尙本島には南洋倉庫會社あり相當の抱負を以て設立せ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

られ年と共に事業の進展を見つゝあるも今尚遺憾の跡鮮とせざるが如し。一日も速に本來の使命遂行に向つて充分の機能を發揮する樣希望に堪へず。

六、交通の完備

四面環海の臺灣の位置に鑑み海外發展の使命を思ふとき海運交通の整備に關し根本的に調査研究を重ね確固不拔の方針を確立することは最も喫緊の事項たり。港灣設備の完成、管海行政の統一、定期船増配、航路の開拓及南洋船の本島寄航等研究の價値ある可く更に進んでは造船業を奬勵し、商船學校等を設け海事思想の養成、普及に努むるが如きは海外發展の大局より見て百年の長計たるを疑はず。

更に郵便電信事務が目的地との間に於て連繋其の宜しきを得ざる爲發展上に及ぼす不便不利尠からずと聞く速に適當の對策を講ずるの必要ありと信ず。

七、工業の振興

貿易の振興を圖らんが爲には國内生産の増加を計らざるべからざるは論を俟たず而して南洋に對する輸出品としては工業製品の如きは特に有利なりと認めらるゝを以て本島に於ては工業の發興を策し通商の隆盛を圖るを以て急務とせざるべからず。惟ふに將來本島に於て勃興すべき工業も亦鮮少ならざるべく就中南支南洋向のもの少からざるが如し。故に此の際工業教育機關を充實整備を期すると共に中央研究所の機能を一段と發揮せしめ諸機關の聯絡を圓滑にし研究の結果を實行し易からしめ又一面發明協會等の活動を奬勵し以て生産の増加に寄與する所あらしめざるべからず。本島を南支南洋に對する中繼貿易地として發展せしむるは最も必要なる事項に屬す。自由港、自由地區の問題の如きは自ら關係する所複雜にして今俄に之が實現を斷じ難しとするも少くとも中繼貨物の出入に對する手續の簡捷と便宜の供與を計り以て貿易の進展に資せざるべからず。

八、關係各方面の連絡協調

協調諧和の必要なることに付ては必しも時所を選ぶべきに非ずと雖遠く母國を離れて新天地に新運命を打開せんとする時に於て特に其の緊要なるを思ふ、不幸にして既往の歷史は動もすれば此の一大要諦に悖らんとするの事實あるを否み難し、而も之が爲には國民各自の自覺自省に俟たざるべからずと雖一面に於て之が惜

礎となるべき輸出組合法、重要輸出品工業組合法及商工會議所法等を援用し活用することに依りて相互扶助一致協力の美風を馴致すること亦甚だ必要なりと信ず。

又從來我が南支南洋に對する施設に於ては外務省の領事館、商務官、商工省の貿易通信員、臺灣總督府の施設其の他各種企業的機關との間に於て常時密接なる連繫を保持し來れること疑を容れずと雖も海外發展てふ大使命遂行の爲には更に一段の努力を翹望せざるを得ず。

三、結　論

之を要するに本島住民の海外發展は我等の直面せる最大重要政策の一に屬し之が實現は刻下の急務たるを以て前述の如く國民各自をして職業意識に自覺せしむることを以て經とし、利害關係者の相互扶助、協心戮力を以て緯とし官民力を合せて之が大成を期せざるべからず。

臺灣總督府評議會答申書

答申書

一、現在の祭祀公業に對して執るべき措置如何

右本會に於て審議の結果別紙の通議決候條此段及答申候也

昭和二年十月十八日　臺灣總督府評議會長

上山滿之進

臺灣總督上山滿之進殿

現在の祭祀公業に對し執るべき措置

甲　相當機關を設置し之をして祭祀公業に關する左記事項を調査し且之が査定を爲さしむること

一、祭祀公業の成立に必要なる條項

二、派下及其の房份

三、公業財産の種類及數量

乙　祭祀公業に關する左記事項に付之を明確にすべき法規を制定すること

一、祭祀公業の法人格

二、派下の權利義務

三、公業財産の管理方法

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四、管理人の選任解任手續及其の任期

五、管理人の職務權限特に公業財産目錄及派下名簿の調製並收支決算の報告に關する件

六、派下會議の組織及權限

七、公業財産の處分方法及公業の解散

丙　祭祀公業臺帳を設くること

丁　行政官廳をして祭祀公業の監督を爲さしむること

（以上）

理由書

第一　公業が祭祀公業なりや若は其の他の公業なりやを甄別するは容易の業に非ず鬮書契字其の他の關係文書に徴し又は關係人の陳述を聽く等幾多の努力を要すると同時に煩雜なる事案に逢着することあるべし依て委員會の如き機關を設け之に適當なる權限を附與し之をして關係人より公業、其の派下及房份並公業財産の種類數量等に關する申告と共に其の證明文書を徴し且所在不明の派下に對し申告方の公示催告を爲す等の方法に依り叙上の點に付調査を遂げしむる要ありと認む但右機關の査定に對し訴願を許すの途を開く亦適當の措置なりと信ず、而して右關係人が指定の期日内に申告を爲さゞる場合に於ける制裁規定を設くるの要あるべし。

第二　乙の一乃至七に關する事項に付ては舊慣明確を缺くのみならず判決例の依據すべきもの亦多からず依て叙上の點に關し舊慣及判決例の趣旨を參酌し適當なる規定を設けられんことを望む

第三　祭祀公業に關する事項は臺帳を設けて總て之に記入せしめ以て一切の關係を明確にするの要あり又行政官廳をして檢査其の他の方法に依り監督を爲さしむるに非ざれば公業財産の完全なる管理を期し難き虞あり是れ丙及丁の措置を必要とする所以なり。

答申書

一、實業的教育の普及徹底に付執るべき方策如何

右本會に於て審議の結果別紙の通議決候條此段及答申候也

昭和二年十月十八日　臺灣總督府評議會長

上山滿之進

臺灣總督上山滿之進殿

實業的教育の普及徹底に付執るべき方策

本島に於ける實業的教育の振興を計らむとするには學校教育其の他につき制度、施設及内容等に關し改善を要すべき

もの尠からず、依て本島産業の現狀並に將來に鑑み實業的教育の普及徹底に關し執るべき方策を左に詳述すべし。

一、工業に關する專門學校を一校設置せられたし

理　由

本島の産業を通覽するに農業、商業の發達に伴ひ各種の工業漸次勃興せんとするの傾向ありこの機運を促進し本島の富源を開發することは極めて緊要なりと信ず而して各種工業發展の現狀を見更に其の將來を洞察する時は今後本島に於ける工業從事者は單に從來の如く普通工業學校卒業の程度のみにては本島工業の進運に順應し難く少くとも專門學校程度の教養を經たる人材をも要求するの情勢に在り、然るに農業商業に關しては夫々高等農林學校高等商業學校の施設整へるも獨り工業に關しては有用なる人材を養成せんとする專門學校を缺けり之れ本島産業の開發上試に遺憾とするところなり依て適當なる土地を選び本島工業と密接なる關係を有する高等工業學校を一校新設するを要す。

二、中等程度の實業學校に關しては左の通施設改善せられたし

一　農業に關する實業學校を各州一校宛普及すること

二　工業に關する實業學校を主要の地に增設すること

三　商業に關する實業學校を主要の地に增設すること

四　水産に關する實業學校（航海機關に關する科目を含む）を新設すること

五　農林學校に畜産科を加設すること

六　既設工業學校に鑛山科を加設すること

七　各種實業學校を通じ必要に應じ支那語佛語蘭語又は馬來語等の外國語を加ふること

理由　中等程度の各種實業教育の普及徹底は本島産業の開發上極めて重要なる事項に屬するに拘はらず之を中等普通教育に比較するときは甚しき懸隔あり從て之が施設改善の急務なることは既に一般の痛感せるところにして其の學校の種類、校數及内容につき大に考慮を要すべきものあるは勿論特に其の修業年限の如きも實情に適應すること肝要にして必ずしも一律に五年たるを要せず土地の情況又は學習の事項によりては二年又は三年にても可なるべし尙左に詳說すれば

一　農業は本島産業の大宗にして現に之に從事せるもの全人口の過半數を占む、從て農業の振興は全産業の興廢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

に影響あり、然るに之に關する既設學校は嘉義宜蘭の二農林學校あるのみなり少くとも各州に一校宛其の地方農業に適應したる學校を速かに設置し以て地方農村の子弟の教養に力め本島農業の振興に資するを要す。

二 將に勃興せんとする本島工業の堅實なる發達を期せんとするには臺北工業學校一校のみにて滿足すること能はず、本島工業界の將來を達覽し高等工業學校の設置と相俟て工業に關する中等程度の學校を增設し工業界の中堅人物を養成することを要す。

三 產業の堅實なる發達を期するには農、工、商各業の併進するを要す、而して本島の現在及將來を鑑みるに既設商業學校は臺北臺中の兩校のみにして本島產業の進運に應し本島の商業を促進し其の進展に對應するに足る有用なる人材を養成するには不充分なるの憾あり依て工業學校と等しく適當なる土地を選び之が增設を要す。

四 本島の將來は海洋にあり而して本島水產は近年著しき發達をなし今後洵に多望なるものあるに拘はらず之に關する中等程度の教育機關なきは遺憾とするところなり速かに漁撈、製造、養殖を主とする水產學校を適當なる地に新設し且つ之に航海機關に關する科目を加設し以て水產業の發達を期すると共に海外交通の機運を促進することを要す。

五 本島の畜產は農業上重要なる位置を占むるに拘はらず既設農林學校には畜產科の設なし宜しく農林學校に畜產科を加設し畜產業の振興を計ると共に獸醫の養成に力むるを要す。

六 本島の鑛業は石炭石油の產額增加に依り漸次旺盛に赴かんとせり此の機會に既設の工業學校に礦山科を加設し斯業に從事する有用なる人材を養成することは極めて機宜に適したる施設なりと思料す。

七 中等程度の實業學校卒業者中には單に本島內のみならず遠く南支那南洋方面に活動するものあるべし此等のものに對して適切なる外國語を教授することは實業的教育の振興上肝要なる一事項たるべし。

三、實業補習學校に關しては左の通施設改善せられたし

一 既設實業補習學校は實習に重きを置くこと

二 專ら簡易の職業教育を施す組織を加ふること

三 各地方に適應したる實業補習學校を增設すること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

四　實業補習學校に對しては其の經費の一部を國庫より補助すること

理由　本島の現狀を顧みるに實業的教育振興の第一步は實業に關し簡易なる智識技能の普及を目的とする實業補習學校の施設改善に在りと信ず卽ち。

一　既設實業補習學校に對する非難の焦點は其の內容が目的に副はざることなり卽ち多くは學科に重きを置きて智識の修得に力め甚しきに至りては上級學校に入學せんとする者の準備教育たるやの感あるものあることなり之を改善して實業に關する科目に重きを置き充分なる實習を行はしめ卒業後は喜びて自己の習練したる實業に從事し地方產業の改善に努力せんとする人物を養成することは目下の急務たり。

二　現在の實業補習學校に在りては小公學校の卒業を以て其の入學資格となせり本島の現狀を察するに公學校の半途退學者又は公學校に在學したることなき青年の數極めて多し之簡易なる職業教育を施し適切なる職業に就かしむることは實業的教育の振興上は勿論社會政策上極めて有益なる施設なりとす、而て其の修業年限は概ね一年とし教科目は職業に關するものを主とし修身、國語を加ふることゝし建物は簡素を旨として尙之を實施せんとするには教員の如きも或は地方の老農又は地方工場に於ける熟練せる技術者等を指導者として採用し眞に實地の習練を積ましむるを要す。

三　既設の實業補習學校は全島を通じ僅かに二十六校に過ぎず而て其の教育の內容は地方の事情に適せざるもの多きが爲め父兄及兒童の就學を希望する者多しと云ふべからず故に今後は各地方に適切なる各種の實業補習學校を增設し廣く全島に普及せしめ依て實業的教育の普及徹底を期せざるべからず。

四　既設實業補習學校の成績の良好ならざる原因の第一は適切なる教員の不足せることにして第二は實習に關しての設備の不完全なることなり、以上二原因の除去に關しては多大の經費を要す之を全部地方費の負擔となすことは過重なるやの憾あり向後實業補習學校の內容の改善又は增設普及を計らんとするには經費の一部を國庫より補助するにあらざれば其の眞目的を發揮せしむること至難なり。

四、普通教育を主とする學校に於ける實業的教養ニ關シ左ノ通施設經營セラレタシ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一　中學校、高等女學校に於て實業的教養に留意すること

二　小公學校に於ける實科は可成實際的ならしむること

理由　普通教育を主とする學校に於て適度の實業的教養を加味することが普通教育其のものゝ眞意義貫徹上より見るも極めて必要なることは既に一般の認むる所なり中學校、高等女學校の卒業生、卒業後の狀況を見るに上級の學校に進む者は其の一部にして實際生活に入る者其の大部分を占む從て中學校高等女學校在學生に對し實業的教養を施すことは中等教育本來の眞意義を貫徹することを得るのみならず間接に實業的教育の振興に資することを得べし。

小學校又は公學校に於ても初等普通教育の目的を達成する一手段として農業、手工、商業等に關する簡易なる實科を科し得るの制を採れり而して實科は實習に重きを置くことによつて其の價値を發揮する事を得然るに現在の實狀は動もすれば抽象的智識の教授に偏するの弊あるは之を矯正し可成實際的ならしめて實習に重きを置かしむるを要す。

五、社會教育の實業的方面に於ては左記の方法に依り地方に適切なる實業的教養を行ひ實際的智識の普及徹底に努められたし

一　各種實業に關する講習會又は講演會を開催すること

二　産業に關する品評會、展覽會を開催すること

三　新聞、雜誌又は印刷物に依り實業智識の普及を計ること

四　物産陳列場を施設利用すること

五　實業に關する視察見學を行ふこと

六　廣く一般に對し實業的教養を行ふが爲に實業に關する諸學校試驗場等を利用すること

七　實業に關する功勞者の表彰を行ふこと

理由　一般民衆をして實業を理解し之を尊重するの氣風を喚起するには學校に於ける實業教育と相俟つて社會教育の施設に期待せざるべからず、而して之が施設に就ては種々あるべしと雖前記各種の事項は其の主なるものにして既に各地方に於て一部實行せられつゝありと雖眞に地方の實狀に適應したるもの少きため未だ充分なる効果を收むるに至らず、今後は用意周到なる計劃の下に大に之を促進するを要す、各種實業學校又は試驗場等に於て實習實驗の結果に成れるもの又は參考品を蒐集陳列し其の他必要に應じ諸設備等を解放し一般に觀覽せしむることは極めて有効なる方法なるべく是等諸學校等の教職員を一般の實業講習及

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

講演等に參與せしむることも亦實業的教育の振興上効果尠らざるべし。

實業に關する功勞者の表彰は實業的教育の振興を計る直接の事業にあらざるも之が間接的の効果は極めて重大なるを以て特に一項として之を掲げたり。

六、實業的教育に於ては實驗實習に重きを置かれたし

理由　實業教育の特徴は實驗實習を重んじ各種實業に對して眞に趣味を感じ確實なる技能を習得せしむるにあり然るに近來動もすれば實業教育を行ふ諸學校の教育が智識の習得に偏し普通教育化せんとするの感あることは大に戒心すべきことなり何れの實業に關する學校にありても此特徴を貫徹せしむるを要す。

七、實業的教育に從事する教員の養成に努められたし

理由　實業的教育の成績の向上を計らんとするには先づ第一に實業學科を擔任する職員に適任者を得ざるべからず曩に既設實業補習學校の成績良好ならざる原因の第一としても適切なる實科教員の配置不充分なることを述べたり本島に於ける實業的教育を振興するには實業補習學校又は小公學校の實科教員の養成に努めざるべからず。

八、實業的教育に適切なる教科書又は參考資料を編纂せられたし

理由　本島の實業學校に於て適切なる教育を施さんとせば本島に適切なる教科書又は參考資料に依らざるべからず、然るに既設實業學校の多くは日常の教務に追はれて之を編纂するの餘裕なく已むを得ず內地に於て出版せられたる教科書を採用せり本島の自然界は內地と著しく事情を異にせるを以て本島の實業的教育を振興せんとするには萬難を排して本島に適切なる教科書又は參考資料を編纂せざるべからず。

九、實業學校と之に直接關係ある官廳又は諸團體との連絡を密接ならしめられたし

理由　實業學校と之に直接關係ある官廳又は諸團體例へば農林學校又は農業に關する補習學校と州の勸業課市街庄の勸業係農事試驗場又は農會等と直接間接に密接なる連絡を保たしむることは實業教育の徹底上最も有效なるべし。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

時報

第一回 明治節

我國中興の聖主　明治大帝の御誕辰日たる十一月三日は、明治節として大帝の御偉業を回顧し奉る新國祭日と定められた。

明治節の制定は　明治大帝の御誕生日たる明治時代の天長節を永久に紀念し奉らんとの國民の熱誠により、第五十二議會に於ける建議案となり、本年三月三日、詔書の喚發あり「十一月三日を以て明治節と定め、天皇の遺德を仰ぎ明治時代を追憶するところあらんとす」と宣せられ、同日官報號外を以て明治節制定の件が公布された。

本年はその第一回の明治節で、諒闇中の故を以て祝賀式は行はれなかつたが、全島各戸國旗を掲揚して、大帝の御遺德を仰ぎ奉り、各學校に於ては明治節に關して訓話があつた。

社會事業 助成金傳達

明治節に當り恩賜財團明治救濟會及同大正救濟會の兩會は全島の私設社會事業團體中左記十八團體を選び、事業の規模に應じて夫々應分の助成金を交付し各州廳に於ては之が傳達式を行うた。

▲臺北州　金一千圓也　臺北市林本源博愛醫院　金八百圓也　臺北市護國十善會　金五百圓也　臺北市馬偕醫院（以上明治救濟會より支出）、金一千圓也　臺北市私立盲啞學校　金八百圓也　基隆市私立基隆夜學校（以上大正救濟會より支出）

▲新竹州　金五百圓也　新竹郡新竹街新竹救濟會　金百圓也　新竹郡香山庄香山庄施療救濟會（以上大正救濟會より支出）

▲臺中州　金三百圓也　彰化郡彰化街礦溪醫院（以上明治救濟會より支出）金五百圓也　彰化郡彰化街彰化方面事業助成會　金二百圓也　同郡鹿港街博濟社　金百圓也　豐原郡內埔庄青雲博愛會　金百圓也　員林郡田中庄田中庄濟美會　金百圓也　員林郡溪湖庄溪湖庄濟美會（以上大正救濟會より支出）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

▲臺南州　金一千圓也　臺南市臺南新樓病院（以上明治救濟會より支出）

▲高雄州　金五百圓也　高雄市高雄天主公教會孤兒院（以上明治救濟會より支出）　金百圓也　鳳山郡鳳山街省心社（以上大正救濟會より支出）

▲臺東廳　金五百圓也　岩灣浮浪者收容所内財團法人臺東保護會（以上大正救濟會より支出）

▲澎湖廳　金一千圓也　馬公街澎湖普濟院（以上明治救濟會より支出）

海軍油田綜合調査

海軍省は本島の石油事業に着目し、これが開發の爲め商工省の大井上技師一行專門家を派し、本春以來約六箇月間に亘つて全島の油田を調査せしめたが、今回更に綜合調査を行ふ爲め商工省の千谷技師を派遣して精密なる調査に着手せしめた。

全島國語演習大會

臺灣教育會主催第十四回全島國語演習會大會は十二月五日午前九時から新竹小學校に於て開かれ、來臺中の全國師範學校長四十九名總督府評議會員其の他多數の來賓あり、野口學務課長の開會の辭に始まつて祝電披露後會員の國語演習に入る。

朝香宮殿下には奬勵の思召を以て御附武官及び上山總督其の他を随へ同日午後二時二十分御臨場あり御熱心に御聽取遊ばされた。野口會長代理以下各役員出演者一同感激措く能はず滿場緊張し、午後三時演習を終り、浮田視學官の講評、若槻會長代理の賞品授與及び訓示あり出演者總代の答辭を以て同四時大盛況裡に閉會した。

移出米激增

總督府調査に依れば本年一月以降十月末迄に内地に移出された本島米は基隆移出百九十九萬〇七十袋、高雄移出九十九萬三千八百九十二袋、計二百九十八萬三千九百六十二袋に達した。これを前年同期の累計に比すれば六萬五千二百五十四袋の増加である。尚ほ此外叺米の移出も相當盛んで十月末までに一萬四千五百四十二箇の移出高に上り、之を前年同期に比すれば約三倍の増加であると。

臺灣醫學會大會

臺灣醫學會第二十二回大會は十一月十二日午前九時から臺北醫學專門學校講堂に於て開催、會員二百餘名並に、今回特に來臺せる京城醫大津崎博士、滿鐵病院村上博士、奉天醫大豐田博士これに加はり、來賓として上山總督を始め橋本

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

軍醫部長宇野法院長其の他官民多數列席、定刻開會、副會頭倉岡博士の挨拶、幹事小島教授の會務報告、論文當選者に對する賞金授與の後、上山總督は左の如き祝辭を述べ、更に祝辭祝電の披露がありて會員の研究報告あり第一日を終る。次いで第二日十三日も前日同樣會員の研究發表がありて六時閉會、それより一同は鐵道ホテルに於ける懇親會に列した。

總督祝辭　本日茲に臺灣醫學會大會を開き斯道の先達畢く至りて一堂の中に會し多年研鑽したる所を發表し滿腔に蘊蓄する所を披瀝し更に討論審議を重ね以て醫學の向上發展に資せむとするは盛事と謂ふべし祝せざるべけむや。

惟ふに國民の體格をして益々剛健内外文化の開發に裨益し且本島衛生狀態の改善を促進したるは余の欣快とする所なり冀くば益々潛心覃思斯道眞理の闡明に力め以て國運の興隆に貢献せられむことを是を祝辭と爲す。

臺灣總督從三位勳一等　上山滿之進

全島水利事務打合

全島水利事務協議會は十一月十八、十九日の兩日臺中州會議室に於て開かれ、佐藤知事の挨拶、豐田内務局長代理の訓示があり、佐藤知事議長席に著き各議案に付き審議を重ねた。

鳳梨罐詰檢査規則

本島の新興産業として將來最も囑望されつゝある鳳梨罐詰事業は近時著しく勃興して來たが、總督府に於ては更に此事業の建實なる發展を期すべく今回檢査規則を制定した。即ち臺灣鳳梨罐詰檢査規則は十一月十九日府令第六十號を以て關係法規と共に公布され、昭和三年一月一日から施行さるゝことゝなつた。該檢査規則は全文二十八條より成り、檢査方法は可なり嚴密なもので違反者に對しては百圓以下の罰金を規定して居る。尙ほ右施行に伴ふ關係規則は檢査所規程(訓令)檢査標準、其の他に關する告示である。

蕃地水田一期作

蕃人授産の一方法として當局に於ては夙に水稻の栽培を奬勵し指導田を設けて之が栽培の指導奬勵に努めて居るが、近年大に其成績見るべきものがあり、警務局の調査によれば本年の蕃地水田第一期作の成績は全島水田面積七百五十九甲七七六の内、作附面積四百八十五甲二八、收量玄米四千六百五石七斗六升、價格九萬二千八百四圓餘に達した。さうして作付面積に對する甲當收量は九石四斗九升一合となり、本地作の收量を凌駕するもの十三箇所に上り其の前途

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は注目すべきものがある。尙ほ本年一期作を昨年同期に比すれば水田面積に於て五十三甲八六九五を增加し、作付面積は五十甲六四四一、收量二百六十石七斗二升餘の增加であると。

全國師範學校長會議

全國師範學校長會議は十一月十七日午前九時から臺北醫學專門學校講堂に開かれ、來臺後島内各地を視察せる五十餘名の會員を迎へ、野口學務、坂口社會兩課長以下視學官編修官、各中等學校長、臺北州並に市の各關係者列席、定刻開會、辟頭長谷川氏（東京青山）開會を宣して議長選擧に入る志保田氏（臺北一師）滿場の推薦により議長席に就く、次いで後藤總務長官、三浦臺北州知事、川端市尹の祝辭あり、直ちに協議に入り議案第一より、第三を順次議題として各意見の發表あり、三案共委員附託として第一日を終る。

第二日は十八日午前十時より開會、委員會に於ける經過並に結果の報告あり、委員會案を審議して三案全部を議了した。次いで志保田議長起つて會員の勞を謝し、長谷川氏（東京青山）一同を代表して議長並に臺灣教育會に謝辭を述べ、最後に野口學務課長の挨拶があつて午後零時半滿場拍手裡に散會した。

因に同會議に於ける決議案は次の通りである。

第一、社會の現狀に顧み一層教育の權威を確立する方案

一、教育尊重の精神を實現し努めて教育界に優良なる人物を招致すること

二、劃一教育の弊を矯め地方の事情に應じ適切なる教育を行ひ次で教育の效果を發揮すること

三、師範教育を改善し其の程度を高め教員の素養を一層向上せしむること

四、教育者は常に協力一致して益々人格識見を高め實力の增進を計り教育上遺憾なきを期する事

五、學校と社會との連絡關係を親密にし學校の文化發展思想善導の中心たるべき實を擧ぐること

六、公正にして有力なる批判及主張の機關を設置し努めて輿論を喚起すること

七、國法の運用を愼重にし以て教育者の地位を安固ならしむる事

八、教育者の選叙を一層愼重にし且優良者の拔擢昇進の途を開くこと

九、教育行政官は主として教育上の學術技能及經驗を有

する者より登用すべきこと

一〇、公立學校教員の俸給を國庫支辨とすること

第二、內地及特別行政區域を通して教育に關する諸施設に一層連絡系統あらしむる方案

一、特別行政區域に於ける教育の制度及其の實況を內地の教育關係者に知悉せしむること

二、內地に於ける教育に關する會議又は講習會等に特別行政區域に於ける教育關係者を可成多く參列せしむること

三、生徒の轉入學教員の養成任用等に關し兩者間の連絡を一層密接ならしむること

四、內地及特別行政區域間に於ける教育上の連絡系統に關する硏究會を開催すること

第三、海外發展に關し國民教育上特に留意すべき事項

一、國家の現狀と我が民族の使命とに鑑み海外發展の必要なることを知らしむること

二、海外に於ける我が國民發展の現狀竝に移植民に關する規程を知らしむること

三、世界各國の移植民に關する過去及現在の大勢を知らしむること

四、將來移植民上關係深き地方の實狀特に其の民族の性質習俗及び文化に通曉し之に順應調和する用意あらしむること

五、登山水泳海外旅行等を奬勵し以て强健なる身體と進取的氣象の養成に努むること

六、海外發展に關し必要なる性格の涵養に留意すると共に其の障碍となるべき性癖及び慣習の矯正に努むること

一、性格涵養に努むべき事項

イ、濶達雄大なる氣象

ロ、獨立自營勤勞愛好の精神

ハ、堅忍持久の氣力

ニ、協同一致共存共榮の氣風

ホ、國際的儀禮の修練

二、矯正すべき事項

イ、偏狹なる愛國心と徒に鄕土に愛著する風習

ロ、利己及び嫉妬より起る同胞排擠の弊風

ハ、他國民の嫌忌すべき風習

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

七、修身地理實業等の教科目に於て一層海外發展の思想養成に留意すること

八、國語唱歌等の教科目に於ては海外發展に關する思想養成に資すべき教材を增加すること

九、映畫講演會小冊子其の他適切なる施設に依り海外發展上必要なる知識を與へること

一〇、女子の教育に於ては特に海外發展に關する思想の養成に留意すること

一一、教育者をして海外旅行の機會を多からしむること

總務長官祝詞　此の度全國師範學校長の會議が當地に開かれるに當り、この會場で皆樣にお目にかゝることを得たのは私の誠に欣快に存する所であります。臺灣總督府においても教育會におきましても滿腔の熱誠を以て御歡迎申上げてをる次第で及ばず乍ら出來得る限りのお世話もしたいと考へてをる次第でありますが、恰度朝香宮殿下の御來臺の光榮に浴して居ました際で諸君の御視察其の他につき或は不行屆の點も少くなかつたであらうと思ひますが此の點は此の機會に幾重にもおわびいたします。

本島教育の沿革に遡つて觀ると御承知の通り芝山巖上に孤々の聲をあげたので、本島教育の施設は所謂六氏先生壯烈なる殉職の血を以てかざられ玆に一歩踏み出してをる。本島の教育者は常に其の芝山巖精神を以て精神とし、本島開發の爲めに教化の任務を盡すと云ふことを考へて居ります。

時代の變遷は內地においても教育の問題が非常に痛切なる實際的の問題となり、獨り教育に關係する專門の方ばかりでなく一般の識者の間に非常に注意をひく問題となりつゝある樣で、これはさうならなければならぬ問題であります。教育の事に就き彼是私から申上げる事は誠におこがましい事でありますが、由來我が國においては教育の問題を專門の當局者及專門の方々のみの問題であるかの如く一般の人然し一時氣を緩てをつた時代があつた樣に思ひます。

然し乍ら今日となつては國家國民の將來の繁榮の本となる教育の問題を如何にするかと云ふことに就て痛切に考慮を拂はなければならぬ時にさし迫つてをる、寧ろ其の時機が已におそいかの如く感じられるのであります。

御視察の點を色々の機會に洩し下され本島教育の爲、延いて我國全體の進歩發展の爲に裨益を與へられる樣深く希望してお願ひ致す次第であります。尙此の機會に御願を致しておきたいのは臺灣の事情が內地にどうもよくわかつて

をらぬ、或は誤り傳へられてをると云ふ事で、これにつき國民教育の最も大きな鍵を握つてをられる皆樣におかれまして多數の人の惑を解き實情を傳へると云ふことに御配慮を願ひます。臺灣と內地の間も實驗せられた通りに僅かの日數で立派な船で海上の心配もなく、往復が出來、島內の一切の狀況は御覽の通りでありますが、古い時代の臺灣のことをまだ內地の多くの人に傳へられてをり誤つた觀念を持つてをる樣であります、どうか臺灣の實情を我國民一般によく知らせたいといふ信念の下に總督府においては色々宣傳の方法を考へ機會に觸れる每に努めてをるが、まだ中々其のまどひが解けない、この機會にをき皆樣に御願ひを致すのは最も有效なる結果を來たすと思ふので切に御願ひ申上げる次第であります。(祝辭要旨)

第二回產業組合講習會

第二回產業組合講習會は十月二十日から十一月二十日迄臺北市內成淵學校講堂に於て開催、全島各地よりの講習員九十餘名出席、十一月七日及同十四日中央研究所其他を參觀、同十九日總督府會議室に於て終了式を擧げ後藤總務長官の訓示あり、尚ほ十九、二十日の兩日に亙つて蘇澳信用組合、同澳港、羅東信用販賣利用組合、農業倉庫を視察して解散したが同講習會に於ける科目及び講師は次の通りである。

課目	講師
▲產業組合概論、產業組合の經營	產業組合中央會講師農學博士 西垣恒矩
▲產業組合關係法規	產業組合中央會主事 濱田道之助
▲手形法	高等法院判官 姉齒松平
▲簿記	高等商業學校 西澤二松
▲金融	高等商業學校 淺香末起
▲產業組合取扱手續	商工課 泉芳穗
▲農政	殖產局農務課長技師 色部米作
▲商取引	高等商業學校 田中鐵二郎
▲相互扶助としての產業組合と簡易保險制度	戶水事務官
▲蓬萊米の取引狀態に就て	中山勇次郎

上山總督上京

上山總督は朝香宮殿下臺灣御成の御禮言上の爲め、一戶秘書官其他を隨へ、十一月二十一日午後二時臺北發、官民多數の見送を受け吉野丸で基隆發上京の途に就いた。

後藤總務長官上京

後藤總務長官は明年度總督府豫算打合のため十一月二十六日午後基隆發の扶桑丸で東上した。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那の時局と支那貿易の消長（二）

臺灣總督府稅關　井出季和太

第三章　最近貿易事情

第一節　一九二五年の貿易

第一　總説

一九二五年の支那外國貿易額は前年の十七億八千九百餘萬兩に對し僅かに四「パーセント」弱の六千五百萬兩を減退し十七億二千四百餘萬兩を占めた。各年日本貨に換算せば前年の三十四億八千七百餘萬圓（一海關兩に付一圓九十五錢とし）に對して一層增加して三十五億一千六百餘萬圓（一海關兩二圓四錢とし）となるのである。

本年は農家も商人も又製造家も通じて混亂の難局に處して能く堅忍持久をしたことは驚嘆すべきものがある、蓋し政局の不安土匪、海賊、地方雜多の不當課税、生活費の高張、生産費の增加及諸品に對する激烈の競爭等から輸入品の内地販路は阻害され商況は概して不振で利益も少かつたにも拘らず税收は前年よりも二十七萬五千兩を增加した。五月三十日の上海事件と廣東の風潮とは貿易を阻碍すること大なるものがあつたが、又其罷工及抵制運動は一、二中心市場に限局され現に上海若くは廣東經由で輸出又は輸入することの出來なくなつたものは近隣市場又は天津の如き他の大開港を經由することゝなり、而して南方殊に西江沿岸諸港の例を除かば上海事件の直接影響は或は臨時的のものとも云へる。危期は六月から始まり九月末に終熄したが、既に一月以來江浙戰に依る交通杜塞等他の原因が助成して貿易の伸暢は阻滯されて居た同年は一方歐米市場にては支那製品一般に好況を呈して居たから若し時局が、平靜で諸品の生産費が、一層低廉であつたならば輸出貿易は前年に比して一層殷賑を期し得べきことは明かであつた。

(イ) 税收

税收は水害救濟附加税八十五萬餘兩を除外し六千九百八十七萬餘兩とし、前年に比し二十七萬餘兩、又一九二三年に對して六百三十六萬餘兩を增加して居る。時局の爲に輸入税は三千六百三十七萬兩に止り前年に比し百七十萬兩を減退し一九二二年改訂税率の現實五分に依つたのであるが若し舊税率に從はゞ三百五十萬兩餘の減收を見るべきであつた。噸税は支那汽船に於て五萬二千兩を增加したのに反し外國船に在つて減じたので結局七萬三千餘兩の減收となつて居るが、輸出税及沿岸貿易税增收の爲に全體に於て增加を示したのである。

而して上海は事件の中心故に前年の總額に對する割合は三九、五八「パーセント」が、三七、一六「パーセント」廣東は五、三七「パーセント」が、四、二六「パーセント」に下つたに反し大連は七、七八「パーセント」が、八、八七「パーセン

ト」に、天津は九、九五「パーセント」が、一二、〇七「パーセント」に增加した。

（ロ）國別貿易

同年對支貿易中增加したものは輸出に於ては米、佛、伊、露、獨、英領印度、蘭領印度、新嘉坡、海峽植民地等があり、減退したものは香港、澳門、英、日、和等である。輸入に在つては增加したものは日、佛、英領印度、蘭領印度、新嘉坡、海峽植民地、澳門等であり減退したものは香港、英、獨、和、白、伊等である。

香港との貿易は罷工事件の爲に輸入が六千五百五十萬兩輸出が五千八百萬兩を減退した。英國との貿易は輸入が三千二百八十萬兩輸出が二百六十萬兩を減退し、日本との貿易は輸入が六千六百萬兩を增加し輸出は一千四百八十萬兩を減退して居る。米國との貿易は輸入が四千七百七十萬兩を減退し輸出は四千二百萬兩を增加し、他の國との貿易中、佛に對しては輸出が二千一百萬兩輸入が二百萬兩增加した而して露國（西比利亞を包む）との貿易が四百八十萬兩を增加したのは注目すべきである。

（ハ）重要貿易品

輸入品

輸入品中重要貨物で時局の影響を受けたものをあけん、

棉絲布は總輸入高の二割内外棉布類は約一割六分を占めて居る。

米國生金巾シーチングは前年の二萬四千疋が十六萬七千疋に、日本同品は十三萬八千疋を增加し三百十三萬九千疋に達したのに反し、英品は前年の九十六萬八千疋が半減し四十八萬六千疋に激減した。元より英品の減退は抵制の反響であるが、安價の日本品及土貨の競爭の爲であつた又同年上海の公賣市場は年末迄再開されなかつた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蓋し一九一四年當時迄は英國マンチエスターグーヅは市場を獨占して居たが、歐洲戰爭後漸次日支兩國品の爲に其地位を蠶食せらるゝことになつたのである。

棉絲は支那棉花の割高と罷業の影響とで近年減退の歩調を辿つたが、前年の五萬四千擔が、六十一萬八千擔に激增し特に日本絲は其約半額の三十六萬三千擔に增加した。

外國棉花は又著しく增加し米棉は前年の十四萬六千八百擔か、二十三萬擔に、印度棉は百三萬九千擔か、百四十六萬三千擔に、日本棉花は五千八百擔が八萬二千擔に增加した。

砂糖は日本の精糖が市場に競爭した結果、年初に上海相場は一擔 八、三〇兩であつたが、香港糖は二月頃に 七、二〇兩に下り、キユウバ糖は 六、二〇兩乃至 六、四〇兩であり七月から十月にかけては 六、一〇兩十月末に最低 五、七〇兩に下り年末には 六、〇五兩を示した。同年の輸入は前年に比し各種何れも增加し殊に排日英貨の爲に爪哇糖の買付を增加したのである、卽ち前年香港糖は四百六十四萬擔が三百七十七萬擔に減退したのに反し日本糖は二百二十九萬擔か二百七十七萬擔に、爪哇糖は百二十八萬九千擔か三百八十一萬九千擔に激增した。

輸出品

輸出品中特筆すべきものは生絲及大豆並に同產品で各總輸出額の一割五分乃至一割 八、九分を占め、生絲の輸出は五卅事件に依つて增加し殊に白絲は前年の八萬六千擔が十萬七千擔に上つた。

棉花は不作の爲に前年に對して其生產額を約七「パーセント」減少し七百五十七萬餘擔と云はれた。

上海事件に依る紡績工場の罷業が、支那人工場には一箇月、日英人工場には更に長く繼續し綿絲の生產額を減退し市價騰貴の爲に自ら原料棉花の價格をも引上げたと同時に輸出は前年の百八萬擔が八十萬一千擔に下り、日本に對する輸出は又

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

前年の八十九萬擔が六十一萬擔に減じ、之に反して外國棉花の輸入は前述の通りに増加したのである。

（二） 船舶

船舶の入出港は時局の爲に貿易額よりも一層打擊を蒙り前年の一億四千百萬噸が一億二千八百萬噸に下り、汽船は前年の十三萬二千百十三隻一億三千六百萬噸が十二萬九十二隻一億二千四百五十萬噸に、帆船は前年の五萬四千隻四百六十萬噸が四萬七千六百五十四隻三百六十八萬噸に減退し、就中英國船は四萬八千八百八十六隻五千五百七十一萬噸が三萬六千九百三十七隻四千二百九十四萬噸に減退し、次位の日本船は二萬六千二百九十四隻三千四百七十五萬九千噸が二萬七千二百六十一隻三千五百八萬一千噸に增加し、其他獨、諾、露等各船何れも增加したが米船は六千四百三十五隻六百三十五萬噸が五千六百八隻五百八十五萬九千噸に減退し、支那船は隻數は日本船を越へたが噸數は遙かに下位に在つた。而して支那船は隻數は減退したが噸數は增加した。

第二　各地貿易に對する影響

時局が貿易に及した影響を地方別に觀察すれば抵制罷工の中心である上海は外國貿易は前年の七億五千九百餘萬兩に對し七億三千八百餘萬兩、內外貿易(土貨の輸入を除く純貿易額とす以下同じ)七億七千六百萬兩が七億五千四百萬兩に下り、上海以下蘇、杭二港及寧波溫州の支諸港に在つては外國貿易は前年の七億六千四百餘萬兩に對し七億四千四百萬餘兩に內外貿易は八億六千九百萬兩が八億五千二百萬兩に減退し、廣東は外國貿易は前年の一億三千六百餘兩に對して六千五百萬兩即ち三割四分を減退し九千萬兩臺となり、內外貿易は兩年共二億百萬兩で大差がなく廣東以下南支西江十三港に在つては外國貿易は前年の三億六千一百餘萬兩に對し一億六百餘萬兩即ち約三割弱を減退し、二億五千四百餘萬兩に、內外貿易は五億二千四百萬兩が四億五千九百萬兩に減退したが反動として滿洲諸港（大連以下六港）は外國貿易は前年の三億三千四

百餘萬兩が三億六千四百餘萬兩に內外貿易は四億二千四百萬兩が四億九千八百萬兩に上り、又時局の反響のない南境諸港（龍州以下四港）も外國貿易は前年の二千九百八十餘萬兩に對して三億六千餘萬兩に內外貿易は三千萬兩が三千七百萬兩に增加したのである。

（イ）滿洲及北支諸港

滿洲の貿易は七港中、愛琿、龍井村、哈爾賓等を除くの外は何れも前年に比して增加した。

哈爾賓

哈爾賓地方は前年と大差がなく總體には寧ろ減退したが輸入は露國產石油が前年の六十七萬四千九十五「ガロン」に對し百十四萬九千二百七十九「ガロン」に激增し英米油は侵食されたのである其他露國產織物も多量の輸入があつた。

大連

大連は上海事件が夏期閑散期に發生したから著しき反映がなく、却て南支の抵制運動に依つて上海の市價騰貴した爲に特に罷工中貿易は好況に在つて前年に比し稍增進し又後半期には上海事件の結果上海品は著しく減退したが青島工場品を以て之を補足した。一方紡績工場の活況が自ら棉花の輸入を增加し、又地方煙草工場其他支那製造品發達の爲に外國煙草の輸入を減退し却つて其原料の輸入を增加した。

營口

營口の如きは上海事件の影響を蒙むる事多く六月以降八月迄貿易は阻害され殊に英日航業は打擊を受けたが、東三省農產物豐作で輸出旺盛の上に棉布麻袋等外國品の輸入も相當額に上つたのである。

天津

天津は鐵道の障害冬期河川の結氷又は夏季水害等に依つて運輸杜絕し內地貨物の搬出困難を見たが、上海事件は航運に關するものを除かば痛切の影響を受けなかつた。排日英の罷工及抵制を宣傳したが其實現を見ずに終つた、却つて同年秋季の上海風潮極烈の時に當つて日本棉布の輸入は激增した。其他上海及廣東事件の爲に六、七月頃には日本糖の入津も增加し、又日本棉絲は前年に比し約三萬擔を增加し、反之英國品は殆んど其跡を絕ち支那棉絲も一時的原因とは云ふものゝ上海工場閉鎖の爲に約九萬擔を減退した。

日本の麥粉は六月以降三箇月上海工場閉鎖の爲に輸入を增加したが十月頃には低廉の加奈陀粉の競爭があり減退した。現に獨り大阪から北支に輸出した棉製品は前年六月の五百九十餘萬圓が同年同月には八百八十餘萬圓に增加して居る。

船舶は上海罷工の爲に當港に轉航したものが急激に增進し卽ち從前日本船にて天津經由上海及日本諸港間を通過したものが罷工中は天津に直航する事になり又同年は日本も世界航運界の事情と同じく過剩船隻の利用に腐心しつゝあり自ら當地方へ廻航したものが少くなかつた。且つ日本の對支爲替が有利であつた爲に一層其情勢を助けたものである。反之英國船は時局の影響を蒙り著しく減退したのである。卽ち同年普通規程に依る(內河航汽船を除く)入出港船は前年に比し七百八十二隻七十九萬百二十六噸を增加し三千八百二十四隻四百八十四萬百九十一噸に達したが英船は前年の七百五十二隻が六百九十隻に下つた各國船舶の入出港數を對照すれば下の如くである。

單位百萬噸

國別	一九二四年	一九二五年
英國	一、二二	一、二六
日本	一、二九	一、八四
支那	〇、七六	〇、九二

米國	○、三一	○、三二
獨逸	○、二五	○、三七

青島

青島は内外貿易何れも減退し即ち外國貿易は前年の七千一百萬兩が六千七百萬兩に内外貿易は前年の一億三千二百萬兩が一億二千六百萬兩に減退した同年は(一)小麥不作、(二)政爭動亂、(三)鐵道紊亂、(四)重稅加徵、等不利の事情があつたが上海及廣東事件の爲に貿易の轉換があり増進を示したものもあつた。上海二月の工潮と響應じて四月頃から紡績工場の罷工があり五月末には工人の武裝暴動があり工潮は七月末迄繼續した。廣東事件の爲に青島南支間航通は數隻の汽船の廢止を見たが上海罷工に依つて日英獨船何れも増加し殊に支那船の活躍見るべきものがあつた。外國品は當地排外運動激烈の爲に減退し支那工場品殊に棉絲布の入津一般に増加したのは注目すべきである。

(ロ) 長江沿岸諸港

長江沿岸は内國貿易が大部を占め時局の影響を蒙つたにも拘らず内外貿易を合算せば前年に比し稍増加し六億五千七百餘萬兩となり外國貿易も又増進し一億八百餘萬兩を占めて居る。

重慶

重慶は内外國貿易は前年に比し稍々増加し六千五百餘萬兩となり外國貿易は稍減退し一千二百二十餘萬臺である。

同年は(一)重稅課徵、(二)惡貨鑄造に依る銅貨下落及不當課稅に反抗した商民の罷業(六月及十月)(三)政爭、(四)農夫が軍隊に徵發されたこと及田地に罌粟を栽培したことに依つて穀物の產額を減退に依る米價の暴騰(穀價は約倍加し

た）等不利の原因があつた上に上海學生運動の影響を蒙り排日英貨の爲に外國製棉布の如きは打撃を受け支那品の爲に壓倒された。其他一般に支那品の輸入が好況であり又人造絹絲同製品の輸入を見た而して同港宜昌間航路に新船十六隻其噸數四千一百七十七噸を増加した。

宜昌

宜昌は内國貿易は銅貨下落及不作に依り米價暴騰（一擔十一元が二十七元迄上つた）政爭の外に罷工事件の爲に上海漢口重慶等から一般貨物の輸入減退したが外國貿易は前年に比し稍好況に在り而して砂糖の輸入は増加したが棉絲の輸入は全然杜絶した。

長沙

長沙は内外貿易共に地方大旱魃の上に上海事件後の罷工及日英貨抵制運動の影響を受け不況であつた。英日船共に監視され貨客共に荷役を防止され又十二月初旬には學生が關税會議に反對宣傳をし日本の小蒸汽船を燒燬した事件があつた。内外國品何れも前年に比し不況に在り外國品は五割乃至八割を減退し殊に英國棉布類に在つては著しく減少し只例外は米油の輸入で前年に比し一百二十八萬餘「ガロン」を増加し、反之スマトラ油及ボルネオ油は前年に比し二百三十三萬「ガロン」を減退した。

漢口

漢口は昨年に比し内外貿易とも稍増加し總額は二億八千七百餘萬兩外國貿易高は八千四百萬兩臺となつた。同年は附近一帶殊に中心市場が政爭及匪賊の害を受け京漢線の杜塞に依り河南地方からの石炭其他の物資の出廻りが防止された外に五卅事件の影響は其發源地の上海程ではなかつたが、學生運動や工潮に依り排日英抵制があり七月迄日英船の航通中止し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一部は支那船を以て補足したのみであつた又石炭の輸入不足し漢陽鐵廠は閉鎖した。

棉製品市場は不況で商人の破産者があり外國棉製品の輸入は棉絲の外は又一部支那品を以て之を補充した。

漢口當業者の調査に依れば同地棉絲布の輸入總額は卽ち、

	一九二四年	一九二五年
棉絲	二、四三〇、〇〇〇兩	二、九六〇、〇〇〇兩
棉布	一五、五〇〇、〇〇〇	一三、四七〇、〇〇〇

一九二五年棉布類の國別輸入高は大約下の如くである。

單位千反

日本	一、九五〇千反		五二六千反
米	四反	其他	四反
上海品	六〇反		

九江

九江は匪賊や動亂の外に又上海事件の影響に依つて內外貿易共に前年に比し減退した。

六月十三日に外國租界に暴動があり臺灣銀行は燒かれ海關又三日間業務を閉鎖し罷工後四箇月外國河航汽船は定期航通を中止した。

外國品の輸入は排英貨運動の爲に英國製棉貨及羊毛製品共に減退し粗布及シィーチングは約四十一「パーセント」減退

した、反之日本及印度棉絲は好況に在つて前年の千八百三十七擔が四千四百四十四擔に增加し、砂糖は日本糖（臺灣產）が增加した。殊に南方動亂に依り從來江西方面からの陸路運送も杜塞した爲に日本糖の汽船に依る入津があり九江其他諸地に分送したのである。

沙市

沙市は棉花豐作の爲に其輸出を增加し上海事件後漢口から運動者が入り込んで示威宣傳したが官憲の取締に依つて鎭靜されたが英船に對しては尙相當抵制が行はれた、日本船は七月中には反響を蒙つたが八、九月には漸次恢復した。

蕪湖

蕪湖は專ら米產額の激增で內國品の輸出は旺盛を極めた、爲に內外貿易は前年に比し約倍加し六千三百餘萬兩臺に上つたが外國貿易は稍減退し三百八十萬兩臺となつた。蓋し上海事件は甚しき影響はなかつたが日英河航汽船の入出港は之が爲に減退し外國輸入品中日英棉製品殊に金巾シーチング等は減退した。一方石油は米油が著しく增加し砂糖は爪哇糖及支那糖が增加し例外として煙草は抵制に依り又土產品との競爭があつたにも拘らず好況を呈した。

南京

南京は動亂の爲に津浦及滬寧兩線共に支障があり鐵道貨物は河航汽船に移つた爲に却つて輸出好況を呈し前年に比し其額を增加したのである。上海事件は六月以降九月迄抵制を繼續し主として英日兩國船が上海に四箇月間停船し居つたので船舶の入出港は總體に於て前年に比し千八百二隻百九十二萬四千噸を減退し獨り河航汽船だけで千八隻千八百七十七萬噸を減退し四千八百四十六隻七百八十四萬一千餘噸となつた。只米國船は米油の輸入が多く其數を增加した而して內河航は前記事由に依つて亦增加した。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

鎮　江

鎮江は前年に比し好況に在つた、上海事件の影響も上海程には甚しくなかつた。五卅事件後學生は游行し暴徒は英租界に入り工部局の建物を燒燬し排日英貨抵制があつたがあまりに效果を示さぬばかりでなく、上海事件の爲に上海揚の出來ぬアシア石油をば當地に廻送し一時當地は長江各地に對する石油の中心市場となつた。

（八）中支諸港

上　海

上海は支那總貿易の約四割内外を占むる各港の總滙であるから前年江浙戰の創痍並に五卅事件の影響に依つて著しく不況に在るべきことを豫想されたが、事實は多少相違し海關收入は僅かに六「パーセント」を減じ、貿易價額も二千萬兩を減退したに止まつたのは蓋し生絲の輸出を増加したのである。但外國輸入品は五千萬兩を減退したのであるから棉花外國糖石炭等の入増がなくば總體に於ては大減退を見るべきであつた。而して生絲の外に一般土貨の輸出を増加したので外國品の輸入を補充したが生絲は廣東事件の爲に廣東品を當港に轉換輸出した特殊事情である其輸出額は生絲及同製品を合算せば六千二百萬兩に上り其三分の二は廣東から受け入れたものである。外國品の輸入中棉製品は前年に比し稍減退し殊に英國品は前年の五千三百餘萬兩臺（五九・一五％）が三千五百萬兩臺（四八、〇％）に減退したのに反し日本品は三千四百萬兩臺（三八、五七％）が三千六百萬兩臺（四九、一一％）に増加した。

石炭は日本炭及東京炭（鴻基炭）を合算して前年の七十九萬噸が百六十五萬六千噸に激増した。其増進の原因は（一）香港及南支の市場が上海中心となつたこと、（二）主として支那人側から又一部外人方面からも日本炭及東京炭に對する競爭技術があつたので即當港の消費又は奥地向の需要が増加したものではない。最近二箇年間の上海輸入數量を對照すれば

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

下の如くである。

（單位千噸）

	一九二四年	一九二五年
日本炭（撫順炭を包む）	一、〇三九	一、九二六
支那炭	一、〇二〇	九一九
其他外國炭	七三	一四九
計	二、九八〇	三、〇五五

砂糖は他品と異り好況に在り爪哇糖に對し特に投機的買占があつて爪哇糖は前年の八十七萬三千擔に對し二百九十九萬擔に激增し香港糖は七月以降工場閉鎖の爲に其輸入額は六十五「パーセント」の四十七萬四千擔を減退した。煙草の如きも特税の課徵及排外抵制の爲に前年に比し三十「パーセント」以上を減退し之に代つて漸次支那煙草の發達を期するに至つた。

土貨の輸出中生絲は前述の通り廣東事件後抵制の爲に上海輸出を增加し總輸出高の約三分の一を占め其他絹製品があり前年に比し五千二百萬兩を增加した、廣東から上海に入津した生絲は前年には僅かに二十六擔に過ぎなかつたものが同年下半季中に二萬八千四百七十四擔に上り約二萬四千擔を再輸出したのである。

茶の輸出は英國に對し減退した代りに露國に對して增進を示した、即ち英國には前年の十三萬一千擔三百十二萬二千兩が三萬二千擔七十九萬二千兩に下り、露國に對しては前年の五萬三千擔百三十萬六千兩が十三萬擔三百十一萬一千擔に增加した。

製粉は時局の爲に食糧に供給されたので著しき反撥はなかつたが、動亂の際鐵道其他交通の支障に依る不利はあつた。米國粉は割高で競爭に堪へず又日本品も入貨少かつたので支那粉の獨占する所となり、近東各地新嘉坡香港大連等に運搬

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し輸出額は十二「パーセント」の九十萬擔を増加したのである。

國別貿易は英國の對支貿易は開港後八十有餘年間各國の冠冕であつたが上海貿易にも然りで同年抵制の爲に著しく其額を減退しつゝも尙第一位に在る。卽ち

（單位百萬兩）

	一九二四年		一九二五年	
英本國	一三一、六〇		九九、二六	
香港	四六、〇七	二五四、五五	三九、二二	二一八、〇六
英屬領	七六、八八		七九、五八	
米（比布を包む）	一八五、七七		一八三、四三	
日（臺鮮を包む）	一五三、〇八		一五〇、八九	

船舶の入出港に就ても前記貿易同樣に抵制に依つて英船は大打擊を受けても尙大體首班に位する、前年と比較せば下の如くである。

（單位百萬噸）

		一九二四年	一九二五年
英	外國貿易汽船	一一・四三（三六・二％）	九・二三（三〇・八％）
	沿岸及河航船	六・五一（三九・三％）	四・九四（三二・五％）
	航洋汽船	四・九二（三二・八％）	四・二八（二九・〇％）
日	外國貿易汽船	七・六四（二四・二％）	七・九七（二六・五％）
	沿岸及河航船	三・二一（一九・四％）	二・九三（二一・一％）
	航洋汽船	四・四三（二九・五％）	五・〇四（三四・一％）
米	外國貿易汽船	三・三三（一〇　五％）	三・一六（一二・五％）
	沿岸及河航船	〇・三三（　一・四％）	〇・二三（　一・四％）
	航洋汽船	三・一〇（二〇　七％）	二・九四（一九・九％）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支	外國貿易汽船	五・三五（一七・〇%）	五・七三（一九・一%）
	沿岸及河航船	五・三三（三二・二%）	五・七〇（三七・五%）

時局に依り上海航業史上最も注目すべき點は、（一）廣東貨を積載する船舶は常時經由の香港を捨て、上海を轉運の中心と改めたと同時に支那船諾威船又は日本船の活動があつたこと、（二）殊に英諾兩國船が大部を占めた外國船舶中支那籍に編入したもの前年に倍加したことである。

前表に依れば英國船は各種何れも減退し日本船は沿岸船河航汽船の外は皆增加し支那船は增進し米國船は一般に減退した。

寧　波

寧波は內外貿易共に前年に比し增進し內外貿易は前年の四千四百八十萬兩臺が四千六百九十萬兩臺に外國貿易は三百六十萬兩臺か五百十九萬兩臺に增加した。寧波は上海と同一種族の關係上時局の影響を受くること甚しく六、七月頃には學生は排日英貨の團體を組織し英日貨は減退し反對に米獨貨の雜貨が輸入を增加した。但し稅收上打擊のなかつたのは從來當地轉入貨の多くは上海海關に於て納稅濟の上に特別免徵制（F.C.）に依るのがある爲である。

輸入外國品の增加したのはマニラ糖及米の入津多額に上つた爲である。英國の棉布類又は煙草に對する抵制は著しく、日本棉布に對しては甚しき打擊を見なかつた殊に日本の鹽魚は需要を增加した。石油は米油ペルシヤ油は增加したがボルネオ及スマトラ油は減退した日本燐寸は、土產（正大火柴公司）に推されて全然市場に其跡を絕つた又草蓆の如きも土貨が日本品を壓倒した。

船舶の入出港は普通規定に依るもの前年の百七十三萬噸に對し二百十七萬噸に增加し支那船が大部を占め英國船は前年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の五十三萬噸が三十七萬噸に減少した。

外國船中時々日本船及諾威船に依る雜貨の運搬があつた。

(二) 南支及西江諸港

南支及西江諸港は福建省の三都澳以下廣東省北海迄十三港に亘り廣東を主とし内外貿易は前年の五億二千四百萬兩か四億五千九百萬兩に外國貿易は三億六千百萬兩か二億五千四百萬兩に下つた。

福州

福州貿易は匪賊及貨物に對する厘金其他の加徴の害があつた外に排外事件の影響を受け前年に比し減退し内外貿易は前年の三千五百九十萬兩臺が三千二百九十萬兩臺に外國貿易は一千七百六十萬兩臺が一千五百三十萬兩臺に下つた。

外國品中にて最も抵制の反響を蒙つたのは英日の棉布類であり其他鹽鮭小麥粉等である。

輸出は前年に對し八十五萬兩を減じ一千九百萬兩臺となつた其減退の主なるものは農産物及木材であつた。

同港には普通規定に依る入出港船舶は前年の千四百七十三隻百四十三萬噸が千三百八十八隻百二十萬噸に減退したのは又茶船の減退にもよるが抵制罷工學生運動等爲因をなし七月中同港香港間のドーグラス定期船の停航や大阪商船の臺灣北支航路の荷役中止の爲であつた。

船舶は日本船最も多く例へば一九二五年英船は百五十二隻十八萬九千噸に對し日本船は三百六十八隻三十八萬四千噸を占むるが國別貿易額は左の如く英國を首位とする。

(單位千兩)

	一九二五年	一九二四年

英　國（香港其他屬領を包む）	八、四五九	七、三七五
日　本（臺鮮を包む）	六、三三六	五、七七八
英　國（比島を包む）	一、三七五	一、一八二

厦門

厦門の内外貿易は前年の三千萬兩臺が三千一百萬兩臺に外國貿易は一千七百六十萬兩臺が二千萬兩臺に增加した税收は前年の七十八萬兩から九十三萬兩に上つた。同港は上海事件の爲めに英日貨排斥となり排日貨は九月に止んだが排英貨運動は年末迄繼續したのである。然るに同年厦門の貿易が增進した原因は廣汕抵制に際し基隆爪哇及其他外國港からの船舶は香港に寄港を繼續したので廣東及汕頭積取貨物をば英國港に寄港せぬ小商船に依つて仕向地に再輸出する爲に厦門に陸揚の必要があつたのである。

輸入外國品は前年に比し增加し日英棉布等は春夏兩季には平靜であり秋期に不況に入つたが冬季には好況となつた。蓋し抵制前に注文し九月後排日貨の停止迄臺灣に在つた日本棉布の輸入が多く英國品に代つたのである但し臺灣に對する民船貨物は時局の爲に年末に恢復を見なかつたのである。其他砂糖等仲繼品が增加し汕頭廣東に再輸出した。

棉製品は近年次第に增加し重要棉布類の輸入が一九一八年當時十三萬七千疋が一九二四年には三十一萬疋に上り排外貨のあつた一九二五年にも三十三萬二千疋に達し、下の如くに英國品が著しく減退した。

		一九二四年	一九二五年
生金巾	英	一四、五〇四疋	四、二〇三疋
	日	二六、四〇三	三八、三九五
生綾（雲齋布）	英	四、六五五	一二五
	日	八、三一三	八、四六〇

天竺	英	一〇、八一六	一、四八六
	日	四五、一八七	七三、四六〇
晒金巾	英	一八、〇一四	九、四四二
	日	三、五三七	一一、五八〇

而して印度絲の如きは前年から減退し來り一九二五年には其跡を絶つた、斯く日本品が優勢を示して居るが同港の國別貿易から見れば又英國が首位とすることは左表に依つて知ることが出來る。

（單位千兩）

	一九二四年	一九二五年
英本國	一四	一〇
香港	六、七三一	六、二四五
其他英屬領	四、四八五	五、五二一
日本	二、八三九	三、六八四
米	一、一四〇	五七三

入出港船舶に就ても同年排日英船に對する抵制があつたにも拘らず總計三百三十四萬噸中英船は最高百八十六萬噸を占め、日本は次位で六十三萬噸であつた。同年當港は汕頭廣東方面の移民船に制限を加へ妨害のあつた反動として下半期に其數を增加し自ら移民の出港數は前年の三十一萬四千人に對し四十七萬餘人に上つた。

汕頭

汕頭は同年內外貿易は共に減退し、總額は八千五百萬兩臺が七千一百萬兩臺に下り外國貿易は三千九百萬兩臺が三千萬兩に減退した其貿易上不利の原因は船舶罷工及香港との通商停止の外に政爭の不安及洪水に依る鐵道其他交通の障害等であり、罷工後當初三箇月は船舶の入港を著しく減退した上に香港を仲繼とし他に貨物の銷路を求めて居る船舶も罷工資金を

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

强徵された爲に出港を延期したものがあり、十月及十一月の前半一時は香港に對する通商が恢復し排日貨運動も終熄したが（陳炯明の時代）再び政局變遷し抵貨烈しくなり年末迄繼續したのである。

外國品輸入は抵制の爲に前年の四分の一を減退し二千一百萬兩臺に下り、英日商人の外支那商人も亦不利を蒙つた。棉布類は殊に不況に在り外國製粉亦輸入を減退し一部は土産品を以て之を補充し外國糖は地方甘蔗の栽培が減少したので市場投機熾となり年末には著しく滯貨を見た。

國別貿易に於ては英の減退最も甚しかつたが又英國は日米に比して尚遙かに優越である。即ち

（單位千兩）

	一九二四年	一九二五年
英國（屬領等包む）	二八、三三三千兩	一八、四九四千兩
日本	一、五三四	一、四〇二
米	二、〇三三	二、〇二〇

入出港船舶も前年の五百二十三萬噸が三百七十萬噸に下り其の三分の二を占めた英船が著しく減退したに反し支那船及諾威船が增加した、日本船及和蘭船亦抵制を受け減退した。

移民船は上半期には前年と同樣であつたが罷業後工會は海峽植民地に回航を禁止し新嘉坡及ピナンに對する移民は前述の通りに厦門經由に改めた爲に旅客數は十年間最底の。レコードを示した。

廣東

廣東貿易は總額に於て前年と大差がなく二億萬兩臺であつたが外國貿易高は前年の一億三千六百萬兩が九千萬兩に下つた、廣東經濟界は數年來動亂及政爭の爲に不況を來し數十年來の打擊と云はれ後半季は殊に排英の爲に廣東省の各港と香

港との間の關係に著大の變化を來したのである。同年の貿易は實質から見れば平時は附近諸港の統計表に編入さるべき數字である。

税收は又前年に比し七十八萬兩を減退し三百萬兩臺であり主として輸入税減少の爲である（輸入税は六十六萬兩輸出税は六萬七千兩減收した）。廣東側の主張に依れば同年冬季に廣東貿易が旺盛であつたのは香港に對する抵制運動効を奏したのであると云ふが前記貿易統計の例に同じく兩廣地方諸港の税收が包含された爲である且つ一方香港に對する渡船（戎克）の航通が斷絶した爲めに廣東常關の收入をも閑却する事は出來ぬ。

左記同年下半季諸港に於ける收入の比較を示さば其消息を窺ふことが出來る。

	一九二四年（下半期）	一九二五年（下半期）
內地諸港		
一、江門、梧州、三水、南寧及廣東常關	八九一、三〇〇兩	一七七、八三〇兩
沿海諸港		
一、汕頭、九龍拱北及北海	一、三四五、八七〇	一、〇〇〇、八八〇
一、廣東	一、六五五、四五〇	一、四〇一、八〇〇
計	三、八九二、六二〇	二、五八〇、五一〇

外國品の輸入は前年に比し六百萬兩臺減退し四千六百萬兩臺となり一九二三年に對しては二千七百萬兩を減退した。

香港に對する抵制の爲に外國品の支那港（主として上海）を仲繼とするものが多くなり同品は前年に百萬兩臺であつたものが八百萬兩臺に増加した。但し外國品の減退は各品に亘り殊に棉布類は五十四「パーセント」羊毛及同製品は五十八「パーセント」、「フランネル」は四十八「パーセント」を減退し就中外國棉製品減退の代りに上海製品を以てしたのである。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

外國粉の輸入は前年に比し七十四「パーセント」卷煙草は五千七百萬本を減退したが獨り白糖は爪哇から輸入を増加し前年の四十三萬擔が六十一萬擔に上つた。

石油は專賣課稅の爲に米國油スマトラ油何れも減退したのに反し露國油は激増し百萬「ガロン」の輸入を見た、再輸出は之が爲に石油に於て七十「パーセント」を減じ棉布類は二十「パーセント」を減退した。

土貨の輸出は外貨抵制の爲に前年に比し五千二百萬兩を増加し九千二百萬兩に達したのは蓋し又（一）従前西江諸港から直接香港に出向けた貨物は後半期に輸出向の爲に廣東に轉送し、（二）輸出貨物中には市價騰貴のものが多かつたことに因るのである。

反對に香港に對する輸出は前年の八千二百萬兩が五千萬兩に下り又沿岸開港に對する輸出は前年の九百四十六萬兩が四千二百萬兩臺に上つた如く外國輸出は前述の通り主として上海經由となつたのである就中生絲は同年は十年の不作で製絲家の損失三百萬元以上に達したと云はれた。

同年生絲工場で工女の罷工があつて取引が妨げられたが六月に解決し歐米からの注文があつて市價一時多少騰貴したが、八月に及び内外商人が上海に營業所を開始し廣東の生絲市場が全然上海に移轉した時迄は輸出は中止されてあり當時本地の絲商は上海市場に在つては延滯其他取引上の不便多きが故に罷工解決後には省港に本據を移すべきものであると云ふた。

同年生絲の生産額は六萬包で前年に對して六千包を増加した白生絲の輸出は前年の四萬六千包が五萬四千包に上り其價額は四千六百萬兩が五千六百萬兩に達し屑絲の輸出は前年の五萬八千擔が四萬二千擔に減退した。生絲輸出高五萬四千三百包の中二萬九千五百包を米國に其他を歐洲に仕向けたものである。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蓆（マット）の輸出も前年の三百八十萬枚に對し六百五十萬枚に上つたが廣東の生産高の増加したのではなく、又西江諸港からの香港からの香港輸出を中止し廣東に仕向けた爲である。

地蓆（マッチング）の輸出は罷工の爲め地方工場の生産を制限した爲に前年の十七萬梱が六萬三千梱に減退した。

內地通過貿易を見るに外國品の內地向輸送（子口單に依るもの）は石油の積出しが殆んど杜絶し、又白糖の輸送が停止し內地からの外國輸出向土貨の搬出は殆んどなきに反し、支那製造品（運單に依る）の出入は前年に約倍加した其主たるものは棉絲であつて前年の二萬六千擔が五萬四千擔に上つた。

旅客運送も省港澳間の交通が糾察隊の爲に防止されたので前年の百六十八萬餘人が九十三萬餘人に下つた。

常關貿易（戎克）は廣東本關及陳村の支所を通過したものは前年の五千百萬兩が三千三百萬兩に減退したが其主なる原因は船舶登記税の賦課及石油税の課徴に在り又同所の常關税が高率であつた爲に香山及順德に廻送したことである。

國別貿易高を見るに同年各國の對廣東省の輸出貿易は左の如く増減がある。

	一九二四年	一九二五年
英國	六三、八四一（千兩）	減退
日本	五、六〇二	増加
米國	一、〇〇〇	同
獨逸	三、〇〇〇	同
佛國	九〇〇	同

而して日本の對廣東貿易は著しく下の通り増加して居る。

直接貿易	一、九七六千兩	七、五八八千兩
間接貿易（上海經由）	八、〇三〇	八、七二三
計	一〇、〇〇六	一六、三一一

反之英國の例は下の如く減退して居る、

	一九二四年	一九二五年
輸入	四一、九六八千兩	一九、九四〇千兩
輸出	八一、四九五	三九、六八一
計	一二三、四六四	五九、六二二

尚香港廣東間向英國輸出（單位千磅）として英國政府の發表したものに左記の如きものがある。

	一月—三月	四月—六月	七月—九月	十月—十二月	計
一九二三年	五、四〇〇	五、二〇〇	七、六〇〇	七、一〇〇	二五、三〇〇
一九二四年	七、四〇〇	九、二〇〇	七、二〇〇	五、一〇〇	二八、九〇〇
一九二五年	六、五〇〇	四、六〇〇	四、五〇〇	四、一〇〇	一九、七〇〇

船舶の出港は特に時局の影響を受くることは著大であつて普通規定に依るもの前年の八千隻七百三十五萬噸が五千五百隻五百二十五萬噸に下り、就中英國船が激減し前年に對し各四十二「パーセント」及五十八「パーセント」となつた支那船は反之前年の三百十三隻二十八萬六千噸が一千隻六十三萬噸に增加して居る。

左に海南島の瓊州を除く外の兩廣に在る各開港場の各國籍別船舶の增減を掲ぐ、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	一九二四年（千噸）				一九二五年（千噸）			
	英	支	其他	計	英	支	其他	計
江門梧州三水及南寧	一、〇九七	七六〇	四一一	二、二六八	五五	四五二	二八	五三五
北海及汕頭	一、九二〇	一〇〇	九二八	二、九四八	二八八	三六二	九二二	一、五七二
廣東	二、七八六	一三六	七〇八	三、六三二	三五一	四七二	六〇六	一、四三二
計	五、八〇三	九九七	二、〇四七	八、八四八	六九五	一、二八七	一、五五五	三、五三八

梧州

梧州は動亂政爭又は海賊の害があつた外に六月の抵制に依り著しく影響を蒙り内外貿易は前年の一千六百五十萬兩臺が一千三百六十萬兩臺に下り、外國貿易は前年の一千二百四十萬兩臺約半減して五百九十萬兩に下り過去二十年來の最低レコードを示した。今當港の輸出入額を香港及支那各港に分ちて對照すれば下の如くである。

（單位千兩）

	一九二四年	一九二五年
一、香港に對するもの		
輸出	四、九六八	二、四二〇
輸入	七、五三〇	三、四九七
計	一二、四九八	五、九一八
二、支那各港に對するもの		
輸出	一、五四三	二、二〇二
輸入	四、五〇四	五、五四九
計	六、〇四七	七、七五一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

税收も自ら前年に比し二十七萬九千兩を減退し三十二萬兩となり内地通過税は出入共に減退したが沿岸貿易税は増加した。

外國品の輸入は直接輸入及沿岸開港場よりの分を合算せば前年に比し三百六十萬兩を減退し四百四十五萬兩臺に下つた就中香港から直輸した棉絲は抵制の爲に激減したのである。反之廣東から來た日本棉布綒白糖及「パラフインワックス」等の輸入旺盛であつたので同年の沿岸通商港からの貿易は前年の四十二萬兩に對して九十五萬兩に増加した。又再輸出は前半期南寧との航通が中止し外貨に對する抵制の爲に前年の二百二十七萬兩臺が九十三萬兩臺に減退した。但し多量の油類が十二月營業停止の爲に香港に積戻した關係上再輸出を増加したのである。

土貨の香港に對する輸出は前年に比し約半減し過去二十年來の最底の「レコード」を示した。木材の外總ての貨物を通じて不況に在つたが反對に支那諸港には一般に輸出を増加し、就中南寧には上海棉絲の輸出一百三十三萬兩に達し廣東に對する繭の輸出は五十五萬兩土貨の輸入も一般に増加し殊に上海棉絲が多額を占めた土産の小麥粉は外國粉を壓した。

船舶の入出港は一九二二及一九二三年の二箇年を除けば過去十年間に於て最低の「レコード」を示した河航船は前年の三千三百隻九十萬噸が二千三百三隻六十萬噸に減退した。

九龍及拱北(ラッパ)

九龍關は香港に、拱北關は澳門に在り恰も大連關が日本の租借地に進出して居ると類似の關係に在るの外に支那政府が兩港及附近の通商地又は非通商地の沿岸諸市間の民船貿易を取締りて相當收入を揚げんが爲に共に一八八七年七月一日から開始したものである。兩地は其位置の關係からして省港の罷工中は香港に準し貿易上著しき影響を蒙つて居る。

九龍の外國貿易は前年の七千二百萬兩臺が四千六百萬兩に減退して居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

外國輸入品中棉製品は既に上半期不況の處へ六月以降全然取引を中止し、又印度棉絲は主として上海絲の競爭があり又多少日本絲の爲に打擊を受け減退し香港糖は世界產額增加し市價低落して不利の上に抵制の爲に著しく減退した。民船に依る外國貨物の輸入は前年に比し三十三「パーセント」を減退し前年の五千百萬兩臺が三千四百萬兩に下り、只獨り棉布類は前年百十一萬兩臺が百四十三萬兩臺に上つたが其大部は年初に客寄に對する棉絲の輸出が占めて居る。土貨の民船に依る輸出は前年に比し四十二「パーセント」を減退し千二百萬兩臺に下つた。

拱北の外國貿易は前年の二千六百萬兩に對し二千一百九十萬兩に減退した各地に對する入出港貨物の步合を示さは下の如くである。

出港貨は

澳門から支那へ	三五1/2%	
香港から支那へ	四六3/4%	
支那から支那へ	二1/2%	
計	八四1/2%	千九百萬兩

入港貨は

支那から澳門へ	一二1/4%	
支那から香港へ	三1/4%	
計	一五1/2%	三百五十萬兩

（未　完）

亞細亞から歐米へ (四)

鎌田正威

八、エルサレムにて

此處に私自身が撮りましたベツレヘムの耶蘇の生れた所、或はエルサレムの耶蘇の磔刑になつた所、又はナザレ等の寫眞がありますから御覧になれば耶蘇教に興味のある方は面白いと思ふ。僕等が見るよりも、餘計に面白いと思ふ。

又此頃は猶太人が此處に王國を作ると云ふので、盛んに植民をやつて居る、其の植民地の建物と云ふやうな寫眞もあります。

或はヨルダン河などゝ色々の寫眞が撮つてあります。どうか後で御覧を願ます。

前にも申しましたやうに、私は印度に於て、釋迦の遺跡を訪れました、キリストの遺跡を見るにつけてかれこれと思ひ

較べましたそれについて暫く申し上げます。言說に據ると、釋迦が愈々出家する念を固めてカビラ城を出ましたカビラはヒマラヤ山の麓であります。そしてメタシルに行かれた。

其の地に住んで居る印度教の偉い坊さん達を訪ふて色々と意見を闘はしましたが、自分を教へる人は無い夫れで山に籠られて六箇年を經過した、夫れが前正覺山であります。高さが千二百尺程あります、小さい低い山であります、平原の中にぽつゝりとある山であります。

たいした深山では無い、昔は其の邊一體は處女林で、樹木が鬱蒼として居つたが、現在は、さうではないのであります。

そこで初めは一日に一食を攝り、一週間に一食を攝り、十五日に一食を攝り、一箇月に一食を攝ると云ふやうにして、修業して居つたのであります。

夫れが爲に自然と釋迦の體力が衰へた。或る時に聞くともなしに聞くと、絲を手繰る音が聞へる、釋迦が夫れに聞きとれて居ると、絲が斷れて、同時に音が止つて仕舞ふた。其の時にお釋迦さんははつと思つて眼が冴へて仕舞つた。

自分が難業苦業しても、自分の生命が無くなれば、恰度絲が斷れて音がしない如く、何程自分が大なる悟を開いても、何んにもならぬ、斯う云ふやうに釋迦は感じて、其の洞穴から出て來たのであります。

牛飼いの子供に導かれて、山を下ると河が流れて居ります。

其所で顔を洗ひ河岸に上ると、十分身體が疲弊して居る處を、水に這入つた爲に困憊したのであります。其所にアンナンバラと云ふ、娘が通りかゝつて、牛乳を呑ましたのであります。釋迦を呼び止めて、牛乳を供養した場所が釋迦の第一の靈地となつて居ります。夫れより又、菩提樹の下で、印度は暑いので、木の下で座禪を組んだのであります。三週間計り座禪を組んで、悟りを開かれたのであります。夫れからガンヂス河の中流にあるベナレス、其所では多くの人を集めて、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

當地の偉い坊主が說敎するのであります。其所迄、約六十里計りあります、其所迄歩いて行かれた、而して通りかゝりの人を皆な拜んで行かれる、總ての人を佛と見たのであります。

まへにもちよつとお話したやうに、我々は人間であると同時に佛である、神である。山川草木も卽心成佛である。我々は人間であるが、同時に神である、皆さんもさうであります。釋迦がベナレスに著きまして、此處で初めて說敎をされたのであります。

斯う云ふことを考へて見ると、釋迦も人なりと云ふ感念を非常に強める、釋迦も我々も佛である、菩薩である、斯う云ふやうに思つたのであります。

釋迦も矢張り人である。人であると同時に佛である。我々も人間であつて、同時に佛である、佛であると同時に人間である、釋迦は我々と違はないのである、唯我々の中で非常に偉い方である。非常に拔群である、玆に於て何等か違はないと云ふ感念に打たれたのであります。

前正覺山に登りました時は、なんとなしにさう云ふ感念が浮んで、御經など讀んで知つて居る、遙に數萬億土の西の方にあると云ふ極樂淨土が眼前に浮んで來る、何共言へない身震ひを感ずる、之れをインスピレーションと云ひませう。夫れと同樣に此處に耶蘇の生れた所である、耶蘇の舊蹟を探ると、矢張り耶蘇も我々と同じ人間である。唯我々の中で最も偉ひ方であると云ふ印象を深く感じたのであります。

斯う云ふ點に於て聖地の旅行と云ふものは、非常なる意味を爲すものと思ふ。エルサレムの國は耶蘇のみならず、マホメットも度々來て居る所であります。

メッカ迄は行くことは出來ませんでしたが、アグラを通り、エルサレムを通りますと、矢張りマホメットに會つたやう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

な氣がするのであります。

回々教徒たる者は、一生に一度は必ずに參らなければならぬと云ふことである、メッカに行くと、ハジと云ふ稱號を與へます。是は普通の名前の上に付けるので、例へばハジ鎌田と云ふやうになるのであります。

印度爪哇邊から、年々メッカに參る數が夥しいのであります。斯う云ふことは非常に面白いと思ふ、斯う云ふ偉ひ人の舊蹟を探ると、氣持ちが何んとなしに違つて來る、同時に旅行に依る經驗を得ましたり、色々と珍らしい世界を見ること出來て、非常に貴重のものであります。エルサレムは交通が便利であるので、此處に參る耶蘇教徒が中々に多いのであります。

然るに佛教として、今日眞の佛教を傳へて居るのは、日本のみで、其の日本から印度に、釋迦の遺蹟を訪ふものは、僅に僧侶の一部だけに限ると云ふことは、甚だ殘念の次第で、日本の佛教徒たる者は、一生涯に一度は釋迦の遺蹟を訪ふやうに致したい、昔と違つて、今は交通が非常に便利であります。

斯う云ふことは、獨り佛教の眞髓に觸れるのみならず、世界の大勢にも通ずることが出來る、佛教徒に對しては、是非共印度に行く習慣を作つて貰いたと思ふのであります。

耶蘇教と云ふことに就て感じましたのは、伊太利は羅馬法王の所在地で、耶蘇教の最も大なる寺院、其の他色々の遺蹟があります。又、獨逸其の他歐洲各國は、總て耶蘇教の事々物々を以て、滿たされて居ります。

其の繪畫とか、彫刻を見ると、總てが良く出來て居ります。私は大概の所は出來るだけ、教會堂を見て廻つたのでありますが何れの教會堂にも、耶蘇の磔刑になつた像、又は畫があるのであります。

夫れを見ると、何んとも言へない、慘酷の感に打たれる、其所には耶蘇の磔刑の畫とか、又色々珍らしい畫を複寫して賣つて居ります。併し人情上、耶蘇の磔刑になつて居る畫は、買ふ氣になれない、どうも耶蘇の磔刑になつて居る、慘酷の畫を見るに忍びない、之れを歐洲人は拜んで居るのであります。

是は何んであるかと云ふと、歐洲人と云ふものは、非常に個人主義である。

自分と云ふものは解るが、他人と云ふものは解らない。況して四海同胞と云ふやうなことは、解らないのであります。

一口に言へば動物に近いと言へる、雞を見ると、親は雛を可愛がる、併し段々大きくなつて親位になると、親子の見境がなくなつて、親鳥は大きくなつた雛と喧嘩すると云ふやうな狀態になるのであります。勿論動物の中には例外もありませうが原則としては斯う云ふことが見られるのであります。

西洋人は夫婦の間に於て、獨立の經濟を持つて居ると云ふことも、少くないのであります。況や親子の間に各々獨立の經濟を持つて居ることは當然として居る、子供の間は可愛がるが、大きくなると別々になる、隨つて親は大きな邸宅に住んで居るに、子供は借家住ひをして居ると云ふやうな例が大部あるのであります。是は一つは、個人主義と云ふことから出來たのであります。

私はあちらに參ります時に、色々と厄介になるので、日本で出來た扇子とか、或は專賣局の樟腦を土產に持つて行つたのであります。併し長い道中であるから、澤山の品物は持つて行かれない。

夫れで親子の世話になつた場合に、土產物を二人共に贈ると宜いのであるが、さうすると、土產物は數が少ないので足りなくなる、親子である故に、一人に贈りたいのであるが、どちらに贈らうかと云ふと、若い息子よりも、年老たる父親に贈る方が喜ぶだらうと思つたので、父親に贈ると父親は禮を言ひますが、息子は決して禮を言はない、日本であると親にくれた

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ものは子供も禮を言ひ、兄弟に對して親切にすると、やつぱり兄弟共禮を言ひます。「This is your park 是はお前の公園である故に綺麗にしなさい」、と云ふ式であります。自分のものであるから綺麗にする、さう云ふやうに個人主義である。日本人はさうじやない、家の爲に盡す、國家の爲に盡す。夫れは當然のことになつて居るが、西洋人はさう云ふことは解らない。

併し理窟では家の爲、國の爲であると云ふことは解るのであります。日本人は自分の親子、或は兄弟に親切にして貰ふと、直に感謝の念が起るのである、從つて人の爲に犧牲になると云ふ感念は日本人は強　のであるが、西洋人は甚だ乏しい、若し西洋に耶蘇教と云ふものが無つたならば、隨分歐羅巴人の道德と云ふものは、慘酷になつたと思ふ。耶蘇教と云ふものが在つた故に漸く今日迄保つたのであります。此の個人主義は何を以てやるかと云ふと、即ち耶蘇の磔刑になつたと云ふことを以て、所謂サクリファイス、之を以て教へたのであります。

磔刑になつた處の像が非常に多いのであります。我々が見ると慘酷で、到底眞正面に見られないのであります。日本であつたならば、斯の如き慘酷の磔刑の像を拜むと云ふことは到底忍びないと思ふ。

之を思ひつゝ佛蘭西に行きますと、矢張多くの教會堂がありますが、此處にはマリアの像が祭られて居ります。

マリアが福々しい赤子の耶蘇を懷いて居る像であります。佛蘭西人も我々と同樣に、耶蘇の磔刑の像を見られないで、夫れでマドンナの像を祭つて拜むと云ふやうになつたと思ふ此マリアと云ふものは何であるかと云ふと、耶蘇を生んだのであります。耶蘇の母親と云ふだけで、マリアと云ふものは偉いと云ふ譯ではない、而もマリアと云ふものは誰が何と云つても私生子を生んだのであります。耶蘇は父無し子である、此の私生子を生んだ母親を、單に耶蘇を生んだと云ふ事實だけで、之を尊敬する、是は人情で止むを得ないのであります。

慘酷なる像よりも、優しい女が惶々した子供を懷いて居る像を見る方が、我々の感情に、非常な快感を持つのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

是は人情であると思ふ。同時に斯う云ふことから推理して行くと玆に問題として殘るのは、私生子と云ふことに就ての問題である、今日々本の社會に於て、私生子と云ふ名は、是は多くの罪惡の原因である。世の中に於て私生子と云ふ名は世の中を害する、同時に段々多くなつて行くのであります。

是は私は名稱を付け替へなければならぬと思ふ。之れは公生子である、生れた子供に何等罪は無い、生んだ親に罪がある。併し生んだ以上殺すことは出來ぬ、法律は子供を殺すことを禁止して居るのであります。故に、之れは公の力で育てるべきものである。公の子供である、天下の子供であるから公生子又は公子、斯う云ふやうな名前に變更しなければならぬ。私生子なる名前が、其の子供を毒すると云ふやうな傾向が、餘程多いのであります。

耶蘇は私生子であつて、而も天下に尊敬せられて居る、私生子たるものは、宜しく自重して、卑下することは要らない自分に何等罪は無いのである。夫れで國家に於ても、私生子と云ふやうな名前を付けずして公の子供である、公生子と云ふやうな名前に變へて自重心を強めることが必要であると云ふやうな氣がしたのであります。此の點に於て耶蘇は非常に良い模範である。而已ならず此の私生子を生んだ、マリアさえも尊敬するのであります。

斯う云ふ所に思ひ及べば、人間と云ふものは生れた以上は、偉くさいなれば宜い、行ひさい良ければ宜い、德さい付けば宜い、恰度マリアと耶蘇の如しであると思ふ、同時に西洋は耶蘇があつた爲に、無つた以前より、非常に良くなつたのである。猶ほ段々と進歩して行きますが、精神上に於て、東洋より數段低い原因は何であるかと云ふと、耶蘇は說敎すること僅に三年であつた。三年では、如何に偉ひと云つても、有りとあらゆることを、說敎することは出來なからふ。

然るに印度の釋迦は、八十歲迄生きて居つた。而かも磔刑にならずに圓滿なる涅槃に入つて居る。三十歲から說敎して五十年間說敎して居る、有りとあらゆることを說敎して居る、東洋人は先生が非常に良かつたので、精神界と云ふやうな

ものも非常に進んだのであります。

歐羅巴人には精神上の進歩が無い、動物に何等變りがないと云ふやうな狀態にあると云ふことは、一つは良い先生が無かつたからであると思ふ。

耶蘇が磔刑に遇ふ時に、神よ彼等の罪を赦したまへ、彼等は爲すことを知らざればなりと云つて居る。夫れは國王の命に依つて、耶蘇を磔刑に仕やうとして居る、役人である。普通の人であると恨むのであるが、決して耶蘇は恨まない。

耶蘇の住んで居る世界と、王樣なり、役人が住んで居る世界と全然違ふ、耶蘇は非常に高い世界に住んで居る。故に耶蘇は、下界に住んで墮落して居る國王を、非常に憐んだのであります。彼等は爲すことを知らない者である、赦したまへと云つたのであります。之は實際我々人間社會に於て、惡人は無い。

所謂惡人と云ふものは、何んであるかと云ふと、爲すことを知らないのである、境遇が惡いとか、或は敎へる先生が無かつたとか、有つても敎へる先生が惡い結果であつて、實際我々は神佛である、其中に惡人は一人も無いのであります。耶蘇が、彼等は爲すことを知らざるなりと叫んだ、其の惡いことをする、眞理に背いた行爲をすると云ふことは、眞理が何處にあるかを知らないのであります。西洋人と雖も元來惡いものではない、爲すことを知らないと云ふのは、詰り敎へる人がなかつた。

東洋に於ては、敎へる人が非常にあつた。殊に日本に於て最も能く敎へる人があり、最も能く諒解する能力があつたのである。

此の點は我々として、反省しなければならぬ、我々は義務も盡さなければならぬ。今日白人の亞米利加が、日本人を排斥すると云ふことは、彼等は爲すことを知らない者である。之は追々と言ひますが、我々は無抵抗主義ではならない、爲す

所を教へなければならぬ。

只歐羅巴の今日は爲す所を知らざる者が多いと云ふことを感じたのであります。例へば阿片問題に就て、英國政府は色々の施設をして、文明の普及はして居るが、自分の植民地では、赤坊に阿片を飲まして居ると云ふ狀態である。英國は印度人を英國人同樣に仕やうと云ふ考へは無いのであります。和蘭は爪哇人をして之れを和蘭人同樣に仕やうと云ふ考へを持つて居ない。西洋人から見たならば、所謂植民地に過ぎぬのである。

彼等は少くとも、日本政府の臺灣に對する、統治の實況を見たならば、非常に新しいことを知らなければならぬ。

我が日本政府が臺灣に對して、彼等を見ること赤子の如く、臺灣人も內地人も同じである。能く言ふ所の同化主義、臺灣人を本當の日本人にして仕舞ふ、我々と同樣の國民にする、夫れが爲めには、國家は色々干渉する。學校を作つて、學校に行かないと、巡査が子供の所に行つて引張つて來る。親は嫌であるが、警察に恐れて學校に遣る。仕舞いには、巡査が行かぬでも、自分から進んで學校に行くやうになる。斯う云ふやうに學校などの遣り方にしても、歐米などゝは雲泥の差があるのであります。

歐羅巴に行つた人は、英吉利の遣り方が非常に旨い、放任主義であると、我々のためにならぬやうな要點だけを見る。之は英國が植民地の爲に、最も長所を持つて居る所以である。日本も之に倣はなければならぬと云ふことを言ふが之は英國と日本とは根本に於て、國民性に於て思想に於て、差違ありと云ふことを、知らぬものゝ云ふことである。

我々は日本の國是を以て邁進すべきである、我々は斯る言葉に迷はされないやうにしなければならぬ。種々話が横に逸れましたが、ちよつと申上げて置きます。次は十番目でありますが、私しの旅行は古い所から、段々と新らしい所に行つたのであります。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

印度も隨分古い國である、波斯もバビロンも古い、埃及も非常に古い。此の埃及は土地が乾燥して居る爲に、有名なみいらが在ります。昔の墓が澤山在りまして、保存せられて居ります。有名なピラピットも墓の一つである。非常に金を掛けた、立派な彫刻をしたり、繪を書いた立派な棺が納めてある。之を掘り出したのが、英吉利の博物館に並べてあります今は、ピラビットの中の王樣の棺を納めた部屋とか、或は其他の墓も實際に見ることが出來る。金色燦然たるものが眼前に浮ぶ。六千年前のものであります。斯う云ふものを眼の前に見ると、六千年前に遡つて、六千年前の國が近づくと云ふやうな感念に打たれるのであります。

さうすると、二千五百年前の神武天皇時代は、手近に近寄る、羅馬邊りも近い、コロンブスが亞米利加を發見したことは非常に近い、維新當時は最も近いと言はなければならぬ、徳川時代、豐臣時代も非常に近い、殆んど現實の感に打たれるのであります。斯う云ふ點に於て、埃及を見ると云ふこと、我々に無限の生命ありと云ふことを、直接に感ぜしむるのであります。金色燦然たる六千年前を見ると、過去六千年に行つた樣な氣がする、實際行つて見ると、我々に無限の生命ありと云ふことを、感ぜられるのである。

未來は無限である、六千年前は僅かの話しである、さう云ふ氣持ちが得られる。歴史などを見ると、羅馬時代、中世紀時代は遠くありますが、旅行して、アレキサンダーの遺蹟を見、又羅馬の趾を見ると、何れも能く保存されて居りますので非常に時代が近寄つて來る、どうしても昔のやうに思はれないのであります。二千五百年は非常に近いと云ふ氣持ちを以て考へなければならぬと云ふ氣分が、確にあるのであります。

九、土耳古魂の發揮と男の精神力

土耳古に行くと、必や我々と同じ頭の毛の黑い人が見られると豫期して行つたのであります。第一に土耳古に行きましたが

のが、シリア、プルートであります。土耳古に行きますと、我々のやうに髮の黑い眼の玉の黑い人は非常に少ない、ケマル・パシアの肖像畫を見ますと、矢張り金髮碧眼である、非常に驚いたのであまります。

書物を讀んで見ると、現在純粹の土耳古人の血は三分の一と云ふことである。

勿論金髮碧眼でなく、眼の黑い人もあります。田舎に行くと大部打つかるのであります。亞細亞人の、髮の黑い、眼の黑い人の血は現在の土耳古人に於ては、三分の一で、三分の二は白色人の血である。耶蘇教を信ずる、白人の血である。

彼等がトルキスタンを越えまして攻めて來た。多くの兵は獨身者であつて妻帶者は僅かの者である。從つて土著して土人の娘を娶る。戰爭の目的は婦人を略奪するにあつた。此の土人はアルメニア人ギリシヤ人で、耶蘇教徒たる異人種であります。殊に土耳古人の婦人を好んで、澤山の妻を持つて、各々子供を生せる。其の子供が大きくなると、又土人の娘を娶ると云ふ風に段々と變化して、純粹な土耳古人の血は三分の一以下しか、維持して居ないと云ふ狀態になつたのであります。

土耳古人は回々教徒でありまして、耶蘇教を入れないのであります。耶蘇教徒たる、アルメニア人、ギリシヤ人を非常に憎んで居ります。今日土耳古に屬して居る、アルメニア人、或はギリシヤ人は、土耳古政府に對して忠實でない、恰も國內に敵を養つて居るやうなものである。

斯の如き狀態では、本當に國の維持が出來ないと云ふので、クリスチヤンたるアルメニア人を、土耳古から追放して仕舞つた。アルメニア人ギリシヤ人は、商賣が旨く、又美術工藝にも巧である。土耳古人は戰爭には强い、併ながら、美術工藝と云ふ方面は下手であります。

歐洲戰爭の結果、クリスト教徒をすつかり排斥して、今は僅にギリシヤ人が居るのであります。其の代りギリシヤに於

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ても、土耳古人を追出して仕舞と云ふ狀態であります。土耳古は近時商賣が不振の爲に、非常に疲弊して居ります。肉體は三分の二白人種たる土耳古人が、飽く迄基督教徒を排斥して居る。血が既に基督教徒たる白人である。普通に云ふならば、囘々教徒が立たなければならぬが、事實はそう云ふ譯で、土耳古人が飽く迄土耳古魂を發揮して居るのであります。

之れは當つて居るかどうか知らぬが、さう云ふやうに、私は獨斷的に斷定を下したのであります。

トルストーイの書きました書物を見まするると、子供の肉體は母親が傳へる、而して精神は男が傳へると云ふことを書いて居ります。そこで僕は獨斷的に結び付けて、土耳古を見たならば肉體の三分の二は白人種であるが、其の行ふ所は土耳古魂を發揮して居る。之は三分の一の純粹の土耳古人の魂が傳つて居るものと思ふのであります。

御話は種々横に反れましたが、動物界に於て雌と雄と比較しますと、雄が非常に美麗であります。誰か鳥の雌雄を知らんやと云ひますが、概して雄が美しいのであります。併しながら人間に於ては、美人と云へば女である。之はどう云ふ譯であるか、實際に於て、動物界に於ては、雄が美しいと云ふことは自然に叶ふが、人間界に於ては自然に叶はないのであらふか、と申しますと、人間界に於ても、實際は男の方が美しいのであります。女の化粧するやうに男が化粧したならばずつと男の方が美しい、之は事實であります。

然るに美人は女である、動物界と反して居る。之はどう云ふ譯であるかと云ふと、動物界は雌雄共能力に於て、たいした違ひはない、各々獨立して行つて居る、例へば雌が姙娠して居るときは雄の力を用ひ、或は雌を誘惑する爲に、雄が美しくすると云ふ風で、大體に於てたいした差違が無いのであります。

併し乍ら、人間界に於てはどうかと云ふと、人間は動物と區別のある通り、二つの手を持つて居る。其の手に依つて無

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

限の材料を利用すると、ありとあらゆるものを此の世の中に作つて、所謂極樂淨土を現すことが出來るのであります。其の役を引受たのが男である。卽ち男は人間の精神力を現はす。之が男たる所以であります。動物と非常に違ふ男は其の力に精神を集中して居ると、他の方を顧る暇が無い。併し乍ら、人間も矢張り人間美を發揮しなければならぬ。其の人間美の發揮を女に委かしたのである、故に女は男を諒解し、男は女を理解し、男は精神力を發揮し、女は自分の美を以て人間美を發揮する。

之が人間界に於て、女が化粧し、美しい着物を着ると云ふことになる。男は精神力を分擔する、女は人間美を發揮する之が人間界と動物界と、反するやうになつた原因である。夫れで女と男と合して一つとなつて、初めて完全のものになるのであります。

西洋では婦人に參政權を與へて居ります。之が爲に女が獨立し、男が獨立したならば合せて一つにならない二つである之は天理に反したものである、合せて一つのものでなければならぬ。參政權は男だけで澤山である。婦人參政權を主張する者は個人主義と云ふことから來て居るのであります。我々は餘程之に就て注意しなければならぬ。婦人參政權は、天理に反したもので、僕は絕對に反對するのであります。男と女とは合せて一つでなければならぬ。夫れで分擔が各々違ふ、さうすると男は女の美を理解し、女は男の精神力を理解して人間美を發揮する。

之が女たるの精神である、昔から婦人を愛すると云ふことは當然である、同時に女の方から云ふと、男の中の男は精神力の强ひものである、精神力に於て、非常に大なる者を持つて居る者は男の中の男である、之を女が愛する所以である。

男の方は容貌が惡くても、精神力があれば宜い。男が力なくして、唯容貌だけ良いと云ふ男には女は惚れない、男の力を持つて居る者に女は惚れます。之は自然であると思ふ。女に惚れて貰ひたいには、容貌を良くするよりも、自分の力を

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

發揮すべしと云ふことにあると思ふのであります。併し之は昔から例外がある、女が力を持つて居るものは、今度は反對の現像になる。所謂力のある女は若い燕を愛する、之は自然さう云ふやうになつて來る。之は例外で、原則としては男は飽迄精神力を以て分擔しなければならぬ。女は男の精神を理解して、人間美を分擔しなければならぬ。色の白いのは本當の男ではない、故に化粧したる藝者の美は美ではない、男の精神力を理解して、人間美を發揮するのが、女の爲すべき一つであると思ふ。土耳古魂と云ふことから思ひつきまして、一言申上げて置きます。

今申上げたやうな、男女の關係の說に及んで、皆様に對して相濟みませぬが、理窟は卑近の處にあるので、極めて下品な話しであるが、御怒りなしに、何處に精神が在るかと云ふことを御諒察を願ひたいのであります。歐米の道德標準と、我々日本人の道德標準とは非常な違ひがあります。

之は一言に言ふと、歐羅巴の道德の標準は、物質接觸文明である、歐羅巴人は接觸しなければ解らない。我々がお辭儀するには頭を下げれば、敬禮になるが、彼等は觸つて見なければ解らぬ。握手しなければならぬ。踊りなどを見ましても日本の盆踊りなども決して男女がくつゝかない、後から手を叩く位のものである。決して身體に觸れない。

斯う云ふやうに非常に違ふのであります。此の結果何が歐羅巴人の幸福であるかと云ふと男女の關係である。男女の關係を以て、最大幸福とする。而して之を理想化したものが、卽ち繪畫となり彫刻となつたのであります。

芝居は一つの藝術である、男女の關係が非常に綺麗である。伊太利に行くと綺麗な女の裸體の彫刻があります。非常に綺麗で、巴里に行くと猶更であります。各國の王宮を見ると、王宮にある繪畫も裸體であります。彫刻も裸體である。又町々の公園に像がありますが、皆な女の立つて居る裸體の像であります。卽ち女が最愛の美になつて居るのであります。

歐米では之れが最愛の幸福であつて、同時に道德になるのであります。宴會に致しましても、男よりを招待して女を入

れないのは先方では非常な恥である。女を必ず入れなければならぬのであります。さう云ふやうな點は、非常に日本の道德と變つて居ります。若し仲の良い夫婦があつて、之が日本人であると、人前では遠慮して疎遠らしくして居るが、之は外國では不道德として居る。

之を判定すると、歐羅巴の美術が解り、芝居が解るのであります。（續く）

◆困の庭

石川欽一郎

◇隔世の臺灣

キヤンベル氏の臺灣隨筆に、

同氏が或る夕烏牛欄の村端れに一泊した折のこと、埔里社の街を通ほつて歸る武裝した生蕃人の一隊を見た。そのあとから屈強な蕃人の若者が何か肩に擔いだ物を重さうにぶら／＼させ乍ら隨いて行く。軈て一同はその一夜を過ごすために小屋に著いたが、その時キヤンベル氏は、若者の側へ寄つてよく見れば、その擔いだ物は臺灣人の生首二個で、辮髪を二つ一緒に束ねて肩にかけたのであつた。氏は若者のこの役目を可愛さうに思つて、いろ／＼慰めの言葉をかけたが、若者はそんな言葉が耳へは這入らぬほどに疲れ切つて、いきなりその生首を土間へ放り出して辮髪を丸く巻いて上に乘せそれを枕にそのまゝ直ぐ寢入つてしまつた、と云ふ記事がある。

若者の度胸は流石に豪らい。

又た或時キヤンベル氏が何處か蕃界近くの田舍へ出かけた折のこと、臺灣人の子供が大勢嬉しさうに聲を揚げ乍ら駈けて來た。見ればめい／＼手に肉片や骨を持つて、さもうまさうにそれを甜つて居る。キヤンベル氏はその子供等に敎へられてすぐ側にある一棟の長家へ行つて見れば、女が一人せつせと料理をこしらへて居る。大鍋には肉汁が煮へ肉塊や肉骨は二卓の上に盛られて居た。氣が付いて見て驚いたのは、それは人間二人の肉で、今や近所の人々が寄集まつて、それを皆食べ盡くさうとする處であつた。見るに見かねてキヤンベル氏は、女に一應注意したが女はたゞ笑ふのみであつた。併し猶ほも懇ろに責める處があつたが、

その時女は忽ち血相を變へて語氣も荒らく、食べるのが何で惡るい、此奴等は私の夫の首を取つたり、從弟の首を取つたりしたのだから、恁うでもしてやらなければ氣が濟まない、と一喝を與へたと云ふ談がある。

この女も蕃人の若者に劣らぬ度胸であらう。

然かも照代の今日、臺灣には既う斯う云ふ蕃人もなければ恁んな臺灣人も居ない。方さに隔世の感がある。

◇詐　欺

騙りの巧妙なものは日本にもよくあることを聞くが、これは外國での實際で、或る英人から聞いた談である。

汽車の中で或る乘客が切符を落して非常に困つて居た。それを見て居た一人の男が言葉をかけて、貴方はどこそこまで行くのが、切符を落しては嘸ぞ困るだらう。幸ひ私もそこまで行くのでこゝに切符を持つて居るから、希望ならばこの切符を貴方に賣つて上げても可いと言ふ。その人はそれは忝い、それは是非賣つてもらひ度いが、併しそれでは今度は貴方が困るだらう、と言へば、男は、いや自分は鐵道の方に關係も多いから什うにでも談が付く一向差支ないと言ふので、その人はこの男から切符を買取つた。さて目的の驛へ著いてから、かの乘客は男に厚く禮を述べて別かれたが、後で男は、大勢の群集に混ぢつて改札口を出る時、改札係の手へ自分の手をたゞ押し付けたまゝ通り過ぎやうとするので、改札係は、もし／＼貴方の切符は、と訊ねた。その男は今慥かに渡したと言ふ、いや受取らぬ、とこゝで押問答のあつた揚句、先づ暫く其處に待つて呉れとその男を柵内に待たせて改札係は他の人々を悉く出してしまつたあとで、再びその男の切符調べとなつたが、結局改札係はこの男を驛長の許へ連れて行つて事情を訴へた。男は驛長に向かつて、自分は慥かに切符を渡してある、それを受取らぬと云ふのは改札係の思ひ違ひであると主張するので、それでは、慥かに渡したと云ふ證據があるかと驛長は男に問ふた。勿論證據はあると男は懷中から手帳を取り出して、自分は極も要心深いので切符を買へば其の番號を手帳に書き留める事にして居る。自分の持つた切符の番號は何々番である。この改札係が受取つた切符の中には必ずこの番號のものがあるから調べさせてくれと要求する。そこで驛長の面前で番號調べとなつたが、成程その男の言ふ通り改札係の持つた切符の中からその番號のものが現はれたので、驛長は男に向かつて改札係の粗漏を謝しなほ改札係へは訓戒を加へた。男は揚々と立ち去つたが、獨り不審の解

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けぬのが改札係であつたと云ふ斷である。

恁う云ふ合理的の騙りは却々始末に困る。

私も一寸騙欺的のものに出會つた經驗が伊太利であつた。これは大したものでは無く、それに伊太利では油斷がならぬと言ふ事をかねて聞いて用心して居たからだゞ笑ひ談位のものであつたが、ヴエニスからフローレンスへ行く時、ヴエニスの私が泊まつたインタナシヨナル・ホテルの帳場が、伊太利の鐵道では座席切符を賣らぬことを私に教へたが、これはベデカーにもそのやうに記るされてあるので承知はして居たけれども、いよ／＼出立の時に、その宿の客引のオーストリヤ人らしいのが、汽車の席札を買つて上げやうと言ふので、いくらかと聞けば、フローレンスまで十リラほど卽ち一圓ばかりだと云ふ。少しヘンには思つたが、兎に角頼んだ。その男は私の荷物を驛へ運んで列車の中へ持込んでくれたが、餘程狼狽して居て、網棚の上へ旅行鞄を乘せやうとして、隣りの婦人客の座席へ置いてある帽子を蹈潰ぶして怒られたなど、樣子が訝しかつた。それに私が車内へ乘込む時、車の側面に懸つて居た眞鍮の札にボローニヤと記るされたが目に著いたが、もう直ぐ發車ではあるし、それにその車はスイても居たから默まつて乘込んだ。それでこの客引の思惑は既う能く解かつたが、たかゞ一圓ほどの仕事で、それに宿を出る時にやつた一圓ばかりのボチを入れても僅かの稼ぎであるから、内地の京阪あたりで旅客が宿屋の男にやる高に比べては可愛さうのやうに尠ないのだから、おしくも思はなかつた。たゞボローニヤへ著いてから前部の車へ乘換へる面倒を思ふと殘念ではあつたが、輕い災難と諦らめた。併しその客引に日本人をうまく誤魔化した積りで居られては、後のためによく無いから、フローレンスへ著いてから、そのヴエニスの宿の支配人へ宛てゝ事情を知らせてあゝ云ふ惡るい客引を置いては宿の信用に係はるから早速に解雇しては何うかと書き送つたが、あとは奈何うなつたか知らぬ。

併し伊太利では、日本人其他外國の旅行者ばかりが恁んなに誤魔化されるのかと思ふとさうで無い。羅馬の停車場でナポリ行の列車へ私は乘込んだ。あとから伊太利人の若い女が赤帽に行鞄を一つ持たせて這入つて來た荷物一箇に對して規定の一リラの赤帽賃を拂ふ時、その女は小錢を持つて居なかつた。それで五圓札卽ち五十リラの札を出して赤帽に釣りを呉れと言つたが無いと言ふ。女は近所の乘客へ一々小錢は無いかと尋ねたが、皆默まつて首を振つた。

私にも聞いた。實は私は小錢は持つては居たが、旅には小錢が必要であるから豫め用意したので、それを五圓も崩されては困るから、他の人々の如うに默まつて首を振つた。女は困まつて居ると赤帽はそれならば驛で換へて來やうと言ふので、女は赤帽にその五圓札を渡した。赤帽は立去つたまゝ發車の合圖が鳴つても歸つて來ない。女は車窓から首を長く出して待つて居る。他の赤帽にも聞いて居たが碌々返事もしない。そのうちに車が動き出して、女は遂う〳〵五圓誤魔化された。最もあとで調べて貰ふことは出來るだらうが、兎に角ひどい目に會つた。

このやうに人間が皆惡るいかと思ふと又た案外正直な者もある。私の友人がヴエニスを立つ時、早目に宿を出て、かねてウマさうだと見て置いた蝦蛄のてんぷらを途中の料理屋へ寄つて食べてから、又たゴンドラに乘つて驛に着いた。まだ時間が充分あるので待合室をブラついて居ると、男が一人還入つて來て、誰かこの紙入を忘れた人は無いかと尋ねて廻はた。誰も落し主が出ぬのでその男は立ち去つたが、後で友人がフト懷中に手をやつて氣が付いた。さては今のは全く自分の紙入れであつた。あれを失くしては進退谷まると吃驚仰天して、既う發車の時刻も近付いたが、それどころではなく、ゴンドラに乘つて最前の料理屋へかけ付ければ、亭主は笑ひ乍ら、什うも貴方が忘れたに違ひないと思つて居ましたと言ひ乍ら渡してくれた。と云ふ談を私はその友人から聞いたが、中には恁んな善人も居る。

騙欺に引かゝつたり掏摸にやられたりするのは、こちらの油斷もあるが、一つには先方の注意を引くやうな身裝や動作をすることにも依る。それ故旅行中は内地でも外國でも成るべく目に立たぬ風をするのが可いと思ふ。殊に外國では、一般に日本人の旅行者は、體面を重んずる意味でもあらうが、却々立派な身裝をする。巴里の街で、普通に巴里人の爲る身裝よりも目立つて立派なのは日本人の旅行者であるが、巴里ではそれでも少しも心配は無いけれども伊太利ではぢきに付けられる。私は人に注意されてつとめて目立たぬやうな身裝をして歩るいたが、その方が第一金もかゝらず、またお陰で掏摸にも會はず、深更の倫敦の街でも遂に引張られずに濟んだ。つまり新渡來者だと自から吹聽して歩るくからひどい目にも逢ふのであらう。

◇臺灣の城門

城門は古い町の歴史を語る。歐洲では羅馬の城門などがさに世界の寶とまで今では考へられるが、我が臺灣も城門

には敢て乏しくない。そのうちでも臺南の城門は、その姿から古びまで優に國寶たる價値が考へられる。この意味から私は臺南へ出かけてその城門を見るたびに漫に此處は、臺灣の羅馬であると云ふ感を深くする。

　臺灣に遺る城門としては、臺北には北門東門、南門及び小南門が在る。新竹には東門が在る。臺南には大東門大南門、及び小西門が在る。これらは臺灣に於ける城趾の主なるものであるが、なほ他に舊城には南門、大溪には林家の城門が遺る、これらは皆私が一度は畫に描いたものであるが、これらのうちで、臺北の城門は、小南門の瀟洒たる姿が畫境を見せる外、他は何れも面白味の無い形である。これに反して臺南の城門は形にも色にも優れたものがあつた如何にも臺灣の城門らしい感じがする。舊城の城門は規模が小さく且つ建築も簡單であるが、丘陵を負ひ景勝に位置する關係から、繪に描いた城門を見る如うである。大溪の林家の所有と言はれる城門は、その形こそ小さいが、建築の様式から配色の意匠まで實に面白く、低徊顧望これを久して去る能はざるものがある。

　臺北の各城門は既に保存の途が講ぜられて永久にその偉觀が止まると共にそれに籠る歴史も遺る。新竹の城門とても同様保存の點に遺憾は無いが、その他の城門は、何れも放棄のまゝに邪魔物扱ひにされて居る觀があるそのうちに臺南の大南門だけが現時大修繕中であるが、これは軈て丹碧の彩色も美しく再生した姿となつて現はれることであらうが、さてこゝが問題で、棄て腐れに放棄することは元より不可であるが、すつかり新らしく大修繕を加へることも亦た考へものである。

　今日に遺つた城門は、一面から言へば無用の長物であるが、これを取壞はすには金がかゝる。又た取壞はしてしまへば既う永遠に再び得られねばかりで無く、その土地に纏はる品位も歴史も失くなる。寧ろこれ以上に壞はれぬ程度に、廢趾の現狀のまゝを永く遺す方策を講じることが記念物に對する適當な又た經濟的な處置であらう、羅馬のコロツセオ、パラチノ廢趾、また何々王の浴殿など皆この方法によつて保存されて居るが、旅行者がこれらの廢趾の前に立つ時、その古色と廢頽とに直面して、忽ち永い年月の隔たりを感じる、そしてその間に籠る歴史を追憶する。且つ又たこれらの建築物が初めて建てられた時の偉觀から、その下に活躍した人物の容姿風俗の微細まで、今僅に片在する遺趾を便りに我等は懐しき瞑想に耽ることも出來るのが

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

すべて恁う云ふ古るき物の徳とも謂はれやう。併しその古き物が修繕を了へて、永い年月觀が悉く取り去らるまでに新裝整へたとしたならば、最早その前に立つても、只だ形と色の外觀以外に、その精神的の内觀は極めて稀薄なるものとなつて瞑想の興味は甚しく破壞されざる得ない。今臺南の大南門に面して立てば、その前に臺南の歴史は消へてたゞ不調和な目障はりの俗容が視界を遮るのみである。

　而してこの目障はりを完成するための材料に幾星霜の歴史を覃めた東廓門は遂に壞はされてしまつたと云ふからつまり臺南では二の由緒ある舊蹟が取拂はれたわけである。なほ臺南では大東門も小西門も早晩これが取扱ひ方に就て考へなければならぬ時機が來るであらう。その他にも舊城の城門の處置に於ても早く考へなければならない。又た私人の所有とは云へ大溪の城門も考慮を要する。そしてこれらを奈何う爲るかに就て考へる前に先決問題として、城門の歴史を遺すか形を遺すかの二つを決めてかゝる必要がある。今の臺南の大南門のやり方は、歴史を棄てゝ影を取つたものであるが、併し日本ばかりで無く、外國でも建造物に對する思慮ある扱ひ方は、第一に歴史を止めることを旨として、尚ほ現在に遺る昔のまゝの形をも止める方法を取るのであるから、今後臺灣に今まで手を付けて居らぬ古い城門や由緒ある古るい建物を處置するに就ては、やはりこの順序に依つて、既に壞はれたものをその壞はれた狀態のまゝに遺す方法が最も可からうかと思ふ。

　併し、羅馬の廢趾は皆石造か煉瓦造であるから、その壞はれたまゝに食ひ止めるに就ても方法は難かしくは無いが、臺南の城門の如きは木造の部分が相當に多いから、この種の建築物は蟻害等の關係から舊態のまゝに食ひ止めることは容易では無いに違ひない。或はそれがために大南門の改築となつたことかとも想像されるが。併し考案と意匠の配ばり方で什うにでも扱ふことは出來るであらう。内地の各地に在る特別保護建造物は皆木造であるが、何れも保存法は講ぜられて居る本島の由緒ある木造の建築物に就ても適當の保存の途は施され得るに違ひ無い。

　そのうちでも最も廢頽に傾いて居るのが大溪の城門である。私は同地へ寫生に行くたびに、益々その壞はれ方がひどくなつて行くのを目擊する、そして一日でも早く保存の途が考へられればそれだけ確かにこの記念物が餘命を盛り返へすことが出來ることを感じて自分に焦慮するのであるが、併し私などが奈何う考へても仕方が無い。惣べてその

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

土地に古るいものが遺るのは卽ちその土地の重みである。武備の表徴である城門の如きものは最もよく土地の重みを現はし又たその格式をも見せるものである。先づ新開地などには精神的方面の建造卽ち神社佛閣がまだ備はらぬからやがて土地の秩序が著く頃には人が直ぐに寺や社を建てる。それで神社佛閣の古びた土地は、旣う相當に歷史を持つて、落付きと品位とを備へて居ることを感じるのであるが、なほその上に城まで構へた地方は更らに文化の花を飾るものである。今の世には世界中何處にも城の必要は無い從つて新規に城を築く愚者も無いが、併し古く遺るこそ、人間の力を以ては企て及び難き時の威力の榮へを見せる貴重なる遺物であることを想ふ時、幸ひこれらの遺物の一つを保有した土地は、これを傳來の重寶として秘藏する心がけが大切であらう。そして現代人の爲るこの考慮に就て後世の人が如何に感謝するかは想像に餘りあるものがあらう。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

島を彩れる美術の秋

‖臺展素人寸評‖

西岡塘翠

▲黄菊白菊やコスモスが咲いて、常夏の國と云はるゝ臺灣にもその短いながら秋が訪れて來た。秋、それは人の浮かされる春とは反對にもの淋しく哀れに人をして心靜に考へさせる時である。然し我臺灣では恁うした秋の氣分が味い悪い。上野の秋を飾ざる美術展、帝展その他の催は昨今內地からの消息がそれを傳へて、新聞に雜誌に將又た書信にその噂評判が齎らされる、然し臺灣には今までそれがなかつた、唯だ秋晴の空、自然が彩り示す草木の色やで、徒に我が上野の秋を偲び遙に憧憬に驅られて居るばかりであつた。

▲上野の秋を飾ざる帝展も、遠く離れた島に久しく住む我等は徒に憧憬の念にのみ驅られ、僅に新聞雜誌の寫眞版か繪葉書を見てその片鱗を窺ふばかり、而も眞物に接しないのを甚しく遺憾に感じ、美術家ならぬ身でも、繪畫に對する愛好と審美學の智識頗る淺薄、鑑賞眼さへ非常に危しいとはいへ、一管の彩筆で描かれた作品の前に立つことを喜ぶことには、敢て人後に立たぬ位の自惚男の身は恁うした催を未だ嘗て見ない臺灣では、時々催される個人展とか何々會の作品展とかには必らず臆面もなく作品目錄の印刷物を手にしそれと頸引でその作品の前に立つのを非常に嬉しく思つて、忙しい時でも寸暇を見出して出かけたものである、恁くして帝展なぞを容易に見られない身の遺憾を我と慰めて居たのである。

▲時勢の進運に伴ひ、文化的生活の向上が云々されて來

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るやうになつた最近の臺灣で、陸上運動競技の勃興と云はうか、スポーツ熱の盛になつたことは驚くばかりで、臺灣も文化的向上を促進しつゝある一半面を示されたやうに思つて快心に堪へなかつた、のみならず短い秋を飾る催物としては、臺灣神社の祭典位が賑かなものであつたのだから秋に適しいこの陸上運動競技が華々しく催され、島の人々の若い血を躍すのは、現代の臺灣として欣慶すべきことゝ思つた、秋にスポーツそれも可い更に、秋に適しい美術展は南國の臺灣植民地氣質と云はうか、文藝美術と云つた趣味の方面の催として、心ある現代の島人の望むところであつたらふ、今回初めて生れた臺灣美術展の開催は、時宜に適した濕いのある催物で植民地の人々の氣風、出稼人根性の多くを有する土地柄、恁うした、心靜に美術の作品に對して人各の鑑賞眼で、藝術を味ひ得ることは、縱令時代の趨勢の然らしむる所とは云へ、大に島人の心にゆかしい心地を與へ濕ひを持たせたものとして、今回の擧に贊するものである。

▲臺灣美術展は教育會主催の下に開催されたとは、文教局方面の援助、その民間美術家乃至美術愛好家の努力に負ふ所が多大であつた。而も蓋を開けて以來の盛況は、如何に島人の心を唆つたか、好奇心から參觀人もあらう、初物喰ひの入場者もあつたらう、けれども多くの人々が競ふて踵を會場に向け、老若男女貴賤を問はず、萬餘の入場者は口々に、その美しさを語り、この催を贊禮して、島の秋に適しい催であると云つて居る、この反響は確に臺灣美術展の成功を立證するもので、多少開會前審査のことや、何やかと問題が云々されたにしても、この開催には好感を持たぬものがなく、全く植民地たる臺灣の人々に心の濕ひを與へたものと云ひ得やうこの意味からして、今回の擧は既に年々開催される朝鮮のそれと共に、大に有意義な好個の催物であると、生まれ出づる迄の惱みを抱かれた、關係當局に謝意と敬意を捧げる。

▲好個のこの催に對しても、縱令最初の試みとは云へ、陳列すべき會場が樺山小學校の講堂では聊か遺憾で、陳列に就いて不滿は多い、これは經費その他の事情で已むを得ないので仕方がないが、これは年々開催される豫定らしいから、何かこの問題を考究して欲しいものだ。而もこの不滿に就いては當事者も可なり苦心したらしい同情する、一體臺灣には恁うした催に適した場所がない、從來屢々と云ふよりは寧ろその多くが使用する博物館なども、光線の工

合は無論のこと、陳列する場所がないのを無理に間に合せるのだから、折角の陳列作品も充分色彩などが觀衆の眼に映じないので、眞に審美鑑賞することが出來ないので、作家の方も損も多い觀衆も滿足に觀覽が出來ないそれは場所が場所だからではあるが、第一美術展覽會などの氣分になられないのである、今回もこれとまづ同樣これは何とか考慮ありたい。

▲それにしても快心であるのは朝鮮のそれには內地の大家に審査を煩はしたに反し、今回は島內の美術家中から審査員を選出したことで、何に素人に少數の美術家を加へた展覽會だと云へ、それで島內で審査員を選んだと云ふ人があつたにしても、これは少々當を得てない言分だと思ふ、島內から審査員を選んだのは內地の大家に審査を煩はすほどのものでないからと云ふのでなく、臺灣の作品を以てする、臺灣の展覽會だから、態々內地大家を煩はさず、總て當方で萬事行ふと云ふ賴母しい意氣込からであると考へ。いや然うであらうと信ずる、素人が多い展覽會それがまた臺灣美術展の誇であらう臺灣らしくつて可い。

▲領臺以來いや臺灣あつて以來の催、彩管に繪具をふくませて、繪を描く人々は非常な熱心で努力を惜まず、この學に資して作品を提示したことも嬉しく賴母しい限りであつた、出品點數は東洋畫に比して西洋畫が遙かに多かつたのは種々の事情もあらうがこれも素人が多いことを立證するもので、又た一面洋畫が臺灣でも盛に素人の作品を生ましめて居るからである、これは現代の趨勢であるとも云ひ得る、最も東洋畫には南畫等の所謂文人畫を筆にする人は本島人中にも可なりあるらしいが、同じ素人でも洋畫を學ぶ人々の方が若い人に多く、從つて老いた人の多い東洋畫の出品は或は是等の原因で尠かつたのかも知れぬと考へる殊に審査の結果は東洋畫の入選數が西洋畫のそれに比して非常に少かつたのは敢て嚴選の結果でもあるまい、既に數に於て非常に差があつたからでと思ふ、或は東洋畫殊に南畫の如き多く本島人の手に成つたものが、純粹の素人で所謂餘枝と云ふので展覽會場に陳列に不適なのが多かつたからか知れぬ、審査に就いては素人の我等は嘴を容れることが絕對に出來ない、序に東洋畫西洋畫の區別は、一寸議論もあるらしい、この區別には當事者も惱んだに相違ない、邦畫日本畫の中には南畫は入らないから東洋畫としたのであらう、それだ今後は何かと考へて可然區分をするが可いが、或はもう區別は止めにしては如何であらふ、いや飛ん

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

だ苦勞を申したもの。

▲入選畫は總體的に云へば、何しろ素人に多少の美術家が加つたので、無論帝展その他上野の秋を賑はす各種の展覽會とは比較にならぬが、既に審査長の審査報告にも入選畫は何れも自己の嚮ふ所を示す生氣ある而も臺灣特有の色彩に富んだもので、本島美術の向上を暗示して居たのを欣幸とし豫期以上の成績良好であつたとある通り、成績は全く好い方であつた、併しまだ正々堂々臺展と銘を打つて出るには多大の努力と時間がある、或人は入選畫中帝展に入選するもの幾何かと恐らくないだらうと云つたが、これは少く手酷い批評ではあるまいか、それにしても研鑽に精進して不斷の努力發奮が望ましい、殊に内地とは地理的關係に於て遠く距れ兎も角刺戟を受けることが鈍いのであるから、この點は一層留意が望ましく、而も畫材の豐富で特色を發揮する作品を以て、内地のそれに對するの覺悟が必要である、臺灣に居て藝術に精進する人々は、決して内地のそれに從ふの要はない、寧ろ斯界の大勢が如何に推移するかに留意し、臺灣の藝術と云ふもので大成するのが任務である、卽ち臺灣在住の人に依らねば出來ぬ藝術的作品を生み出さねばならない、これは美術ばかりではない、文藝でも然りだが特に繪畫に於て然りであると云ひたい。

▲前置が長くなつて恐懼したが、一つ入選畫に就いて瞥見した所を記述しやう、素人の身であるからその審査眼は頗る危しい、けれども素人には素人臭い評がまた時に興あるものである、多く陳列された作品の一々に就いての妄評は繁に堪えないし、低面が許さないから、ずらりと竝んだ陳列品中から觀た眼に映じた作品を摘んでその觀たまゝ感じたまゝを記述する、評する者既に素人、繪筆を持つと虎を描くつもりが猫にもならぬ身、少し不潛越沙汰ではあるが、批評專門家のそればかりでは何とやらと、勝手に獨斷して素人評を臆面もなく筆に任かせる、八卦見ぢやないが批評が當る當らぬが、それもまた讀者の一興であらう、素人の批評の槍玉にあげられた作家よ惡口を叩かれたからとて、ゆめ／＼怒つてはなりません、八卦見同樣の素人のことゝ、惡口されたら苦笑されて水に流されるが可い。

▲入選畫百九點を東洋畫西洋畫と分ち、東洋畫三十六點を四室に西洋畫七十三點を三室に區劃し、別に無鑑査の出品西洋畫十五點東洋畫四點合せて十九點が階下に陳列されてあつた、更に會場を異にして七星郡役所の階上には、内地一流大家の作品が參考品として陳列されてある、入選畫

も西洋畫が多ければ無鑑査も西洋畫が多いし參考品も然りである、これは何でもないやうだが素人の身から考へると、臺灣美術界の今日は西洋畫時代である素人に西洋畫を描く人が多いからだがこれも一つは時代の移り行く勢ひもあらうし、又た學校で多く西洋畫を習ふからでもあらうし、又た素人としては日本畫乃至支那畫よりその方が入り易いからでもあらう、(これは學校の圖畫教育の關係から)日本畫は一寸恁うした事情で入り惡く成達が難しい、かの如き幾多の事情で西洋畫が多いのだとも考へたまた噂ではあるが出品した數も西洋畫が非常に多かつたとか、從つて落選の厄に逢ふたのも同じく西洋畫の方が大分多かつたのは當然であると同時に臺灣で畫筆を持つ人に洋畫の方が多いのも立證される。

▲閑話休題素人寸評を試みやう、まづ東洋第一室から始める陳列された點數九點、この中には大分評判になつたものもある、加藤紫軒氏の群山層翠と云つた太魯閣所見の南宗畫は、一寸評判されるほどに好く描かれて居るが墨色だけで一寸素人にぱつとしないばかりか、その墨色が消炭色なのが面白くない。野間口墨華氏の白鷗鷺巢と云ふのは白鷺の群が相思樹に巢を作つて居るのを描いたもので、白鷺の描寫には苦心されただけ一寸頷かれるが、之に配する相思樹は感心しない一考を要する、村上英夫氏の七面鳥、之は世の問題になつた脊峻勁の作、まだ線が生硬であるの一努力を煩はすがよく出來て居ると云ひ得やう、問題になつた繪だけに人足が多く止まる。伊坂旭江氏は半玄人とでも云ふ人だ、皇澤は故廣業畫伯を學んだらしい筆致で平和の象を狙つた所だらうが、新味がない寧ろ不老長壽の方安全だが平凡、氏は恁うした風のものを描く方が可い、鷹取岳陽氏の雲嶺晴江圖は南畫の大幅は雄渾の筆致、その靜と動の畫いた君を知る身にはその進境の著しきに敬嘆する、墨色の研究は大に努力を煩はす、後藤樵月氏の春の山邊は艶麗な櫻花が女子供を嬉しがらせたが活氣がない、郭雪湖氏の南畫松壑飛泉は曰く平淡大したものでない。

▲東洋畫第二室では野村誠月氏の春で江戸時代の女優姿が纖麗に描かれてあつた、その繪に對して鏑木清方畫伯の浮世繪の女風俗畫を思ひ出した、無論これとそれを比較するのではない、珍しい畫に接して嬉しい心地になつただけ、森牧齊氏の穐聰清洪は葡萄に栗鼠を描かれたものだが、構圖が既に古い、まづ床間の幅と云つた月並だ、伊坂旭江氏の伯牙待成連は前の二作より可いが、眼が少々嫌ひだ恐し

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

い氣がする、陳氏進孃の朝は女作家らしい繪で見た眼にも軟い優しい感がする、常久常春氏の百蝶乳舞は百蝶の細い描寫で美しい、何しろ模樣染で居る、陳氏進孃の朝とこの繪は女連が「まあ綺麗、好い畫だこと」、と一寸その前を去り澁ぶる。井上一松氏の孔雀は孔雀の描寫に苦心されたことは頷かれるが構圖や線の工合が充分でない、少し長く前に立つと飽が來る、砥上如山氏の南國淸穐は小品だが、木瓜の色彩が多少水彩畫らしい嫌はあるが、風趣ある相當新しい氣分のある作で技巧上からも面白いものとして大に心を動かした。

▲東洋畫第三室では、大岡春濤氏の生ける英靈が評判もの、吳鳳の傳說から取材したもので、馬上の靈姿はよく描かれ神韻もある殊に馬の工合は苦心の跡が見える、但しこれに比して驚いて居る蕃人の描寫は一寸劣つたやうに見えたが何れも大作、これは描かれた線の强弱に歸因すると思ふ、取材の上に恁うした新味が今後欲しいものである。淸水雪江氏の密林は氣持の好い靜穆なもの、野口秋香氏の出陣はよくある武者繪、よく丹念に描かれてあるまづ無難の作、武部竹令氏は氏專門の能畫で翁と猩々だ、これは耕魚氏のとは別の行き方であるが專畫では他人が追隨されぬ氏獨特もの、猩々の方が足の工合に難がある。加藤紫軒氏の太魯閣峽は墨氣が枯淡であるが前のより可い、森牧齋氏の旭日昇天は旣に構圖陳腐、佐藤曲水氏の鷲はまだ〳〵努力を大に要する、陳氏進孃の姿は餘り感心しなかつたが、素直に描けてある。

▲東洋畫第四室は審査員の鄕原、木下兩氏の作と、特選の村上氏のや陳氏進孃その他のがあつて、何れも見た眼に嬉しいものばかり、陳氏進孃のけしは令孃出品の三作中第一の佳作である、如何にも靜かな優しい氣分のする繪である、令孃は何でも東京の美術學校生とか聞いていよ〳〵將來必らず伸ると思はれる、林英昌氏の水牛はこれが第三室の南大門を描いた人とは思はれぬ位優れて居る、可なり苦心したらしい見られるものゝ一つ、宮田華南氏の花籠を持てる乙女は可愛らしい感のする作でまづ無難なもの、審査員の鄕原古統氏の南薰綽約は三幅對の大作で一つは鳳凰木に鳩、夾竹桃、金雨樹で、赤白綠黃の濃色な色彩で眼が醒めるやうな灼爛なもの、何しろ日本畫で南國的の氣分を示さうとしたもので、珍しい色調の高いものである、鳳凰木の圖案式なのよりは金雨樹の方が可いし夾竹桃の方は面白味を其處に見出す、流石は審査員の作だけに彩色揮毫は立派

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

なもの、木下靜涯氏のは日盛と風雨の二點であつた、日盛は金屏風に濱ボーの大作それで厭味のない作だが一寸新味もない、寧ろ墨繪の風雨が好い、一見淋しきを感ぜるがよく見ると面白いところが見出される、墨繪で描き惡いこうした繪をこれまでにした努力筆致は達者なものである、然し風雨の中の山景色だからもう少しぼかしても可いと思ふし、舟や路や枝などに風雨の中と見られた部分があつたやうだが、この繪はなか／＼可い、村上英夫氏の基隆燃放水燈圖と云ふので、臺灣風俗のそれなので本島人の男女がこれは／＼とばかり立ち止まつて觀て居た、何しろ特選なので今更に云ふこともないが、一見してよく長崎あたりの風俗を描いた古繪のやうな感がした、浮世繪風の味ある丹念なもので、行列の人物や見物の風態が人形振に描かれてあるなぞ面白い、朴素な描寫枯淡の臭を出さうとした苦心も認められる、意匠と技巧の點に於て場内の異彩であらう、但し天地の金雲などは正に蛇足で止めた方餘程立派さを增すこの金雲で厭氣がさすこと夥しい。

▲西洋畫第一室では張秋海氏の蝀と陳永潘氏の芝山巖が一寸好い、顏水龍氏の裸女は皮膚の色が惡く美しさを殺ぐ蒲田丈夫氏のサンドミンゴの丘は素人の氏としては整つたもので淡水の紅毛城を描いた者彼是云ふ事もない、新聞記者の餘枝だけに評判されたもの、鉅鹿義明氏の港は水に映ずる港の側影を描いたもので一寸好い感ずる作、陳植棋氏の海邊は特選になつた作、新しい味の描寫で一寸風變な者けれどよく見て居る間に海邊らしい感が出て來て何とも云へない心地がする佳作、特選だけある作と頷かれる、陳澄波氏の帝室博物館は曾て帝展入選者、建物と人物の調和がよく出來た作で素直な筆致が嬉しい、倉岡彦助氏の童はお醫者さんも臺北醫院長さんの餘枝、なか／＼うまいものであるが背景が暗いので一帶に暗い感がする、林摛は餘計な添物であらう素人としては上出來の部、河瀨健一氏の河岸の家並に少年の手になつたものと思ふとうまいと考へる、竹内軍平氏の裏通は餘り難がない作、芽ぐむと山の娘は審査員鹽月桃甫氏の作、山の娘の方が好い、芽ぐむは氏の繪と一見頷かれるものが明かに認められる、春の暖さの氣分が出て居る、山の娘は見るからそれらしい優しい蕃山の乙女を思はしめる、それほど人形のやうな顏になつて居る、芽ぐむは春と云ふ感を出した佳作、山の娘は深山の乙女の純な象徵を偲ばしむるものである。石川欽一郎氏の河畔は珍しい油繪の風景繪である、萬華河畔から大屯七星の諸山を望

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

んだもので線でなく色調でそれを描いてあるのが嬉しい、器用な筆致がこれにも現はれて居る佳作、此第一室でも流石は審査員の兩氏の作が光つて居る。

▲西洋畫第二室には、まづ女流作家の長崎淸子夫人の靜物と木村義子孃の靜物とがある、何れもそれが女性であるからでもないが女らしい點が見られる、木村さんの方が長崎さんより可いと思つた、素木洋一氏の丘からは天才だとか云はれる君の筆は今更にいよ／＼君らしい描き方だと思はせる作、隨分大膽なところがある、然し神妙な筆運びはうれしいまだ前途洋々たる少年だから色と色と調和などに注意されると可い、野田正明氏の午後の街は纏まつた心地の好い繪であるが、光線の工合に少々難がある、研究が必要である、然し佳作と云ふべきもの、石川欽一郎氏の廈門も油繪である、これは河畔よりも良い、而もよく廈門の海岸が描かれて居る、それにしてもこれを水彩畫にしたらと思つた、然し決してこの作が悪いと云ふのではない、立派なものである。佐藤佐氏南京も一寸よく描かれ、吉村眥氏の淡水風景は面白味の多い小品ながら佳い作と思つた、夏は鹽月桃甫氏の作で裸婦を描いてある、この畫に對して何となく美しい感の中に一種妙な毒々しい思ひがした、背景の色調が悪く暗いことであらう、それに裸女の肌の色合と顔の赤味が少し考へられた、山の娘の方がいよ／＼好くなつた、山口護爾氏の靜物は醫博の氏が餘技であるが、あれほどに描かれる努力がうれしい、古川義光氏のナチユールモルトは評判されるほどだけあつて、見る眼に美しく華かな感がした大作で、よく畫かれた個々の物體やその色調相互の色の連絡など少し缺いたのにしろ、その努力の非常なものであつたのを思はせる兎に角異彩を放つた作品で評判されるだけある力作である。

▲西洋畫第三室には、於保乙彦氏の金魚のある靜物がある醫博の臺北醫院の醫長さんの餘技、よく畫いてあるとも云い得る、金魚は寧ろない方が可い、小野郁子孃の姉妹はまた問題にされたもの、子供らしい畫き方が可い、南條博明氏の南門外の朝は無鑑査を謝絶して出品された勇氣は嬉しい繪もまづ難が少い方だらうが電柱が一寸妙うだ、濱武靜子孃の靜物も少女らしい畫でよく出來て居る、石川欽一郎氏の角板山道は水彩畫で彼是云ふまでもない上々の作品、實に常ながら麗しい心地のする作品、廖繼春の靜物は特選になつたもの、同じ靜物でもよく畫かれたのみでなく色彩も整つて居るが、特選にはと思つた、何處にまた知れぬ好

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

い點があるのか、久保田甲治氏の或る夜は舞妓を描いたもののまづ無難の方だ記者の餘枝としては上々と申がさか、何ふか背景がとも思はれぬでもない。

▲以上西洋畫は點數が多いので一々觀ても長い時間を要する、それで多くの中から記憶に止まつたものゝみを寸評したのである最も寸評洩れのにも充分佳作なりと認め得るものも多いだらう、見逃しも多いの勿論である、何しろ入選畫だから惡いのもない筈、寸評したものは評判になつたもので自然觀る時も眼に入つて殘つて居るのである。

▲十九點の無鑑査室では、山田新吾氏の少女が目を惹いた色彩もよく落ちつきがある作、小笠原ミツエ女史の靜物も面白い色彩のある描き方で好い、谷喜一氏の壺と人形これが好いと思つた、取材が氣に入つた、背景の色も壺や人形と調和して居る、この室の洋畫ではこの作が最も佳い作と思つたのである、東洋畫では須田安州氏の涼みがこれと山むすめの二點があるが、人物畫は實に俗の俗たるゝので感心しない、これ等は無鑑査のため陳列されたかとも思つた、山むすめも平凡な作だが前者より好い、蒂谷秋琴氏の葉雞頭と圓山がある、葉雞頭に配した鵝鳥は感心しない、圓山は問題外としやう、恁う云ふと妙うだが、無鑑査と云ふやうな繪は餘り感心したのがない、敢て拙劣と云ふ意味でない、特典に對しても少し努力されて可いと思ふ。

▲無鑑査では大分問題が云々された、內地の帝展その他での無鑑査とは意味を異にした特典などは、もう來年から止めては如何であらう、美術と云ふものには、畫く人の天分や才能が繪の上に現はれて來るので、先生の繪が何時でもよく、子弟のそれが常にそれに比して劣るとも云はれない、出品の廢もあることである、臺展に中等學校の先生の畫いた繪が落選して生徒のが入選しても、先生の力量を直に云々されることはない、また云々すべきでない、寧ろこの場合先生は己の敎へた人が多く入選したのを名譽として可いと思ふ、妙な遠慮や何かで設けた特典は正に廢止して欲しい、今後毎年開催されるこの臺展には、是非この點も一考して何とかうまくして欲しいものである。何も無鑑査室のそれが他のと比較して劣つて居るからと云ふのでないのである。

▲今年は經費その他の事情で、中南部に移動開催が出來ないらしい、殘念なことである、帝展なれば東京から京都に移動開催するに定まつて居る、臺灣最初の試み而も成功した臺展だけに、中南部の都人士もさぞ見たいと思つて居

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

るだらう惜しいものである、これも必らず次回には充分考慮して實行されたいものと思ふ。それにしても出品された人々の努力は確に認められて嬉しさの限りである。既に島内の日刊紙や週刊紙でもそれ〴〵評があるから、少々遲蒔ながら寸評を試みた、無論の素人の身、正鵠は得ないだらうがまたこれも一興ではあるまいか、專門家や審美家のそれと異つた寸評而も素通りながら二度も足を運んだものであるから、多少勇氣も出たものだ、盲評は寛恕を仰ぐ。

◆この入選畫では東洋畫としての四君子風のがないのも妙うだ本島人間に南畫を學ぶ人も多いだらうにさりとは妙うだ、朝鮮のそれにはこれが見られるとか、臺灣の所謂臺展にこの四君子のがないのと南畫の尠いのが淋しい、寧ろ恁うした繪のあるのが臺展の特色となるやうになるのも面白いではないか、それにしても西洋畫に素人連に靜物を描いたのが多いのも妙うだ、不思議に思はるゝ一つ、裸體畫が尠いのも淋しい感がした、參考室の作品は全く珍しい立派な作品ばかり、臺灣では容易に見られない大家の作としてこれは〳〵とばかり感服するものであつた、好い參考品を見ることが出來たのを嬉しく思ふ。それにしても裸體畫の問題があつて牧野氏のみで岡田氏のを見ることが出來なかつたのは殘念である、種々の意味でまだ裸體畫が議論されるのも臺灣なればこそと思つて、何も云はぬ事にしやう、然し裸體畫を見て彼是と心が動く者は美術を解しないもの劣情を催すに至つては言語同斷此人を卑しめねばならない。短い秋の訪れに臺展が開かれて成功した、來年はまた一層の力作で、美しく賑かに開催を待つて居る。これは唯に我のみではあるまい（をはり）、二—一一—四—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

南洋覗記（二）

室田有

領事館や南洋協會や其の他へ挨拶に廻つて來てから久し振りに陸上の晝食を取る。日本を去る二千餘哩の異國に來て日本のお膳茶碗で日本料理を喰べることが唯何となく懷しい。食後には土名サオと稱する果物が出る、綠褐色の皮の色は一寸梨の或種類のやうだが形は楕圓形で一寸マンゴの形に似てゐるナイフを以て二つに割れば中は淡紅色を呈し柿の種のやうな形の黑くて固い種子が數箇は入つてゐる。スプーンを以て果肉を掬へば柔かくして木瓜の如く味はへば一寸柿の味に似て甘くあつさりして美味い。宿の主婦は之ならば日本の人の誰の口にも合ひますといふ。臺灣あたりでも出來ぬものだらうかと思つて熟したやつの種子を數箇持ち歸へるべく鞄に納めた。一寸櫻井園藝試驗場長の代理をやつて見る積り。

午後博物館其の他を見物に出掛ける。博物館はコンニングス、ブレインに面したギリシヤ風の白堊館で中に入ると廣い室内には爪哇古代の文明や風俗を語る品物の數々、現代の進步を示す品々など所狹き迄並べてある異樣なる武器、衣裳、什器、織物、假面、古錢、裝身具、家屋、船舶の模型等詳しく見てゐては日も是れ足らぬので唯案内さるゝまゝに一瞥しては過ぐるのが惜しい樣だ、金銀寶石を鏤めた楯やクリス（南洋特有の劍）など目も眩せんばかりなのがある、ヒンヅー文明の輸入を受けた爪哇の古代は如何に燦爛たる文化を持つてゐたかゞ一目して窺はれる。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

此の日は日曜のことゝて土人の觀覽者が澤山あつた。此處へ來る程の者は有閑階級に屬する者が多いから服裝なども綺麗である。男子は普通の洋服姿なのがあり或は頭に頭布を巻き上半身にはジャケツを着、下半身は爪哇更紗のサロンを纏うて靴、スリッパ、又は跣足である。爪哇人の頭布は印度の夫の如く長いのをぐるぐる巻きつけるのでなく風呂敷樣の布(土名カインカパラといふ。之も多くは爪哇更紗)を一種の樣式に從つてキチンと纏ふので、男子には之がなくては男の一分が立たぬものと見え鐵道の車長や驛員などで制帽のあるものも此の頭布と制帽とを二つとも頭に戴せてゐる。此の頭衣は現在の印度式とは違つてゐるとはいへ明らかにヒンヅー文明の齎らしたものであると思はれる。女子は金、寶石などの耳飾を下げ、上は薄い下着に薄絹、ボイルの如き薄い生地の者で派手な模樣のある筒袖の上衣(土名カバヤといふ)を重ね胸の合せ目の所には往々大きな金の飾り釦を付けてゐる。下は矢張サロンで之は模樣が概して地味だ。足にはビーズや硝子玉のチカチカ光る飾りを施したスリッパを穿つてゐるものが多い。之は中流以上か又は遊女等が用ふるのださうで普通の者は跣足が當り前であり常法である。若し下級一般の御婦人達が物好きにスリッパなど穿かうものなら熊公のお神さんが靴でも穿いたやうに人から後指差され排斥さるゝのである。

市中も一通り廻つて舊バタビアの方面も見る。舊バタビア市に屬する部分は我國とも關係深きジャガタラの跡に千六百十九年時の和蘭總督ジャン・ピーテルス・クーンが建設したもので、當時はテイリウオン河の岸に添ひ南に延びてゐて立派な港を成してゐたのであるが、港其ものは千六百九十九年サラワク山の大噴火の爲に土砂多く流れ來つて港を埋め遂に港の用を爲さなくなつたゝめ六哩東方の水深き所現在のタンジョンプリオクに港を移さねばならなくなつた。此の築港費當時の金で二千六百五十萬グルデンを要した。此の巨費を蘭領印度は本國への貢金を少しも減ずることなしに、而かも經常費を以て維持したといふに至つては當時の毀損さが思ひやられる。舊バタビア港は今は小さい漁船の碇泊所となつて、

ゐる。我が琉球人が多く此の地で漁業に從事してゐるが皆その收獲を此處に積んで來る。船着場のすぐ側に魚市場があつて捕つた魚はこゝで賣却される。舊バタビア市は沼澤地の中にあつて瘴癘の氣多く非常な不便地である。千七百十四年より千七百七十六年迄の六十二年間に官立病院で死んだ陸海軍人が八萬七千人と註せられ、千七百三十年より千七百五十二年八月迄の二十二年間にバタビアで死亡せしもの一百十一萬九千三百七十五人あつたといふ記錄がある。猛烈なる爪哇熱病に冒されて多數の犧牲者を出したのは千七百三十三年より三十八年に至る五年間で、此の間毎年二千人宛の斃死者があつたといふ。千七百九十三年バタビアを訪れた英人スターントンは呼んで「宇宙間最も不健康なる土地」となした。かくの如き不健康なる所から此處を綽名して人往々歐人の墓場と呼んでゐた。かういふわけでどこか適當なる健康地を擇んで住むの必要が起り十九世紀の始め今のバタビア新市街即ちウエルトフレーデンの土地を開いて移ることゝなつた。現在では舊バタビア方面はビズネス・クオーターになつてゐて歐人はこの方面に住居せぬ。皆ウエルトフレーデンの公園の如き住宅地に住居を構へてこゝから通勤して仕事をしてゐる。舊市の方面も夫の城壁の如きは取毀ち家屋の建て方を改め、街路を廣くして始めて衛生の條件に適ふやうにした。今は昔しを偲ぶ古い建物は少ない。東印度會社の古い建物で昔の活躍を語るが如く古色を漂して保存されてゐるのが見えた。

千六百七十一年に建てられたといふピナンゲートを潜る。城壁のあつた頃の城門である、此の門を過ぎて少し行くと道路の左手に當つて青銅製の大きな大砲の砲身が半ば地に埋まつて横はつてゐる。之はシ・ジャグール又はマリアム・ベサールといつて土地の者は子を授くる神樣だと迷信してゐるので花や線香が澤山上げてある。側にはその爲の造花や線香を賣つてゐる野臺店がある。解らぬ言葉で土人の店番娘が買ふことを勸めてくれたが買はなかつた。御本尊の大砲神に近づいて見ると底部の所に食指と中指の間に拇指を出して握つた握りこぶしがニユッと出てゐる。此形ちが日本で意味するもの

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

と同じものを意味するかどうかは知らぬが、Ex me ipsa renata sum といふ羅甸語が刻んである。意味は「我は再び我より生れたり」であるからそんな所から迷信が湧いて出たものではなからうか、文句のこゝろは或る砲身を鑄返して現在のものを作つた事をいふのだといふがそれにしても態々底部に變な格構の握りこぶしを作つた眞意が分らぬ。土人はまた此の大砲は何時かはその配偶(多分バンタムに在るものを謂ふのであらうとのこと)と一緒になる時があるので其の時には爪哇の和蘭統治は終りを告ぐるものだと信じてゐる。

更に進んで、ピーター・エルベルフエルドの曝し首を見る。可なり廣い屋敷の古い墻壁の上に、セメントか何かで作つた人間の首であるが、如何にも獰猛なやうな形相をした首級が下から鎗に突き刺されてある所を表はし鋒尖は上に突き貫けてゐる。下には和蘭語と爪哇語で此の男の憎むべき記念の爲に此處に建物又は植培することを禁ずとしてある。ピーター・エルベルフエルドは混血兒であるが土人間に勢力があつた、和蘭政府の統治を喜ばない彼は土民を使嗾してバタビアに住む歐洲人を盡く虐殺せんと企てたのであるが或る土人の娘の口よりこの陰謀が露れて彼と其の徒黨は捕はれ千七百二十二年彼及び其の他の主謀者等は打首になつたのである。此の屋敷は彼の家であつたといふ。白塗りの墻壁も首も風雨に曝されて幾星霜、苔蒸し黑ずみ塗れて人通りも少ない雨の夕べなど如何にも物凄からうと思はれた。

支那人クオーターに廻れば大きな漢字の看板屋號を揭げた支那商店が軒を竝べて盛に商賣をしてゐる。南洋は爪哇に限らずスマトラ、馬來各地、シャムに至るも宛も支那人の南洋の觀がある。爪哇は遠い古から支那と交通のあつたことは中部爪哇に發掘された陶器等で二千年も古いのがあるといふのでもわかる。文化の點に於ても爪哇はヒンヅーの影響と共に支那文明の影響を受けてゐることが明らかに表はれてゐる。マランに於ける寺院の裝飾などは其の一例で龍だとか虎などの彫刻が支那式であることをジエー・エフ・シユルテマ氏の Monumental Java に記してゐる。南洋を歩いて見て支那人の多い

こと、從つてその勢力の偉大なるには話しに聞いてゐながらも深く感ぜしめられるのである。彼等の本國は地圖でこそ劃然と線が引かれ、色が塗られてゐて如何にもはつきりしてゐるもの丶如くであるが、あの樣に尨大にして行けば殆んど果しても知れぬ一つの「世界」の樣で、日本や佛蘭西といつた國の樣にハツキリと區切りがない。夫だから爪哇とかシヤムとか日本人から見ればエライ異つた遠い所の樣であるが支那人は意識の上でさう異つた所といふ心持はしてゐない。例へば廣東の人間には滿洲といふもスマトラといふも同じ樣に感ぜられるのである。日本人はさうは行かぬ、靜岡の人が北海道のことを思ふが如くにボルネオとかシヤムとかに對してアツフイニテイを感ぜぬ。汕頭や海南島あたりからシヤム方面に澤山出稼が行くが彼等は越後の男が信州邊へ米搗に行く程にも思つて居るまい。國家意識の强いのも結構だが海外發展といふ點に於てはもう少し國境の高さを低く思ふ樣にならねばなるまい。

卒業生坂井君の好意で夜は或る大支那料理店で晩餐の饗應に預る。夫人は熊本縣の人、夫君を助けて南洋の生活に甲斐々々しく働いて居らる丶。臺銀の小田君も見えた、同君も臺北中學で緣を結んだ、同君の嚴父は曾つて南洋にセメントを入れ始められた人と記憶する。十年の昔に歸つて過ぎし日の思ひ出話しに花が咲いた。

宿に歸つて風呂場に行き風呂を使ふ。南洋の風呂は一種特別である。日本人の宿屋には日本風の風呂場のあるところもあるが大抵はない水を浴びるのだ。水槽があつてもそれには入るのではなくして小桶の如きもので汲み出してかぶるのである。づんぶり漬からぬと風呂には入つたやうな氣のしない吾々はどうも物足らぬ。夫に湯のある所は少なく、大槪は水だけであるから猶更だ日本人はやはり入浴民族である。この水を使ふことをマレイ語でマンデイといふが、バタビア市中の人などは町に流れてゐる汚ない泥水の河の中には入つてマンディをやつてゐるものが多い。而かもその中で大小の用事迄も便ずるといふのであるから不潔も亦甚だしい。夫であまり流行病も多くないといふのであるから不思議である。女な

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

どもよくやつてゐる。然し決してサロンを脱がない。著のみ著のまゝでマンデイをする譯だ、彼等は又決して身體を拭かぬ。濡れたまゝで着物を着る。爪哇あたりへ行つてタオルの商賣をしやうと思ふ人はおよしなさいである。その濁り江でもつて又よく洗濯をしてゐる。臺灣の婦人と同じ様だあの汚ない水で着物が洗濯出來るのから知らと怪しまれる。

方々へはがきなど書いて例の南洋式ベッドの中には入る。宿屋によつてはベッドの中に小さい箒が置いてある所がある。初めは之は寢床を掃除しろといふことかと思つてゐたが段々聞いて見ると蚊帳の中に蚊がは入つてゐるから之でハタキ出してから寢なさいといふことだと分つた。爪哇第一夜の夢は圓かであつたが四角であつたかは自らも覺えずに寢込んでしまつた。

翌日は久しい航海の疲れに少しゆつくりすることにする。

十九日は朝八時の汽車でウエルトフレーデン驛を立ちバンドンに行く。停車場にはかなりの群集がゐた。土人の巡査が何人もゐる。之等の巡査は吾々を捕縛する權力を持たぬのださうだ。政府では歐洲人と土人とを區別して取り扱つてゐるが日本人は一等國として歐洲人並に扱つてゐる。支那人は土人並に扱はれてゐる。屢々日本人と同様歐洲人並の取扱を受くるやう運動するさうであるがまださうは行かぬさうである。停車場前には自働車、馬車が雲集してゐる。こゝには人力車はない自働車も馬車も非常に安い、否之が當り前で日本が高すぎるのであらう。ショーファーでも馬丁でも大人しい土人であるから良い加減にやつて置けば少し位愚圖つても臺灣の車夫のやうにシツコク強請はせぬ。大抵皆自動車で出動し自動車で歸へるといふ風だからこゝでは靴が一向減らぬといふことである。汽車は耳に熟せぬ地名の驛に著きては過ぎ過ぎては著き、ひた走りに走る。或は護謨園或は椰子林、或は水田、見ゆる景色は日本のそれと全く趣きが違つてゐる。田舍の家々は皆小さつぱりしてゐて庭先などよく掃除がしてある。バンドンには十二時頃著く、日本人會や有馬洋行の方々に迎

へられて馬車を驅つてホテルに行く。ホテルはホテル・スマトラといつて和蘭人の經營である大した大仕掛のホテルではないが西洋人も大分泊つてゐた。自分の部屋には外から勝手に出入りが出來る、卽ち一つの玄關から各自の部屋に行く樣にはなつてゐない。何だか用心の悪い様な氣がする、然し各室のドーアの鍵は室々に附いてゐるから之を掛けて外出すれば誰もは入れぬ譯だ。晝食は食堂で取る、料理は普通の歐米式とは違ふ、口に合ふものもあり合はぬものもある。南洋に有名なライステーブルが出る何だか知らぬが色々のものを飯にまぜて食ふのである。御亭主にお神さんが自ら采配を振つて指揮してゐる。此邊のホテルは三食付の値段であるから割方安くつく。

食後見學に出かける。日本人會の本田氏の案内で馬車數臺に分乘、あちこち見て廻る。バンドンは爪哇の眞中邊に在つて謂はば中京であるが又高地に出來た町であつて日本でいふと松本とか甲府とかいふ樣な所である。從つて氣候も涼しく、自分等の泊つた晩なども寒い位であつた。爪哇の軍隊は多く此所に駐屯してゐる。爪哇の何れの土地にも軍隊を輸送する中心の點となつてゐるからであらう、政廳もこゝに移さるべしとの議がある。こゝの住民はスンダ民族であつて東部又西部のものとは違ふ。臺灣でいふと臺中に似てゐて土民一般に裕かで人氣に活氣がある。昨年の共産主義者ストライキ問題の時もこの邊の人間が多かつたさうである。

キナの工場がある。見たかつたが元來秘密主義の和蘭政府のことでもあり世界キナ需要の大部分をこゝから出す重要なる産業であるので何人にも見せぬといふことである。

山手の高燥なる所に高等工藝學校がある、一種獨特の樣式の建築で東洋風を取り入れたのださうであるが一寸日本の寺院に似てゐる。爪哇で名所の一つに數へらるゝのだといふ。こゝより遠くマラバルの高原を望む、自動車で數時間驅け巡つて見る程の廣い茶園があるのださうだが見に行く時間と費用のないのを恨んだ。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ホテルの主人は英語が話せるので明朝は五時二十五分發の汽車で立つ故朝食は四時半に用意出來るやう依賴して就寢。

二十日(水)　四時に起きる、主人は約束通り自ら起き出でて、朝食の用意を指圖してゐた。お神はあとから起きて來る電燈の光りで朝食を濟ませた。

爪哇のホテルで朝食といふのは大抵トーストパンにコーヒ位で夫に卵や果物を附ける所もある極めて簡單なものである。

バンドン發の汽車はタピオカの畑や廣い椰子園やゴム林を縫うて走る。タピオカを植ゑたあまり大きい畑は見えぬ、カポクの木も所々にあつたが爪哇の産物の一つとしては木の數が少ない。

中食は汽車の中で取る。サンドウイッチは何所にもあるだらうと思つてボーイにさう云て見ても分らぬ。汽車の中ではナシゴリンが一番日本人に分り易くてよいといふので一行はナシゴリンを取ることにきめる。ナシゴリンはライステーブルの事で飯を主材料に種々の物を混ぜるのであるが汽車の食堂で作るものは極めて簡單明瞭すぎる程のものだ。肉片の如きは餘程注意せぬと發見するに困難である。それも價格は金五十錢で日本の上等辨當よりは高い。食堂には勿論普通の洋食が之も相當に高いから生徒の修學旅行の切りつめた經費では豫算が許さぬ。引率の先生も困苦缺乏を共にせねばならぬからこの簡單明瞭なナシゴリンと一杯五錢の水とに飢を凌ぐ。かうすれば汽車旅行は安いものだ。千八百六十一年、アルフレツド・ラッセル・ウオレースが爪哇を旅行した時には「爪哇は非常に贅澤な旅行が出來るが又非常に高い旅行で、馬車を雇ふか借るかするより外の交通機關なく、驛馬には一哩に付半クラウンを要した」のであるが汽車が出來てからはバタビアからスラバヤまで二等二十六盾、一等でも三十九盾、三等ならば十三盾で爪哇が縱斷出來る。自動車でも二十五哩を往復五十哩も乘つて二盾で二十五盾拂つたことがあるが一里二十五錢にしか當らぬわけだ。汽車の賃銀も近頃安くなつたもの

か千九百十二年の序文日付を持つてゐる米國スミソニアン・インスチチユーションの派遣旅行者イ・アール・スキドモーアの爪哇旅行記にはバタビアよりスラバヤ迄五十グルデン（$二〇）と記してゐる。此の鐵道の最初の線の開通は千八百七十五年で全島の貫通は千八百九十四年十一月に成つたらしい。バタビアからスラバヤ迄はバンドンを經て南から行く全通官線と北の方を通る官線と私線の連絡線がある。官線の全延長は今日二千二百キロ米突以上を有するがバタビア——スラバヤ間は九百四十キロ米突、哩數にして六百哩弱である。爪哇の汽車は夜走らぬから是非共途中で泊らねばならぬ。官線によるものはバンドンに泊ることになるのである。夜汽車を運轉せぬ理由は色々の人に聞いて見ても判然せぬ。或は迷信によるといひ或は經濟上の都合によるといふ。スキドモーアの書物には汽車の運轉は土人がやるのだが土人の技量を信用せぬ和蘭人は用心して夜間の運轉をさせぬのだといつてゐる。南洋は晝間暑い所で働くのであるから夜間はゆつくり休んで樂しむ方がよい。何もさう晝も夜も苦しまんでいゝといふ樣な所から來てゐるのではなからうか、商店などでも西洋人の店は朝八時頃から十二時迄開いて二時間程休み、又三時間開いて夕方から再び店を締めてしまう。汽車を夜間動かせば驛長とか車長とかをやつてゐる和蘭人もやはり休めない譯だから夜汽車はやらないのではなからうか、近年夜汽車運轉の說が其筋でも持ち上るさうだが何時も否決さるゝさうである。南洋に於ける彼等のやり方は大概さういふ風で極めて呑氣にやつてゐるが其間に能率を上げて要領を得て行くらしい。そこへ行くと日本の商人などは夜も商賣する支那人をさへ向ふに廻して競爭せねばならぬから朝早くから夜遲くまで勉强するといふ有樣である。

午後一時四十二分ジヨクジヤに著、南洋商會の齋藤氏に迎へられてホテル・スラメットに投宿、時間がないから直ちにブルボドルの佛跡を見に行くことにする。仍ち自動車二臺に分乘、齋藤氏の令弟に案内せられ郊外二十五哩を疾走すること一時間にして目的地に達する。歩けば一日を要すべく馬車にした所が往復一日は要するであらう。それを午後の三時頃か

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ら出かけて行つて見て來れるのであるから文明の利器は有り難いものだ。

ブルボドル又はボロブドルは日本人が日本人から聞いた名で土俗果してどういふ發音で此の舊跡を呼んでゐるのか知らぬ。羅馬綴りも色々で Boro Budoor, Boro Boedor, Borobodo, Borobudur 等まだ外にもあるやうだ。ボロブドルの語義に就ても諸說紛々で一致してゐない。ルールダ・ファン・エイシンガは圍はれた一廓を意味する語から轉訛したといひ、ボロブドルの發掘者ラッフルスは Bara Buddha (大佛)からの轉訛であるとなし、故暹羅王は世人の言ふが如く數多の佛といふ意味でないとすれば佛の軍勢(靈の)といふ意味だと言つてゐるが孰れも單なる憶測に過ぎず遺憾なく學者を首肯せしむるに足る說はまだ出ぬらしい。一寸小高い所に築造されたる此の大佛跡はかなり遠くから之を望見することが出來るがラッフルスが發掘する迄は世人其の存在を知らなかつたものである。ナポレオン戰爭の當時和蘭がナポレオンに拮抗し得ずして此の彪大なる蘭領が佛の手に歸せば英は其の東洋に於ける地位を脅かさること頗る大であるから千八百十一年英は取り敢へず、爪哇を占領し千八百十六年迄五年間之を統治し新嘉坡の創設者として有名なるサー・スタムフォード・ラッフルスが總督として此地に臨んだ。其の在任中彼は和蘭人のやらぬ色々の事をやつたが、爪哇の古史を調べて大佛跡の存在を推知し種々探索の結果千八百十四年に當時土砂草木に蔽はれ全く人の目に觸れずして忘れられてゐた大遺物を發掘したのであつた。之に要した苦力二百人四十五日間であつたといふ其後の復舊修理は此の外である。和蘭は所謂カルチユア・システムにより搾取之れ勤め出來る丈多くのグルデンを集めることにのみ夢中になつて往古に於てヒンヅー文明に育まれたる爪哇が今日驚嘆に値する程の文化の華を咲かせてゐたことを知らなかつた。ラッフルスの新嘉坡創設は英國の爲の大遺業とするとも露骨なる帝國主義の發現として一寸厭な感じも起るのであるが、爪哇に在職五年にして和蘭人が數世紀に亘りて爲し得ざりし事を爲した此の文化事業はアングロサクソンがリアリスチックである一面に於てアイデアリスチックの興るか

しい氣品を具へてゐることを示すものでかの南阿の奇傑セシル・ローズが兄と二人でダイアモンドを掘るべくバケツを一方に片方にはギリシア語の書物を釣りさげてアフリカに出稼ぎに行つたといふ話を思ひ出さずにはゐられぬ。あの實際主義な國であり乍らクラシックに重きを置いて紳士養成を目標として教育する學校のやり方はリアリズムとアイデアリズムの調和がよく取れて深みと廣さのある人間が出來るやうになつてゐる。我國でも小さく薄つぺらな奥行のない人間を濫造せぬやうにせぬと東洋の君子國も危くなる。アングロサキソンが其の行詰りを喰せられ乍らも今日迄偉大であり今猶偉大さを維持してゐる所以が分るではないか。

建築の全體は石を積み重ねて造つたものでセメントや漆喰は用ひてない。一番土臺の所は五百三十一呎四方でそれから上へ段々狹く五段の階段を成し四方の中央の所に門があつて石段を登つては次の段に上るやうになつてゐる各階の四壁は左右共に美事なる彫刻が一面にしてあつて之を外して一列に竝べるとすると延長二哩を越すといふ。之を各階グルグルと見て歩くのは只歩く丈も可成の時間を要する。各階の壁に總計四百三十六の龕があつて其の中には釋迦牟尼佛の像が蓮の臺の上に禪座まします。五つの四角な階段が終ると其の上は圓形の階段が三つ重つてゐて此の上にも登つて廻ることが出る此の圓形の段には最下に三十二、中段に二十四、最上段には十六箇の斜格子に中を透かしてゐる釣鐘樣のダゴバがあつて其の中には矢張釋迦牟尼佛の像が安置してある。總計七十二ある譯だ。全體の中央には大きな一つのダゴブがあつて之が一番頂きになつてゐる。直徑五十呎、全體は實に一つの小山の樣な建築物である。而して其の無數の彫刻の立派なることは驚くべきものでサー・スタムフオード・ラツフルスが「ボロブドルの前には埃及のピラミッドの如きは物の數でない」といひ、アルフレツド・ラツセル・ウオレースが之を見て「爪哇の古遺跡の數と美とは中央亞米利加及印度の夫をすらも凌過す」となし、ヘルブルムンドやフアーガツスンが佛教藝術の最たるものと激賞してゐるのも決して溢美の言ではない。

ボロブドル建設の年代は明らかではないがケルン教授は西紀八百五十年頃のものとしてゐる。佛教に先立つて波羅門教が早くより爪哇に入つて來たらしいのであるが其の後阿育王の外國傳道會議の結果佛教も亦爪哇に輸入された。

爪哇の記錄によれば紀元六百〇三年にグジエラット王百六十隻の船に五千の人を乘せて來りマタラムに上陸、此處に又グジエラット人二千人を合し茲に波羅門王國に次いで一大佛教國が建設されたのである。紀元六百五十六年の年代のは入つてゐる碑文がスマトラに發見されそれにヂャニ Dhyani 五佛の歸依者七階のヴィハラ(僧院)を造營して之を祀りしプラタマ(大爪哇)王マハ・ラジヤ・アディラジヤ・アディチヤダルマといふ文字が見えるのでボロブドルの寺院が即ちこの王の建てたものであらうといふ說もある。兎に角紀元七世紀八世紀九世紀を通じて佛教は爪哇に榮えたのは明らかであるからボロブドルも此の間に出來たものには相違あるまい。各階無數の彫刻は實に釋迦の一代記を詳細に表はしたもので、純佛教的のものである。中央の最も高いダゴブは一體何だらうと考古學者の頭腦をしぼらせたものであるが阿育王が佛教宣傳の爲佛骨を納めた印度の八つのダゴブのうち七つを開いて之を八萬四千の函に分納し之を各方面に頒つた。之を得た所では大抵之を一つのダゴブの中に納め之を中心として一大建築物を作るのが例であるからボロブドルの夫も恐らくそれだらうといふ說がある。暹羅にあつた佛骨はその一部分を頒つて日本に贈られ今は名古屋に納められてあることは世人の知れる所である。

ボロブドルの此の宏大なる石造建築物が長い間草木土砂の中に埋もれて人に忘れられてゐるといふ事に就ては種々の說がある。或人は回教の侵入の共に回教徒が埋めたのだといひ或人は佛教徒が回教徒の破壞せんことを恐れて自ら之を土砂を以て蔽ひ逃走したのだといふ。千四百七十五年より七十九年にかけコーランと劍とを提げた回教徒が猛烈な勢で侵入し來つたことは疑れもない事實である。然し爪哇の佛教は九世紀迄で其藝術も宗教も十世紀には既に衰亡期に入つたのであ

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

る。デワ・コンウミ王は佛教の再興を志し其の四王子と一王女とを印度に遣して其の宗教と藝術とを研究せしめ頓て王子王女は業成りて後多くの技術師、軍人、種々なる品物を携へて歸國したが國民は既に漸く波羅門教に迎へりて最早其の寺院を顧みなくなつてしまつてゐた。從つて十五世紀に佛教徒が非常な勞力を費やして寺院を保護しやうとしたなどは想像の出來ぬことである。偶像教を憎む回教徒が寺院の湮滅を謀つたといふことは考へられぬことでもないが夫ならば外の所もやりさうなものなにさうでないのは少し訝しい。千八百十四年及び千八百三十四年に各階を埋めてゐる土砂を拂ひ除けたのであるが其の時の土砂を調べて見るとメラピ山の噴火による火山灰と同性質のものである事をルールダ・ファン・エイシンガが書いてゐるさうである。まだ完成してゐない彫刻が發見されたのであるが恐らく今少しで完成といふ時分にすぐ附近なるメラピ山が爆發して或はそこに技術者も死に全體が噴出された土砂に蔽はれたのではなからうかといふ人がある。今の所之が一番信じ易い說のやうである。

此大紀念塔の傍にはパサングラァン(宿泊所)が設けてあつて滯在して研究するものゝ便に供してある。その道に造詣ある人が此處に泊り込んで仔細に調べたら興味と益する所が多いであらうが我等の如き通り一遍の旅客が一時間位でチョコ〳〵と見たのでは話しにならぬ、二哩もある廻路を歩く丈の時間もない位である。

此天下の珍寶とも謂ふべき建築物がラッフルスによつて發掘されたのはよかつたが、其の後和蘭政府の保管法が適當に講ぜられなかつた爲或は佛像の首を腕ぎ、或は面白き彫刻の石を引き拔き等してあたら古人の傑作が各所に乘なしに破されてゐるのは如何にも惜しいものである。時々やつて來る旅行者が手頃のものをあつち取りこつち取りするのもあり。相當地位ある人が和蘭官憲に請ふて善さゝうなのを紀念に持つて歸へるのがあり或は土人が勝手に恰好のよい石を引摺つて行つて家の土臺石にしたり言語同斷なる藝術冒瀆が行はれた。前暹羅王チュラロンコルン陛下も和蘭官憲の了解の下に半

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

車八釜分を持ち歸へられたといふ。今日でこそ八釜しく取締つてゐるが當時のお役人の無茶さ加減が恨まれる。今は見物人があると監視人が附いて歩くことになつてゐる。

薄暮宿に歸へる。ホテル・スラメットは支那人經營の餘り綺麗でない宿屋である。曾て南洋を旅行した同僚が南京蟲に襲撃せられて困つた話をしてゐたことを記憶してゐるので必定かういふホテルでの事であらうと豫て用意の蚤取粉をベッドの周圍にウンと播き蚤取粉の城壁を以て身體を繞らした譯だ之なら大丈夫と思ひ乍ら夫でも何だか薄氣味惡く身體を縮めて寢る。蟲がゐないのか藥の效能か兎に角話しに聞いた樣に夜中に飛び起きるやうなことはなかつた。

ジヨクジヤの町を通る人は日本人の大商店富士洋行の存在に氣付かぬわけには行くまい。大きな店舗の屋上には大きく羅馬字の屋號が何人の眼にも付くし又店の前の廣いペーヴメントにもペンキで屋號が表はしてあるのに氣付く。此店の主人公は澤邊磨瑳男といふまだ五十にならぬ男ざかり、腕一本で敲き上げた南洋の成功者、確かに實業立志傳中の人である。此の人ジヨクジヤを訪るゝ修學旅行隊をいつも變らず厚遇せられる。ボロブドルを見た翌日二十一日は澤部氏所有の大自動車に一行を乘せ自ら市中各地を案内せられた。

ジヨクジヤは實は略名で本當はジヨクジヤカルタといふ。此處と後に記すソロ卽ちスラカルタとは元獨立王國であつたのであるが今は王に元の稱號や儀容を許し年金を與へ政事の實權は知事(レシデント)が握つてゐる。ジヨクジヤの王はソルタンといひソロの王はスウナンといふ、王城はクラトンと言つて町の中央に一哩四方程の構へを爲してゐる。自動車で此の王城の前を通つて其の概觀を眺め更に進んで市中舊跡の一つタマンサリに行く。タマンサリは外人之をウオーターカッスル(水城)といふ。之は十八世紀に葡萄牙の技術家が當時のソルタン・マンコ・ブニ大王の爲に設計して造つたものだといふ。印度の諸王はよくかういふのを持つてゐたものださうであるが建物は地上より地下に及び地下の各室は或は段をなし或は

廻廊を爲し熱帶の王族が涼しき住居としては理想のものであつた。今は水のある所は極めて小部分であるが昔は一杯に水を湛へる樣になつてゐたものである。禮拜所も地下にあり、王と王妃の寢所も窖窟の中にある。構造は奇異にして宏大なものであるが今や年古くて有りし日の俤はなく數回の地震、殊に千八百六十七年の大地震等に塔倒れ墻崩れ壁毀ち石落ちて破れし屋根には草茂り缺けたる柱に苔蒸して哀れ淋しき廢墟の姿榮古盛衰を餘りに露骨に物語つてローマンチックな氣分は八重葎茂り合へる庭の隅々迄漂うてゐる。妃擇びの池とも言ふべき池がある餘り大きからぬ長方形の池で池に突き出た東屋風の王の玉座がある。娘年頃になる時は王城に上げて此の池にマンデイをなさしめる。王は之を玉座より御覽じてお氣に召したのを官女に上げられたものだといふ花咲き出でし妙齡の乙女が王の御目に止まるべく脂粉を凝らしてうら恥かしき肌を此の池に浸せしもの幾千ありしか。今は唯綠の浮草表を蔽ひ蛙の聲も哀れに水蓮の花一つ二つ悲しく咲いてゐる。バイロンをして此處に遊ばしめばチアイルド・ハロルド東洋の卷を物したのであらう。乏しき心も詩情頻りに動くを覺えた。ハマンク・ブウオノ王が多數の妃を侍らせて玉舟に棹さしめしつ湖城の月を賞せし日も思ひやられる。マタラム王國漸く衰微し和蘭の勢力遂に動かすべからざるに至つた或日「雷大將」と綽名されし悍將デンデルスは時のソルタン・ハマンク・ブウオノ第四世に面會すべく時しも王の留連せる水城へと押しかけた、然るに佚樂に耽つて約束の時間來るも容易に王が會はうとしないのに業を煮やしたデンデルスはいきなり王の家來共の居る中を闖入して隧道の中に驅け入りソルタンの片腕を引つ摑んで和蘭の本營に引張り込んでそこで談判したといふ話しがある。又或說には怒り狂つた將軍は隧道を潜り階段を驅け下つて落つる瀑水の涼しい張（こほり）を前にした王の寢所に躍り込んで寢たる王をベッドから引き摺り出して本營に連れて行つたのだともいふ。

水城の屋敷内にはそこゝに陋屋があつて人が住んでゐる。士族だといふ事であるがサロン染の手内職をてゐるらしく

何枚も小さな家の前に干してある所があつた。

澤部氏は自宅は本通を少し横に入つた所に持つて居らるゝ。水城を見終つて此の自邸に導かれ晝餐を御馳走になる。應接間には古い大きな支那製の壷などが置いてある。ジョクジャ附近今のボルブドルのあるあたりかけて一帶の地域は古の文化の跡であるので其の邊を掘つて出たものが多いといふことである。かうして掘り出したり土人の持つてゐるのを買つたりして佛像なども澤山庭に置いてあつた。古い時代の支那製の皿や壷や又佛具なども示されたが何れも骨董家の垂涎禁ずる能はざるものであつた。三越などに驚くべき高い値が付いて出てゐる爪哇更紗は帶地でも卓子掛でも頗る珍重さるゝものであるが富士洋行は其の日本向のものを製造してゐる。澤部氏の自宅の邸内に工場があつて多數の女工や男工を使用してやつて居らるゝのを見せて貰つた。男子の專門の技術者が下繪を書くとその上を白く拔く所丈蜜蠟で埋めて行くのが女工の仕事である。萬年筆位の大さの竹の管に火に熔かした蠟を盛りその尖端に細い管が出てゐるがそれから蠟を垂らして宛も筆で書くやうに細い所でも埋めて行く。此の道具をチャンテンといふ。藍と茶色とを使へば之れが二重に行はれねばならぬ。それが細かい所を一々蠟で描いては染めるのであるから帶地一本を作り上げるのに細いものになると何箇月もかゝる。地は更紗でも高くなるのは當然であると思ふた、此の頃は羽二重にやるのもある。

澤部氏は午後再び一行を自動車に乘せてブランバナン(又はプランバナン。Brambanan 又は Prambanan と綴る)に案内してくれられる。今度は澤部氏の小さいお孃さんと、も一人のお孃さんが一緒だ六つに五つ位であらうか。自動車の中には笑ひの聲がしげくなる。二人共爪哇語が達者なのでこちらは閉口一寸御氣嫌を伺ふ事が不可能だ、お父樣は二人の世話を一切されて會話は全部爪哇語でされる、子供の好きな自分も一寸手も言葉も出せぬ。自動車は二十餘哩を走つてプランバナンに着く。こゝはボロブドル程規模は大きくないが彫刻の美はボロブドルを見た眼にも感心せしめられる。チャプテン・ジョー

ジ・ベーカーはラッフルスに報告して曰く「此の一小地點(ブラムバナム)の如く人力と科學と趣味の宏大にして完成せる標本にして而かも多年世に忘れられしを見たることなし兵語を以て之を謂へば之爪哇に於ける印度敎の本營なりしなるべし」と。ボロブドルの佛跡は佛敎の藝術であつたがブランバナンのチャンディ(紀念物)は印度敎のそれである。前にも一寸言つた通り佛敎は九世紀に衰へて漸次國民は再び印度敎に逆戻りしたのであるからブランバナンの建築はボロブドルの夫よりも新しくなければならぬ。人或は九世紀の初頭に出來たものとなすものがあるけれども十一世紀に出來たといふ說の方が眞に近かゝらう。此處の遺跡を土人はチャンディ・ロロ・ジョングランといふ、ロロ・ジョングランは土人の崇拜する女神で印度に於てデヴ・ドウルガ・カリ、又はパルヴティといつて崇拜してゐる所のものである。(つゞく)

大正十四年本島對內地外國貿易外收支調

財務局金融課

大正十四年中ニ於ケル貿易外ノ原因ニ依ル對內地外國收支關係ハ（本稿ニ於テハ別稿中田金融課長ノ筆ニ成ル論文ト異リ調査洩レヲ豫想シテノ一割加算額ナルモノヲ加ヘズ）

受取勘定經常ノ部		二〇、五四五、二一〇円
同	臨時ノ部	八一、六五二、九三九
計		一〇二、一九八、一四九
支拂勘定經常ノ部		六九、一〇三、二五七
同	臨時ノ部	三七、〇二三、三八六
計		一〇六、一二六、六四三

ニシテ

經常部支出超	四八、五五八、〇四七
ヨリ臨時部收入超過	四四、六二九、五五三
ヲ差引タル金額	三、九二八、四九四

ハ本島對內地外國貿易外支出額ナリ

又同年中ニ於ケル貿易表上貨物ノ出入關係ハ

輸移出合計	二六三、二一四、六五一
輸移入合計	一八六、三九五、三四〇
差引出超額	七六、八一九、三一一

ニシテ

前記貿易外支出	三、九二八、四九四
ヲ貿易表上出超額	七六、八一九、三一一
ヨリ差引タル金額	七二、八九〇、八一七

ハ本島ノ對內地外國總收支關係ニ於ケル收入超過額ナリ

更ニ此ノ關係ヲ對內國及外國ニ區別スレバ

內國ニ對シテハ

貿易外受取勘定經常ノ部	一八、八四七、四〇一
同　臨時ノ部	七六、六八七、九五九
計	九五、五三五、三六〇
貿易外支拂勘定經常ノ部	六五、二二八、六四九

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同　臨時ノ部	三七、〇〇〇、一七四
計	一〇二、二二八、八二三
差引貿易外支拂超過	六、六九三、四六三
貿易表上移出合計	二一五、二四八、八〇七
同　移入合計	一二九、九〇六、二八〇
差引出超額	八五、三四二、五二七

ニシテ

前記貿易外支拂超過	六、六九三、四六三
ナ貿易表上出超額	八五、三四二、五二七
ヨリ差引タル金額	七八、六四九、〇六四

ハ本島ノ對內國總收支關係ニ於ケル收入超過額ナリ

外國ニ對シテハ

貿易外受取勘定經常ノ部	一、六九七、八〇九
同　臨時ノ部	四、九六四、九八〇
計	六、六六二、七八九
貿易外支拂勘定經常ノ部	三、八七四、六〇八
同　臨時ノ部	二三、二一二
計	三、八九七、八二〇
差引貿易外受取超過	二、七六四、九六九
貿易表上輸出額	四七、九六五、八四四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

同　輸入額	五六、四八九、〇六〇
差引入超額	八、五二三、二一六

ニシテ

前記貿易外受取超過	二、七六四、九六九
ト貿易表上入超額	八、五二三、二一六
トヲ差引タル金額	五、七五八、二四七

ハ本島ノ對外國總收支關係ニ於ケル支出超過額ナリ

尚貿易外ノ原因ニ依ル經常的收支關係ノミヲ見ルニ

受取勘定	二〇、五四五、二一〇
支拂勘定	六九、一〇三、二五七
差引支拂超過	四八、五五八、〇四七
貿易表上輸移出	二六三、二一四、六五一
同　輸移入	一八六、三九五、三四〇
差引出超額	七六、八一九、三一一

ニシテ

前記貿易外支拂超過	四八、五五八、〇四七
ヲ貿易表上出超額	七六、八一九、三一一
ヨリ差引ク時ハ（收入超過）	二八、二六一、二六四

トナル

更ニ貿易外ノ經常的收支關係ヲ對內國及外國ニ區別スレハ

內國ニ對シテハ

受取勘定	一八、八四七、四〇一
支拂勘定	六五、二二八、六四九
差引支拂超過	四六、三八一、二四八
貿易表上移出	二一五、二四八、八〇七
同　移入	一二九、九〇六、二八〇
差引出超額	八五、三四二、五二七

ニシテ

前記貿易外支拂超過	四六、三八一、二四八
ヲ貿易表上出超額	八五、三四二、五二七
ヨリ差引ク時ハ(收入超過)	三八、九六一、二七九

トナル

外國ニ對シテハ

受取勘定	一、六九七、八〇九
支拂勘定	三、八七四、六〇八
差引支拂超過	二、一七六、七九九
貿易表上輸出	四七、九六五、八四四
同　輸入	五六、四八九、〇六〇
差引入超額	八、五二三、二一六

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ニシテ
前記貿易外支拂超過　二、一七六、七九九
ニ貿易表上入超額　八、五二三、二一六
ヲ加フル時ハ（支拂超過）　一〇、七〇〇、〇一五
トナル

大正十四年貿易外收支對照表

經常的受取勘定	
第一 本島諸官衙島外收入	**一四、七〇三**円
一、諸官衙島外收入	一四、七〇三
第二 島外放資ニ對スル利子受入	**三、二四三、八八四**
二、外國政府公債利子	二、二三三
三、本邦國債利子	五二四、四四八
四、外國地方債社債利子	—
五、內國地方債社債利子	一、七二三、一九八
六、其他外國有價證券等利子及配當	—
七、其他內國有價證券等利子及配當	五八二、七二二
八、郵便貯金利子	四一一、二八三
第三 本島事業島外利益	**二、〇八四、九三〇**
九、外國ニ於ケル營業純益	四七四、二四九

經常的支拂勘定	
第一 本島諸官衙島外支出	**七、四八五、二八一**円
一、諸官衙島外支出	七、四八五、二八一
第二 本島放資ニ對スル利子支拂	**一九、七六七、五五七**
二、社債利子	二、三七三、九九六
三、借入金利子	七九四、六六八
四、配當金	一六、五八七、二七九
五、預金利子	一一、六一四
第三 島外事業島內利益	**一八、一〇〇、二四一**
六、外國人ノ營業純益	二四六、八三五

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十、內國ニ於ケル營業純益	一六六、六七三
十一、海外出稼人ノ仕送及持歸金	六三五、九五六
十二、內國出稼人ノ仕送及持歸金	八〇八、〇五二
第四 海運關係收入	四、八四七、四九三
十三、島外船舶需品購入代	四、三〇四、〇二四
十四、艦船修繕代	五七、四四一
十五、噸稅及水先案內料	九一、二九八
十六、汽船會社支店經費	三九四、七三〇
第五 保險關係收入	四、一一二、〇九九
十七、本島保險會社島外收入	二、四三七、六一八
十八、外國保險會社ヨリ收入	|
十九、內地保險會社ヨリ收入	一、六七四、四八一
第六 外國人及內國人島內消費	五、〇一一、〇六七
二十、來遊者消費	一九、八二七
二十一、艦船乘組員消費	八九五、八九六
二十二、留學生消費	八九、一九〇
二十三、布教費	六一、七六一
二十四、外國公舘島內經費	五五、七八〇
二十五、本邦陸海軍諸官衙島內支出	三、八八八、六一三
第七 特別貿易品收入	八七八、七四七

七、內國人ノ營業純益	九、二六五、三九四
八、外國人ノ仕送及持歸金	一、一八七、八二七
九、內國人ノ仕送及持歸金	七、四〇〇、一八五
第四 海運關係支出	六、九五〇、二一一
十、輸移出入貨物運賃	六、一九八、〇九三
十一、旅客運賃	七五二、一一八
第五 保險關係支出	五、三九〇、九二二
十二、本島保險會社島外支出	二、三二二、〇一五
十三、外國保險會社ニ支拂金	|
十四、內國保險會社ニ支拂金	三、〇六八、九〇七
第六 本島住民島外消費	三、九八一、〇五四
十五、外國旅行者消費	三〇一、四七四
十六、內國旅行者消費	二、四四二、三〇〇
十七、私費留學生消費	一、二三七、二八〇
第七 特別貿易品支出	二、二六七、一一〇

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二十六、移出品代	八七八、七四七
第八 其他	**三五二、二八七**
二十七、廣告料收入	三五二、二八七
計	**二〇、五四五、二一〇**

臨時的受取勘定

第一 島外資本流入	**四四、〇八六、〇九九** 円
一、本島社債株式賣渡	三、〇七七、〇二九
二、本島社債募集	一五、〇〇〇、〇〇〇
三、本島株式拂込受入其他	一八二、九二七
四、借入金借入	一八、四一八、三六七
五、銀行資金內地ヨリ流入	七、四〇七、七七六
第二 島外放資回收	**三七、五六六、八四〇**

十八、移入品代	二、二六七、一一〇
第八 其他	**五、一六〇、八八一**
十九、寄附金其他送金	五〇、七七一
二十、廣告料支出	二五、三四七
二十一、內國ニ於ケル營業損失	四、六一〇、六三七
二十二、外國ニ於ケル營業損失	四七四、一二六
計	**六九、一〇三、二五七**

臨時的支拂勘定

第一 島外放資	**一六、四五一、三四〇** 円
一、外國政府公債應募及購入	—
二、本邦國債應募及購入	一、五一五、五六九
三、外國地方債社債應募及購入	—
四、內國地方債社債應募及購入	一、一二七、一八六
五、外國株式拂込購入其他	—
六、內國株式拂込購入其他	二、三一六、七一一
七、郵便貯金預入	九、六五四、四〇九
八、銀行資金內地へ流出	一、八三七、四六五
第二 本島放資回收	**二〇、五七二、〇四六**

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

六、外國國債償還及島外賣渡	二一五、五八一
七、本邦國債償還及島外賣渡	二、六六九、〇八二
八、外國地方債社債償還及島外賣渡	—
九、內國地方債社債償還及島外賣渡	一八、三四一、〇五〇
十、外國株式島外賣渡其他	—
十一、內國株式島外賣渡其他	二、二二五、二六四
十二、郵便貯金受出	九、五一四、二四三
十三、銀行資金外國ヨリ回收	四、六〇一、六二〇
計	八一、六五二、九三九
總計	一〇二、一九八、一四九

九、本島社債償還及買戻	二、七六三、八〇〇
十、借入金償還	一六、八四九、九八〇
十一、本島株式買戻其他	九五八、二六六
計	三七、〇二三、三八六
總計	一〇六、一二六、六四五

貿易外收支各年比較對照表

一、經常的受取勘定

△減

項目	大正十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	前年ト比較增減
	円	円	円	円	円	円
一、諸官衙島外收入	七九五、〇七五	一、三三六、二六一	三九、八八五	三二、三八三	一四、七〇三	△一七、六八〇
二、島外放資ニ對スル利子受入	一、三九九、〇七二	三、〇二九、八一八	一、七九六、一四三	六、八〇五、七九三	三、二四三、八八四	△三、五六一、九〇九
三、本島事業島外利益金	三、二四七、三二五	二、五九五、六八四	一、五六五、七四七	二、二三六、五六〇	二、〇八四、九三〇	△一五一、六三〇
四、海運關係收入	三、九九七、〇九二	四、三九〇、一四一	五、三二二、二七七	五、二九〇、七二三	四、八四七、四九三	△四四三、二三〇
五、保險關係收入	一、四四三、五九八	一、三三四、〇八七	一、一〇八、九八四	二、四八九、一五九	四、一二二、〇九九	一、六三二、九四〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

六、外國人內國人島內消費	三、一八九、九四二	六、一四一、四六三	五、〇六〇、八二一	五、〇九三、一九一	五、〇一一、〇六七	△八一、一二四
七、特別貿易品收入	一四七、一九五	三三一、六〇四	二九五、三二八	三四〇、四七〇	八七八、七四七	五三八、二七七
八、其他	五八〇、八九七	三四四、一八九	二七六、〇四五	三五二、三三三	三五二、三八七	五四
計	一四、八〇〇、〇九六	一八、一六九、六四七	一五、四四五、一〇九	二二、六三九、五一二	二〇、五四五、二一〇	△二、〇九四、三〇二

二、臨時的受取勘定

項目	大正十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	前年ト比較増減
	円	円	円	円	円	円
一、島外資本流入	五六、八四八、七九八	六七、八六〇、五八二	三八、七二一、〇四一	三三、一四五、八五九	四四、〇八六、〇九九	一〇、九四〇、二四〇
二、島外放資回收	二六、五三〇、五五一	五四、〇四五、二八八	一一、六〇八、三六四	一六、五六三、四九九	三七、五六六、八四〇	二一、〇〇三、三四一
計	八三、三七九、三四九	一二一、九〇五、八七〇	五〇、三二九、四〇五	四九、七〇九、三五八	八一、六五二、九三九	三一、九四三、五八一

三、經常的支拂勘定

項目	大正十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	前年ト比較増減
	円	円	円	円	円	円
一、諸官衙島外支出	四、七六一、八八四	六、八〇一、七五四	六、三三六、二八三	六、五二七、二五五	七、四八五、二八一	九五八、〇二六
二、本島放資ニ對スル利子支拂	一七、〇二一、一八二	一八、八二三、一九一	二四、九六四、五四六	二四、七一二、〇七九	一九、七六七、五五七	△四、九四四、五二二
三、島外事業島內利益	一三、七六六、一〇三	一三、六三九、五三七	一七、一三六、七四一	二四、三一九、二九七	一八、一〇〇、二四一	△六、二一九、〇五六
四、海運關係支出	七、九六〇、九九四	六、三一四、五〇七	七、六六四、九五九	六、九五〇、二一一	六、九五〇、二一一	―
五、保險關係支出	二、二七二、一四四	二、三九七、八〇九	二、五三一、六〇七	三、三七三、〇六〇	五、三九〇、九二三	二、〇一七、八六三

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	大正十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	前年ト比較増減
六、本島住民島外消費	三、五五五、一九六	三、七五三、〇九七	三、五二二、五九八	三、八一七、〇四〇	三、九八一、〇五四	一六四、〇一四
七、特別貿易品支出	三、四五六、一八九	三、〇一七、一六二	二、四八〇、七一三	三、五二八、一一三	二、二六七、一一〇	△一、二六一、〇〇三
八、其他	三、二三一、七三八	二八、一一二	二、二三三、五六八	五四、八〇〇	五、一六〇、八六一	五、一〇六、〇六一
計	五五、〇二五、四二九	五四、七六四、一六八	六六、八五一、〇一五	七三、二八一、八七五	六九、一〇三、二五七	△四、一七八、六一八

四、臨時的支拂勘定

項目	大正十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	前年ト比較増減
	円	円	円	円	円	円
一、島外放資	五、四三二、五五六	五一、九二一、七一一	二〇、五七二、四八八	二〇、四四九、二七一	一六、四五一、三四〇	△三、九九七、九三一
二、本島放資回收	一四、一六四、二八六	三四、七四〇、六九四	一九、九二二、二四九	二一、九五四、九九七	二〇、五七二、〇四六	△一、三八二、九五一
計	一九、五九六、八四二	八六、六六二、四〇五	四〇、四九四、七三七	四二、四〇四、二六八	三七、〇二三、三八六	△五、三八〇、八八二

受取勘定明細

一、諸官衙ノ島外收入

本島諸官衙ノ島外ヨリ收入シタリト認メラルルモノ下ノ如シ　一四、七〇三圓

二、外國政府公債利子

外國政府ノ公債及借款ニ對スル利子受入ト認ムヘキモノ下ノ如シ　二、二三三圓

三、本邦國債利子

本邦國債ノ利子受入高ト認ムヘキモノ下ノ如シ　五二一四、四四八圓

四、外國地方債社債利子

外國地方債社債及地方借款等ニ對スル利子受入高ト認ムヘキモノナシ

五、內國地方債社債利子

內國地方債社債等ノ利子受入高ト認ムヘキモノ下ノ如シ　一、七二三、一九八圓

六、其他外國有價證券等利子及配當

外國株式ノ配當外國會社又ハ個人ヘ貸付ノ利子等ノ受入ト認ムヘキモノナシ

七、其他內國有價證券等利子及配當

內國株式ノ配當內國會社又ハ個人ヘ貸付ノ利子等ノ受入ト認ムヘキモノ下ノ如シ　五八二、七二二圓

八、郵便貯金利子

郵便貯金ノ利子額左ノ如シ　四一一、二八三圓

九、外國ニ於ケル營業純益

本島銀行及會社ノ外國ニ於ケル營業純益下ノ如シ　四七四、二四九圓

一〇、內國ニ於ケル營業純益

本島銀行及會社ノ內國ニ於ケル營業純益ノ如シ　一六六、六七三圓

一一、海外出稼人ノ仕送及持歸金

本島住民ノ外國出稼ニ依ル仕送及持歸金ト認ムヘキモノ下ノ如シ　六三五、九五六圓

一二、內地出稼人ノ仕送及持歸金

本島住民ノ內地出稼ニ依ル仕送及持歸金ト認ムヘキモノ下ノ如シ　八〇八、〇五二圓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一三、島外船舶需品購入代

外國及內國船舶ノ本島ニ於テ購入シタル需品ノ代價ト認ムヘキモノ下ノ如シ　四、三〇四、〇二四圓

內譯	一、外國艦船購入代	三七二、九六四圓
	一、內國艦船購入代	三、九三一、〇六〇圓
	合計	四、三〇四、〇二四圓

一四、艦船修繕代

外國及內國艦船ノ本島ニ支拂ヒタル修繕代下ノ如シ　五七、四四一圓

內譯	一、外國艦船	一九、〇六六圓
	一、內國艦船	三八、三七五圓
	合計	五七、四四一圓

一五、噸稅及水先案內料

外國及內國船舶ヨリ收得シタル噸稅及水先案內料下ノ如シ　九一、二九八圓

內譯	一、外國船舶ヨリ收得	三〇、七八七圓
	一、內國船舶ヨリ收得	六〇、五一一圓
	合計	九一、二九八圓

一六、汽船會社支店經費

內國汽船會社島內店ノ諸經費ノ如シ　三九四、七三〇圓

一七、本島保險會社島外收入

本島保險會社カ內地及外國ヨリ收入シタル金額下ノ如シ　二、四三七、六一八圓

一八、外國保險會社ヨリ收入

外國保險會社ヨリ收入シタリト認ムヘキモノナシ

一九、內地保險會社ヨリ收入

內地保險會社ヨリ收入シタリト認ムヘキ金額下ノ如シ

一、六七四、四八一圓

內譯

種別	保險金額	解約其他返戻金	營業費	其他	計
生命保險	円 四六五、四四九	円 一二六、五〇〇	円 四九四、〇三六	円 六五、三九八	円 一、一五一、三八三
火災保險	六二、八七〇	一、六四〇	九六、四九七	—	一六一、〇〇七
海上保險	二八六、三五三	二七、一二六	四八、四八八	六〇	三六二、〇二七
傷害保險	三四	—	三〇	—	六四
合計	八一四、七〇六	一五五、二六六	六三九、〇五一	六五、四五八	一、六七四、四八一

二〇、來遊者消費

本島ニ來遊シタル外國人及內國人ノ消費シタル金額ト認ムヘキモノ下ノ如シ

一九、八二七圓

備考　本項ハ來遊外人及寄港上陸外人ノ消費高ヲ示ス員數四、〇九八人ナリ來遊內地人ノ員數及消費推算高ハ不明ナリ。

二一、艦船乘組員消費

本島ニ來航セル外國及內國艦船乘組員ノ消費シタル金額ト認ムヘキモノ下ノ如シ

八九五、八九六圓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、外國艦船乘組員　四七、四三三圓

內譯　一、內國艦船乘組員　八四八、四六三圓

合計　八九五、八九六圓

二二、留學生費

內地ヨリ本島ニ遊學セルモノノ島內消費學資金ト認ムヘキモノ下ノ如シ　八九、一九〇圓

備考　遊學者數一八六人ナリ

二三、布教費

外國及內地ヨリ本島ニ回送シタル布教費等下ノ如シ　六一、七六一圓

內譯
一、外國ヨリ送金　三八、五七三圓
一、內地ヨリ送金　二三、一八八圓

合計　六一、七六一圓

二四、外國公館島內經費

外國政府ノ本島內ニ於テ支出シタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　五五、七八〇圓

二五、陸海軍諸官衙ノ島內支出

陸海軍諸官衙ノ島內ニ於テ支出シタル金額下ノ如シ　三、八八八、六一三圓

二六、移出品代

郵便物又ハ携帶品トシテ內地ヘ商品ヲ賣却シタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　八七八、七四七圓

備考　郵便物八六〇、九四四携帶品一七、八〇三圓ナリ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

二七、廣告料收入

本島ノ內地ヨリ收入シタル廣告料下ノ如シ　三五二、二八七圓

臨時的受取勘定明細

一、本島社債株式賣渡

本島社債株式ノ內地及外國ニ賣渡サレタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　三、〇七七、〇二九圓

內譯

一、內地ニ賣渡	二、九四六、九七八圓
イ、銀行株式	三二七、七二八圓
ロ、製糖會社株式	二、四九三、五六三圓
ハ、其他	一二五、六八七圓
一、外國ニ賣渡	一三〇、〇五一圓
イ、銀行株式	二〇、四五六圓
ロ、製糖會社株式	一〇八、三九五圓
ハ、其他	一、二〇〇圓

二、本島社債募集

本島社債ノ內地及外國ニ於ケル募集下ノ如シ　一五、〇〇〇、〇〇〇圓

三、本島株式拂込受入其他

本島株式ノ內地及外國ヨリ拂込ヲ受ケタル金額下ノ如シ　一八二、九二七圓

四、借入金借入

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島銀行及會社カ內地及外國ヨリ借入レタル金額下ノ如シ　一八、四一八、三六七圓

內譯	一、內地ヨリ借入	一八、四〇〇、六三九圓
	一、外國ヨリ借入	一七、七二八圓
	合計	一八、四一八、三六七圓

五、銀行資金內地ヨリ流入

銀行資金內地ヨリ流入シタル金額下ノ如シ　七、四〇七、七七六圓

六、外國國債償還及島外賣渡

外國々債外國政府借款ノ償還又ハ賣渡サレタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　二一五、五八一圓

七、本邦國債償還及島外賣渡

本邦國債ノ償還又ハ賣渡サレタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　二、六六九、〇八二圓

內譯	一、償還ヲ受ケタル高	一七二、八三〇圓
	一、賣渡サレタル高	二、四九六、二五二圓
	合計	二、六六九、〇八二圓

八、外國地方債社債償還及島外賣渡

外國地方債地方借款社債ノ償還又ハ賣渡サレタリト認ムヘキモノナシ

九、內國地方債社債償還及島外賣渡

內國地方債社債等ノ償還又ハ賣渡サレタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　一八、三四一、〇五〇圓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

一、償還ヲ受ケタル高　一、四一四、六〇〇圓

內譯 { 一、賣渡サレタル高　一六、九二六、四五〇圓

合計　一八、三四一、〇五〇圓

一〇、外國株式島外賣渡其他

外國株券ノ賣渡外國會社又ハ個人貸付ノ回收サレタリト認ムヘキモノナシ

一一、內國株式島外賣渡其他

內國株券ノ賣渡內國會社又ハ個人貸付ノ回收サレタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　二、二二五、二六四圓

一二、郵便貯金受高

本島住民ノ郵便貯金受出高ト認ムヘキモノ下ノ如シ　九、五一四、二四三圓

一三、銀行資金外國ヨリ回收

銀行資金外國ヨリ回收高　四、六〇一、六二〇圓

支拂勘定明細

一、諸官衙島外支出

本島諸官衙ノ島外ヘ支出シタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　七、四八五、二八一圓

內譯 { 一、內地ヘ支出　六、六三四、二〇五圓
　　　一、外國ヘ支出　八五一、〇七六圓

合計　七、四八五、二八一圓

二、社債利子

本島社債ノ島外ヘ支拂ヒタリト認ムヘキ利子下ノ如シ　二、三七三、九九六圓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

三、借入金利子

本島銀行及會社其他カ外國及內地ヨリ借入レタル金額ニ對シ支拂ヒタル利子ト認ムヘキモノ下ノ如シ　七九四、六六八圓

內譯	一、內地へ支拂	五四三、一六〇圓
	一、外國へ支拂	二五一、五〇八圓
	合計	七九四、六六八圓

四、配當金

本島銀行及會社カ內地及外國へ支拂ヒタル配當金高下ノ如シ　一六、五八七、二七九圓

內譯	一、內地へ支拂	一六、四七九、二〇八圓
	イ、株式配當金	一六、四七九、二〇八圓
	ロ、合名、合資會社純益金	―
	一、外國へ支拂	一〇八、〇七一圓
	イ、株式配當金	一〇八、〇七一圓
	ロ、合名合資會社純益金	―

五、預金利子

本島銀行カ預金利子トシテ內地及外國へ支拂ヒタル金額下ノ如シ　一一、六一四圓

內譯	一、內地へ支拂高	一一、六〇二圓
	一、外國へ支拂高	一二圓
	合計	一一、六一四圓

六、外國人ノ營業純益　　二四六、八三五圓

島内ニ於ケル外國人ノ營業純益ト認ムヘキモノ下ノ如シ

七、內國人ノ營業純益　　九、二六五、三九四圓

島内ニ於ケル內國人ノ營業純益ト認ムヘキモノ下ノ如シ

內譯	
イ、銀行	二、二七八、二八〇圓
ロ、會社	六、四三八、五六六圓
ハ、其他	五四八、五四八圓
合計	九、二六五、三九四圓

八、外國人ノ仕送及持歸金

外國人カ其ノ本國ヘ仕送又ハ持歸リタル金額ト認ムヘキモノ下ノ如シ　　一、一八七、八二七圓

九、內國人ノ仕送及持歸金

在留內地人カ內地ヘ仕送又ハ持歸リタル金額ト認ムヘキモノ下ノ如シ　　七、四〇〇、一八五圓

一〇、輸移出入貨物運賃

輸移出入貨物運賃トシテ各內國汽船會社ニ支拂ヒタル金額下ノ如シ　　六、一九八、〇九三圓

一一、旅客運賃

旅客運賃トシテ各汽船會社島內店ノ收入シタル金額下ノ如シ　　七五二、一一八圓

一二、本島保險會社島外支出

本島保險會社カ內地及外國ニ支拂ヒタリト認ムヘキ金額下ノ如シ　　二、三二二、〇一五圓

一三、外國保險會社ニ支拂金

外國保險會社ニ支拂ヒタリト認ムヘキ金額ナシ

一四、內國保險會社ニ支拂金

內國保險會社ニ支拂ヒタリト認ムヘキ金額下ノ如シ　三、〇六八、九〇七圓

內譯

種別	保險料	諸利息	其他	計
生命保險	円 二、〇二七、五四八	円 一三一、五九三	円 八二	円 二、一五九、二二三
火災保險	四二九、〇六七	—	四一、六三〇	四七〇、六九七
海上保險	四二一、六九一	—	一七、〇七八	四三八、七六九
傷害保險	二一八	—	—	二一八
計	二、八七八、五二四	一三一、五九三	五八、七九〇	三、〇六八、九〇七

一五、外國旅行者消費

本島住民カ外國旅行中消費シタリト認ムヘキ金額下ノ如シ　三〇一、四七四圓

備考　官費旅行者ノ分ハ支拂勘定一項ニ有リ

一六、內國旅行者消費

本島住民カ內國旅行中消費シタリト認ムヘキ金額下ノ如シ　二、四四二、三〇〇圓

一七、私費留學生消費

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

私費ヲ以テ內地遊學又ハ外國ヘ留學セルモノノ消費高ト認ムヘキモノ下ノ如シ　一、二三七、二八〇圓

內譯	一、內地ヘ遊學	八二二、一七四圓
	一、外國ヘ留學	四一五、一〇六圓
	合計	一、二三七、二八〇圓

一八、移入品代

郵便物又ハ携帶品トシテ內地ヨリ商品ヲ仕入レタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　二、二六七、一一〇圓

備考　郵便物一、八九五、八七九圓　携帶品三七一、二三一圓ナリ

一九、寄附金其他ノ送金

寄附金義捐金等トシテ內地及外國ニ送金シタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　五〇、七七一圓

內譯	一、內地ヘ送金	一二、一九八圓
	一、外國ヘ送金	三八、五七三圓
	合計	五〇、七七一圓

二〇、廣告料支出

內地ヘ支拂ヒタル廣告料ノ高下ノ如シ　二五、三四七圓

二一、內國ニ於ケル營業損失

本島銀行及會社ノ內國ニ於ケル營業損失下ノ如シ　四、六一〇、六三七圓

二二、外國ニ於ケル營業損失

本島銀行及會社ノ外國ニ於ケル營業損失左ノ如シ　四七四、一二六圓

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臨時的支拂勘定明細

一、外國政府公債應募及購入

外國政府公債及借款ノ應募及購入等ト認ムヘキモノナシ

二、本邦國債應募及購入

本邦國債ニ應募及購入シタル金額左ノ如シ　一、五一五、五六九圓

備考　應募高三一三、四一七圓　購入高一、二〇二、一五二圓ナリ

三、外國地方債社債應募及購入

外國地方債外國地方借款社債等ノ應募及購入シタルモノナシ

四、內國地方債社債應募及購入

內國地方債社債等ノ應募及購入シタルモノ下ノ如シ　一、一二七、一八六圓

五、外國株式拂込購入其他

外國株式ノ拂込及購入外國會社又ハ個人貸付額ト認ムヘキモノナシ

六、內國株式拂込購入其他

內國株式ノ拂込及購入內地會社又ハ個人貸付額ト認ムヘキモノ下ノ如シ　二、三一六、七一一圓

七、郵便貯金預入

本島住民ノ郵便貯金預入高ト認ムヘキモノ下ノ如シ　九、六五四、四〇九圓

八、銀行資金流出高

島內諸銀行ヲ通シ島外ヘ流出シタリト認ムヘキ金額下ノ如シ　一、八三七、四六五圓

九、本島社債償還及買戾

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

本島社債ノ償還又ハ買戻サレタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　　二、七六三、八〇〇圓

一〇、借入金償還

本島銀行及會社カ外國及內地ヨリ借入レタル借入金ノ償還シタルモノ下ノ如シ　　一六、八四九、九八〇圓

內譯

一、內地へ償還	一六、八四九、九八〇圓
イ、製糖會社	一五、二六二、〇〇〇圓
ロ、其他	一、五八七、九八〇圓
二、外國へ償還	—

一一、本島株式買戻其他

本島株式ノ買戻サレタリト認ムヘキモノ下ノ如シ　　九五八、二六六圓

內譯

一、內地ヨリ買戻其他	九三五、〇五四圓
イ、株式買戻	九三五、〇五四圓
ロ、合名合資會社出資回收	—
二、外國ヨリ買戻其他	二三、二一二圓
イ、株式買戻	二三、三一二圓
ロ、合名合資會社出資回收	—

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農村 市街地信用組合金融事情（三）

泉 芳徳

市街地信用組合

一、組合の資金

本調査は昭和元年十二月末日現在二十一組合に就き調査したるものにして

出資總額	二、八九六、六三〇円
拂込濟出資金	二、七〇一、三八二
準備金	一、〇九八、九五三
（外に組合員外貯金に對する拂戻準備金あり）	
其他積立金	三一一、七九一
貯金	九、五二三、四八六
借入金	一四四、六八〇

にして今調査組合の資金を農村に於ける者と同樣に拂込濟出資金、準備金其他の積立金、借入金及貯金の四種に區別して之を見るときは右四種の總計卽ち資金總額は一千三百七十八萬二百九十二圓外に組合員（外に貯金に對する拂戻準備金あるも事業資金として運用せざる故此の内に含まず）にして一組合平均六十五萬六千二百四圓となり。其の内大部分を占むるものは貯金及借入金（他より得たる資金）にして拂込濟出資金、準備金、其他の積立金（自己資金）は小部分に過ぎず今一組合

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平均の自己資金及他より得たる資金の割合を示せば左の如し。

一組合平均

種別	金額	資金總計に對する割合
拂込濟出資金	一二八、六三七円	一九・五%
準備金	五二、三三一	七・九
其他積立金	一四、八四七	二・二
自己資金合計	一九五、八一五	二九・六
貯金	四五三、四九九	六九・〇
借入金	六、八九〇	一・四
他より得たる資金合計	四六〇、三八九	七〇・四
資金總計	六五六、二〇四	一〇〇・〇

右に依て見るときは組合資金の平均に於ては自己資金は資金總計の二九%六他より得たる資金は七〇%四にして兩者の比は大體に於て三對七の割合なり、而して自己資金中大部分を占むるものは拂込濟出資金にして一九%五準備金之に次ぎ他より得たる資金に在りては貯金其の大部分を占め六九%なり。

更に之を地方別に見るときは

州・廳	拂込濟出資金	準備金	其他積立金	貯金	借入金	一組合平均運轉資金
臺北	一、四二二、三六二円	四九七、二〇六円	二一、二六一円	五、三一五、二七一円	一〇五、〇九九円	八二六、七九九
新竹	二〇七、二八一	二一、七七八	五九、九五二	一、〇四一、四九五	―	七〇二、二五三
臺中	二四〇、五〇三	一〇八、五六五	五九、九二五	七二一、二七四	―	五六五、一三三
臺南	六八九、二五五	二九一、九一二	六一、二七六	一、九五四、二五九	一九、五八一	五〇二、七一四
高雄	六〇、五八〇	四八、二七四	三一三	三〇五、七八五	―	四一四、九五一
花蓮港	九一、四〇〇	四一、二三〇	一九、〇六五	一八五、四〇三	二〇、〇〇〇	三五七、〇八八

更に一組合平均の自己資金の大なるもの及他より得たる資金の大なるもの等表示すれば左の如し。

自己資金多き州廳

順位	州廳	自己資金一組合平均總額	一組合資金總計に對する%
一	臺中	二三四、四五八	三六・二
二	臺北	二三三、四三五	二七・二
三	臺南	二二四、二〇四	三四・五
四	新竹	二一九、四八二	二六・七
五	花蓮港	一五一、六八五	四二・五
六	高雄	一〇九、一六七	二六・三

他より得たる資金の多き州廳

順位	州廳	他より得たる資金一組合平均總額	一組合資金總計に對する%
一	臺北	六〇二、二六五	七二・八
二	新竹	五二〇、七四七	七三・三
三	臺中	三六〇、六二七	六三・八
四	臺南	三二八、九七四	六五・五
五	高雄	三〇五、七八五	七三・七
六	花蓮港	二〇五、四〇三	五七・五

右に依て見るときは一組合平均の自己資金の大なるは臺中にして臺北、臺南之に次ぐ、他より得たる資金の大なるは臺北にして新竹、臺中之に次ぎ貯金は其の中の大部分を占むるを以て貯金の多き地方は自然他より得たる資金大なり。

貯　金

市街地信用組合の貯金總額は九、五二三、四八六圓にして其の一組合平均は四五三、四九九圓なり最高は臺北州の五九〇、五八七圓最低花蓮港廳の一八五、四〇三圓にして今一組合平均貯金額の多き州廳より示せば左の如し。

州廳	拂込濟出資金 金額	拂込濟出資金 一組合平均資金合計に對する%	準備金 金額	準備金 一組合平均資金合計に對する%	其他積立金 金額	其他積立金 一組合平均資金合計に對する%	自己資金合計 金額	自己資金合計 一組合平均資金合計に對する%	貯金 金額	貯金 一組合平均資金合計に對する%	借入金 金額	借入金 一組合平均資金合計に對する%	他より得たる資金合計 金額	他より得たる資金合計 一組合平均資金合計に對する%	一組合平均資金總計
臺北	一五六、九二九円	一九・〇%	五五、二四五円	六・七%	二一、二六一円	一・五%	二三三、四三五円	二七・二%	五九〇、五八七円	七一・四%	一二、六七八円	一・四%	六〇三、二六五円	七二・八%	八三二、七〇〇
新竹	一〇三、六四一	一四・六	五五、八八九	七・九	五九、九五二	四・二	二一九、四八二	二六・七	五二〇、七四七	七三・三	—	—	五二〇、七四七	七三・三	七四〇、三三九
臺中	一三〇、二五一	二一・三	五四、二八二	九・六	五九、九二五	五・三	二三四、四五八	三六・二	三六〇、六二七	六三・八	—	—	三六〇、六二七	六三・八	五九五、〇八五
臺南	一二四、八七六	二二・九	四八、〇五二	九・六	六一、二七六	二・〇	二三四、二〇四	三四・五	三二五、七一〇	六四・八	三、二六四	〇・七	三二八、九七四	六五・五	五五三、一七八
高雄	六〇、五八〇	一四・九	四八、二七四	一一・六三	三一三	〇・〇八	一〇九、一六七	二六・三	三〇五、七八五	七三・七	—	—	三〇五、七八五	七三・七	四一四、九五二
花蓮港	九一、四〇〇	二五・六	四一、二二〇	一一・六	一九、〇六五	五・三	一五一、六八五	四二・五	一八五、四〇三	五一・九	二〇、〇〇〇	五・六	二〇五、四〇三	五七・五	三五七、〇八八

州廳	貯金總額	一組合平均貯金額	一組合平均資金總計に對する%
臺北	五、三一五、二七一円	五九〇、五八七	七一・四%
新竹	一、〇四一、四九五	五二〇、七四七	七三・三
臺中	七二一、二七四	三六〇、六二七	六三・八
臺南	一、九五四、二五九	三二五、七一〇	六四・八
高雄	三〇五、七八五	三〇五、七八五	七三・七
花蓮港	一八五、四〇三	一八五、四〇三	五一・九

借入金

借入金總額は一四四、六八一圓、一組合平均借入金は六、八九〇圓にして組合資金中借入金の占むる割合は僅に一・%四に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

過ぎざるなり、而して今之を普通借金（定期、當座借越其他）に依るものと年賦借入に依るものとに區別すれば左の如し。

普通借入	一一三、一二四圓
年賦借入	三一、五五七圓

普通借入は島内に於ける銀行より借入たるものにして年賦借入は政府の低利資金なり。

二、資金の運用

市街地信用組合に於ける一組合平均資金總計は六五六、二〇四圓にして其の資金の運用せられつゝある割合は貸付金總額九、三二五、七四五圓、一組合平均四四四、〇八三圓にして預け金總額三、一三七、九八六圓、一組合平均一四三、七九八圓なり其の割合左の如し。

種別		金額	%
一組合資金合計		六五六、二〇四円	一〇〇・〇〇%
内譯	貸付金	四四四、〇八三	六七・六七
	預け金	一四三、七九八	二一・九九
	其の他	六八、三二三	一〇・三四

貸付金、預け金以外の其他は有價證券、組合の設備等に利用し居るものなり。

貸付金

貸付金の一組合平均は四四四、〇八三にして其の最高は臺北州の五五七、四九九圓、新竹州の四一四、二六一圓之に次ぐ又貸付金の最も少きは高雄州の二七九、一一一圓なり今之を各州廳別に見るときは左の如し。

州廳	一組合平均貸付金	貸付金總額
臺北	五五七、四九九円	五、〇一七、四九六円
新竹	四一四、二六一	八二八、五二三
臺南	三六四、〇四三	二、一八四、二六二
臺中	三四七、四九六	六九四、九九三
花蓮港	三二一、三五八	三二一、三五八
高雄	二七九、一一一	二七九、一一一

（臺東廳、澎湖廳なし）

預金

預金の一組合平均は一四三、七九八圓にして其の最高は新竹州の三一六、五六二圓、臺中州の二三五、〇〇〇圓之に次ぐ又最も少きは花蓮港廳の一六、七八三圓なり今之を各州廳別に見るときは左の如し。

州廳	一組合平均預ケ金	預ケ金總額
新竹	三一六、五六二円	六三三、一二五円
臺中	二三五、〇〇〇	四六一、〇〇〇
臺北	一七二、三九二	一、五五一、五三〇
臺南	七二、四六八	四三四、八一〇
高雄	四〇、七三七	四〇、七三七
花蓮港	一六、七八三	一六、七八三

更に預金を五、〇〇〇圓未滿、五、〇〇〇圓以上一〇、〇〇〇圓未滿、一〇、〇〇〇圓以上五〇、〇〇〇圓未滿、五〇、〇〇〇

圓以上一〇、〇〇〇圓未滿、一〇〇、〇〇〇圓以上に區別して之を見るときは左の如し。

	組合數	組合數に對する割合	金額	金額に對する割合
五、〇〇〇圓以下	一	四・八%	三、三八八円	〇・一%
五、〇〇〇圓以上 一〇、〇〇〇圓以下	―	―	―	―
一〇、〇〇〇圓以上 五〇、〇〇〇圓以下	四	一九・〇	八九、八〇四	二・九
五〇、〇〇〇圓以上 一〇〇、〇〇〇圓以下	六	二八・六	三五三、八九五	一一・三
一〇〇、〇〇〇圓以上	一〇	四七・六	二、六九〇、八九九	八五・七

之に依て見るときは一〇〇、〇〇〇圓以上のもの最も多く五〇、〇〇〇圓以上一〇〇、〇〇〇圓 以下のもの之に次ぐ更に之を地方別に見るときは左の如し。

州廳	五千圓以下		五千圓以上一萬圓以下		一萬圓以上五萬圓以下		五萬圓以上十萬圓以下		十萬圓以上	
	組合數	金額	組合數	金額	組合數	金額	組合數	金額	組合數	金額
臺北	―	―円	―	―円	―	―円	四	二三〇、六八七円	五	一、三三〇、八四三円
新竹	―	―	―	―	―	―	一	六五、六九〇	一	五六七、四三五
臺中	―	―	―	―	―	―	―	―	二	四六一、〇〇〇
臺南	一	三、三八八	―	―	二	三二、二八三	一	五七、五一七	二	三四一、六二〇
高雄	―	―	―	―	一	四〇、七三七	―	―	―	―
花蓮港	―	―	―	―	一	一六、七八三	―	―	―	―
計	一	三、三八八	―	―	四	八九、八〇四	六	三五三、八九五	一〇	二、六九〇、八九八

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

預け先に付ては總て銀行に預入れつゝあるの狀況なり。

金利

貸付金利息(最高)

州廳	三錢五厘未滿 組合數	三錢五厘未滿 平均日歩	三錢五厘以上四錢以下 組合數	三錢五厘以上四錢以下 平均日歩	四錢以上四錢五厘以下 組合數	四錢以上四錢五厘以下 平均日歩	四錢五厘以上五錢以下 組合數	四錢五厘以上五錢以下 平均日歩
臺北州	一	三四.〇	五	三七.四	二	四〇.〇	—	—
新竹州	一	三四.〇	—	—	一	四〇.〇	—	—
臺中州	—	—	二	三六.〇	—	—	—	—
臺南州	—	—	—	—	二	四〇.〇	四	四六.〇
高雄州	—	—	—	—	—	—	一	四六.〇
澎湖廳	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東廳	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港廳	—	—	一	三七.〇	—	—	—	—

貸付金利息(最低)

州廳	三錢未滿 組合數	三錢未滿 平均日歩	三錢以上三錢五厘以下 組合數	三錢以上三錢五厘以下 平均日歩	三錢五厘以上四錢以下 組合數	三錢五厘以上四錢以下 平均日歩
臺北州	二	二七.五	二	三二.五	四	三五.五
新竹州	—	—	二	三一.〇	—	—
臺中州	一	二八.〇	一	三〇.〇	—	—

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺南州	一	二八・〇	二	三一・〇	三	三九・三
高雄州	—	—	—	—	一	三五・〇
澎湖廳	—	—	—	—	—	—
臺東廳	—	—	—	—	—	—
花蓮港廳	—	—	—	—	一	三五・〇

貯金利息(最高)

州廳	二錢五厘未滿 組合數	二錢五厘未滿 平均日步	二錢五厘以上三錢以下 組合數	二錢五厘以上三錢以下 平均日步
臺北州	四	二一・三 (錢厘毛)	四	二八・五 (錢厘毛)
新竹州	一	二一・〇	一	三〇・〇
臺中州	二	二三・五	—	—
臺南州	五	二一・八	一	二七・〇
高雄州	一	二三・〇	—	—
澎湖廳	—	—	—	—
臺東廳	—	—	—	—
花蓮港廳	一	二三・二	—	—

貯金利息(最低)

州廳	一錢未滿 組合數	一錢未滿 平均日步	一錢以上一錢五厘以下 組合數	一錢以上一錢五厘以下 平均日步	一錢五厘以上二錢以下 組合數	一錢五厘以上二錢以下 平均日步
臺北州	二	七・五 (錢厘毛)	二	一三・〇 (錢厘毛)	四	一六・七 (錢厘毛)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

借入金利息（最高）

州廳	二錢以上二錢五厘以下 組合數	二錢以上二錢五厘以下 平均日步	二錢五厘以上三錢以下 組合數	二錢五厘以上三錢以下 平均日步	三錢以上三錢五厘以下 組合數	三錢以上三錢五厘以下 平均日步
新竹州	—	—	一	一〇・〇	一	一八・〇
臺中州	—	—	二	一〇・〇	—	—
臺南州	一	九・〇	二	一一・〇	三	一八・三
高雄州	—	—	—	—	一	一八・〇
澎湖廳	—	—	—	—	—	—
臺東廳	—	—	—	—	—	—
花蓮港廳	—	—	—	—	一	一八・〇

借入金利息（最低）

州廳	二錢以上二錢五厘以下 組合數	二錢以上二錢五厘以下 平均日步（錢厘毛）	二錢五厘以上三錢以下 組合數	二錢五厘以上三錢以下 平均日步（錢厘毛）	三錢以上三錢五厘以下 組合數	三錢以上三錢五厘以下 平均日步（錢厘毛）
臺北州	二	一八・〇	二	二六・〇	一	三一・〇
新竹州	—	—	—	—	—	—
臺中州	—	—	—	—	—	—
臺南州	一	二四・〇	—	—	一	三一・〇
高雄州	—	—	—	—	—	—
澎湖廳	—	—	—	—	—	—
臺東廳	—	—	—	—	—	—
花蓮港廳	—	—	一	二五・〇	—	—

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

州廳	二錢未滿 組合數	二錢未滿 平均日步（錢厘毛）	二錢以上二錢五厘以下 組合數	二錢以上二錢五厘以下 平均日步（錢厘毛）	二錢五厘以上三錢以下 組合數	二錢五厘以上三錢以下 平均日步（錢厘毛）
臺北州	一	一八・〇	一	二二・〇	二	二五・五
新竹州	｜	｜	｜	｜	｜	｜
臺中州	｜	｜	｜	｜	｜	｜
臺南州	｜	｜	一	二四・〇	一	二五・〇
高雄州	｜	｜	｜	｜	｜	｜
澎湖廳	｜	｜	｜	｜	｜	｜
臺東廳	｜	｜	｜	｜	｜	｜
花蓮港廳	｜	｜	一	二四・〇	｜	｜

預金利息（最高）

州廳	二錢未滿 組合數	二錢未滿 平均日步（錢厘毛）	二錢以上二錢五厘以下 組合數	二錢以上二錢五厘以下 平均日步（錢厘毛）
臺北州	｜	｜	七	二六・四
新竹州	一	一四・〇	一	二〇・五
臺中州	｜	｜	二	二二・七
臺南州	四	一三・五	二	二三・〇
高雄州	｜	｜	一	二〇・〇
澎湖廳	｜	｜	｜	｜
臺東廳	｜	｜	｜	｜
花蓮港廳	一	一七・〇	｜	｜

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

預金利息（最低）

州廳	一錢未滿 組合數	一錢未滿 平均日步（錢厘毛）	一錢以上一錢五厘以下 組合數	一錢以上一錢五厘以下 平均日步（錢厘毛）	一錢五厘以上二錢以下 組合數	一錢五厘以上二錢以下 平均日步（錢厘毛）
臺北州	五	八・〇	一	一三・〇	一	一六・〇
新竹州	一	八・〇	一	一四・〇	―	―
臺中州	一	八・〇	一	一四・〇	―	―
臺南州	五	七・八	一	一四・〇	―	―
高雄州	一	八・〇	―	―	―	―
澎湖廳	―	―	―	―	―	―
臺東廳	―	―	―	―	―	―
花蓮港廳	―	―	一	一四・〇	―	―

手形割引步合（最高）

州廳	三錢未滿 組合數	三錢未滿 平均日步（錢厘毛）	三錢以上三錢五厘以下 組合數	三錢以上三錢五厘以下 平均日步	三錢五厘以上四錢以下 組合數	三錢五厘以上四錢以下 平均日步（錢厘毛）
臺北州	一	二六・〇	―	―	三	三六・三
新竹州	―	―	―	―	―	―
臺中州	―	―	―	―	―	―
臺南州	―	―	―	―	一	三八・〇
高雄州	―	―	―	―	―	―
澎湖廳	―	―	―	―	―	―

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺東廳	—	—	—	—	—	—
花蓮港廳	—	—	—	—	一	三七・〇

手形割引歩合(最低)

州廳	三錢未滿 組合數	三錢未滿 平均日歩	三錢以上三錢五厘以下 組合數	三錢以上三錢五厘以下 平均日歩	三錢五厘以上四錢以下 組合數	三錢五厘以上四錢以下 平均日歩
		錢厘毛		錢厘毛		錢厘毛
臺北州	一	二六・〇	—	—	三	三六・〇
新竹州	—	—	—	—	—	—
臺中州	—	—	—	—	—	—
臺南州	—	—	一	三二・〇	—	—
高雄州	—	—	—	—	—	—
澎湖廳	—	—	—	—	—	—
臺東廳	—	—	—	—	—	—
花蓮港廳	—	—	—	—	一	三七・〇

農村信用組合と市街地信用組合との比較

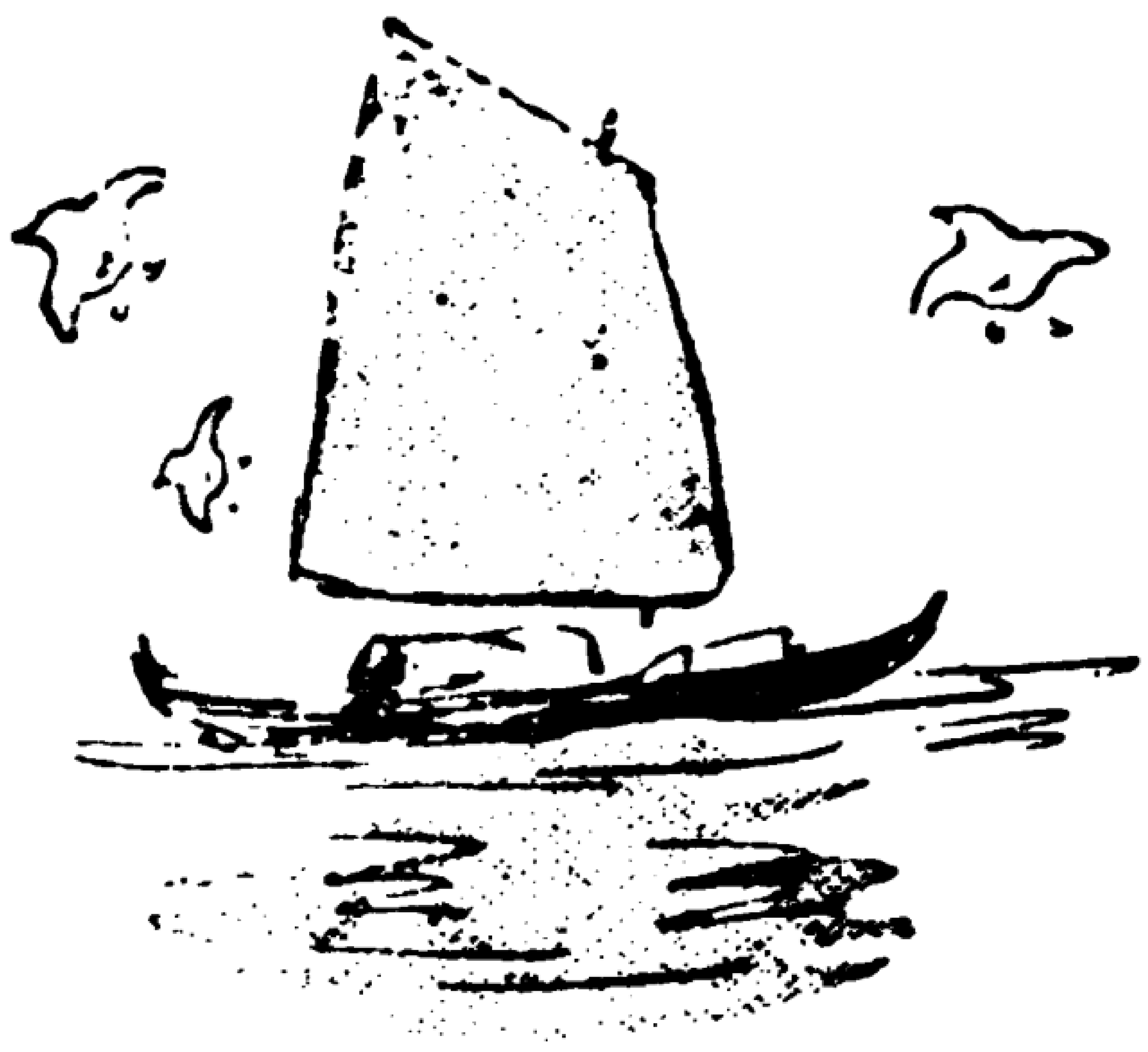
種目	農村信用組合	市街地信用組合
組合員	五八一人	五四四人
拂込濟出資金及	三二、一六一円	一二八、六三七円
資金總計に對する割合	二五・九%	一九・五%

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

準備金及	一二、〇六七円	五二、三三一円
資金總計に對する割合	九.七%	七.九%
其他積立金及	五、四九九円	一四、八四七円
資金總計に對する割合	四.四%	二.二%
自己資金合計及	四九、七二七円	一九五、八一五円
資金總計に對する割合	四〇.〇%	二九.六%
貯金及	六八、〇九八円	四五三、四九九円
資金總計に對する割合	五四.八%	六九.〇%
借入金及	六、二一五円	六、八九〇円
資金總計に對する割合	五.二%	一.四%
他より得たる資金合計及	七四、三一三円	四六〇、三八九円
資金總計に對する割合	六〇.〇%	七〇.四%
資金總計	一二四、〇四〇円	六五六、二〇四円
	一〇〇.〇%	一〇〇.〇%
貸付金及	九五、二五九円	四四四、〇八三円
資金總計に對する割合	七六.八%	六七.六七%
預ケ金及	二八、二九二円	一四三、七九八円
資金總計に對する割合	二二.八%	二一.九九%

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

右の結果に依て見るときは農村信用組合の自己資金は資金總計に對し四〇、％〇、市街地信用組合は一九、％六にして農村信用組合は市街地信用組合に比し其の割合遙かに大なり。市街地信用組合に於ては組合員中の大部分商工業者にして農業者を主要組合員とする農村信用組合に比し其の信用程度の變化多きのみならず、其の査定比較的困難の爲め其の危險を防止する上に於て又一面組合員外の貯金を吸收する爲め組合自體の信用保持上組合員よりの出資多く從て市街地信用組合の自己資金は農村組合に比し大ならざる可らざるものと考へらるゝに事實は之に反し前述の如く農村組合に於て大なるは組合精神の普及せざると組合員の資力の如何に起因したるものに非ざるやと思料す。(完)



島情

臺灣貿易統計（昭和二年十月）

臺灣總督府稅關

◆貿易額比較

（其ノ一）

外國貿易	二年十月	十五年十月	二年累計	十五年累計	增減（・）
輸出	四、七六四、八二三円	四、四六二、九七二円	三六、七六四、〇〇五円	四〇、七九八、九八七円	・四、〇三四、九八二円
輸入	四、一九六、二七〇	三、九六九、五六四	五四、四九九、八七三	四九、九五八、四九八	四、五四一、三七五
計	八、九六一、〇九三	八、四三二、五三六	九一、二六三、八七八	九〇、七五七、四八五	五〇六、三九三
輸出（入）超過	五六八、五五三	四九三、四〇八	（入）一七、七三五、八六八	（入）九、一五九、五一一	―

（其ノ二）

內地貿易	二年十月	十五年十月	二年累計	十五年累計	增減（・）
移出	九、四八八、三〇〇円	九、五〇五、六二三円	一七三、九二八、八五七円	一七八、〇五七、七五八円	・四、一二八、九〇一円
移入	一二、九二六、八二六	一〇、〇五一、六〇〇	九七、四二九、二五一	九八、二三四、三九二	・七九五、一四一
計	二二、四一五、一二六	一九、五五七、二二三	二七一、三五八、一〇八	二七六、二八二、一五〇	・四、九二四、〇四二
移出（入）超過	（入）二、四三八、五二六	（入）五四五、九七七	七六、四九九、六〇六	七九、八二三、三六六	―

◇輸出

品目		十月 數量	十月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	増減(•) 數量	増減(•) 價額
石炭	噸	三七,九九四	四一六,八九二円	四六八,七二七	五,二二一,二二五円	六一八,一一二	六,九二〇,四六一円	•一四九,三九四	•一,六九九,二四六円
包種茶	斤	七八七,六四七	五八七,九四八	六,七五九,四九一	五,〇一八,四六八	七,〇〇三,八〇五	五,三四五,三一三	•二四三,三一四	•三二六,八四五
烏龍茶	同	一,二三四,二二一	七二六,八三二	七,四八〇,八四一	四,八二三,三一六	七,一六八,七三三	四,九九六,七三一	三一二,一一九	•一七四,四一五
綿織物	碼	一,九二二,四〇二	四八七,八九二	一一,〇三八,二四七	二,四五八,九一七	一五,九〇九,八五二	四,三一一,〇六五	•四,八七一,六〇五	•一,八五二,一四八
鹹魚及乾魚	斤	三,七三一,二三九	四七五,一二七	二三,八九六,七六四	二,九七二,三〇九	一四,一五六,一一四	二,〇一五,三〇八	九,七四〇,六五〇	•九五七,一〇一
砂糖	同	二八一,八一〇	二九,九〇三	一八,二〇三,五七九	二,二五五,九〇五	一七,七二〇,五七六	二,四七七,六四四	四八三,〇〇三	•二二一,七三九
酒精	升	四二三,〇〇〇	一三一,九五一	四,八七四,七六〇	一,五四〇,一一六	四,六八七,〇〇〇	一,五七〇,五三五	一八七,七六〇	•三〇,四一九
樟腦	斤	一五,五〇〇	一五,四二三	七九〇,八〇〇	九八七,九六二	一,〇八七,六三三	一,八〇一,三九五	•二九六,八三三	•八一三,四三三
錫	同	一,三二一,八七〇	五二〇,五九〇	五,一七二,四六四	二,〇六五,七八五	五,六四〇,六二六	一,六九八,五一六	•四六八,一六二	三六七,二六九
セメント	同	四,六〇四,七九五	八四,七七六	四六,〇七七,一八四	八九一,六六三	七一,四五一,七〇五	一,五三三,六〇六	•二五,三七四,五二一	•六四一,九八三
絹及絹綿織物	碼	一九三,一三〇	一三〇,九二一	一,一六四,一五四	七六〇,九六三	一,〇三八,六八二	六三二,九七五	一二五,四七二	一二八,九八八
貝柱	斤	九四,三九九	一一〇,一四八	五二九,九二三	六二九,九二〇	三八五,七七一	四九二,九七二	一四四,一五二	一三六,九三八
苧麻	同	四〇,六〇〇	一三,八六八	一,三四一,九八二	四五九,一八三	一,一九五,一八五	四五四,六九一	一四六,七九七	四,四九二
紙	同	四三四,九〇二	二七,三五〇	二,九三四,九〇二	二三六,六二一	四,五三二,四六八	三八三,〇八〇	•一,五九七,五六六	•一四六,四六九
芭蕉實	同	一九三,四九〇	九,〇九一	三,七八五,一八一	一六〇,四九三	七,八八八,三三三	四三三,六六二	•四,一〇三,〇四一	•二七三,一六九
其他諸品		—	九九七,一二一	—	六,一九二,二三九	—	五,七四二,一三三	—	四五〇,〇九六
計		—	四,七六四,八二三	—	三六,七六四,〇〇五	—	四〇,七九八,九八七	—	•四,〇三四,九八二

◇輸入

品目		十月		二年累計		十五年累計		増減(●)	
		數量	價額（円）	數量	價額（円）	數量	價額（円）	數量	價額（円）
大豆油糟	斤	二、七三八、一八二	五三六、二八四	二三、八〇六、六〇〇	九、九五八、三五七	二〇九、〇六六、八七二	一〇、七六一、一三一	二三、七三九、七二八	●八〇二、七七四
米（粳共）	同	五、三四二、八二五	三五九、三三三	一九五、八二二、七八六	一五、二四〇、三九〇	九五、六〇六、一一〇	八、八八五、八〇五	一〇〇、二一六、六七六	六、三五四、五八五
硫酸アンモニウム	同	一七、八〇六、八六一	一、二七四、三一五	八二、二三九、五〇五	六、二八五、六八九	五九、一一八、五四三	五、四四八、五七一	二三、一二〇、九六二	八三七、一一八
砂糖	同	九八四、三一五	九六、九七四	三一、二六八、六九八	二、九二〇、七二八	二五、三三五、三一〇	三、一五二、三〇〇	五、九三三、三八八	●二三一、五六二
大豆	同	二、三三七、三〇五	一四一、三八八	三四、七〇六、六三〇	二、〇五五、三七六	三八、九一七、二六六	二、六八四、〇六二	●四、二一〇、六三六	●六二八、六八六
ガンニー嚢	個	一八五、二〇〇	九二、七八四	二、六九六、八八九	一、三〇八、六六三	二、七六八、一九九	一、八九八、九五六	●七一、三一〇	●五九〇、二九三
木材	立方尺	二九七、七三八	一八九、三九九	三、一八三、二二一	二、二四七、三九三	二、一九一、七七〇	一、五四六、八六二	九九一、四四一	六〇〇、五三一
燈油	ガロン	二二〇、三六一	九一、六三二	二、四〇五、六七〇	一、一〇九、八九八	二、〇一三、九八六	九七五、二二二	三九一、六八四	一三四、六八六
鹹魚	斤	三五、六五六	五、六〇四	一、三九五、〇八四	一一一、四四三	一三、七六一、八五九	九六八、九四八	●一二、三六六、七七五	●八五七、五〇五
小麦	同	六五九、八四八	四七、〇五五	三、一四五、七二七	八四一、九三一	一〇、〇七〇、五七四	八七一、三九九	二、〇七五、一五三	●二九、四六八
阿片	同	—	—	二、五〇〇	二一七、〇〇〇	三九、二三三	九八七、二九五	●二六、七三三	●七七〇、二九五
包蓆	枚	六六〇、一〇〇	五五、四二六	四、一五四、二〇二	四六二、八九八	四、五七〇、二三〇	七七九、六〇九	●四一六、〇二八	●三一六、七一一
葉煙草	斤	一〇一	五〇	二、〇二五、二七三	八六五、六七五	一、二九六、四六九	六七八、二六三	七二八、八〇四	一八七、四一二
鐵	同	四九八、五〇六	四五、一八四	七、四五三、八四四	五九四、〇一四	七、〇二六、〇五三	六二八、三〇一	四二七、七九一	●三四、二八七
操綿	同	三三八、一三六	一〇八、一九一	六六八、七八七	三〇三、七八一	六二七、一八九	三〇九、五七一	四一、五九八	●五、七九〇
黄麻	同	二六、五四八	二、五五八	五三三、六二一	七八、七〇五	二、五五七、三〇四	四三九、一一八	●二、〇三三、六九三	●三六〇、四一三
禮拜紙	同	七九、六五七	二、六五七	一、三三〇、九八八	三二二、三二五	一、二八四、九〇三	三五四、〇〇三	四六、〇八五	●四一、七七八
石炭	噸	五〇〇	八、〇〇〇	二〇、三九九	四七八、一九六	八、六七二	一六四、五五六	一一、七二七	三一三、六四〇
苧麻布	方碼	二五、五三〇	七、一六七	九七六、一六四	二七九、九二一	一、三一五、五九九	三三三、四八九	●三三九、四三五	●一〇四、五六八
毛織物	同	二五、八九一	三六、二一五	一八三、〇五九	三七一、四四九	一八八、三三五	二七三、九五〇	●三、二六六	●四六、八〇一
綿織物	同	二八、三三三	一八、六三三	四三五、九四七	二八九、九七六	四〇五、七九五	三一四、七三一	三〇、一五二	●二四、七五五
陶磁器		—	一一、八〇〇	—	一五六、三九三	—	二六八、六八九	—	●一一二、二九六
原油及重油	ガロン	二、二六二、〇一二	二六八、五三〇	三、三二七、一八九	四七二、一六八	一、〇三五、一六二	二三七、八〇二	二、二四二、〇二七	二四四、三六六

揮發油	同	四二、八九四	三四、五一九	二〇三、〇八六	一七七、四八三	二一九、八二七	二一八、三一〇	•一七、七四一	•四〇、七二七
唐紙	斤	二六九、六一〇	一八、七四二	一、九〇五、九一六	一四三、七三五	二、四〇〇、七五三	二三七、六〇五	•四九四、八三六	•八三、八八〇
絲豆	同	一四七、六九四	九、七七三	三、〇〇六、三六三	一九五、一五〇	二、八八一、五一九	二三六、九四五	一二四、七六四	四一、七九五
錫	同	九、三七五	一六、〇〇九	一二六、九九七	二〇八、九九三	九五、六三七	一七二、三六四	三一、三六〇	三六、四二九
豆素麺	同	三八、五一四	九、七九三	四三九、七九〇	一二九、七一三	四五五、三〇一	一三九、七八六	•一五、五一三	•二〇、〇七四
胡麻子	同	三三、九三七	四、五三四	六七〇、四二四	一一八、九七八	七九〇、八一四	一二八、五〇〇	•一二〇、三九〇	•九、五二二
パラフィン、ワックス	同	一五五、九五〇	二一、二七二	三三五、九二一	五七、八八九	三四八、一九五	八五、一八〇	•一二、三六四	•二七、二九一
其他諸品		—	六四四、四六〇	—	六、八二二、一六四	—	五、八〇八、二八五	—	一、〇一三、八七九
計		—	四、一九六、二八〇	—	五四、四九九、八七三	—	四九、九五八、四九八	—	四、五四一、三七五

◆移　出

品目		十月 數量	十月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(•) 數量	增減(•) 價額
砂糖	斤	八〇〇	一七三円	六四八、四六〇、八六一	九〇、六八四、五二三円	七三四、八七四、一一三	九六、三六九、六八一	•八六、四一三、二五二	•五、六八五、一五九円
米	同	六六、七七五、三六九	六、五六一、五一六	五〇一、五三〇、四一五	五一、一三三、〇四四	四〇六、六一四、〇六二	四六、一一八、〇五九	九四、九一六、三五三	五、〇一四、九八五
芭蕉實	同	二一、五二九、八一九	五六七、八二一	一三五、八九八、〇九八	七、九三二、二五〇	一七〇、三七八、四八三	一〇、二七九、五三五	•三四、四八〇、三八五	•二、三四七、二八五
酒精	升	六七八、六〇〇	三五〇、一四二	五、八四三、三九〇	三、〇六八、六九一	六、七九八、三七〇	三、六五四、〇六五	•九五四、九八〇	•五八五、三七四
木材	立方尺	九五、〇四〇	二〇一、〇三九	一、〇四三、九七三	二、三四二、五三九	一、〇九八、八二三	二、六〇六、〇三九	•五四、八五〇	•二六三、五〇〇
樟腦油	斤	四七四、二五八	一三三、九二七	四、三一四、二三〇	一、五四三、八七三	四、九五四、二九一	二、五〇六、七六二	•六四〇、〇六一	•九六二、八八九
鰹節	同	一六一、八一〇	二二二、二三九	一、三〇四、五〇〇	一、三四七、八四六	一、四一九、三四二	一、六二九、八三九	•一一四、八四二	•二八一、九九三
模造パナマ帽子	箇	二四六、〇〇〇	一三三、七〇〇	一、九〇二、一二〇	八九四、六六〇	三、五〇六、九〇〇	一、三四六、七四五	•一、六〇四、七八〇	•四五二、〇八五
鳳梨罐詰	打	一九、九四一	六二、四四七	七一八、四七四	二、六六八、〇四九	四四一、七五八	一、五九一、〇一八	二七六、七一六	一、〇七七、〇三一
樟腦	斤	一五四、四五一	一九一、〇二一	五四三、八五二	七八八、五五三	八四五、六六二	一、五四九、五一九	•三〇一、八一〇	•七六〇、九六七
總計	同	一〇、四八八、九二五	一、五九二、二一七	八二、〇〇六、三一九	一一、七八〇、五五六	六八、五八八、五一五	一三、七一一、一六七	一三、四一七、七〇四	•九三一、一一一

品目	單位	十月 數量	十月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
石炭	噸	九、六〇一	八六、五六四	一一三、三四二	一、三三〇、三一七	一一一、二七八	一、一二八、三二一	二、〇六四	二〇一、九九六
食鹽		—	—	五七、四〇五、四九〇	五一四、三一三	九八、四〇一、〇四〇	七二九、七一四	・四〇、九九五、五五〇	・二一五、四〇一
鮮魚介	同	八三、六六〇	二四、〇八〇	二、八二二、五〇五	八三五、五七〇	一、九八六、五一一	六〇三、七七一	八三五、九九四	二三一、七九九
切乾薯	同	五、六四八、三八〇	二二八、三〇二	四三、〇九六、七二〇	一、七四一、一九三	一三、一三九、五二〇	五七〇、六六〇	二九、九五七、二〇〇	一、一七〇、五三三
其他諸品		—	五七六、一一三	—	五、九一五、三八二	—	六、一一三、八七五	—	・一九七、四九三
計		—	九、四八八、三〇〇	—	一七三、九二八、八五七	—	一七八、〇五七、七五八	—	・四、一二八、九〇一

◈移入

品目	單位	十月 數量	十月 價額	二年累計 數量	二年累計 價額	十五年累計 數量	十五年累計 價額	增減(・) 數量	增減(・) 價額
綿及絹織物		—	一、八四九、三〇六円	—	一三、二七九、三七八円	—	一五、九二四、三〇七円	—	・三、六四四、九二九円
鐵	斤	七、八八六、〇二三	七五九、六九〇	七〇、五三〇、七八六	六、八二四、三四七	四八、八四一、一三五	五、三〇九、一九一	二二、四八九、六五一	一、五一五、一五六
鹹乾魚	同	六、一三三、五五五	八二五、八四七	三八、八五六、四四四	四、九八六、三九七	二七、二六九、五八〇	四、三一〇、八五〇	一一、五八六、八六四	六七五、五四七
肥料	同	七、九二三、一四九	二九七、二三一	八〇、〇二五、八二五	三、四八九、一七五	六九、八三五、四四四	三、四六七、〇六五	一〇、一九〇、三八一	二二、一一〇
小麥粉	同	二、〇二四、〇九二	二三六、五一八	二一、一六七、五五五	二、四三九、二一三	二三、〇七六、五〇七	二、八〇四、九二八	・一、九〇八、九五二	・三七五、七一五
木材	立方尺	二九六、八二九	四一五、二七一	二、六九七、三三〇	三、〇八二、一七七	二、三七九、五五一	二、八三五、二〇九	三一七、七七九	二四六、九六八
紙		—	三〇七、〇九九	—	二、四三五、六五五	—	二、五三五、〇八七	—	・一〇九、四三二
糖	斤	八〇、四一四	二六一、三六二	四、六三四、四七八	一、七一九、四九六	七、二八七、八六六	二、二一三、三三一	・二、六五三、三八八	・四九三、七三五
鐵製品		—	二四三、六四七	—	二、五六五、一六一	—	二、一三八、八三二	—	四三六、二七九
麥酒	打	一六、七二〇	八三、二二〇	四四八、〇八六	二、二六二、〇二六	四七三、〇三七	二、二六〇、一九五	・二四、九五一	一、八四一
紙卷煙草	千箇	八一、五八〇	一九〇、七五一	七一〇、九四〇	一、六四八、五五七	七七七、八〇〇	一、八二三、三六八	・六六、八六〇	・一七三、八二一
絲類		—	二六、六八六	—	一、四三三、〇三七	—	一、七五七、二四〇	—	・三二五、二〇三
各種ノ罐詰		—	一九〇、八一五	—	一、六〇八、八五五	—	一、五八〇、四六二	—	・二八、三九三
ガンニー袋	箇	二五八、二〇〇	八八、八二〇	二、八五〇、四五〇	一、二三六、〇四九	二、九二三、七〇〇	一、六五〇、〇八五	・七三、二五〇	・四一四、〇三六

清酒	打	一五、一一〇	一三七、八七六	九六、一二九	八七七、七六四	九四、四二八	八五九、〇八一	一、七〇一	一八、六八三
メリヤス肌衣		—	三五三、六五一	—	一、一三〇、五四三	—	一、一九三、七一三	—	三六、八二〇
自轉車同部分品及附屬品		—	一二〇、〇一五	—	一、二〇二、六八五	—	一、二〇八、五六五	—	・五、八八〇
毛織物		—	二六〇、三三四	—	八八三、五七九	—	八六七、八二〇	—	一五、七五九
燐寸	哥	二二二、三〇七	一五二、八七七	一、四七二、四四五	一、〇五四、九〇九	一、三五七、八二八	九五二、七〇一	一一四、六一七	一〇二、二〇八
菓子類		—	九五、一一九	—	七七七、五〇八	—	七九〇、六七二	—	・一三、一六四
參	石	二、八八六	五七、八五八	五六、七二〇	一、一二八、九一一	三二、二七〇	七〇七、七三六	二四、四五〇	四二一、一七五
製帽原料		—	三七、一七〇	—	四一六、三七六	—	八三九、一七三	—	・四二二、七九七
米	石	八〇七	三三、九八〇	一三、九五八	五〇〇、二一三	二一、五六八	八三一、七八六	・七、六一〇	・三三一、五七三
陶磁器		—	七二、八五二	—	七六七、二九六	—	七〇五、九〇二	—	六一、三九四
砂糖	斤	五〇三、五七五	九六、七一八	二、九七九、四〇六	六六〇、二三三	三、〇五一、三六八	七五二、五三二	・七一、九六二	・九二、二九九
石鹸		—	七二、七二五	—	六七八、三四五	—	六七六、一四九	—	二、一九六
醬油	石	七七五	四三、四九七	九、七二七	五六五、九五三	九、五八五	五八〇、八四二	一四二	・一四、八八九
燈油及輕油	ガロン	一二六、九一五	五九、〇六二	一、一八三、四二〇	五七三、二六五	一、二四七、九九五	六五三、九九二	・六四、五七五	・八〇、七二七
仕組板		—	一七、三四九	—	五五七、四八二	—	六一三、九八三	—	・五六、五〇一
自動車同部分品及附屬品		—	一二三、一三五	—	七七三、六四九	—	四七一、〇五五	—	三〇二、五九四
其他諸品		—	四、二〇四、七四五	—	三六、七九二、〇〇七	—	三四、九一九、五八七	—	一、八七二、四二〇
計		—	一二、九二六、八一六	—	九七、四二九、二五一	—	九八、二三四、三九二	—	・七九五、一四一

◈港別貿易額

(其ノ一)

港別	輸出	輸入	計	二年累計	十五年累計	増減(•)
基隆	二、八六三、一五七円	一、〇五八、八〇六円	三、九二一、九六三円	四九、三一八、六六九円	四七、二二二、三四七円	二、〇九六、三二二円
臺北	一、三二九、三六五	一一〇、一六三	一、四三九、五二八	一一、六二一、〇四四	一二、二一四、七〇一	・五九三、六五七

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

港別	移出	移入	計	二年累計	十五年累計	増減(●)
淡水	九八,一一一	二,九九五,一八五	三,〇九三,二九六	三,一三八,八九三	二,九三〇,二六六	二〇八,六二七
安平	三三,六一〇	八二,五二三	一一六,一三三	一,二三〇,四〇九	一,二三八,四〇七	●七,九九八
高雄	三九六,八六〇	二,六一三,一七一	三,〇一〇,〇三一	二四,八六四,五三一	二五,八七六,二四二	●一,〇一一,七一一
其他諸港	四四,七〇九	三五,四三三	八〇,一四二	一,〇四〇,三三三	一,二二五,五二三	●一八五,一九〇
計	四,七六四,八一三	四,一九六,二八〇	八,九六一,〇九三	九一,二六三,八七八	九〇,七五七,四八五	五〇六,三九三

（其ノ二）

港別	移出	移入	計	二年累計	十五年累計	増減(●)
基隆	七,六七三,一一二円	八,六三七,五七五円	一六,三一〇,六八七円	一四四,六九〇,五四四円	一四七,四一九,八八一円	●二,七二九,三三七円
臺北	—	—	—	—	—	—
淡水	—	二八,〇〇〇	二八,〇〇〇	三一,〇〇〇	一九,九七五	●一一,〇二五
安平	二,二六四	一,二〇五,八九一	一,二〇八,一五五	八,六〇六,二二五	九,六八四,九七二	●一,〇七八,七五七
高雄	一,七七四,〇五四	二,〇一〇,〇四〇	三,七八四,〇九四	二六,六八〇,三六九	二七,四七〇,三四三	●七八九,九七四
其他諸港	三八,八七〇	四五,三一〇	八四,一八〇	一,三四九,九八〇	一,六八六,九七九	●三三六,九九九
計	九,四八八,三〇〇	一一,九二六,八一六	二一,四一五,一一六	一八一,三五八,一〇八	一八六,二八二,一五〇	●四,九二四,〇四二

金融統計

財務局金融課

◆島內各銀行預金殘高

種類別	昭和二年九月末 (千円)	前月末 (千円)	增△減 (千円)
公金預金	三、八八七	五、五三九	△一、六五二
當座預金	一三、一四七	一二、四五〇	六九七
特別當座預金	四一、一五一	四一、九一五	△七六四
通知預金	二、六二四	二、二八六	三三八
定期預金	二五、一四五	二三、六四七	一、四九八
別段預金	二、九七六	二、七三二	二四四
預金手形	二、二四〇	二、一〇五	一三五
日本銀行預金	二八、四九七	二八、七四一	△二四四
貯蓄預金	六、一三一	六、一二三	八
合計	一三五、六九八	一三五、五〇八	一九〇

◆島內各銀行貸出金殘高

種類別	昭和二年九月末 (千円)	前月末 (千円)	增△減 (千円)
證書貸付	二五、九六七	二五、八一二	一五五
手形貸付	四一、七二〇	四二、〇六三	△三四三
當座貸越	三、三〇一	三、二六〇	四一
割引手形	一一〇、六九五	一〇三、八五六	六、八三九
荷付爲替手形	八、四〇〇	一一、六〇一	△三、二〇一
利付爲替手形	五八	五八	一
買入外國爲替	四六三	四五四	九
勧業銀行貸付	四六、八七二	四七、三九五	△五二三
貯蓄銀行貸付	一、二九〇	一、二七六	一四
合計	二三八、七六六	二三五、七七五	二、九九一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆重要物產別銀行放貸殘高

品名別	昭和二年八月末	前月末	增減(△減)
砂糖	五〇、八一八、六七〇円	五七、二〇八、五〇五円	△六、三八九、八三五円
米	一四、九四六、〇二七	一七、一八二、四四四	△二、二三六、四一七
茶	一、一八〇、六四八	一、三七五、八六七	△一九五、二一九
樟腦	二一一、二四四	五一四、六五七	△三〇三、四一三
金塊	六四三、〇〇九円	六四六、〇〇〇円	△二、九九一円
酒精	二三一、八二五	二四三、一九〇	△一一、三六五
石炭	六、一一三、二五四	五、四三七、〇八五	六七六、一六九
合計	七四、一四三、六七七	八二、六〇七、七四八	△八、四六四、〇七一

◆重要物產別銀行放貸額累計

品名別	昭和二年八月迄累計	前年同月迄累計	增減(△減)
砂糖	一五〇、三一四、三一九円	一四三、九一三、九五九円	六、四〇〇、三六〇円
米	八六、二六二、九四九	九二、五〇五、二三八	△六、二四二、二八九
茶	四、四二七、七四四	七、五六五、五三八	△三、一三七、七九四
樟腦	一、〇六六、四二二	三、五八八、〇一六	△二、五二一、五九四
金塊	二、九九〇、五〇九円	三、七一七、二八八円	△七二六、七七九円
酒精	二、一〇七、七六五	一、七二六、九二三	三八〇、八四二
石炭	一九、〇四七、一九〇	一七、五五六、二五七	一、四九〇、九三三
合計	二六六、二一六、八九八	二七〇、五七三、二二九	△四、三五六、三三一

◆手形交換高表（昭和二年八月分）

手形交換所々在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五、二五一枚	一、六四五、八六六円	四四五、〇九二円	三一三円
臺北	二五、三五四	一四、七五八、三〇三	六、二六三、八一四	五八二
臺中	三、〇二五	三、三〇八、七七八	一、四四六、一〇五	一、〇九三
臺南	一一、八〇九	三、二二八、〇二六	一、一七八、八九九	二七三
高雄	四、一四三枚	二、〇七〇、一四三円	七六六、三〇六円	四九九円
計	四九、五八二	二五、〇一一、一二六	一〇、一〇〇、二二六	五〇四
前月	四八、五〇五	二五、〇八三、八三八	一〇、二九三、三七一	五一七
前年同月	四六、三三九	二三、一五七、五七一	九、四四一、二三九	四九九

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◆手形交換高表（昭和二年九月分）

手形交換所々在地	手形枚數	交換金額	交換差額	交換枚數一枚ニ對スル平均金額
基隆	五,一二六枚	一,六四一,八四一円	五〇八,三〇〇円	三一九円
臺北	三三,二二四	一六,一一三,九三八	五,二四九,五四三	六九四
臺中	二,七七〇	二,七五九,八六二	一,三六〇,六四七	九九二
臺南	二,八九〇	三,六三二,九四六	一,二九九,四六六	三〇五
高雄	四,三五一枚	二,一二八,五六三円	五三四,六〇九円	四八九円
計	四七,三六一	二六,二七八,一五〇	八,八五二,五六五	五五四
前月	四九,五八二	二五,〇一一,一二六	一〇,一〇〇,二二六	五〇四
前年同月	四七,二四八	二三,九〇三,九〇六	八,八五九,七四三	四八四

◆島内各銀行内外爲替取組高表（昭和二年六月中）（單位圓）

（其ノ二）

摘要	收入 島内 口數	收入 島内 金額	收入 内地 口數	收入 内地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額
送金爲替	二八,五七四	三一,〇〇一,五〇八	四,二二一	八,五四五,二二八	四九四	一五八,六六〇
割引手形	七,八一〇	四,六〇六,九八六	四,五六五	三,三三九,六一六	—	—
荷付爲替手形	一,二二四	一,三七六,〇九五	一,四七二	二,八六四,六八三	九一	七〇六,四〇一
買入外國爲替	—	—	—	—	三六	一八三,八三五
利付爲替手形	—	—	—	—	—	—
代金取立	一三,一七三	四,七〇八,〇六〇	八,六四三	三,六八二,五七四	三一	四四,五三二
計	五〇,八〇〇	四一,六九二,六五二	一八,八九一	一八,四三二,〇九一	六五二	一,〇九三,四二八
前年同月	四七,三九三	四〇,六八四,八一九	一七,〇二七	一九,三四〇,六七五	六八九	一,四八三,〇三一
本月迄累計	二九一,四四六	二四二,二〇二,四九七	九九,五一三	一一七,七六六,八七八	四,二五九	八,八四一,四一〇
前年同月迄累計	二六二,九一一	二三一,五九三,七一三	一〇〇,八〇一	一二九,六一三,六〇六	四,〇七七	一一,九二八,五一一

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

(其ノ二)

摘要	支出 島内 口數	支出 島内 金額	支出 内地 口數	支出 内地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收超過 島内	收超過 内地	收超過 外國
送金爲替	二七,五六九	三三,三七二,四〇三	一,三七九	七,五八六,九八八	五三	七九一,九〇八	△二,三七〇,八九五	九五八,二三〇	△六三三,二四八
割引手形	五,七四九	三,四八八,四一七	六五	九二六,二五四	—	—	一,一二八,五七二	二,四一三,三六一	—
荷付爲替手形	一,三〇七	一,二四〇,二二六	八三一	四,〇七三,九六一	五	八八八	一三五,八七九	△二,二〇九,二七八	七〇五,五一三
買入外國爲替	—	—	—	—	三〇	二五九,四五三	—	—	△七五,六一八
利付爲替手形	—	—	—	—	三〇	九二,六二八	—	—	△九二,六二八
代金取立	九,六四八	三,七四五,〇二四	六七四	二,八二一,四八六	四二	一三,七〇三	九六三,〇三六	三,四〇〇,〇八八	三一,八二九
計	四四,二七三	四一,八四六,〇六〇	二,九五〇	一三,八六九,六八九	六三〇	一,一五七,五八〇	△一五三,四〇八	五,五六二,四〇二	△六四,一五二
前年同月	四五,〇四六	三八,九三七,六〇四	三,三五〇	一七,三六四,二二七	七二八	一,五六七,一四〇	一,七四七,二二五	一,九七六,四五八	△八四,一〇九
本月迄累計	二六四,八〇八	二三六,四二二,五四五	一八,三二〇	一二七,五四一,〇四五	三,八〇八	七,六五〇,一一二	五,七七九,九五二	二三五,八三三	一,一九一,二九九
前年同月迄累計	二六五,九八〇	二三三,四三七,四三一	一九,〇八九	一三九,四六八,二一〇	三,九四九	八,五四〇,〇六五	九,一五六,二八一	△九,八五四,六〇四	三,三八八,四四六

(其ノ一)

(同年七月中)

摘要	收入 島内 口數	收入 島内 金額	收入 内地 口數	收入 内地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額
送金爲替	二九,四八七	三六,〇六二,三〇五	四,〇九七	六,九九六,〇六五	四〇二	一一九,七五三
割引手形	六,六四四	三,七九六,八一〇	一,六八〇	一,四〇八,七五四	—	—
荷付爲替手形	二,一四八	一,七九七,九七三	一,六九二	二,九四四,八九三	一五九	一,四〇八,九九三
買入外國爲替	—	—	—	—	五一	三二二,七六五
利付爲替手形	—	—	—	—	—	—
代金取立	一三,一一七	四,六九二,一三〇	八,三三四	三,六一六,四五六	一三	五二,四三五

摘要	島内 口數	島内 金額	内地 口數	内地 金額	外國 口數	外國 金額
計	五〇、四五六	四六、三四九、二二八	一五、七九三	一四、九六六、一六八	六三五	一、九〇三、九四六
本月迄累計	三四一、九〇三	二八八、五一一、七一五	一一五、三〇六	一三一、七三三、〇四六	四、八九四	一〇、七四五、三五六
前年同月迄累計	三一〇、六〇七	二七五、六三八、〇六八	一一六、七一一	一四七、九〇八、九七八	四、八八六	一三、九六三、四六九

(其ノ二)

摘要	支出 島内 口數	支出 島内 金額	支出 内地 口數	支出 内地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收超過 島内	收超過 内地	收超過 外國
送金爲替	二八、一四一	三九、四一三、一〇〇	一、五九七	八、七四一、一三一	五〇七	七〇〇、五三五	△二、三五〇、八九五	△一、七四五、〇六六	△五五〇、七七三
割引手形	六、〇〇〇	三、四八七、〇〇二	七三	三、〇九五、八四七	二	二二二	三〇九、八〇八	△一、六八七、〇九三	△ 二二二
荷付爲替手形	二、三八七	一、八〇一、四八六	一、七〇二	七、七三五、五七八	六	八、五五七	△ 三五一三	四、七八〇、六八五	一、四〇〇、四三六
買入外國爲替	—	—	—	—	三	三一五、四一六	—	—	七、三四九
利付爲替手形	—	—	—	—	一七	五七、一九四	—	—	△ 五七、一九四
代金取立	九、四四九	四、〇四三、〇七八	四一六	二三〇、四五〇	二八	一八八、八八一	六四九、〇三二	三、三八六、〇〇六	三三、五五四
計	四五、九七七	四八、七四四、七六六	三、七八七	一九、七九三、〇〇六	五九二	一、一〇〇、七八五	△二、三九五、五四八	△四、八二六、八二八	八〇三、一六一
本月迄累計	三二〇、七八五	二八五、一六七、三一一	三三、〇〇七	一三七、三三四、〇五一	四、四〇〇	八、七五〇、八九六	三、三八四、四〇四	△四、六〇一、〇〇五	一、九九四、四六〇
前年同月迄累計	三〇九、六四〇	二六三、六一五、七三六	三三、〇六一	一六三、九九八、四九八	四、五八二	九、七一四、九二七	一三、〇二二、三九二	△一六、〇九〇、五三〇	四、二四七、五四二

(其ノ一)　(同年　八月中)

摘要	收入 島内 口數	收入 島内 金額	收入 内地 口數	收入 内地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額
送金爲替	三二、五四一	三七、三五三、二二五	四、〇三六	六、六五三、一三四	四一五	九五三、八八五
割引手形	六、四二六	三、四七一、七二八	一、六一四	一、四二五、五三三	—	—
荷付爲替手形	一、七四六	一、五五九、四七三	一、四一八	二、三四〇、三九九	七七	五五〇、九〇六
買入外國爲替	—	—	—	—	[illegible]	五四一、五五六

摘要						
利付爲替手形	—	—	—	—	四	一七、〇九八
代金取立	一三、八〇八	四、七四一、〇七〇	八、四三〇	三、四六九、二六九	四七	四一、二三五
計	五三、五二一	四七、一二五、四九六	一五、四九八	一三、七八七、三三五	五九五	一、二四六、〇七〇
本月迄累計	三九五、四三三	三五五、六七七、二二一	一三〇、八〇四	一四六、五二〇、三七一	五、四八九	二、九九一、四六六
前年同月迄累計	三五六、六四七	三一六、五九二、七七九	一三一、〇一三	一六六、九三一、八一〇	五、六九四	一五、三三五、一〇五

（其ノ二）

摘要	支出 島內 口數	支出 島內 金額	支出 內地 口數	支出 內地 金額	支出 外國 口數	支出 外國 金額	收超過 島內	收超過 內地	收超過 外國
送金爲替	二八、一二五	三七、五三四、三七二	三、三一六	一一、二八四、〇九〇	四四五	五四五、二九〇	△一八一、一五七	△四六二、九五六	△四五〇、〇〇五
割引手形	五、八二六	三、一九七、〇八六	五八	二、九六八、五三七	—	—	二七四、六五一	△一、五四三、〇一四	—
荷付爲替手形	一、六九四	一、五〇七、八六六	一、五三六	七、二四七、八九八	九	一三、六四八	五一、六七七	△五、〇〇七、四九八	五二八、二五八
買入外國爲替	—	—	—	—	二四	一五四、九二二	—	—	三八六、六二五
利付爲替手形	—	—	—	—	一九	五五、五〇八	—	—	△三、八四〇
代金取立	一〇、五八五	四、〇六五、〇六一	四二五	二六八、四六八	一六	三四七、七六八	六七六、〇〇九	三三〇、八〇一	六、四四七
計	四六、二三〇	四六、三〇四、三五五	五、三四五	二一、七六八、九九三	五三	八〇三、一四五	八二一、一四一	△七、九八一、六六八	四四七、九二五
本月迄累計	三五七、〇一五	三三一、四七一、六六六	二七、三五二	一五一、一〇三、〇四四	四、九一三	九、五五四、〇四一	四、二〇五、五四五	△二二、五六八、六七三	二、四七七、三八五
前年同月迄累計	三五一、八七〇	三〇三、八〇〇、九六八	二六、四六五	一八八、二三三、六〇八	五、三〇九	一二、五五四、五四七	一三、七九一、八〇一	△二、二八八、七九八	三七八、〇九八

（其ノ一）　（同　年九月中）

摘要	收入 島內 口數	收入 島內 金額	收入 內地 口數	收入 內地 金額	收入 外國 口數	收入 外國 金額
送金爲替	三二、一七五	三七、三三五、五五四	四、一八九	一三、六六一、七八二	四八五	一四五、一二八

摘要	口數	金額	口數	金額	口數	金額
割引手形	五,八四〇	二,九八三,七一七	一,五九九	一,一九三,五二四	—	—
荷付爲替手形	五三二	四五四,七一九	一,二五八	二,一七八,九四三	五八	二五八,九二四
買入外國爲替	—	—	—	—	三三	二五六,六七四
利付爲替手形	—	—	—	—	—	—
代金取立	一,七一六	四,〇三二,五三八	七,七六六	三,五五三,八九一	二七	一七,四四九
計	四九,三五三	四四,六八六,五二八	一四,八二三	二〇,五八八,一四〇	六〇三	六七八,一七五
本月迄累計	四四四,七七六	三八〇,三六三,七三九	一四五,六一六	一六七,一〇八,五一一	六,〇九二	二二,六六九,六〇一
前年同月迄累計	四〇二,八五一	三五五,八五七,五二六	一四六,一七二	一八七,八五〇,二五一	六,五五六	一七,三八二,七三四

（其ノ二）

摘要	支出						收超過		
	島内		内地		外國		島内	内地	外國
	口數	金額	口數	金額	口數	金額			
送金爲替	二九,〇七四	三五,二六三,四五三	一,一七二	七,八六〇,八七二	五一三	六九五,九七五	一,九六二,一〇一	五,八〇〇,九一〇	△五五〇,八四七
割引手形	五,三四七	三,七七二,一二七	六六	二,七五四,三二四	—	—	△七八八,四一〇	△一,五六〇,七九〇	—
荷付爲替手形	五四六	四九九,五八一	一,五二二	六,六六〇,八四五	五	四,七〇二	△四四,八六二	四,四八一,九〇二	二五四,二二二
買入外國爲替	—	—	—	—	三八	二二七,〇四六	—	—	二九,六二八
利付爲替手形	—	—	—	—	一五	四三,三九〇	—	—	△四三,三九〇
代金取立	八,四七四	三,三五三,八九七	三三八	二八八,九三八	三三	一七,〇七八	六六八,六四一	三,二六四,九五三	三七一
計	四三,四四一	四二,八八九,〇五八	三,〇九七	一七,五六四,九六九	六〇三	九八七,一九一	一,七九七,四七〇	三,〇二三,一七一	△三〇九,〇一六
本月迄累計	四〇〇,四五六	三七四,三六〇,七二四	三〇,四四九	一七六,六六八,〇一三	五,五一六	一〇,五四一,一三二	六,〇〇三,〇一五	△九,五五九,五〇二	二,一二八,三六九
前年同月迄累計	三九三,七七五	三四二,四一六,八七八	二九,七六二	二〇五,六七四,〇一四	五,九三一	一三,七二〇,二四九	一三,四四〇,六四八	△一七,八二三,七六三	三,六六二,四八五

市街地信用組合事業一覽表（昭和二年八月末日現在）

（其ノ一）

種別／州廳別	組合數	組合員數	出資口數	資産：未拂込出資金	資産：貸付金	資産：土地建物什器	資産：有價證券	資産：預ケ金	資産：假拂金	資産：手形割引	資産：其他	資産：現金	資産：計
臺北	九	六、二七九	四六、四〇七	七六、三七四円	五、二八〇、九五〇円	一四三、五一二円	九八九、五二〇円	一、〇四九、八二六円	八、七三五円	一六二、一八四円	一三三、六五一円	四七、〇六九円	七、八八〇、八三四円
新竹	二	一、一五八	一〇、三九七	七、三三六	八八九・四九六	二四、四八三	五〇	四四二、八一九	八九五	—	—	五、三三一	一、三七〇、三〇四
臺中	二	一、一一七	四、七三八	九九〇	七三三、九三八	二三、三三一	三八、一四六	三三七、六〇〇	一、八三六	—	—	一、七七三	一、一三七、五一五
臺南	六	三、一六四	二一、六〇二	一〇九、〇九八	二、三三三、八四三	六八、一五〇	一二六、九四二	五三八、八六八	二、八一六	四七〇、四八五	一、二九二	三四、〇五五	三、六八五、五五一
高雄	一	三三〇	一、三二八	五七〇	二六九、六六〇	三一、六七八	一四、五六一	六四、八四七	—	—	—	五三	三八一、三六九
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	一	一九五	四、四三五	—	二九一、九七八	四、三三七	—	一六、七八三	一、四四九	三七、三五三	—	五二五	三五二、四一六
合計	二一	一二、二四三	八八、八四七	一九四、二五九	九、七八九、八六七	二九五、三八二	一、一六九、二二一	二、四五〇、七五四	一五、七三二	六六九、〇二三	一三四、九四三	八八、八〇九	一四、八〇七、九九三
前月末合計	二一	一二、一九七	八八、八八二	二〇〇、三三三	九、七〇〇、三九五	二九四、六六四	一、一五一、一七八	二、六〇三、八五五	一四、八三六	六九七、一三五	一三五、一五三	九二、三四九	一四、八八九、八九二
△は減	—	四六	三六	△六、〇六三	八九、四七一	七一八	一八、〇四三	△一五三、一〇一	八九六	△二八、一一二	△二〇九	△三、五四〇	八一、八九八

（其ノ二）

種別／州廳別	負債：出資金	負債：貯金	負債：準備金	負債：各種積立金	負債：未拂配當金	負債：借入金	負債：假受入金	負債：其他	負債：剩餘金	負債：計
臺北	一、五〇九、〇二〇円	五、二九八、六二四円	五六〇、六八四円	一六四、二二六円	一〇、一一三円	八七、三七九円	八、〇三六円	三、六〇一円	二九、八七七円	七、八八〇、八三四円
新竹	二〇七、五九〇	九一八、八五三	一二一、九三八	七六、六二七	一、五四一	—	七、五三九	四七〇	三五、七五一	一、三七〇、三〇四

臺中	三三六、九〇〇	六五六、二四五	一二〇、八二九	七五、一二八	一、九二六	—	一〇、九四六	—	三五、五三八	一、一三七、五一五
臺南	八二三、〇六〇	二、三三九、九九一	二七五、八八二	七三、六八〇	一、七一三	六、一七四	五、八五八	二五、九三〇	一四三、二六〇	三、六八五、五五一
高雄	六〇、九〇〇	三一六、一六九	三三五	—	—	—	—	—	四、〇七五	三八一、三六九
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
花蓮港	八八、五〇〇	一六二、六一〇	四七、二三〇	二〇、七八三	—	一七、〇〇〇	二、八〇五	三、六一八	九、八七八	三五二、四一六
合計	二、九二五、九七〇	九、六八二、七九五	一、一二六、七八一	四一〇、三四六	一五、三〇二	一一〇、五五四	三五、一七六	五二、六八二	四四八、三八二	一四、八〇七、九九三
前月末合計	二、九二四、六五五	九、六九四、四七一	一、一二六、六三〇	四〇三、九八四	一六、六五六	二六七、七六八	四〇、四四八	五一、二四六	三六五、〇三一	一四、八八九、八九二
△は減	一、三一五	△一一、六七五	一五一	七、三六二	△一、三五二	△一五七、二一四	△五、二七二	一、四三五	八三、三五一	△八一、八九八

（其ノ三）

種別／州廳別	貯金內譯				貸付金利率			貯金利率			借入金利率			預ケ金利率			手形割引歩合		
	組合員貯金	第一條第三項貯金	第一條第四項貯金	計	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低	最高	普通	最低
臺北	一、七一五、八二一円	一、九九四、七四六円	一、五八八、三五六円	五、二九八、九二四円	二八厘	二四厘	二五厘	二〇厘	一五厘	七厘	二三厘	二三厘	一八厘	二五厘	一三厘	六厘	二六厘	二四厘	二三厘
新竹	三六八、三三五	四〇五、九一七	一四四、七一〇	九一八、八五三	二七	二三	二〇	二〇	一六	一〇	—	—	—	一八	一三	八	—	—	—
臺中	一二八、四五二	四六四、九五三	六二、八四〇	六五六、二四五	三六	二〇	一八	一二	一三	七	—	—	—	二〇	一三	七	—	—	—
臺南	一、一五八、四九四	八七〇、四六〇	三〇一、〇三六	二、三三九、九九一	四三	二五	一八	二六	一三	一〇	二三	二三	二三	一九	一三	七	二六	二〇	二〇
高雄	一九九、八八六	六三、八八〇	五二、四〇一	三一六、一六九	四六・	四六	二五	一三	一八	一八	—	—	—	二〇	一三	七	—	—	—
澎湖	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臺東	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二〇	—	—	—	—	—
花蓮港	六六、七二九	五〇、七四六	四五、一三四	一六二、六一〇	二七	二七	二五	二三	一八	一八	二四	二三	二三	一七	一七	一四	二七	二七	二七
合計	三、六三七、六〇九	三、八五〇、七〇五	二、一九四、四七九	九、六八二、七九五	四六	二六	二五	二六	一七	七	二三	二三	一八	二五	一三	六	二七	二四	二〇
前月末合計	三、六三五、五八四	三、八八九、四一四	二、一六九、四七一	九、六九四、四七一	四六	二七	二六	二六	一八	七	二三	二三	一五	二二	一三	六	二七	二四	二〇
△は減	二、〇二四	△三八、七〇八	二五、〇〇八	△一一、六七五	—	△一	△一	—	△一	—	—	—	三	三	—	—	—	—	—

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◇臺北物價指數表（昭和二年十月末）

品目		本月	前月	前年同月
白米	(一)	二三五・四六	二三八・三七	二五五・八一
玄米	(一)	一四一・三三	一四四・七三	二〇五・二六
清酒		三二一・四二	三二一・四二	三二一・四二
麥酒		一七二・〇〇	一七二・〇〇	一七二・〇〇
紅酒		三三三・三三	三三三・三三	三三三・三三
澤庵漬		二二二・二二	二二二・二二	二四二・一六
小麥粉	(一)	一五六・三三	一六三・七七	一六二・二六
砂糖	(一)	一五三・一四	一五六・五四	一三〇・一九
鰹節	(十)	二二八・五九	二〇七・八一	二二八・五九
味噌		一三三・八四	一三三・八四	一四一・五三
醬油		一三八・六三	一三八・六三	一五〇・〇〇
鷄卵		二〇五・七一	二〇五・七一	二二八・五七
火油	(十)	一二八・一八	一二〇・五一	一二八・四六
鹽		一四〇・九一	一四〇・九一	一四〇・九一
煙草		一八〇・〇〇	一八〇・〇〇	一八〇・〇〇
烏龍茶	(一)	六六・四一	七九・二九	八三・四八
包種茶		一三七・九三	一三七・九三	一三七・九三
白木綿	(十)	一四八・四一	一四六・八二	一五八・七三

品目		本月	前月	前年同月
綿布	(十)	一三一・三三	一二八・九一	一二六・五〇
洋紙		一六五・二一	一六五・二一	一七三・九一
日本紙		二三八・八八	二三八・八八	二三三・三三
杉板		一六六・六六	一六六・六六	一六六・六六
杉材		一七五・〇〇	一七五・〇〇	一八七・五〇
洋鐵		一四三・一〇	一四三・一〇	一五五・一六
鉛	(十)	一三七・五〇	一三一・二五	一五六・二五
銅		一三六・三三	一三六・三三	一三三・六五
煉瓦		二三六・〇八	二三六・〇八	二〇八・七〇
日本瓦		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
板硝子		一二三・五〇	一二三・五〇	一二五・〇〇
セメント	(一)	一六四・七一	一六七・六四	一八五・二九
燐寸		二二三・二四	二二三・二四	二三七・一六
石油	(一)	一四八・六一	一五三・一八	一四二・九五
石炭		一七〇・〇〇	一七〇・〇〇	一五〇・〇〇
木炭	(一)	二三五・〇〇	二五三・三三	二六〇・〇〇
薪	(一)	二四二・八六	二五七・一四	二五七・一四
平均	(一)	一七五・八三	一七六・三一	一八二・五四

備考　本表は大正三年七月の物價を一〇〇として計算せり（十）印は騰貴（一）印は低下を示す

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◈平均指數五箇年對照表

月次	昭和二年	昭和元年 大正十五年	十四年	十三年	十二年
一月	一七六・四〇	一九〇・七九	二〇三・三三	一九一・八一	一九一・六四
二月	一七八・八三	一九〇・九五	二〇三・三〇	一九一・九四	一九五・三三
三月	一七八・三九	一八八・二一	二〇〇・六〇	一九一・二三	一九六・〇六
四月	一七七・二七	一八八・二五	二〇〇・三二	一九一・五九	一九六・〇一
五月	一七七・六四	一八六・〇二	一九二・五〇	一九四・一六	一九五・二七
六月	一七八・二七	一八五・二〇	一九二・八七	一九二・七六	一九五・〇七
七月	一七七・五〇	一八五・一一	一八五・一〇	一九一・六一	一九〇・八六
八月	一七五・九七	一八四・六六	一九五・二七	一九三・九二	一九〇・五六
九月	一七六・三一	一八三・三五	一九五・六三	一九八・三〇	一九二・〇四
十月	一七五・八三	一八二・五四	一九二・二八	二〇二・四一	一九〇・二三
十一月	―	一八一・五七	一九三・一六	二〇五・〇三	一九二・二八
十二月	―	一八〇・〇七	一八九・七四	二〇三・三三	一九一・六六

◈各年月ヲ一〇〇トセル本月平均指數

基礎年月	二年八月	十五年十月	十四年十月	十三年十月	十二年十月
本月平均	九九・七九	九六・三二	九一・二九	八六・八六	九二・二八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

漢詩

將游臺灣舟中作四首節一　伊藤盤南

長風吹我向南溟。萬里洪濤蛟氣腥。蕩胷天低雲杳渺。舵樓直指老人星。

謁臺灣神社

廟貌儼然瀛海濱。威靈萬古護黎民。當時旗鼓軍容壯。奕世蘋蘩祀事頻。雨灑烏號天色慘。雲排雉尾日華新。心香來薦懷今昔。懦立貪廉大有人。

芝山岩

遠來有客淚雙垂。悄讀當年殉難碑。山木悽々風籟慘。芝山岩上立多時。

阿里山

百二洞天過。登々躋峻岑。龍蛇藏大壑。雲霧鎖層林。山深鴻濛色。風傳太始音。冷然多魍氣。神木萬年陰。

角板山

織貝珠裙埋石盟。蕃疆遺俗自純誠。侏漓漸變歸王化。絃誦中含樂歲聲。

開山神社

敢違阿父旨。朱父燎儒纓。倡義搖閩粵。興師討滿清。孤忠仍母訓。苦節是臣榮。何處延平址。荒涼赤崁城。

高雄

遠上高砂望八溟。壽山斜日海天青。聞言日本極南地。有島岩々羅七星。

朝香宮殿下駕臨寒舍謹賦　吳子瑜

陋室如何得屈尊。珊輿光寵錫寒門。須知一視同仁意。草木咸沾雨露恩。

題東勢角楊元嵩君宅　王了菴

地勝宜高隱。雲深闢小園。短墻梅影覆。曲澗水聲喧。放眼山千疊。談心酒一尊。超然塵世外。疑是古桃源。

讀盡南詞宗遊臺詩草　伊藤壺溪

向老人星耀處行。曠唫岳影與濤聲。高岑之際別開徑。直接浣花沉鬱情。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

俳句

孕江選

堆き曝書の中に僧を見る　靜雪
蝶飛べる三貂角の岩間かな　同
林邸のはらから多き歸省かな　同
茶屋の婢によくぞ馴れたる小鹿かな　花吾
角細工買ふやうしろに鹿の來て　同
初猟やこゝら熊笹ばかりなる　同
一水を隔てし街や夜寒の燈　洋々
驛毎に降りゆく客や夜寒汽車　同
校庭をいさゝか借りて籾干せる　同
揀桶(シエクタン)や明日刈る畦に傾きて　瓦全城
笨仔(ブンナア)のそこゝに立つ夜明かな　同
笨仔の下濡れ乾くひまもなく　同

病兒看護

うは言と知りつゝ應ふ夜寒かな　素山
長廊や夜寒の守衛たゞひとり　同
牧童はタイヤル族や草の花　同

竹子湖の櫻紅葉のなつかしや　非文
請神の抱かれ通る秋の町　同
百足風夕風頓に加はれり　同
秋の町臺車乘場に盡きにけり　同
ベランダに猿飼ふ家の小春かな　たけを
寺抜けて夜寒の町を戻りけり　同
路次入るや茶棧竝べる秋の町　狂洋
開かれし大水門や秋の川　同
石堤に籠編む媳婦や秋の川　同
秋雲や山あひにある溫泉宿　螢人
穗芒や宿の上なる紗帽山　同
ふか〳〵と轍のあとや草の花　同
街路樹の下行く水や秋の聲　塘翠
栗燒くや夜業の妻の面やつれ　同
籾干して縫ひ居る媳婦や番がてら　香涯
籾干の番に飼ひ犬つけ置きぬ　同
賭博して遊べる囝仔や草の花　孕江
貯水池へ登る徑なる草の花　同
一削や夕日の中に稻打てる　同

臺灣日誌

自十月二十日
至十一月十六日

十月

▲二十日
・島内各銀行貸出利率一厘引下げを行ふ
・産業組合協會主催産業組合講習會開かる
▲二十一日
・上山總督角板山視察
▲二十三日
・臺北乘馬會大會を行ふ
▲二十五日
・後藤總務長官中南部視察
▲二十六日
・臺北州國語演習會を催す
▲二十七日
・臺灣美術展覽會開會式、上山總督臨場
▲二十八日
・臺灣神社大祭執行
▲三十日
・教育會全島教育功勞者表彰式を行ふ
・基隆體育會發會式を擧ぐ

十一月

▲一日
・朝香宮鳩彦王殿下御來臺
・紀念大運動會開かる
▲二日
・朝香宮殿下臺北市内各所御成
▲三日
・明治節體育デー
・社會事業團體へ助成金交附
・朝香宮殿下臺北市各所御視察
▲四日
・朝香宮殿下角板山へ御成
▲五日
・全島國語演習會新竹に開かる
・朝香宮殿下新竹へ御成
・淩海丸漁場探査の爲出帆す
▲六日
・美術展覽會終る
・朝香宮殿下臺中を經て嘉義御著
▲七日
・朝香宮殿下阿里山御成
・上山總督歸府
▲八日
・朝香宮殿下阿里山伐木場へ御成
▲九日
・朝香宮殿下嘉義へ御歸還
・臺灣守備隊秋季演習中部平野に開始
▲十日
・朝香宮殿下嘉義より烏山頭御視察
・臺中商工會總會
・山本博士水星觀測を行ふ
▲十一日
・朝香宮殿下臺南市各所へ御成
▲十二日
・朝香宮殿下屏東へ御成
・醫學大會醫專講堂に開かる
▲十三日
・朝香宮殿下御歸北、草山へ御成
・上山總督新竹少年刑務所視察
▲十四日
・朝香宮殿下淡水へ御成
▲十六日
・朝香宮殿下基隆へ御成、蓬萊丸にて内地へ御歸還

人事消息

森通譯官　十月二十七日歸府
鳥居産業技師　同日海外より歸臺
八坂府技師　同日著任
石黑文教局長　十一月一日上京

西垣博士　同日內地へ歸還
森下中央技師　十一月二日南洋より歸臺
谷口交通局技師　十一月三日上京
堀內醫專校長　十一月六日南洋より歸臺
片山交通局技師　十一月四日歸臺
林原高校教授　十一月十一日內地へ
靑木專賣局技師　同上
平山寅次郎氏　十一月四日歸臺
久米孝藏氏　十一月六日上京
山本理學博士　水星觀測の爲十一月七日來臺
上妻專賣局技師　十一月十一日海外出張出發
加福博士　同上歐米出張出發
荒木臺銀理事　十一月十二日來臺
木下交通局總長　十一月十二日歸臺
池田海軍中將　同日來臺
赤司初太郎氏　十一月十六日上京
久宗董氏　同上
松岡富雄氏　同上
竹屋秘書官　同上
村上滿鐵病院長　同日內地へ
中村海軍中佐(駐在武官)　十一月十七日着任
鈴木技師　同日歸臺
梅田海軍大佐　十一月二十一日上京
上山總督　同日上京
一戶秘書官　同上

任命

昭和二年府報 自二百二十八號 至二百五十號

○昭和二年十月二十四日

文教局長　石黑英彥

東京、大阪、宮城、石川ノ各府縣下へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月二十五日

小原時雄
永田儀三郎
許丙
陳佛審
林熊光

(各通)
臺北州協議會員ヲ命ス

新原龍太郎
潘成鑑

(各通)
新竹州協議會員ヲ命ス

正八位　原重義
勳八等　村木忠次
野口牛之輔
安田稻實

(各通)
臺中州協議會員ヲ命ス

宍戶千潁

臺南州協議會員ヲ命ス

筧千城夫
陳啓峰

(各通)
高雄州協議會員ヲ命ス

三好德三郎
黃純靑
顏國年

(各通)
願ニ依リ臺北州協議會員ヲ免ス

小畑勇吉

願ニ依リ新竹州協議會員ヲ免ス

李崇禮

願ニ依リ臺中州協議會員ヲ免ス

平山寅次郎
陳啓貞

(各通)
願ニ依リ高雄州協議會員ヲ免ス

臺灣總督府專賣局技師　加福均三

歐米各地へ出張ヲ命ス

臺灣總督府專賣局技師　上妻理人

米國へ出張ヲ命ス

○昭和二年十月十四日

臺灣總督府醫院醫官 永松完
嘉義醫院長惣池功不在中代理ヲ命ス

○昭和二年十月二十六日

臺灣總督府師範學校長 根井久吾
臺灣總督府師範學校教諭 石井權三
(各通)
臺灣教員檢定委員會常任委員ヲ命ス

臺灣總督府師範學校教諭 渡邊節治
臺灣教員檢定委員會常任委員ヲ免ス

○昭和二年十月二十六日

農林技師 杉村鎮夫
任臺灣總督府臺北高等農林學校教授

新竹州郡屬 三上敬太郎
(各通)
新竹州視學兼新竹州屬 安山圭三
任臺灣總督府視學官

臺灣產業技師ニ任ス 輪湖清美

臺灣總督府中央研究所技師兼臺灣總督府技師 福本林作
免本官專任臺灣總督府技師

休職臺灣總督府臺北高等農林學校教授 大石太七郎
依願免本官

○昭和三年十月二十六日

臺灣總督府視學官 三上敬太郎
同 安山圭三
(各通)
文教局督學室勤務ヲ命ス

臺灣產業技師 輪湖清美
新竹州產業技師ニ補ス

臺灣總督府技師 福本林作
營林所勤務ヲ命ス

臺灣總督府法院判官 堀田眞猿
上京ヲ命ス

臺灣總督府中央研究所技師 門多道別
東京、京都、福岡ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府地方警視 森田俊介
福岡縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十月二十七日

臺灣總督府視學官 三上敬太郎
同 安山圭三
(各通)
依願免本官

○昭和二年十月二十八日

臺灣總督府技手兼臺灣總督府中央研究所技師 松浦作治郎
任臺灣總督府中央研究所技師兼臺灣總督府技師 松田郁太郎
任臺灣公立實業學校教諭

○昭和二年十月二十五日

臺灣總督府在外研究員 早坂一郎
歸朝ヲ命ス

○昭和二年十月二十七日

臺灣總督府醫學專門學校長 堀内次雄
英領印度、蘭領東印度、馬來半島、暹羅、佛領印度支那及支那廣東ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府中央研究所技師 森下薰
英領印度、海峽殖民地、馬來聯邦州及蘭領東印度ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府州港務醫官 桐林茂
英領印度、海峽殖民地、暹羅及支那廣東ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府在外研究員 林茂生
在留期間一箇年間延期ス

臺灣土木技師 公莊勝二郎
臺南州土木技師ニ兼補ス

○昭和二年十月二十八日

臺灣總督府技師 松浦作治郎
營林所造林課勤務ヲ命ス

臺灣公立實業學校教諭 松田郁太郎
補臺中商業學校教諭

○昭和二年十月二十九日

簡易保險局書記官從五位勳六等 安藤守孝

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

兼任臺灣總督府交通局參事

○昭和二年十月十八日

臺灣總督府視學官　若槻道隆

事務官坂口主税缺勤中博物館長代理ヲ命ス

臺灣總督府視學官　山口重知

博物館長代理ヲ免ス

○昭和二年十月十九日

臺灣總督府中央研究所技師　磯永吉

中央研究所技師大島金太郎缺勤中農業部長代理ヲ命ス

○昭和二年十月二十日

臺灣總督府臺北高等農林學校教授　一色周知

昭和二年度農業教員養成講習會講師ヲ免ス

○昭和二年十月二十六日

臺灣總督府臺北高等農林學校教授　杉村鐵夫

臺灣總督府在外研究員ヲ命ス

二箇年間米、英、獨ノ三箇國ニ在留スヘシ

○昭和二年十一月一日

臺灣總督府技師　小島嘉三

一時歸府ヲ命ス

臺灣總督府臺北高等學校教授　林原耕三

兵庫、廣島ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十一月一日

檢事　松尾海造

吉永廣衛

（各通）

任臺灣總督府法院檢察官

○昭和二年十一月一日

臺灣總督府法院檢察官　松尾海造

補臺中地方法院檢察官

臺灣總督府法院檢察官　吉永廣衛

補臺南地方法院檢察官

○昭和二年十一月一日

臺灣總督府交通局技師　谷口廣三

東京、神戶、門司ノ各鐵道局管內ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十一月二日

葉清泉

臺南州協議會員ヲ命ス

鈴木重臣

鄭沙棠

（各通）

願ニ依リ臺南州協議會員ヲ免ス

○昭和二年十一月四日

臺灣總督府專賣局技師　加福均三

東京、大阪、京都、兵庫、宮城ノ三府二縣下及北海道廳下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府專賣局技師　上妻理人

東京、大阪、兵庫ノ二府一縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　島義雄

一時歸府ヲ命ス

○昭和二年十一月一日

臺灣總督府事務官　野口敏治

文教局長石黑英彦不在中代理ヲ命ス

○昭和二年十一月五日

臺灣公立中學校教諭　小柳辰一

支那厦門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校教諭　大森丈之助

南滿洲、關東州、朝鮮及福岡、鹿兒島ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府技師　川口庄松

一時歸府ヲ命ス

臺灣總督府殖產局長　高橋親吉

東京ヨリ長野、千葉ノ二縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十一月六日

臺灣總督府中央研究所技師　山口[illegible]爾

中央研究所衛生部長堀內次雄不在中代理ヲ命ス

○昭和二年十一月八日

臺灣總督府技師　鈴木進一郎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

東京ヨリ東京府下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府地方理事官　藤黑總左衛門

東京、大阪、新潟、靜岡、三重、富山、德島、愛媛、鹿兒島ノ二府七縣下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府警察官及司獄官練習所教官　鈴木秀夫

東京府外一府十縣下ヘ出張ノ序ヲ以テ兵庫、香川、愛媛、大分、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿兒島、宮崎ノ十縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十一月九日

臺灣總督府法院檢察官　內田保次

補臺北地方法院新竹支部檢察官

○昭和二年十一月九日

臺灣總督府師範學校長　田中友二郎

臺灣總督府編修官　浮田辰平

同　加藤春城

臺灣總督府師範學校教諭　荻阪進治

同　西山淸澄

同　渡邊節治

同　藤谷芳太郎

同　西卷南平

同　芝原仙雄

臺灣公立中學校教諭　蔦宗直太郎

臺灣公立實業學校教諭　山本由松

臺灣總督府臺北高等農林學校教授　芹澤立

（各通）

臺灣教員檢定委員會臨時委員ヲ命ス

臺灣公立高等女學校教諭　石川平司

支那廈門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府專賣局技師　青木恒信

東京、京都、大阪、廣東ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十一月十四日

臺灣公立實業學校長　高井利五郎

支那廈門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十一月十六日

臺灣總督秘書官　竹屋春光

上京ヲ命ス

臺灣總督府地方警視　森田俊介

東京府下ヘ出張ヲ命ス

臺灣總督府師範學校長　志保田鉎吉

支那廈門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

臺灣公立高等女學校長・塚本淸吉

支那上海、福州、廈門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

臺灣產業主事　陰山登

高知縣下ヨリ大阪、福岡、大分ノ各府縣下ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十一月十八日

臺灣公立中學校長　下村虎六郎

支那上海、福州、廈門、汕頭、廣東及英領香港ヘ出張ヲ命ス

○昭和二年十一月十九日

臺灣總督府在外研究員　安藤正次

同　土橋反四郎

（各通）

歸朝ヲ命ス

○昭和二年十一月二十一日

臺灣總督秘書官　生駒高常

總督官房秘書課長一戸二郎不在中代理ヲ命ス

臺灣總督府事務官　生駒高常

事務官和田一次缺勤中總督官房法務課長代理ヲ命ス

臺灣總督府事務官　一戸二郎

總督官房法務課長代理ヲ免ス

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

臺灣總督府編纂

昭和二年八月一日現在

臺灣總督府
及附屬官署

職員錄

十月新刊發賣

定價金九十錢（送料八錢）

臺灣總督府內

臺灣時報發行所

振替口座臺灣二〇七〇番
電話府內八十九番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那及南洋情報

臺灣總督官房調查課

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

目次

支那

北京政府中西廢約の宣言……一
中國大學院概況……二
馮軍豫東の大捷……三
武漢南京歸一近からん……四
大刀會の逸聞……六
福建時局變化の經過……八
廣東情報……一一
上海の經濟的地位及其の發展問題……一二

比律賓

總督代理の第七回比島立法部に與へたる敎書（四）……二〇
比律賓に於けるカポック……二六

佛領印度支那

印度支那の漆（三）……二九
交趾支那に於ける物資の輸入率及價格……三一
一九二八年度印度支那一般豫算案……三三

暹羅

錫及錫鑛年產額比較表（最近四箇年）……三四

英領馬來

馬來貿易統計改正案……三四
馬來半島の籐に就て（下）……三五
一九二七年上半期の新嘉坡貿易概況……三六

蘭領東印度

蘭領東印度の華僑……三九
一九二七年度外領土人護謨輸出見積……四五
スマトラ東海岸州の栽培業の成績……四七

英領印度

緬甸米作第一回豫想……五〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

情報

支那

□北京政府中西廢約の宣言

中國政府の同治三年九月十日中國日斯巴尼亞(西)條約を終止するに關する宣言(十六年十一月十二日)

一八六四年十月十日中國と日斯巴尼亞との訂むる所の友好通商航行條約は、中國政府、該約第二十三條の規定に依照し、既に一九二七年十一月十日より以後再び有效ならざるを宣告す。中西兩國の邦交は夙きに親睦と稱し從ひて未だ間斷せず。中國政府は深く此の舉の必ず能く中西友誼の關係を增進するを信じ、且つ兩國の間曾て平等及び相互に領土主權を尊重するの原則に根據し、別に新約を訂むることに同意し、並に既に會商を開始す。中國政府は切に此の項新約の久しからずして必ず能くこれを事實に見、兩國の互に利せんことを望めり。

中國政府が該約を終止するの志願暨び其の平等及び相互に領土主權を尊重するの原則に根據し、別に新約を訂むるの提議は既に一九二六年十一月十日に於て文を備へて日斯巴尼亞政府に照會せり。蓋し六十年來兩國の經濟商務及び社會の情形の既に幾度も重大なる變遷を經たるに鑒みて中國政府の此に出でたるなり。該約第二十三條の規定に關照するに、批准を互換せる日より起り、一の締約國が十年期滿の時に至る每に修約を要求するの權あるを得。當時兩國の批准は原と一八二七年五月十日に互換するに係る。而して中國文約文の規定に據るに、十年期滿前六箇月に至る每に卽ち修約要求を通知すべし。故に中國政府は該約たる一九二七年五月十日に至れば、應に期滿の時と爲すべきを認む。其の後西方の譯文に亦謂ふ、西政府は深く一八六四年中西條約調印より以來、世界の經濟商務政治は大に變遷あるを知り、兩國の商訂せる新約以て舊約に代ふるの一事に對し、認めて適當の舉と爲す。たゞ失效の時期の問題に關しては西政府は、以爲へらく西文の約文に依照し修約提議の通知は應に十年期滿前六箇月に至る每に在るべからずして、應に十年期滿後六箇月の內に在るべし。是の故に一八六四年の條約は須く一九二七年十一月十日に至りて方に滿期と爲すべしと。中國政府は力めて西國政府と互に相妥洽ならんと求め並に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

新約の成立に便利ならんが爲に起見し。復た一九二七年五月十日本約期滿の主張を堅持せざりき。該約第五十一條には兩締約國は各本國文字を以て準と爲すを規定すと雖も、然れども仍ほ該約の有效時期を展べて一九二七年十一月十日に至りて止と爲すを承認したり。たゞ西方稱する所條文の廢止に關しては應に約內の税則商務條款と其の他の事項に關係する各條款とを劃分して二と爲すは、中國政府未だ以て承認すべきの理由あるを見ず。蓋し一八六四年の中西條約は既に專ら通商を重んじ、其の載する所の條款は大多數通商問題と直接或は間接上互に關係あり。卽ち通商と並に關係なきの條文にして現在の情形變遷し亦均しく既に適用する能はざるに似たり。故に兩國をして更に能く互に相了解し、並に友誼を促進せしめんが爲め起見し、中國政府は以て此の種區別の辦法は以て實行し難しと爲し、仍ほ舊約全部を失效と宣告し代ふるに新約を以てするをやゝ得計と爲すに如かざるを主張す。

目下新約の會商正に進行に在り。第一回修約會議は既に一九二七年八月八日に於て舉行す。而して中國の草案亦八月十八日に西使に提交せり 中國政府は深く西政府熱誠の協助を得、此の事の厥の成功を告ぐる、期たる當に復た遠からざるべきを信ず。

此の舊約效を失ひ新約未だ成らざる時期以內に在りて、中國政府は一八六四年の條約の一九二七年十一月十日より起りて效を失ふを宣告するの時に於て、既に地方官に令知し、所有西國の華に在るの使領及び其の人民財產に對し、國際公法及び國際習慣に照し、予ふるに充分及び適當なる保護を以てせしめ、並に主管各部署に訓令し、國際慣例を按照し優待辦法を會商せしむといふ。

右に對する西使抗議には答へず。西班牙公使館は十四日外交部に向ひ節略を送り北京政府の失效宣告に抗議したるが、政府は該節略が其の[illegible]て、西班牙國政府より、支那政府に照會したる主張と相容れざる所ありとの事にて、外交部は既に右節略に對しては暫く答復せざることに定め居れり。(十一月十五六日—北京情報)

中國大學院概況

民國大學院設立の後、內部の組織は大部分既に緒に就き事務の取扱を開始したが、大學院の印章は尙ほ國民政府の頒發を經ず故に目下對外往復には仍ほ國民政府敎育行政委員會の名義を用ゐ居る次第である。玆に同院各部職員の人選既に定つたものを錄するに左の如し。

大學委員會委員 李石曾・褚民誼・高魯・胡適・趙元任
大學秘書處・秘書長・金曾澄・秘書・許壽裳・李金髮・曾仲鳴・文書組主任・程瀛章・楊芳・高魯・事務組主任・文書殿 盧幸和・龔人字・周應威・監印 孔竹和・收發兼事務・李文緯・李孝・[illegible] [illegible]

施緯、會計　鄭陽和・葉耕文、
敎育行政處主任　楊銓(一)學校敎育組主任　張奚若、普通股長未定
專門股長未定　股員は專門股總務　培然、其他敎務總務の如き皆立案されて學校に留ることゝしたが、各股の職員は皆未だ定らず。(二)社會敎育組主任張奚若兼任、羣衆政治訓練股々員郭蓮峯、勞働敎育平民敎育(城市及鄉村)・常識敎授・體育及美化の各股職員は未定(三)法令統計組主任朱葆勤、法令股々長股員未定、統計股々長薛光琦　股員黃似奇、書記刁泰亨(四)圖書組主任皮宗石、其他未定(五)國際出版品交換組主任袁恕、股員高興、其他未定(六)書報編審組主任錢端升審査股々員李雲甚、書記王晉余、其他未定、以上行政處は六組とす。もと八組なりしも後法令と統計とを合せ、書報編譯と審査とを併せたから

觀象臺準備委員會　委員高魯・竺可楨・股員陳雲・陳遵嬀
美術博物館　委員林風眠・李金髮・張靜江・張傳泉
大學院敎育經費計畫委員會　委員孫哲生・馮少山・李石曾・錢新之・鄭韶覺・易寅村・廉南湖・葉琢堂
華僑敎育委員會　委員鍾榮光・鄭洪年・林子超・陳嘉庚・高魯・何尚平
其中西文書記及事務員は尙ほ未定。(以上十月十九日敎育新聞)

□馮軍豫東の大捷

今回直魯聯軍は全力を以て河南を攻め十月十一日より今に至るまで激戰二十餘日、馮軍敵を誘うて深く入らしめたが聯軍は計に陷るを知らず、第二集團軍は既に敗北したと思ひ褚玉璞親しく徐源泉程國瑞王棟劉志陸方永昌等の各大將を率ゐ二路を分ちて河南に入り、一路は歸德から隴海路に沿うて西の方に來り、一路は曹州より劉鎭華部の反將姜明玉梅吾魁の兩人に給合し、全力を以て革命軍に向つて猛攻し勢甚だ猖獗であつたが、十月二十一日既に考城蘭封に迫り、睢州の杞縣にも敵蹤を留むるあり、最前線は陳留縣境の羅王に近づき、開封を距る六十支里に至らなかつた。馮は第一方面軍孫總指揮を派し劉鎭華鹿鍾麟に會同して應戰させ、同時に總指揮韓復渠を續派して戰を助けさせ、鄭大章の騎兵も亦加入し、二十四日夜總攻擊に出で双方血戰七晝夜の久しきに亘り短兵戰を交ふるに至る。是の役馮軍の孫良誠は馬鴻逵軍長・吉鴻昌師長を率ゐ蘭封に在りて痛擊を加へ、韓復渠は張濟雲師長及び石友三軍長を率ゐ、鹿鍾麟・龐炳勛・楊虎臣・馮欽哉・常好仁王鴻恩・玉鉅棠の諸軍を會同し三十一日早朝に杞縣全線より出でて擊ち、鄭の騎兵は歸德以東に向ひ截擊を試み、三十一日午前七點、石友三は李壩集を占領し午後四點韓復渠突如柳河を占め張濟雲既に伯當集を過ぐ。敵將程國瑞は重傷を負うて僅に身を以て免れ旅長二人を斃し三千餘名を俘虜とし、聯軍の鋼甲車三列大砲七十餘門迫擊砲三百餘門を奪獲し、現に正に追擊中である。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

直隸聯軍失敗の原因には二つの大なるものがある。一は前方の行進あまりに急速にして會攻の實を擧げ得なかつたことゝ、二は聯軍に新に編入された王鴻恩部の寢返とである、卽ち(一)聯軍中の徐源泉張敬堯の二人は共は河南督軍たらんとの志あり、各自ら先を爭つて前進しつゝあつたが、其の開封を會攻するの時に當り徐は其の所部を率ゐて開封に出で、張敬堯は左翼より部を率ゐて陳留に出で中牟を抄め共に先づ開封を占め得て各自己の地盤と爲さんとあせるのみで、利害の全軍に及ぶことを忘却して居た、故に徐部が開封を距る十餘支里なる興隆一帶に達した時張部は尙ほ未だ前進し來らず。是に於て徐部のみ深入の不覺を取るに至つた。(二)新編王鴻恩部はもと前河南督軍岳維峻の舊部で今回馮玉祥に隨つて出陣したのであるが、前の虎城の戰に已むを得ずして褚玉璞に降つた。(一說には預て馮から旨を授けられて降つたといふ) 褚は之を改編して直督第二七方面軍團特立第五師とし、所部約三千餘人を三旅とし王を師長に任じ隊伍の擴充を許し置いたのである。此の軍は十月二十九日に召集されて前方に赴き正面軍に加入し開封を攻めることゝなつた。然し褚は其の變心せんことを恐れ之を前鋒に任ずるを願はなかつたが。王部の銃器は齊全し戰鬪力も亦弱くないのみならず、第三軍の第四十六師長吳杰第五十六師長何長保の二人が褚に向ひ直に保證したので、歸德から出發した時王の二旅を以て隴海線に沿ひ左右兩側を分つて前進させ、中間鐵甲車を以て之を輔け、一旅を野雞崗李壩集に留め後方を護衛せしめた。王部の開封に著くや前線に進んで戰を作したが、何ぞ料らん三十日に至り同部忽ち寢返を打ち野雞崗なる一旅も之に響應し、反つて聯軍を擊つに至り馮軍の鐵甲隊も亦進み來り、聯軍の前方に在るもの、此の突然たる包擊を受け遂に混亂の象を呈し大軍斷たれて三段となつたので、もはや勢支ふる能はず。各先を爭ひ後退するに至つた直督第一第三の兩軍の包圍されて武裝を解除されたものも少からず、鐵甲車は距離甚だ近きが爲め大砲の效力を生ぜず。露兵は鐵甲車を棄てゝ徒步戰を爲し聯軍と共に戰ひつゝ退いた。是の役双方死傷士卒あげて數ふべからず。加ふるに寢返りの王鴻恩部が柳河停車場を占領したとの報に接し、聯軍の恐慌を增したが、幸に左翼張敬堯の第二軍が寧陵より北進して援助に向ひ王棟の第五軍に會同し激戰の結果該停車場を奪返して止んだ。以上十月三十・三十一の二日間の事で、鐵甲車某號も馮軍の獲る所と爲り、程國瑞の第三軍は殘りなく潰敗し盡した。かくて聯軍は十一月二日歸德を退出し碭山に向つて集中し、褚玉璞亦歸德より鐵甲車に乘じて碭山に退いた。三・四の二日には第四・第六軍の特別軍用列車により皆各處の人員を纏めて碭山より徐州停車場に返る。

（十一月一・二・三・四日開封徐州急信）

□武漢南京の歸一近からん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

唐の失敗原因と下野 十一月十一日黃州に退却した何健軍は突然前線より漢口に歸り全軍皆戰意なし。故に唐生智が豫定の策戰、卽ち斬水蘄春の線に在りて南京軍を擊破するの計劃を實行する能はざるべく、又唐が萬一の場合上游なる楊森方振武等と妥協して危機を脫するの計も行はざるべきを以て、結局唐の下野に終るべく思はる。果せるかな何健は十一日午後著漢、數千名を率ゐ江岸より上陸し、直ちに一部の兵士をして唐の總司令部を包圍し唐の漢口を去らん事を求めしめた。十一日の夕方唐は其の參謀長張驥浩と共に江を渡つて岳州に赴き漢口市は何軍の占領に歸した。唐の今回失敗した原因は(一)陳調元、程潜の兩軍並に李宗仁軍が皆武漢方面に向つて進軍中である。(二)何健は從來唐生智及び南京の兩方に對し均しく氣脈を通じて居たが、近頃唐の不境を見、家屬を安全の地に避難させ、討唐の準備に取掛つた。唐はかくて四面楚歌の中に陷り嫡系軍隊を督勵して對抗に便じつゝあるも部下のもの既に戰意なきを以て、唐は昵近者に向ひ辭職の意を洩らしたといふ。如上の二原因より見て一般に陳・程・李の聯軍が漢口占領は遲くも十日を出ないであらうと觀側さる。

共産黨の機會利用 一部漢口に於ける共産黨並に不良の徒輩は此の機を利用して活動しつゝあつて、最近に漢口は既に戰爭狀態に入り戒嚴令を布くに至つた。随つて外人の生命財産も危險を感じ高尾日本領事の如き海軍と聯絡し、僑民を保護し租界の防備に十分の布置をして居る程である。(十一月十一・十二日—漢口上海電)

長沙貴州軍の手に落つ 前數日唐生智軍が長沙に向つたのは同城恢復の目的であるが、聞く所によれば同城は湖南に侵入した貴州軍隊の手に落ちたといふ。是より先湘西の貴州軍周西成の部が、十一月初に長沙攻擊の令を下し、中路前鋒李曉炎・陳渠珍の兩師團は六日に長沙を距る六十支里の寧鄉縣で湖南軍陳漢章の師團と開戰し、周西成は同時に主力軍一部を指揮し資江に沿ひ直ちに長岳路に迫り、長岳間の湖南軍聯絡線を截斷した。寧鄉の湖南軍は戰況不利の爲め八日長沙に退き、九日周爛は突然省城を棄てゝ湘陰縣に退いたので、貴州軍の大部は十日に長沙城を占領した。かくて湖南軍は岳州方面に退き集中しつゝある。(十一月十一日—漢口電)

南京廣東の接近 曩に汪兆銘が廣東へ到著の時、南京特別委員會主席譚延闓に向ひ、(一)南京特別委員會の取消、(二)第四回中央全體會議を開くの前に、先づ上海或は廣州に豫備會議を開くべしとの主張を打電した。譚は之に對し(一)は當然中央全體會議の結果に依つて之を解決すべく、(二)は南京側で拒絕すべきの理由なし。但し開會地點は上海を以て最適宜と爲すと返電し來つた。是に於て兩派の意見遂に接近し南京側は既に第四回中央執行委員會並に監察委員會豫備會議を上海で開くとの汪兆銘の提議を承諾した。(十一月十一日—上海電)

汪・蔣の交歡 最近汪兆銘は黃埔軍官學校にて演說し、蔣介石引退の事に言及して謂ふ、余は從來蔣の態度に對し合はざる處もあつたが、將來は再び蔣と事を共にすべしと。蓋し蔣が日本に在るの際、兩

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

者間に信息を往復し互に接近を謀つた。　されば第四回執監會議開會の前に汪・蔣の二人は南京・廣東を率ゐて一致聯絡を實現するの傾向を生じた。

（同　上）

□大刀會の逸聞

法術靈驗なし　大刀會中の人は多く「お札」なるものを身に附け、これだにあらば戰陣に出づるも銃彈は身に入らざるべしといふ。同會中の人は深く信じて之を疑ふものなし。たま〳〵銃彈に中つて死するものあれば其の人の法術未熟の爲めとか、信心堅固ならざる爲めとか、又は昨夜女色を犯した爲めとか說明するのである。李君(測量隊員)が測量の爲め某縣に行つた時、大刀會中の一人が法術初めて成り、衆人の前で銃擊を試み、測量隊中の一員を邀へて之を擬せしめた事があつた。其の時法術者は先づ其の衣服を樹上に懸け之を銃擊したが、其の衣服は銃彈に射貫かれた同法術者はこれ呪術の未だ十分ならない爲めであるとて更に呪語を念じ「お札」を衣服中に挾み入れて之を試みしめたるが、亦同じく其の衣服は射透された。然るに同法術者は倘ほ之を認めず、三たび之を擊たしめたが其の射透される事前の如くであつたので、同人は大に憤怒し銃を地に擲つて曰く、「毋銃であるから役に立たないのである」と。同一の銃にして公銃とか毋銃とかの區別があるとは誠に奇怪な話である。

二人の命が四百元　或る日曲州縣で大刀會の徒八十人が一隊となり。皆大刀を負ひ堂々と村中に入り二人を捕縛し去つた。後同村人に問ひ始めて此の二人は曾て小茶店中で大刀會に對し不滿足の語を發した爲め捕へられのであることが分明になつた。此の二人の家族は急に跡を追ひ救出にかゝつたところ、大刀會は遂に四百元の贖命金を要求し、且つ以後決して衆人の前で同會を毀謗しない樣調印させた。右家族の者共は如何ともし難いので要求の儘四百元を呈して後始めて二人の生還を得たるも已に驚悸の餘魂消てしまつたといふ。

手紙一枚で測量が出來た　大刀會は測量隊が田の麥穗を踏荒したり、又は破法の陰謀を企てたりして同會に不利を與へんかと恐れ、之に反對すること屢々であつた。李君が測量して某村に至つた時も大刀會が出て干涉し作業を許さなかつたことがある。時に附近の圖面は已に出來たのに李君の分擔區域丈けが缺けては全圖に一簣の功を虧くことゝなるので。李君は非常に焦慮し遂に同會の團總の家を探知し出て、叮嚀な手紙を書き、測量作業の地方に害なくして將來に益あることゝ、團總の英雄の風あるを頌揚した語とを記し、役員を遣はし右の手紙を送らせたるに、恰も好し鄰村の大刀會が操練の際とて各團總は皆聚合し居り、一團總が右の書を受取つて讀み了り大に喜び同書を衆人に傳觀させ、返書を作つて李君へ與へたのを見ると、我已に各村に

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

告げ君等の作業を妨碍しない樣にして置いたから、安心して至急に作業すべしと書き、又一名刺を添えてあつた。李君は之を得て大に喜び翌日から測量に從事したが、何人も過問するものはなく、滯りなく作業を完成した。團總の威信斯の如くで今日の將軍などの軍令の行はれないのに比すれば亦自ら誇るに足るものがある。

兄弟喧嘩も眞劍勝負　李君が或る日某村に入り某氏の家を借りて暫く留つたが、同家には二人の兄弟あり、兄はやゝ溫和の質とて直ちに許容し家の前部五六室を明け渡して測量隊を寓居させたが、意外にも其の弟は大に不贊成を唱へ兄弟間互に口論するに至り、果ては机を叩いて大に罵り合ひ、各大刀を執つて庭に走り出で、互に暴力に訴へんとするが如し。李君等之を見直ちに出で婉言を以て之を和解させんと力めた。處が遂に此事が老父の耳に聞ゆるや、右の老父は投げしの上から長鎗を取り怒つて長子の無禮を叱責し、詞つきは弟に左袒するものゝ樣であつた。幸に鄰人等も來合せ共に和解を勸めたので奇禍を惹起させなかつた。さもなくば眞刀眞鎗を以て大立廻りを始め流血の慘劇を演じたであらう。李君等は其の翌匆々に他所に遷つたといふ。

家屋借受の爲め護兵縛せらる　大名府附近各村の紅鎗會は最も强悍で測量隊に反對すること更に甚し、測量隊員が其の土地を履み作業することを許容しない。李君初めて某村に至り先づ一の護兵をして村に入り家屋を賃借させた。護兵はたまたま軍服を着けて居たので遂に衆人に縛られ群集の毆打を受けた。幸に一人の大刀會徒あり、曾て省外で服務すること數年測量隊軍隊との同じでないことを知つて居たので、同輩に勸めて之を釋させ、且つ一枚の手紙を置いて護兵に與へ速に軍服を脫がせ、而して之に告げて曰く、我が鄕もと軍隊を惡む。汝軍服を着て居れば必ず危險に遇はん急いで歸るに如かず。若し急難あらば此の手紙を出して見せればよしと。護兵は篤く禮を述べて村を出たところ、忽ち大刀會が嚴重に詰問するので、護兵は右の手紙を出して見せたら、其の儘に許して呉れた。李君は以上の警報を得遂に測量を中止して天津へ返つた。

山東境內には大刀會なし　李君の言によれば山東境內には大刀會の跡がないといふ。之れ張宗昌が初めて身を起した時同會を許容しなかつた爲めである。かくて同會は直隸省內では大に盛にして各縣各村共に大刀會あつて其の會員は皆貧民である。李君曾て一人の鄕人に向ひ君何故に大刀會に入らないのかと問へば、其の人の答ふるよう、入會者は皆田地家屋を所有する富人で、これらが集會して自衞するのであるが、我等の如き貧民は加入の必要はない。且つ實際に法術を練習するの暇がないと抑大刀會の組織は初め願書を出して登錄を受けたのであるが、當時地方の官吏は民團に類似せるものと思つて禁止しなかつた。最も「大刀」の二字があつては穩でないので自衞團と改稱したが、民間では仍ほ大刀會と稱して居る。大刀會の勢力既に厚くなつてから常に城を攻める事すらあり、軍民の衝突には常に刀劍劇を演出する會中の人々は頗る義氣を尙び關羽、岳飛を信仰し、歐米人に對して

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は頗る之を仇敵視し。河南の紅鎗會・山西邊境の天門會は互に聯絡を取り居り其の勢力輕視すべからざるものがある。（十月十九日—明道）

□福建時局變化の經過

第十一軍福建來の先觸れ　國民革命軍第十一軍副軍長蔣光鼐は共産軍葉賀等の部を驅逐すべき命令を奉じ江西省から福建へ來り、福建江西の邊界に道を取つて汀州に入り追擊に任ずる筈であつたが、葉賀軍隊が已に汕頭へ赴き且つ福建の詔安に蔓延しつゝあると聞き、臨時に計畫を變更し、改めて延平から省城に向ふ道を取る事となり預て省政府に電告し從來の顛末を明白にしたので、省政府は上海なる楊樹莊主席に伺ひ、楊の返電により至急歡迎の準備に取りかゝり、政府から三千元の臨時接待費を出し、又秘書二人をして新編軍長譚曙卿代表蕭文彬と共に水口まで出迎へさせたところ、十月六日蔣等は已に水口に到着し即日水道により省城に來る旨を報じた。同七日同軍參謀長陳景恩參謀處長張仲昌宣傳隊長李一平及び先發隊一營が來省し、直ちに各當局に謁し、並に宣傳作業に着手したが、九日夕に至り果して同軍第一師々長蔡廷楷は第一縱隊三團を率ゐ、又團長張世豐は第二縱隊二團を率ゐて先着し西門外に駐紮した。双十節の朝蔣副軍長は親しく第二十四師第七十一團及び直轄軍司令部の特務營・憲兵隊・通訊隊・輸送隊・炮兵營等を率ゐて着福したが、更に後續部隊として第三縱隊指揮顏德基が所部三團第四縱隊指揮盧過南が所部二團を率ゐ、江西省より浦城に至り不日に來福せんとする筈である。同軍の兵士は多くは廣東人で短小精悍數千里に轉戰し精神極めて振ひ軍紀も極めて嚴肅である。されば到る處物品を强取し又は民家に住宿し夫役を强ふる等の事なしといふ。

第十一軍の入省歡迎　十月午前九時蔣光鼐は全部軍官佐を率領して西關外に着、省政府各委員及新編軍々長譚曙卿等又各界の組織せる第十一軍歡迎大會の民衆約七・八百人は皆西門外接官亭及洪山橋に集つて歡迎す。午後二時頃蔣副軍長・蔡師長・盧司令・張團長・陳參謀長・張參謀處長は始めて小蒸汽に乘じて洪山橋に著、即時汽動車に乘じて接官亭に至り、歡迎大會を受け先づ蔣より今次第十一軍が共產驅の爲め福建省を經過する旨を演說し、並に各界歡迎の誠意を謝し次に各界代表より歡迎の辭を述ぶ。

倒譚の聲忽ち起る　上の如く周旋應對中、忽ち百餘人の青年出で來り、譚曙卿を打倒せよと高く呼ばゝりながら預ねて製備せし紙旗標語を袖より取り出し、同時に手にピストルを持せるもの數人あり躍つて高臺に登り蔣副軍長が五分間に譚曙卿を驅逐し出境せしめんことを要求すと聲言した。各要人皆相顧みて色を失つたが、蔡師長は高聲で大衆に向つて聲言するやうは、本軍と譚軍長とは同じく黨軍に屬し、進退問題は自ら上長官の責であるから、局外人の詞を置くの法なしと

言擧るや、各要人は皆起立し汽動車に乗じて入城し布司前なる第十一軍々長住宅に赴き譚曙卿亦將副軍長に隨ひ、直ちに布司前に至る。午後六時頃將は各軍官を召集して臨時會議を開いた。譚曙卿は軍事會議の後に始めて汽動車で己が軍司令部に返り、直ちに中央政府に電報を打ち本兼各職を辭し去つた。

謝瘦秋捕へらる　中央より特派され居た工人指導員謝瘦秋は前に上海某報が中央より福建省政府へ密令して李大超・胡迹・胡啓儒・羅敎孫・謝瘦秋の五人を逮捕せしむることを登載したので、特に文書を以て政府に質問したが、省政府は決してかゝる命令を受けたことはないとの旨を答へた。然るに双十節午後各軍が第十一軍を歡迎する時、謝は護衛兵二人を率ゐ車に乗じて鼓樓前に至れば、突然數十人の青年進み出で、之を捕縛せんとした謝の護衛兵は空銃を空に向つて放つたところ、右青年等はピストルを發射し路人を射殺すること四人、謝は遂に擒にせられ公安局に拘禁せらる。隨つて市黨部常務委員夏品瑤・祝傳鍼・林梅坡等より公安局に書を送つて云く、將軍長歡迎の時謝は銃を放ち騷擾を企てた。此れ明に反對運動を偽せるものである。既に民衆よりして之を黨局に護送したれば如何なることあるも保釋されないようにと。又云く謝は勞工運動の破壞をやつた形迹あり。應に民衆が法庭を組織して公決するを俟つべしと。

第十一軍の駐紮地點　第十一軍總司令部は福新街なる前福建銀行に設立され、第十師司令部は南臺軍警聯合處に設け、其の餘の歩兵は城内の南大街尙友堂・第二中學校・河南會館・湖北會館・城隍廟・西湖公園・張東勇祠・東湖等の處に設け、砲隊は烏石山・九仙山等の處に設けてある。

民衆の提出せる倒譚案十二項　民衆は歡迎會後に極めて激烈なる倒譚案十二項を提出した。即ち（一）第十一軍の武裝せる同志に請ひ、變相軍閥たる譚曙卿及び其走狗たる趙啓騤・張志韓・胡迹・李大超・胡啓儒・謝瘦秋・尤永增・吳求哲・王孝英・蕭作霖等を驅逐するに協助することを以てす。（二）譚曙鄉を拘留して清算せしむ。（三 第十一軍が黨權を擁護せん事を請求す。（四）第十一軍が眞正なる革命工友を協助し、福州市總工會執行委員會及び福建全省洪河江船員總工會を恢復せん、ことを請求す（五）共產貪官汚吏土豪劣紳腐化惡化投機反動等の各分子を肅清す。（六 第十一軍が民衆の痛苦を解除せんことを請求す。（七 國民黨の鐵軍を擁護す。（八）中央に譚曙卿を免職させ、竝に福建政府に渡して清算せしめ、及び法に依りて懲辦せしむ、（九）中央に打電して譚曙卿の走狗趙・張・李 胡・胡・謝・尤・吳・王・蕭等を懲辦せしむ。（十）全國及び各級黨部に對し、各社團、各報館・各學校等に對し譚及び其の走狗の罪條を宣布す。（十一）工友の組織せる魚販共濟會を保護せんことを請求す。（十二）工人運動指導員辦事處の取消請求の十二項である。此の外又福建三千萬民衆の名を以て、一のビラを出し新編軍々長譚曙卿に對し極めて劇烈なる攻擊をなして居る。然るに將副軍長は事件が重大なるにより中央政府の指揮を請ふことゝして居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

十一日譚は新編軍々司令部に於て蔣及び師長蔡廷楷、參謀長陳近思參謀處長張襄竝に上級軍官を饗宴したが、皆相會して懇談し歡を盡して時局問題には觸れなかつた。故に十二日には市上反譚の氣は漸く減少し地方の狀態も極めて安定した。

譚一派の舉動　謝複秋が捕へられてからは譚曙卿及び師長高義・郭鳳鳴・團長楊漢烈等は皆相顧みて色を失つたが、蔣副軍長は猶ほ力を極めて譚等を慰めて官署に返り嚴に所部を拘束させた。然るに譚は署に返る後先づビラを發布した民衆を捕へ三四人を殺害し、又次に戒嚴司令官の名義を以て臨時戒嚴を宣布し、且つ特に高義・郭鳳鳴・楊漢烈・張志韓・徐世英等を召集し軍司令部に在つて密議し、十一日復た檢閲員を派し、各新聞社の原稿等を檢査し、求是・日刊の二新聞に十日の倒譚運動の記載あるを見十二日竟に軍人を同二社に遣はし破壞を恣にさせ、　同時に又人力車工友を脅迫し各方に赴きて請願させ謝複秋等の釋放方を要求條件とし、十三日人力車夫は更に迫られて罷工し譚は煽動家の爲め罷工罷市の大風潮起るべしとの口實の下に、この日大獄を起し已に異れるものを排除し、同時に格殺勝手たるべしとの命を下さんとした。

第十一軍中央の令を奉じて武器押收　十二夕に至り第十一軍は中央の密令を受取り、福州に駐る新編軍隊を皆解散せんとて、十三日正午第十一軍は遂に各部隊に令し、新編軍の駐れる地點を包圍し無理に武器を押收させた。右新編軍の當に在る人數は約三團左右あり、東大街新編軍々司令部及び大王府新編軍第一師司令部竝に東湖に駐るもの約二團、老米倉に駐るもの約數百人、南門城邊街約數百人、南寧等の處小部隊のもの約百餘人、齊陸軍學校百餘人、西門兵工廠百餘人なるが、同日十二時半突然城中に銃聲起り各店皆戸を閉ぢた。城中新編軍司令部なる特務營高爲國部及び老米倉の楊漢烈部、城邊街の孫國鎭部は皆無抵抗のまゝ武裝を解除されたが、大王府に駐る第一師高義部及び東湖に駐る徐世英部は抵抗の意思で居たが、何分事倉卒の際とて一切の準備がなかつたゝめに終に抵抗し難く一律に亦武裝を解かれ降伏し、同時に軍長譚曙卿・師長高義・郭鳳鳴・旅長楊漢烈・團長高爲國・徐世英及び營長連長排長百餘人は捕へられ、譚のみは海軍陸戰隊の手で馬江海軍警備司令部に送つて拘禁され、餘は皆第十一軍々司令部に拘禁され、武裝を解除された新編軍は皆東湖の俘虜收容所に入れられ、更に黃店兵工廠の新編軍一部は午後三時武裝を解かれるに至つたが、同軍のみを初め廠内から大砲を發射して抵抗を試みたるも、遂に第十一軍の奮勇に敵せずして止んだ。

省城以外の新編軍處置　上游に駐る新編軍獨立第一師盧興邦部は預て第十一軍と妥協の密約ある樣なれば問題はなし、莆田・泉州一帶に在る獨立第一團及び第一、第二の二師の孫部計數千人漳州方面なる陳國華、陳國輝の一旅一團も、亦二三千人あるも平生から譚曙卿とは一致して居ぬ爲め大なる問題は起らぬ樣子である。第十一軍の當局者は先づ特使を派して招撫させ、汀州、漳州の方面に於て賀業軍を擴擊さ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

せる事になつて居るとの事なれば、福建邊境の共産軍粛清の功を奏するは遠からざるべし。（十月十四日福州消息）

□廣東情報

□黄埔に於ける日本商船被射撃事件

一、十八日相前後して黄埔に入港せる邦船タイムス丸・海龍丸及び朝陽丸は、同地軍事政治學校附近陸岸より數發の小銃射撃を受けたるも、何等損害なし

二、右は張發奎軍のクーデターに關聯し、同軍隊は李濟琛軍隊武裝解除の爲め外國官憲に通告するところなく突如同地に戒嚴令を布き停船を命ずる意味に於て射撃せるものゝ如し。

三、新事件の報に接するや直ちに要すれば黄埔に廻航邦船の保護に任ずる旨總領事を通じ支那側に通告せるに、支那側は極力其の非を謝し、直ちに日本商船の保護を嚴令し、本艦の黄埔廻航取止めを懇請し來れり。又日本船も爾後無事荷役しつゝある情況なるを以て本艦廻航を取止めたり。爾後異狀なし。（以上十一月二十日—宇治廣東情報）

□張軍の虎門占領と影響　張發奎軍は虎門要塞を占領し、昨日より通航船舶の臨檢を開始せる爲め宇治は同地に急航せり。（十一月二十三日—同上）

□本邦商船臨檢事件　同事件に關し本日士官を派し要塞司令官に面接二十二日の日本商船臨檢事件に對する釋明竝に陳謝を要求すると共に左の如く通告せり。

一、今後日本商船に對する臨檢は武力を以て阻止す。

二、今後日本商船に對し絶體に臨檢を行はざる旨確證を得るに非れば當地を撤退せず。

右に對し要塞司令官は

一、公文にて本日以後當地に於ては日本商船の檢査を行はざる旨回答。

二、本件は張發奎の命令に依り實行せられしものなるも、余は昨夕部下と共に舊司令官と交代せしものにして、余の與り知らざる所なるを以て、廣東張發奎に移されたし。

右の旨懇請ありたるを以て今後約束を破るが如きことあらば非常手段を取るやも計り難き旨通告し事件を總領事に移し、廣東政府に對し本件解決を迫るべく本日廣東に向け出港のことゝせり。要塞に於ては日英軍艦當地着後臨檢に關する信號等は一切行はず全く沈默し居れり。（十一月二十四日—同上）

廣西派或は起たん　廣西派に對し武漢派の敢行せし「クーデター」後市民に多少の動搖ありと雖も當方面軍事に於ては張一派の勢力に依り、概ね統一し得たるが如し。然れども是に對し黄紹雄は梧州に李

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

濟琛派は汕頭に在りて廣東の回復を畫策しつゝあり。廣西派軍隊の分散せる關係上直ちに其の成功望みなしとするも、相當期間の後には李宗仁の回粵福州に在る陳銘樞軍の援助等に依り再び當地に政變を惹起するやも計り難し。

排日貨は緩和排英貨は漸く盛なり　排日貨は總領事の聲明發表以來多少の問題あるも、概して大なる故障なく、邦人は日貨を輸送し居り、緩和に向ひつゝありと云ふ。是に反し排英貨の活動漸次盛なり。蓋し排英は國民黨左黨卽ち武漢派の指導する結果にも依るならんか。

（以上十一月二十五日—同上）

クーデターは廣西派驅逐が目的　當地其の後の狀勢を見るに今次のクーデターは汪精衞一派の元武漢派が南京に對抗する必要上張發奎の擁護に依り當地に根據を占めしが爲め、廣西派驅逐を目的とせしにあること確實なるが如く、表面黃紹雄打倒を叫び、李濟琛の驅逐に及ばずと雖も、張が總商會に對しなせる演說を見るに、李に含む所ありしは明かなり。一には孫は湖南の李品仙と連絡を持して元武漢派の根據を固めんとする意圖なるべし。（十一月二十六日—同上）

□上海の經濟的地位及其發展問題

最近國民政府の統治下に置れたる上海は、未だ日尚淺く、奉天山東の敗兵尚全部其蹤を潜めざるを以て、軍政時期を脱すること能はずと雖、而かも上海は東亞に於ける最大の開港場にして、中外人士の視聽は皆此處に集中せられざるは無し。玆に略政治關係を去り、專ら經濟的方面に就き、上海の現今の地位及將來に於ける發展の可能性を述べ以て閱者の注意を喚起せん。八十年以前迄は、上海は一の港にして、我が國（中國）に於ける數百の都市中別に卓越せる處無く、國際上に在りては更らに一地位も占むること能はず、卽ち本國（中國）に於いても、亦人々の重視する所にあらざりき。其當時我が國（中國）の都市中國外に對し比較的聲譽を有せしものは、唯北京と廣州との兩處のみにして、北京に我が國（中國）の首府たるに因り、又政府に[illegible]及阿片の國外貿易の中心たりしによるなり。今や上海は、世界的大開港場たる倫敦・紐育・漢堡・リスボン・マルセイユ・桑港・新嘉坡等同樣に論ぜらるゝに至れり。上海の國外貿易は、實に一八四七年に始まりし者にして、一八四七年十一月十七日、我が國（中國）の英國と江寧條約を締結するに及び、上海は卽ち開港場として開かれしなり。是より八十年來、其他の外國租界は根底甚だ深く、何等動搖する所無かりしが、今や租界回收の聲囂々として市井に喧しきは、是れ蓋し國權恢復の時機の既に成熟せるものと云ふべし。租界の始めて成立せる當時、其範圍は南は洋涇濱（愛多亞路）に至り、北は北京路に至り、東は黃埔路に至り、西は福建路に止り、今日の情態とは其懸隔甚だ大なりき。條約の成立より二年後、租界の草案成立せしが、其宗旨は英國の武力を

用ひ争ひて得たる土地と謂ふが如く、其租界は英國租界のみなりき。但し久しからずして米國領事館は英租界内に設置せられ、竟に其屋前に米國の國旗を樹てたり。英國人は是れに對し久しく爭ひしが聽かれず、租界の權利は、英、米の共に管理すべきものなりと稱せしかば、英人も是れを如何ともすること能はざりき。露國及其他の各國も是れに倣ふに至りしかば、其地は英人の專有と爲すを得ざりき。故に上海英租界の國際的性質は、最初より成立せるものと云ふべく、即ち是れに随ひて起れるなり。一八六二年、佛國は國際租界より脱退し、別に佛租界を開きたり。一八六三年六月、我が國（中國）政府は、正式に蘇州河北岸の虹口一帶を以て、米國租界（實は即ち米國民の自由に其地に棲居すること既に久し）と爲せり。但し數箇月の後、米國民は國際租界内に於いて、即ち爭ひて一地方を得たりしが、而かも佛國人は即ち終始是れに加入せざりしなり。以上は上海租界區域の成立せる梗概なり。

各國と上海との通商の最も早きものは英國にして、米國との通商も殆んど其差無し。信ずべき記錄に據れば、一八三三年九月末黃浦江に來航せる米國商船は凡そ六十二艘にして、其總噸數は四萬一千五百一噸、英國の商船は九十四艘に達すと雖、其噸數は三萬五千六百十噸なるを以て、即ち米國の通商は、其當時英國に比して一頭地を抜きたり。現今上海に於ける外國商の勢力は、英、日の兩國最も大なり。現今上海に於ける通商貿易は、八十年前に比較すれば、固より雲泥の差あり、尙十年前も亦、並びに論ずべくも無し。最近の海關貿易報告に據れば、昨年度の上海貿易總額は十二億萬兩に達し、其中外國よりの輸入額は三分の一强を占め、内地各處の輸入額約三分の一に達し、其餘は輸出額なり。二十五年前に於ける上海の貿易總額を回顧すれば、約二億五千萬兩にして、五十年前は又只一億萬兩に過ぎざりしなり。船舶の噸數に至りては、二十五年前は毎年平均約三百萬噸なりしが、今や三千萬噸に達せり。租界の初て開かれし當時、上海城（上海舊市）は國際貿易上絶へて聲響無かりしが、是れは無論の事にして、即ち國内に於いても亦商業地たらざりしなり。然るに今や亞細亞に於ける歐洲化の最甚だしき都市となり、其土地は約十二方哩を占め、全區の街道は延長約二百五十哩に及び、航行し得る水道約十五哩に達し、太平洋中の最大商船も亦其間を出沒し、全市の人口總數は確實なる統計無しと雖、計約二百五十萬より四百萬に達し、其發展の迅速なることは、數十年前に在りては想像も及ばざりし所なり、玆に民國以來歷年の上海輸出入貿易額を表記すれば、即ち左の如くにして、最近十數年間に於ける商取引の發展せる趨勢を知るに足るべし。（單位海關兩）

年次	輸入額	輸出額	貿易總額
民國元年	四〇九、七六八、七四九	八一、七一六、七三八	四九一、四八五、四八七
二年	四四九、五六八、四三五	八三、九六六、四[illegible]	五三三、五三四、八七八
三年	四一三、九三[illegible]、[illegible]一四	八四、七六三、九三三	四九八、六九八、一四七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

四年	四四五、四〇四、一五五	一〇三、九七五、六一〇	五四九、三七九、七六五
五年	四四九、三八八、八五六	一二一、八五六、八一六	五七一、二四五、六七二
六年	四四〇、一一三、一〇四	一四〇、一一九、七三四	五八〇、二三二、八三八
七年	四五二、〇〇四、九〇七	一七五、〇八九、四七五	六二七、〇九四、三八二
八年	五三〇、二八四、四三六	二三七、七二一、七一九	七六八、〇〇六、一五五
九年	六〇八、三〇五、二三七	二三二、六六四、二〇一	八四〇、九六九、四三八
十年	六五一、五二三、一七八	二七五、九五四、四八二	九二七、四七七、六六〇
十一年	六八三、二九二、四一一	三〇六、四三三、〇七九	九八九、七二五、四九〇
十二年	七四一、七六二、一〇一	三六三、三五六、一四五	一、一〇五、一一七、二四六
十三年	七九九、一〇〇、一五八	三八四、四四四、二〇一	一、一八三、五四四、三五九
十四年	七九八、四五九、一〇〇	三八二、六一八、五四七	一、一八一、〇七七、六四七

今日の上海は、既に全盛の極に達せしが如きも、但し欧米の倫敦・紐育等の如き大都市と比較しなば、猶遜色あり。是に於いて所謂大上海の計畫は、途に紛々として人々に傳へらるゝなり。今や軍事多端にして探議の此に及ぶ暇無しと雖、但し一旦時局にして稍や安定しなば、上海の前途の發展は、必ずしも望み無きにあらざるべし。前に本書は此問題に關し、多數の論說を記載せしが、更らに詳細に亘り陳述するは、只に我が國人民(中國人民)に重大なる關係あるのみならず、實に世界的國際貿易と關係のある爲なり。所謂大上海は、淺見者は常に商業の活動各種建築物の宏大街道の清潔を求むるにあらざれば 其一切は今日に比して更らに一步を進むること能はずと考へるが如きも、是れ上海の前途は、全く各種實業の穩建なる發展に繫ることを知らざるものと云ふべし。上海は我が國(中國)に於ける新實業の發祥地にして、實際上凡そ各種業務の我が國(中國)にあるものにして、上海に無きは幾んど無し。今や全市に散在する、新式大工場は二百五十軒を逾へ、使用職工は約三十萬に達し、其投資額の如き又三億萬元以上なりと云ふ。

十九世紀當時、我が國(中國)は尙專ら農業に注意し、未だ工業の重要なることを知らざりしが、而かも上海は或は歐米の文化と比較的接近せる關係にや、其時既に漸く頭角を現し、一八九六年初めて製粉工場創設せられ、一八九〇年初めて又新式棉絲工場創設せられ、之れより新工業雲起するに至れり。復た內地は連年に亘り、戰亂絕へざるにより、一部の政客豪商は此地に群り、安樂の居住地と爲し、十數年來、百川の壑に流入するが如き觀を現せり。滬寧鐵路(滬寧鐵道)の未だ建設されざりし以前、上海は水路の交通既に甚だ便利なりしものにして、卽ち今日に於いても各種繁雜なる貨物は、亦多く運河によりて運輸せられ、國外の貨物の如き又無論なり。玆に上海の各種重要なる實業の現況を略述し、其梗概を窺へ得せしむべし。

上海の各種實業中、棉絲業は主要なる實業の一にして、生絲業を除きなば、各業の使用職工中、此業は最も多し。該業は一八九〇年より起り、一九一七年迄は、其の進展甚だ遲々たるものにして、紡錘數も七十餘萬に過ぎざりしが、歐洲大戰當時及戰後の數年間は、其進展最も速なりき。今日迄て、工場は合計五十八軒にして、紡錘數は增加して

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

約二百萬となれり。其概略を記述すれば左の如し。

國籍	工場數	紡錘數	織機架設數	使用職工數
中國商	二二	七一四、六二四	五、八九〇	四四、一三四
日本商	三二	九〇八、一七二	五、八三六	五六、四八八
英國商	四	二〇五、三二〇	二、三四八	一六、五〇〇
合計	五八	一、九一八、一〇六	一四、〇六四	一一七、一二二

國籍	資本總額（元）	毎年の生棉消耗額（擔）	毎年の棉絲生産額（磅）	毎年の棉布製造額（碼）
中國商	四〇、〇〇〇、〇〇〇	一、五九九、一二五	一七一、五八六、〇〇〇	三二、六六五
日本商	四五、〇〇〇、〇〇〇	二、三五八、五八五	一八五、七七七、〇〇〇	四〇、〇〇〇
英國商	八、五〇〇、〇〇〇	三九〇、〇〇〇	三三、八二〇、〇〇〇	一五、〇〇〇
合計	九三、五〇〇、〇〇〇	四、三四七、七〇〇	三九一、一八三、〇〇〇	八七、六六五

日本の近年來中國に於いて經營せる棉織業は、其發展最も速かにして、上海に於ける計五十八の棉絲工場中、日本商は即ち三十二を占め、其紡錘も總數の半數以上に達せり、其斯く發達せる所以は、又深く研究するに足るべし。蓋し日本商の棉絲工場は中國商の夫れと異り、其背後には大資本家銀行家を後楯として有し、其資本額は又甚だ巨額に上り、且つ工場内の管理情態は、多く歐米の制度を宗とし、大部分は産額豐にして原價低廉なり。故に現今中國の棉絲業は、實に日本人の勢力最も大なり。中國人たる吾人は、何ぞ之れを忽視するを得んや。

生絲業も亦上海の主要なる實業の其一にして、一八九〇年頃は、全市を通じ只其工場五軒ありしのみなりしが、今や八十軒以上に達し、其使用職工は十二萬を逾へども、而かも其中の九割は婦人及幼年工なり。工場に設備されたる機械は、多く伊太利式にして、各工場に設備せる絲繰機は、百臺乃至四百に及び、若し毎日の作業時間を十時間とすれば、即ち一日一臺にて約十元乃至十二元の生絲を繰出し得るなり。凡そ、此種の作業は多く中國商の經營に屬せしが、最近聞く所に據れば、日本商も亦上海に一の新しき生絲工場を設置せんと擬しつゝありと云ふ。

最近人民の喫煙の氣風大いに盛となりしを以て、煙草業も亦上海の主要實業の一として數へらるゝに至れり。一昨年の五卅慘案（五月三十日の南京事件）以後、一時煙草會社は、雨後の筍の如くに興り、數十軒の多數に上りしが、而かも其資力は薄弱なるもの多數なり。上海に於いて最も巨大なる煙草商は、英米煙草會社にして、其次ぎは中國商の南洋兄弟公司なり。前者の資本は約五百萬磅にして、總本店は紐育と倫敦に設けられ、後者は光緒三十二年香港に創立せられたるものにして、主持者は廣東省出身の商人簡照南氏なり。資本額は創立當時十萬元なりしが、民國八年に至り一千五百萬元に增加せり。玆に上海に於ける煙草會社數及其使用職工數を略示すれば、左に示すが如し。

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

	工場數	職工數
英米煙草會社	三	一萬五千乃至二萬
南洋兄弟煙草公司	二	三千乃至五千
其他	三〇	一千五百乃至二千五百

上海の製粉業は、最近亦漸次發達せり。最初に製粉工場を創設せるものは、實に日本商にして、光緒二十二年なり。今や全市には計十九軒の工場設けられ、其中にても規模の最も大なるものに福新第七工場なるものあり、民國七年の創立に係り、資本百五十萬を擁し、職工數は三百名に上り、其製品は多く東三省、新嘉坡、日本等に仕向けられり。茲に上海の製粉業の概況を表記すれば、左に示すが如し。

工場數	十九軒
資本總額	一千萬元
製粉機架設數	四五六臺
職工數	三千(各工場全部作業の時)
毎日の製產量	十二萬四百袋(一袋の重量四十九磅)

製粉業は亦生絲業と髣髴たるものにして、多くは我が國(中國)人士の經營する所にして、各工場中只一軒のみ日本商の所有なり。此業は民國三年以來、逐次隆盛に向ひ、民國七年となるや、歐洲大戰勃發せるを以て、外國の製粉業衰へしかば、愈々盛となり、當時九ら全盛を極めたり。現今存在する十九軒の工場中、其十三軒に民國八年の創設なるに見るも、歐洲大戰中に於ける中國の斯業の盛なりしを知るに足るべし。

上述せる重要實業を除くの外、其他之れに次ぎて重要なるものは製紙業なるべし。斯業も最初は日本商の光緒二十六年工場を設立經營せるものなれども、民國七年に至り、該工場は中國商の買收する所となれり。現在上海の製紙工場は四軒にして、其一は尙準備中に屬せり。各工場の既に開設せられたるものは、毎日製紙約計四十四萬磅を製造し、其使用職工は約五百餘名なり。玻瓈業は亦上海に於ける新實業の一にして、現今の工場は計十七軒に及び、其中最大なるものは日本商の經營に係る寶山玻璃廠と稱し、使用職工は約百五十名を算し、資本は五十萬元を擁せり。此外完全に中國商の經營に係るものも亦少からず、卽ち協昌玻璃廠の如き、資本は十五萬元を擁し、使用職工數も約百名に達せり。中國工場の出品は、大部分玻璃瓶及普通の玻璃器皿等にして、共に藥品店・化粧品店・酒造會社等に使用せられり。又鋼鐵業の如き、其榮枯は大部分各種他業の進退により左右せらるれども、而かも棉業との關係は特に切なるものあり。上海製造局は前に嘗て鋼鐵公司として改組し、資本を三百萬元に擴張するの議ありしが、內亂常に絕へざる關係上、今尙之れを實行する暇無し。此工場以外規模の最大なるものは浦東の和興鋼鐵廠なるべく、民國十三年の創立に係り、資本百四十萬元を擁し、毎月の鋼鐵製品は一千二百噸に達せり。工場の敷地は八十畝を占め、而して上海の[illegible]最も[illegible]著名な

り。營業の發達せるものは、卽ち中國鐵工場なるべく、棉業界より發起せるものにして、民國十一年の創立に係り、其製品は多く製織機なりと云ふ。又燐寸業は、中國に於いて發展せし以來旣に十五箇年を經過し、山東及中部各省は該業の中心となれり。全國（中國全部）に於ける該工場は二百六十軒にして、上海は其中八軒を有するのみなれば、卽ち總數の百分の三なり。以前中國に於いて使用せられたる燐寸は、多く日本及瑞典より供給せられしなり。現今尙上海に於ける燐寸工場數の多からざるは、實に運輸の不便なると、且つは內地工場の設定多く、其費用の比較的少きに拘はらず、上海は費用多きが爲めなり現今上海に於ける燐寸工場中、最も大なるは熒昌火柴公司（熒昌燐寸會社）にして、資本六十萬元を擁し　使用職工の如き六千人に及び尙內地奧地には多數の分工場あり。其用ふる原料の多く日本より購入せらるゝは、現在各中國商の燐寸會社中、其多くは日本人技師を雇用せる關係なり。中國の膠灰業は、前途頗る有望にして、特に上海に於いて然りとす。蓋し上海に於ける新式鐵骨混凝土の建築物は、日々益々其數を增加するを以て、膠灰の需要も日々に增加せらるゝが爲めなり。現今每年の輸入膠灰は約三百萬擔に達すれども、若し將來國產品を以て舶來品に代らしむること を得なば、亦利權挽回の道なり。上海に於ける膠灰會社の最も大なるものは伯特蘭水公司（The Shanghai Portland Cement Works）と稱し、民國七年の成立に係り、資本は三百萬元を擁し、機械は獨逸品を用ひ、每日の製産量は一千二百桶に達し、其多くは當地に於いて消費せらると云ふ。上海の靴下製織業は、民國六年に起りしものなれども、而かも初めて中國に於いて靴下製織業の盛況を示せしは香港なり。然るに今や該業の中心は上海に移り、各小工場の此れに從事するものは、百を以て計算せられ、新式靴下製織工場は、上海全市にて約計六十軒にして、織機（手織機にあらず）數は約計一千臺に上り、各工場の製產量は、每日計約五千足に及び、其中の大部分は北方の各省及び新嘉坡等に輸移出せられ、最大の靴下製織工場は楊樹浦に位置し、織機二千臺を備へ、資本も從來五十萬元なりしが、今や百萬元に增加し、其製造品は木棉靴下及絹靴下にして、尙染色工場、紙箱工場を附設し、其規模の大なることは實に國內に於いて僅かに見るものなり。上海には製蛋工場四軒あれども多くは外國商の經營なり。中華製蛋公司は、鮮蛋及鹽漬蛋の製粉に從事し、其範圍は甚だ廣し、上海に於ける卸賣商の收集せる鷄卵は、多く該會社に轉賣せらるるなり。上海の製油業は、亦頗る發達し、中國商の經營に屬する製油工場の比較的大なるもの は七軒にして、其餘に尙約三十軒の小工場あり。外國商の經營せる工場は約三軒なり。

上述せる所を綜合すれば、吾人は上海に於いて、比較的重要なる工場は、略ぼ一二なることを知るべく、而かも其中の多くは外國商の經營する所となり、吾が國（中國）人の有するものにあらざる內、棉業及煙草業の其尤も甚だしきを知るべし。既に資本主の勢を有するを以

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て、中國商は容易に外國商と競爭するを得ず、尙其原因に至りては甚だ多し。蓋し外國商の上海に於いて經營せる事業は、大部分外國に於ける巨商の分業にして、即ち獨立の經營に屬し、尙外國銀行の後盾となれるが故なり。之れを詳細に論ずれば、外國人の設けたる工場は一切の情態に於いて、多くは中國商の現象に超越せるものにして、譬へば外國商の株主の如き、每年五分の利息を得なば、既に頗る滿足すれども、而かも中國の投資者は、即ち速かに巨利を得ることに多忙なり。之れにより、營業上稍や利益あれば、即ち悉く分配せしむるを以て、工場は久しく持し難きなり。吾人の常に聞く處に據れば、某工場の現金缺乏し、特に破產せんとするは、其最大の病根は、即ち此にありと云ふ。蓋し只目前の利益のみを顧慮し、絕えて遠大の計を圖らざるなり。稍や高級の職員は俸給比較的僅少なるを以て、事務に力を用ひず、又才力の比較的高き者は、屈從を欲せず、且つ資本家は常に情に從ひて自己の親友を要職に據らしめ、而して其才能の有無の如きは問はず、只恣に任ずるなり、故に中國商の各工場にして、確實に管理の完全せるものは頗る罕なり。

上海は地理上極めて優勝なる地位を占め、商業上有利なるのみならず、且つ種々なる人爲的利益をも有せり。上海は全國（中國全部）の金融中心地にして、銀行の多きこと及び資本の大なることは國內（中國內）の何市何町に論無く、對抗し得るもの無し。銀行の外又錢莊あるを以て、凡そ個人なりと雖も社會上稍や信用及名譽を有するものは、此錢莊より借出して營業するに難からざるなり。又原料たる棉麥等の如きは收穫時期に當りなば、比較的低廉に是れを購入し得べく、是れ又上海に於ける商人の特に有利なる點なり。右の如き情態なれば、凡そ工場を設け、機械を設備して製造に從事せんか、初めの原動力にして安價なるものを得なば、即ち原價は低廉となり、從ひて其製品は市場に於いて相等の販路を持つに至るべし。上海の電氣力は、內地（奧地）に比し、得易く且つ低廉なれば、是れ亦上海に於ける工場經營者の一大利益なり。且つ此間工場林立し、同業者既に多數なるを以て、彼此互に奬勵し得べく、特に競爭心を激發し易し。尙上海は商業上の人才蝟集せる處なれば、新事業の創立に當りては、其人を得るに難からざるを以て、其經營は又容易なり。是れに反し僻遠の地に在りては、即ち專門家を聘せんとするや、必ず遠隔の地より請聘せざるを得ず、其結果費用多額に上り、經營上面白からざるなり。只商業上の眼を以て上海を觀察すれば、亦種々不利なる點あり、即ち地價の高價なるは、其最も著しき點にして、現在各種實業工場は、大部分上海の楊樹浦及北蘇州河一帶に蝟集し、其地の工場建設に適せる關係なれども、地價は爲めに異常なる昂騰を示し、一畝の價格約三千兩乃至六千兩を唱へり。故に若し規模の比較的大なる棉絲工場或は製粉工場の如きを創設せんと欲すれば、少くとも百畝の土地を要すべく、即ち此種の工場を經營する時は、單に工場のみに就きて論ずるも、約五十萬元を要すべく、從ひて資金は著しく束縛せられ、種々費用の過多なるを

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

免れ難きなり。

尚一事あり、上海に於ける實業の前途と莫大なる關係あるものは、卽ち最近に於ける勞働運動の膨脹なり。一昨年の五卅事件(五月三十日の南京事件)勃發以來、勞働者の罷業事件は殆んど一日として起らざる日無く、經濟討論處の調査に據れば、昨年上海に於ける各工場の罷業事件は、凡そ百六十九回にして、工場の其累を受けたるものは百六十五軒に及び、罷業加入勞動者は凡そ二十萬二千二百九十七名に達したりと云ふ。之れに見るも、上海の勞働運動の如何に盛なるかを知るに足るべし。罷業の原因は、詳細に探究すれば頗る複雜なれども、政治興味のあるものを除きなば、大體待遇の改善、俸給の増加にあらざるは無し。之れを要するに今後の企業家は、勞働問題に對し、其の大部分の腦力を消耗せざるを得ざる事情にありと云ふも、毫も過言にあらざるなり。故に此問題の滿足に解決(全部を指すものにして、單に一部工場のみを指して言ふにあらざるなり。)せらると否とは、卽ち上海に於ける企業の前途の盛衰と深き關係ありと云ふべく、所謂大上海は、吾人にして若し其の實現を冀ひなば、先づ勞働者に先じて適當なる解決方法を講ずるにあらざれば、其の成功は容易ならざるべし。

現在上海の各工場に於いて消費せらるゝ原料は、大部分内地(奥地)より購入さるものにして、中には數百支里の遠隔の地に於いて採取せらるものあり。例へば棉絲工場に於いて消費さる棉花の如き、其多くは通州・漢口・河南の各地に於いて購買せられ、甚しきは更に遠き陝西より輸送し來るものあり。各貨物の上海に輸送せらる運賃は、平均の計算に據れば、其の貨物の價格の約百分の五乃至三十に相對すと云ふ上海は元來消費地にあらずして、卽ち全國の生産中心地なれば、其の生産品は本市のみにて完全に吸收すること能はず、必ず内地(奥地)に輸送して消費せしめざるを得ざるなり。故に貨物の未成品卽ち原料なる時は、内地(奥地)より購入せられ、既成品となるや、又内地(奥地)に仕向けらるゝものなれば、交通の便利なると否とは、卽ち上海に於ける商業の消長と一大關係あるべし。然るに最近は戰亂相繼き、爲めに内地(奥地)との交通頗る不便となり、往々にして杜絶するが如きこともあり。故に本市の生絲市場の如きは、内地(奥地)との交通不便となり、且つ沿道の危險極めて多きにより、商人の敢へて現銀を携へ、生絲繭の買出しに内地(奥地)に赴くもの無く、一大打撃を蒙りしなり。之れによりて視るも、上海の商業を發展せしめんと欲すれば、先づ交通制度をして十分發達せしむるに如かざるなり。

將來時移り事變りなば、國内(中國内)の經濟情態は、或は若干の變遷あるべく、卽ち甲地に於いて發展せる實業も、經濟環境の變易により、乙地に移れるが如き其の例多く、例へば紡物業の如き、原來京津一帶に集中せられしものなれども、今や已に其の中心は上海に移れり。而して一面燐寸業・製蛋業・膠灰業・製粉業等種々なる新實業は、内地(奥地)に在りても亦漸次發達せしが、斯くの如きは固より論

ずるに足らざるなり。之れを要するに、最近十餘年來、內訌の絶えざるは、內地（奥地）に於ける實業の發展上重大なる致命傷を與へたるものと云ふべし。但し爭亂久しきに亘ると雖、而かも必ず安定の日あるべきものにして、即ち此の干戈擾攘は、終に河清く海安らかなると同樣平和に歸すべし。即ち一旦內爭にして安定しなば、我が國（中國）に於ける實業の發展は將に一新紀元を闢くべく、上海に於ける實業の發展も亦想像するに難からざるなり。只其の進展速度の已往數年間に於けると同樣なりや否や、或は更に凌駕すべき勢ありやは、尙豫測し難きも、上海附近の各都市村落は、近年來著く頭角を現し、其の內にても浦東及無錫は最も甚だしきものなり。此に吾人の特に注意すべきは、滬甯鐵道の開通以來、無錫の著しく發展せることにして、即ち現在は各種の工場林立し、筆者をして小上海との稱揚を與ふる現況を示し、今や新式製粉工場五、棉絲工場六、生絲工場十七あり 又浦東は從來只倉庫地としてのみ認められしが、今や上海の外府となり、棉絲工場二、大煙草工場二あり。

上海租界の範圍は限りあるに拘はらず、年々絶えず發展し、今や已に其極に達したれば、將來の發展は必ず別に新しき徑を闢かざるを得ざる現狀にあり。無錫は小上海の稱ありと雖、而かも距離遠きに失するを以て、上海に屬する一鄕と爲すこと能はざるなり。浦東は只一江を隔つと雖、而かも新式の交通及運輸の利器に缺けり。若し將來港口に改良を加へ、道路を擴充しなば、即ち將來上海の範圍擴張地は、或は此地の他に無かるべし。又上海は勞働運動日に烈しくなり、地價亦同時に昂騰するを以て、前途の發展上障礙ありと稱するも實は即ち懼るに足らざるべし。試みに倫敦・紐育を觀れば、上海の先例にあらずや。即ち二市の實業の發達は、固より上海に數倍し、其地の勞働運動は又最も劇しく、工賃の如き頗る高く、地價も亦著しく高價にして、附近に於ける都市の發展又上海附近のものに比して更らに著しきに拘はらず、二市は共に世界金融商業の中心たるを失せず、而かも尙進展して止まらざる現狀なれば、上海の將來に於ける發展上、何ぞ懼るる處あらんや。

（上海總商會月報五月號）

比律賓

□總督代理の第七回比島立法部に與へたる教書（四）

司法行政

訴訟事件數の增加の爲非常に困難ではあるが、高等法院は、訴訟記

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

餘に後れざる樣判決を繼續してゐる。然しながら始審裁判所に於ては、多くの事件が未決の儘になつてゐる。一九二六年に處決せられたる民事及刑事訴訟の數は、一九二五年よりも若干減じて居る。土地事件の處決に於ては裁判所は今尙遙かに後れて居る。土地名儀の受渡及農業の發達に對する最も重大なる障碍の一つとなつてゐるのである。以前の敎書中の二、三に土地登記裁判所の復活が强度に献議されてゐるが、此回も再び此を献策する次第である。今一つの解決策は、始審裁判所に於て、判事の爲に或る一定數の位地を設け、此等判事は特に土地登記事件を訊問判決し、其の上此等判事を最も必要としてゐる州へ分遣する事である。

州知事及州執行官の兩地位を結びつけてゐる現行法に再び注意が喚起されてゐる。此の兩職務の結合は不當であつて、甚だしい遲滯を來し、多くの非難を生ぜしめるとは、法官、辯護士及び實際の司法行政に關係を有する總ての人々により一般に支持せられてゐる見解である。行政部は此見解に同意し、州執行官の職務を文官制とし、裁判所の管轄下か或は巡警隊の下に置くべしと勸告してゐる次第である。

本島に於ける司法行政につき屢々起る他の非難は、刑事事件に召喚せられる證人の旅費及手數料の支拂に關し何ら規定のないことである。適當なる條件の下に、かゝる支拂に對する規定を設くべきである。此の事は他の裁判管轄に於ては全く一般に行はれて居るのである。該經費は當然司法行政の費用の一部をなすものであつて、關係諸州により、或は若しそれが出來なければ比島政府によつてより適宜に支出さるべきである。

現在比島政府に服務して居る檢事が五十四名、檢事補が二十一名居る。此の多數職員は檢事長と與に訴訟及刑事裁判に於て、比島政府を代表するの責務を有してゐる。政府の利害關係が擁護され、刑事裁判の施行が有效ならんが爲に、此等職員はよく組織され且つ檢事總長の管轄及指揮の下にある才能あり且つ大膽なる人々より組成さるべきである。現在に於ては州檢事は内務司法兩部の二重管轄下にあるが、之は能率を減少する結果となるのである。檢事總長をして州檢事に對し完全なる監督支配を行はしむる樣、行政法を修正すること及此等の地位にあるものゝ俸給は、州當局よりの拂戻しによつて比島政府より支拂はるゝ事及州の種類別に基く新俸給制度の採用が提議されてゐる。

市及州刑務所の狀況及管理につき不平を聞かされてゐる。此等の營造物の地方的管理を不法に犯すことなくして、囚人殊に可成長期間の服役囚人の取扱に刑務局の或る干渉を認むることは實際に適することであり且望ましきことである。刑務所管理は特別の訓練と經驗を要する一つの專門科學として認めらるゝに至つた。比島處罰制度の施行に於て得られたる名譽は、地方的處罰の施行が、中央處罰施行とより密接に關することより、遙かに得る所が多いであらうといふことを示してゐる。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

總督が、非常な自由を以て、組織法により總督に付與せられたる特赦の權力を行使することは、慣習的になつて來た。該權行使の主なる辯明となるものは、現行刑法の嚴格さである。多くの事件に於て、判事が必然課さねばならぬ刑罰は不相當に嚴酷なもので、罪の輕重と比例してゐないのである。此は文書僞造の罪に於て特に然りである。離婚法の定むる嚴酷及び不均衡の他の例も容易に擧げ得るのである。分限により、姦通罪は、時に執行上哀憐を正當視するが如き困難なる場合を生じ來るものである。立法部は此れに對し、法律委員會により起稿献案されたる懲罰法案を有してゐる。此の法案は此回深甚なる考慮の價値があるのである。

此の事に關聯して、同様の犯罪又は類似せる犯罪のために數度有罪となれる被告の取扱に關する法律の必要に注意する必要がある。立法部は常習犯罪の問題に關し、管轄當局の提案を考慮し、又累犯の囚人に對し刑罰を增大することにより、常習犯法を強度とする手段をとるであらうと思ふ。刑罰學の重なる目的の一つが犯罪者に改悛の機會を與ふることとなるに反し、從來の經驗に徴すれば無期懲役の形式に於て、特別の取扱を求むるが如き邪惡なる型の犯罪人がゐるのである。

立法部の前會議に於て、最初のオスメニア退職法（法律第二五八九號）は、法官の各々に定年後の服務に對する慰勞金を與ふる事を規定せる法律第三三〇四號により改正せられた。此の改正は判事が特別慰勞金を得んが爲に特定の日以前に實際に總務府との關係を絶たねばならぬことを要するや否やにつき見解の相違が起つた。司法部長代理及び人事局長の勸告に從ひ、行政部は此の追加慰勞金に對する可成多數の申込を承諾したが、申込者の服務が不用になる迄辭職の實際期日を延期することにした。此の承認後司法部長代理は彼の態度を變更し、「慰勞金を得る爲には一九二七年六月三十日以前に實際に退職せざるべからずと聲明した。」彼の見解は會計檢査官竝に檢事總長の同意を得た。然し乍ら、行政部は既に異なれる解釋のもとに多數の申込を認可した事實に鑑み、前說を固守し、行政官或は裁判所をして何等かの附加的權利が申込者によつて得られたか否かを決定せしめてそれに從つて殘餘の申込を承諾する事が必要の如く思はれる。加之、此見解は、退職法原法及び其の後の改正法に與へられたる解釋及其の實施に關聯して生じたる實際とに一致して居る。原法及其の改正法の下に申込を提出したる此等判事が如何なる權利を得たるやを明らかにせずして、立法部が判事に彼等が在職不能或は相當の制限年齡に達したる時に適當なる。恩給金を與ふべき綜合的退職法を制定することと及此の恩金の支給は職務の必要、彼の能力若しくは年齡を顧みずして、特定の時日に政府との關係を絶つた恩給に浴し得る者をば標準とせざる事が献議されてゐる。

結婚取締

現行の法は、いづれの宗教團體若しくは宗派の牧師でも正當に任命されたる牧師である以上、いづれも結婚式を擧行し得ることを許し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

てゐる。行政部への陳述によれば、無法にも該法を利用して或る宗派の牧師なりと公衆に自稱し、看板又は廣告により普通の報酬にて結婚式を擧行せんと企てる者があるとの事である。かゝる方法によつて、多くの所謂結婚なるものが適當なる保護なしに輕率に遂行されてゐる。此の習慣は不法である。又アメリカ辯護士協會の指導の下に發布され、地方の情況に適する樣改作せられたる、均等結婚許可法に模倣せる綜合結婚許可法の制定を立法部が考慮せられん事が提議されてゐる。該法は結婚に對する許可を要求し、許可の申請を結婚の完成との間に相當なる時期を規定し、同時に公行をも要求すべきである。離婚より生ずる弊害と、離婚法の自由化に對する壓迫を處理すべき有效なる方法は、結婚關係の創始に關しより多くの保護を設くることである。

比律賓巡警隊

故ラフアエル・クレーム將軍去る一月一日に逝去せられ、爲めに巡警隊は名譽ある隊長を失ひ、政府は誠忠にして熱誠なる官吏を失つたのである。クレーム將軍は彼の勇氣、彼の廉潔及び彼の偏見無き同情ある理解力を有せるが爲、彼の部下竝に彼を知る總ての人々により非常な尊敬を得て居た。彼の死が切に惜まれるのである。

往年に於ける如く巡警隊は、群島を通じて廣汎なる巡邏組織を維持し、獸疫及其他の傳染病に對し檢疫看視を備へ、退去命令の抑制に對する實地運用の遂行、颶風、洪水及同樣の災害に於て最先に援助を與へ、貴重なる奉仕をなしたのであつた。マニラ市外の何處に於ても、巡警隊は安寧秩序の維持、生命財産の保證の責任を負うて居るのである。之は比島政府により維持せられ支配さるゝ唯一の武裝せられたる訓練せられたる力である。その訓練及び能力が高度に保たれるといふことは甚だ重要なことである。我々は收入の許す限り出來るだけ早く適當の營舍、部局及び適當の現代的設備を供給すべきである。

密輸出入、移民法の回避、漁業法及森林法の違犯を防ぐ爲、巡警隊は群島南北部の沿岸を絶えず巡邏することが必要である。現在に於ては巡警隊は、此仕事をなすに充分なる設備がないのである。強馬力の迅速なる巡邏船を備ふる必要がある。

移民

行政部への報告によれば、現在の移民法は多數の支那人により乘ぜらるゝ缺點を有して居るとの事である。立法部が支那人排斥令により支那移民に課せられたる現在の制限を取除くか、又は變更するかの用意が出來る迄は、該排斥令實施の爲め、現行法は有效にせなければならぬ。比賓律群島に於て生れたる支那人の歸還に關する規定は、出産證明書を僞造し、注意して申請者に敎ふることにより、多數移民を不法に入國せしむることを可能ならしめてゐる。該法は總ての支那人に對し、適當なる制限方法を設くるやう改正すべきである。現在本群島内に於て不法なることを發見せられたる支那人に對する唯一の刑罰は、政府の費用による追放である。此は彼等追放せられたるも

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のゝ多くが、暫くして再び還つて來る故に、何等効果がないのである。罰金及投獄等の形式の重き刑罰が設けらるゝ必要がある。一九二四年立法部は、支那人の登錄を規定せる法令を通過した。然し該法令の或條項が溯及的法律に對する立憲的禁止を侵害するものなりとの檢事總長の意見によつて、此は拒否されてしまつた。本法令が再考せられ、非難すべき要點を除去し、完全有効なる手段が制定せられんことを希望する次第である。

移民問題は甚だ重要であり、現在比島收稅局長の權限内にある移民法を支配するの義務は、他の別な機關に移すべきや否やの問題につき考慮を煩はしたいと思ふのである。

敎育

昨年初等敎育に對する比島の補助額に一、〇〇〇、〇〇〇比の增加が豫算された。此の補助分配の根據は、如何なる州も一九二七年に於ける新根據に基きて一九二六年に受けたるよりも少額を支給さるゝことなくこの條件付にて、人口を基礎とする事より、人口に對し五十パーセント、學籍兒童に對し五十パーセントを根據とすることに變更された。多年の間、州内に於ける各市區間の分配が、嚴格に數學的根據によらずして、各市區の財政的敎育的必要に應じて行はれてゐたので、此の改正根據は、或る市區は以前よりも多く或る市區は以前よりも少く、比島の補助を受くる結果を來すことは避け難いことである然し乍ら、群島全部に付きて考ふるならば、改正根據が反對の影響を及ぼしたる市區は、非常に少いことは明らかである。今年にたては一九二六年よりも少額なる市區は單に二一三のみで六八〇市區は多額を支給されて居るのである。少額を受くる市區の大部分に於ては、不足額は一般基金よりの振替により補はれて來た。殘餘の數市區は漸次新根據に調節し、法の修正の必要もなく、經營に對する寄附金に依賴する必要もないと信ぜられるのである、視學課は毎年の會議に於て、現在の分配根據は固持すべきものなりとの意見を表明してゐる。此の見解には余も贊成してゐる。何等かの變更のなされぬ以前に現在の根據は充分なる檢討をなさるべきであり、各市區には各市區が地方豫算より生ずる一時的不足を仕末し得ざるや否や、又彼等の現在の學校計畫を遂行する爲に、同資源より準備をなし得るや否やを見るため時間を與ふべきである。現在の分配規則は愼重なる考慮の後採用されたるものにして、學校財政の正しき原則に基けるものである。比島政府の補助は、その計算をして判然且つ確實ならしむる根據に基き許與せらるべきである。地方自治體は斯くして彼等の地方的財政能力に從ひ、地方輿論の可決する財政の範圍迄、彼等の學校計畫を促進し得るのである。然し乍ら、彼等が斯くなさんが爲には彼等に、學校の目的の爲には任意に、土地其他の諸稅を課し得べき、より大なる權利を與ふべきである。斯る權利を許與すべしとは屢々建言されたる事にして、今回も再び提案致す次第である 若しも市區及び州が斯くして設定せる比島の補助を補ふべき權利を與へられたならば、地方の學

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

校計畫に於ける不適當及び不安定なる所を救濟すべきは彼等自身の力による事になるであらう。

若しも比島補助金の分配に對し確定的根據の主義が正しとするならば、此の主義を保持する事は、地方情況の一時的救濟よりも遙かに重要である。許與せられたる追加補助金はいづれも永久に持續せねばならぬ事になるであらう。然のみならず、市役人及び學務者は毎年變化するものである。或る年は資源の不足せる都市もあれば、餘剩を生ずる都市もあるであらう。若しもかゝる不足が比島の資金より補はるゝとするなれば、比島補助金を絶えず調節し、變化しつゝある地方情況に適應せしむる事が必要である。之は確定根據による補助金の許與とは一致しない。然し乍ら、若しも立法部が或る市區を救濟せんが爲に、確定せる分配根據に關して既にとれる行動を變更する事が適當と認めたる時は、比島補助金の特定の部分は、變化しつゝある地方的必要に從ひ、又地方的援助の供給を極度に刺戟せしむるが如き方法に於て教育部により分配せらるゝ樣、取つて置くべきである。特別、補助金は地方資金の純不足額の補充にのみ與ふべきである。

所謂自發的寄附金に依る結果、官立學校の財政には常に不確定な分子が挾まれてゐた。學校行政に多年の經驗を有する人々の熟考せる判斷によれば、官立學校組織の管理は、各種社會の實業及び財産に公平に稅金を賦課し、以て得たる國帑を以つてなすべしとの事である。敷地及び建物費としての民間の寄附はよく使用さるゝけれども、管理に對する寄附は屢々學校施設の範圍及組織を不確定ならしめ能率の望まるゝ標準の維持を妨害するものである。所謂自發的寄附金の多くは事實上賦課であり、自由初等教育の原則を破壞するの結果となるのである。特別寄附金が實際に學校を後援する人々より徴收せらるゝものとするならば、其は教育費の一部又は全部を表はす額に對し定められた確定せる授業料の形をとるべきである。中等及高等程度の教育に於ては授業料は、課税より得らるゝ資金を補助する爲に取立つべきである。多くの州當局が中等學校に授業料を規定する權利を行使しつゝあること、及彼等が此の資源より可成の收入を得つゝあることは、喜ばしき事である。

一、〇〇〇、〇〇〇比の豫算増加について有利なる活動に導きたる原因の一つは、此の増加額を以てすれば、自發的寄附金を俟たずして、現在の學校施設を經營し得るといふことであつた。此の理由の爲に學校經營の爲自發的寄附金を徴收する現存の許可は、總て取消された。而してかゝる許可は再び許す必要があるとは思はれない。此の追加一、〇〇〇、〇〇〇比に關しては、視學課は初等學校經營のため自發的寄附を使用する事を必要とせざる樣又優秀なる教育資格を有する教師を得、功勞ある教師の俸給を増加するために用ひざるべからざることを通知されて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□比島に於けるカポック

百年以前から、カポックは商品としての價値を云々されてゐたが、重要なる商品として認めらるゝに至つたのは極最近の事である。塡充用としての綿毛の尊重すべき品質は、一八五〇年頃初めて商業界に紹介されたのであつて、同年爪哇の和蘭人は少量のカポックを最初は和蘭、後程濠洲及合衆國へ輸出した。其頃から爪哇は主要な事實上唯一の供給地となつたのであるが一方此のカポック樹や又同産物は數多の熱帶諸國に於て熟知されてゐた。

現在比律賓群島に於て、カポック樹は綿毛の數千噸を生産して居るが、其の中比較的少部分が島内消費に供せられてゐるのみで、其の他の大部分は地上に放棄され腐蝕にまかされてある。比律賓群島から此の纖維を輸出せんとする努力のあつたのは僅かに一九〇五年頃からであつて、其時以來輸出された量は、生産された額と比較して見て驚くべき少量なのである。

比島をしてカポック輸出國たらしめやうとする農務局の活動は、一九〇三年に遡る。一九〇三年より一九〇九年間の活動は、第一に爪哇カポック貿易の研究、第二に比律賓に於けるカポック樹栽培の範圍其平均收穫及綿毛によつて造られたもの丶島内消費に關する一般調査、第三に植付及收穫に際し土人によつて用ひられてゐる缺點多き方法及習慣を矯正するためにサーキユラー其他の印刷物を準備及配布する事、第四に無料にて種子及苗木を分配する事、第五に、生産品をクリーニングする際に、より向上せる方法を用ひしむる樣努力する事等であつた。

數次の運動が、人民をして大規模にカポック樹を植付けしむる樣農務局による指導の結果タルラック及バターン及呂宋島の其他の部分に於ける多數の者はカポック樹を植付けるに至つたのである。が然し其生産物の市場を彼等は發見する事が出來なかつたので、カポック樹は段々又々放棄されるに至つた。例へば三年生のカポック二千本からなつてゐるバターンのカポック植林は其の最初の結實を一九二一年に七七、〇〇〇顆生じたのであるが唯二六九比の賣上を得たのみであり、其地方を除いては顆を賣却することを敢てしなかつた。

然しカポックは其の名によつて市場を開拓する物であるから「眞正といふ事を強調せねばならぬ。比律賓のカポックは植物學上 Ceiba pentandra Gaertn. として知られて居り、爪哇のカポックと同種である。その種は優秀なるものであつて、一九二〇年爪哇を訪向した農務局の代表によつて、指導された調査の結果知り得たのであるが、是は輸出商の嚴格なる格付規定に從つて、注意深く取扱はれ、且市場へ向け調製されるのである。

氣候及土壤　カポック樹は全年降雨量二、〇〇〇ミリメートルを超

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

えざる事を必要とする。又乾燥期と濕潤期との間に判然たる區別のある氣候が望ましく、腐蝕せる火山土或は多孔質土がよい。

蕃殖及植付　カポックは種子及挿木により繁殖を計り得るが前者の方法が望ましいのである。何となれば前者は強壯且優良な植物が出來るが。後者は白蟻の襲撃を受け易い。種子は最初苗床に植付けられ苗木は次で約三米の高さになつた時移植される。

收穫及絨毛のクリーニング　莢は熟するを待つて摘取されねばならぬが然し熟しない前に摘取したり、又開いたまゝ木に取殘して置いたりしてはならぬ。其の兩方法供に絨毛の品質を低下するからである。摘取するや否や、彼等は開かれ分類され、及クリーニングされねばならぬ。勿論是は絨毛が充分に乾燥しない先でも差支へない、絨毛は出來るだけ早く乾燥して、格付及品質を低下せしむる醱酵を防がねばならぬ。

機械による絨毛のクリーニング　此のクリーニング用の機械は大部分或は全部進歩したる手工過程である。普通是等の機械は構造操作共に非常に單純であつて強く、廉く、且取運びに便であるため若し充分なる木が其の機械を使用するに足る程附近にあれば、各階級のカポック生産者に便宜を與へるものである。

最も成切せるカポック機械が有して居る原理といふのは次の通りである。長い矩形或は多角形の箱或は室が水平或は垂直に置かれてある是の室を通じて、一本の廻轉軸がある。其の軸の兩側に、互に違ひに或は規則正しい間隔を置いて交互に多數の針或はブレイドが設かれてある。室の二或は各側から別のブレードが出てゐるが、是は前のブレードに觸れないが、其前、數センチメートルの所を通過する。兩ブレードは移動し得るのであつて、スクリユーにより其の適當な位置に整へられる。前のブレードは廻轉軸と共に廻轉して居る間に絨毛を攪き起し斯くしつゝある間に絨毛は後の固定せるブレードに打ちつけられる。廻轉ブレードは蒸氣船のプロペラーのブレードに似た方法で廻轉軸に取置けられてゐて、絨毛を室の一方から絨毛の逃れ出る一方へ移すのである。出口の所に或る機械が扇と共に設備されてある。是はクリーニングされた絨毛を出口を通じて、大きな長方形の移動式容器に吹き入れる作用をするのである。是の容器の中に各繊維は雪の斷片の樣に沓積される。扇の特別の利益といふのは、屢々絨毛と混じて發見せられる塵埃破葉及枝の樣な外來物質が絨毛から取除くにある。種子は廻轉軸のブレードによる急激な攪亂により室の孔のあけてある部分を通じて落下する。

次に述べるのは知つて居る限りのクリーニング・マシンである。

一、ブレイ機へ爪哇の有名なるカポック栽培者ジー・グレイ氏の發明にかゝるもの。」本機械は現在發明せられてゐる物の中最上なものだとされてゐる。此は其の運轉に半乃至一馬力を必要とし、一時間當二百十七キロの絨毛をクリーンする。是の機械は一九一〇年七月スラバヤ繊維會議及博覽會に陳列且活動させられ、第一等賞を贈られた

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

のである。

二、ベッカー機（爪哇スラバヤ、ベッカー會社の發明にかゝる者。）本機はプレイ機の一般原理に基いて動作するが、プレイ機に於ては水平に室が設けてあるが、是は垂直に設備されてあり且其動作及組織がプレイ機よりも少し錯雜してゐる點が異なつてゐる。是の機械は一時間當百二十キロのカポックの絨毛をクリーンする。

三、ルーナウ機（名前は不明だが或る英國の會社によつて發明製造されたもの。）是の機械は馬尼剌のフエリックス・ルーナウ氏により輸入された故此の名がある。是は又プレイ機と同じ設計であるが、型は前よりずつと少さく且扇が設備されてゐない。是は作業のため半乃至一馬力を必要とし十時間一日當百二十キロ乃至百三十キロをクリーンする。其の組織の單純作業費の低廉及買入費用の廉價は是が少栽培園で利益を見て使用し得らるゝ事を示めしてゐる。

四、キヤビテ合衆國海軍區及農務局カポック・クリーニング機。是は一九一六年比島キヤビテ合衆國海軍區の建修部に於て造られたものであつて、種子からカポックの纖維を分離する事に非常に滿足した結果を得た。同樣な機械の設計及內容を與へる事により、海軍區と協業した纖維課は爪哇に於て成功裡に使用せられた。同樣な設計の機械が現在農務局シンカロン修理工場にある

收穫

異なれる地方に於ける、異なれる人物によりなされた各種の觀察によると普通の成長を遂げ且七年木以下のものである時は、年收穫の計算は三百五十乃至四百磅だとされてゐる。七年乃至十年生位の木なれば六百磅或は其れ以上の平均計算だといふ。

磅により絨毛の收穫は多大の差異がある。或る場合には、百五十磅位で一キロのクリーン・カポックが得られるが、又他の場合には三百磅位で漸く一キロになる事がある、故に大體に於て二百三十磅が一キロになるものと見るのが安全である。栽培の際に種子の選擇をするといふ事は疑もなく絨毛の平均收穫を增す事になるであらふ。

上述の計算を基礎として、カポック五乃至七年生木が二百八十本が植えられてある一ヘクタールの面積に於ては、九萬五千乃至十萬磅を實る事になり、二百三十磅當り一キロとして、年收四百十キロに乃至四百八十キロの收穫が得られるのである。第七年乃至第十年の間に於ては、六百四十キロを一ヘクタール當り得られる。

大體に於て、種子の收穫は絨毛の倍だと云はれてゐる。本年のクリーンカポックの收穫が三キロであるとすれば、種子六キロを得る事になる。種々の試驗の結果分明した事によると、クリーンカポックの重量は、種子重量の五十五乃至六十五％である。種子の收穫も亦各個の種子の數及型によつて變化がある。

用途

生產せられたるカポックの大部分の主要なる用途は、枕蒲團、褥、又は其他同樣なる家具類の充塡用である。此の用途に次いで、浮標の

充塡用に供せられるのである。最後に是は最近に於て紡績用に供せらるゝに至つた事である。

家具用としてのカポックは、其他の塡充用の纖維に、塡充用として偉大なる能力及伸縮性を有して居るため優る事数段である。伸縮性を有して居るといふ事はカポックを以て充塡された蒲團及褥が、一度壓力を取去られれば、舊の容積に立歸るといふ事實によつて證明せられる。充塡用としての大能力は或る蒲團を充塡するに要するカポックの量は其の目的に供せられる、其他の物質の量よりも遙かに少ないのである。

浮標用にカポックが使用せらるゝに至つたのは極最近の事であつて其の前はコルクが專ら使用せられてゐた。今やカポックは漸次コルクに代りつゝあり、數年ならずしてカポックは其の大部分を示めるに至るであらふと思はれる。カポックで作られたものゝ最近の用途は從々其の需要を増加し、家具の製造者は早くも原料品の高値に不平を有し始めたのである。

副産物

カポック樹の最も價値ある生産品は勿論綿毛である。是に次で、價値のあり必要なのは種子であつて、種子は二十三%の油を含んで居る故之又貿易の中心品となりつゝある。

油の大部分は石鹸の製造に供せられ、又其他の油との混和物として用ひらゝる。殘滓或は糟は時々家畜飼用料、或は肥料として用ひられる。種子の重さは、大ざつぱに云へば綿毛の倍である。

カポック樹は輕且軟であるが、皮を鞣すに用ひられ、又其他の小用途がある。此木は又暗赤な殆ど不透明なゴムを出する事がある。此のゴムは藥用として價値がある、樹皮は赤色な纖維を含んで居り、時々結束用に用ひられる。（終）

(The Philippine Agricultural Review, Vol. XIX, No. 3)

佛領印度支那

□印度支那の漆（三）

第二章　柬埔寨漆其他

第一節　緒言

柬埔寨には三種の漆樹がある。中二種は凡そ二十米突許りの高さに達する大木で、暹羅及緬甸に於ても亦モリーク漆（Moreak）としてよく識られてゐる木である。木に傷付けてその滲出液を採取する。

學名　Melanorrhoa laccifera, Pierre（註）

土名　交趾支那 Song Suong tiêng Son dao

柬埔寨　Kroeul

本樹の繁殖面積は柬埔寨領土の大部分に及んでゐる。即ち Kompong Chnang (Long-Vêk, Rola-Peir, Babaur の諸地方)、Kompong-Thom (Staung 地方)、Kompong-Speu (Phnom-Srunch, Sam-Rong-Tong 諸地方) 等の各州を主とす。以上の諸地方はモリーク漆の最も盛んな供給地である。

註．Melanorrhoea の材は濃黃木 (Bois jonquille) と稱せられてゐる。立派に加工し磨きたるものは一見マホガニー木の樣であるが加工は頗る困難である。

本種は交趾支那及南部安南にも之を見受けらる。即ち交趾支那に於ては Bien-hoa, Thu-dau-Mot 州に成育するが是等の地方に於ては漆よりも寧ろその目的は用材として認められてゐる。南部安南に於ては Quang-nam 及 Quang-ngai 州下に迄成育するを見る。

第二節　採液及利用法

樹液は竹の節間に收容し採收する。即ちこの竹は先を鋭く斜に切り尖らせて樹皮及靱皮の中に押し込み樹に定着せしめ、樹液を收容するのである。併し切付に先ち採收者は先づ選られる個所の外皮を槌で注意して打ち叩き樹皮を剝奪し得る樣にする。如斯すれば液の流出も又最も容易に遂行され得るのである。而してその切付は魚骨狀に之を行ひ、その兩側よりの交點の最下の所又その中央の處に竹の收容器を取り付けのである。

樹液は四日乃至八日に一回採收す。最初は稍黃色を呈してゐるが、後になつても褐色にはならない。而して又空氣に會ひて硬化するの習性がある。

流動性を保持するためにこれを器に入れ二羽柿科植物の樹脂を混じ (Alatus 或は Intricatus) て更にこれを樹液の酸化を防止するために封泥を以て封じるのである。このモリーク漆はかくて二年餘の年月保存される。而して後瓶に入れ賣買される。

柬埔寨漆の採取は一年の中殆んど二箇月間行はれるのみである。

ピエール(Pierre)氏の一八八五年に發行した Bulletin de la Société Linnéenne de Paris に據れば、發芽した植物はこれを一米突の樹付間隔を以て植付けることが誌されてゐる。七年經つと木は三米突の高さとなり、幹は直徑八糎となる。樹液は既に二年後以來採取し得るが愈々漆搔きの開始せられるのは五乃至六年木頃である。

柬埔寨漆は寺院の門及柱象の荷鞍其の他盛に使用されてゐる種々の道具の塗料として利用されてゐる。又石像の被覆上塗りにも利用される。Kroeul 漆は金箔と頗る類似してゐる。盤谷の塔や寺院等の漆塗りの天蓋は此の金箔が被覆されてゐる。耐久力も非常に強く又變質もしない。

モリーク漆の小量を河内の日本人漆屋に提出し、東京漆と柬埔寨漆の比較を依囑した所が、東京漆を塗つた木は東京漆を塗つた木より

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

も外見が良くない。柬埔寨漆は非常に艶がないといふことになつた。この日本人漆屋はこの漆には未だ慣れてゐないから柬埔寨漆は使用しないかも知れないが、東京及日本漆の持つ艶に比べて殆んど比較にならない程に艶のないこの柬埔寨漆も柬埔寨人、暹羅人は塗料として依然として使つてゐることはどこかに好い處があるに違ひない。品質は劣つてゐるが、モリーク漆はワニス材料として又塗料として工業も相當に注目に價するものと思ふ。

モリーク漆の製法には種々あるが普通樹油（Dipterocarpus alatus）油の透明なる部分のみを混じて作る。その割合は生漆三分の二樹油三分の一の割合である。混合物は之れを太陽に曝し、或程度の流動性とする。而して後引續きこれを濾過し外物或は凝固物を除去する。かくて出來上つたものがモリーク漆である。

交趾支那在住の支那人は支那より輸入した桐油（罌子桐の油 Aleurites Cordata を之に混合してゐる。

Melanorrhoea laccifera 樹より採るこの漆を柬埔寨にては三種の品質に區別されてゐる。これは漆を唯外見上より判別するので仲々目利きが困難である。一方又採取される樹の年齢によつても判別してゐる。樹齢の古いものより採つたラテックスが尊重されてゐる。見本市共進會等に出品された柬埔寨の漆製品から判斷しても柬埔寨の斯業は進歩をしてゐない様である。卽ち製品に光澤がないのが殊に目出つてゐる。この缺點は原料が惡いのではないと思はれた。寧ろ技術上の點に於て缺點があるのではなからうか卽ち漆製造上に缺點があるか、又仕上の磨きに缺點があるのではなからうかと思はれる。事實この磨き仕上げに就ては少し忽せにされてゐる樣に見える。

プノム・ペン美術學校は校長 Groslier 氏の奬勵に依り推賞すべき進歩を示してゐるが、クメール王朝時代の美術として世に貢獻した裝飾術の美しさモチーフを鼓吹し得る工業、漆器工業に於ても新しく努力を示すことであらうな期待してゐる。本校が技術優秀は東京職人を招聘すれば彼に特有の著名なる忍耐力により柬埔寨人の仕事を矯正することに成功し得るであらう。

第三節　其他の漆

學名 Melanorrhoea usitata, Wall.

土名（老撾） Kok nai nam Kieng

本樹は高さ約二十米突許りのもので緬甸に特に多く印度支那老撾のメーコン河流域にも又成育してゐる。

ナム・キアン（Nam Kieng）漆の採收法は J. de Cordemoy の說に據れば頗る簡單である。卽ち竹の節間の筒先を斜に切りたるものを樹皮に突きさして可成り永い間そのまゝに固定して置くのである。若干のこの竹製の樹液容器を樹幹及大枝に取りつけるのである。採液は緬甸に於ては落葉の時季之を行ふてゐる。蓋しこの時季は漆汁の最も豐富に流出する時である。一本の樹から年一基瓦半のナム・キアン漆を製造

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

し得。液の色合は鉛灰色であるが空氣と接觸すれば直ちに光澤のある黑色に變ず。この漆もモリー漆と同方法で製漆される。利用も同じく獨木舟、象の荷鞍、石像其他等の塗料として使用されてゐる。

學名 Glata Coarlata, Hok.

土名 不明

本樹は萠芽は青銅色、樹皮は赤灰色の小木である。五月開花する。樹液は最初赤味を帯びてゐるが次いで黑ずんで來る。利用範圍も Melanoerrhoea と同じである。この樹皮は皮革を鞣すのに適してゐる樣である。木は赤色を帯びてゐるが水に洗下すれば黑色を帯びて來る。本種の樹は交趾支那暹羅及馬來諸島に殊に多いが、何れも漆塗り材料としての採收は行はれてゐない樣である。

（完）

□交趾支那に於ける物資の輸入率及價額

交趾支那が佛蘭西本國及他の所屬植民地より輸入する物資の百分率は左の如くである（全消費量を一〇〇とす）

品目	輸入百分率	品目	輸入百分率
肉類罐詰	五三	乾物	二
コンデンスミルク	一四	ビスケット	八三
乾酪	九〇	乾果	二
生牛酪	七七	チヨコレート	九〇
乾魚	三六	巻煙草	九〇
海綿	一〇〇	歐洲製刻煙草	九二
鑛油及植物性油	一四	金屬及礦物	三三
各種生産物	五	化學製品	七七
飲料水	九三	染料	七四
石材	五〇	塗料	八七
燃料	二	各種置物類	六一
陶器	一八	織物及衣服	六二
硝子器	六八	皮類	九〇
絲類	九	金屬製品	七七
武器	四〇	家具	三四
木製品	四〇	スパルト製品	二七
各種加工品	八九		

尚ほ交趾支那が世界各國より輸入する物資を金額にて表示すれば左記の如くである

本國及所屬植民地	九〇六、六九七、二一五法
支那	二五三、〇〇一、八〇三法
香港	二二八、五六七、三五五法
新嘉坡	一一六、三二九、七六五法

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭領印度	七三、九四三、九二七法
日本	六八、三〇〇、五九九法
米國	五八、四六〇、九四四法
英領印度	五〇、六〇九、一四一法
英吉利	二九、三八六、四三八法
其他諸國	五〇、〇七八、〇六八法

□一九二八年度印度支那一般豫算案

一九二八年度の佛領印度支那一般豫算案は目下總督府會議に附議中であるが就て見ると歳出入孰れも九千百五十萬弗（一弗十法換算）で本年度に比し千二百六十五萬弗の増加である以上兩年度に於ける歳入につき項目別に表示すれば左記の如くである（單位千弗）

	一九二八年	一九二七年
關稅及官營事業收入	七四、三二〇	六七、五七五
登錄稅及印紙稅收入	七、八二〇	五、九五〇
郵便電信電話收入	三、五八一	三、四一三
利得稅及所得稅收入	一、〇八〇・五	一、二二四・八
大學收入積立金その他	五三八・五	四九六
雜收入	三一〇	二〇二・二
豫備金庫先取金	三、八〇〇	〇
計	九一、五〇〇	七八、八五〇
差引超過	一二、六五〇	—

上表に依つて見ると主たる財源は關稅及官營事業收入であるが増收は自然歳入増加と稅率の引上げに依るものである

次ぎに歳出の部に就て見ると右記の如くである（單位千弗）

項目	一九二八年	一九二七年
公債費	四、一四六	二、六四三
保護國元首歳費	一三、四七五・六	一三、三二六
地方豫算補助金	一三、六八一	一三、〇八〇
行政費	三四八・六	三九四・七
總督府費	一、三七五	一、一六〇
司法費	八〇七	七四二
財務費	二二、七〇五	二二、八二〇
社會施設費	二、〇一八	一、六五八
經濟施設費	三、七〇〇	二、七〇五
產業開發費	七、六〇七	六、七八三
官營工事費	一五、四四七	一四、四五五
雜費	二、三九一	二〇、九三〇
國防費	三、八〇〇	九一、五〇〇
計	一二、六五〇	一〇一、八〇
差引増	七五、八五〇	—

右歳出の中國防費の三百八十萬弗は豫備金庫先取金をそのまゝ充當する筈である

暹羅

□錫及錫鑛年産額比較表（最近四箇年）

年次	單位	州別年産量 プケト	ナコン・スリータムマラート	パタニ	スラシユトラ	ラーデプリー	計	採鑛法別年産量 浚渫法	其他	單位	擔當平均價格	納税額 擔當り	納税額 計	總額
二、四六六（一九二三—二四）	擔	一〇一、八〇五	一五、六五二	七、九五六	二、五九七	—	一二八、〇一〇	四三、九三七	八四、〇七三	銖	一三七・六八	一五・九四	二、〇五七、五九六	一七、七〇七、〇三三
		六、〇八五	九三二	四七三	一五五	—	七、六一八	二、六一四	五、〇〇四	弗	※一〇九・八七			
二、四六七（一九二四—二五）	擔	一〇三、三四二	一三、一〇四	七、一九六	一、七四〇	一七五	一三三、五五六	五二、三五三	八一、二〇三	銖	一五九・七五	二〇・〇八	二、六八四、四〇六	二〇、八五八、二九一
	噸	六、〇九四	一、三一六	四二八	一〇一	二	七、九五〇	三、一一八	四、八三二	弗	一三三・五八			
二、四六八（一九二五—二六）	擔	九八、三一五	二二、二八〇	九、三五三	二、六一〇	五四六	一三三、一〇四	四九、二七三	八三、八四三	銖	一六九・六八	二三・九七	三、一五〇、八六二	二三、六二〇、七〇三
	噸	五、八五二	一、三三四	五五九	一五七	三一	七、九三三	二、九三三	四、九九〇	弗	一三四・四三			
二、四六九（一九二六—二七）	擔	九〇、七八二	二二、六〇八	九、五一五	—	×一、三三八	一三三、二三七	三七、九三〇	八五、三〇五	銖	一八五・二一	二九・五八	三、六五三、八九一	二三、八五三、八〇四
	噸	五、四〇三	一、二八六	五六六	—	×七九	七、三三五	二、二五七	五、〇七七	弗	一四七・六七			

備考　※八〇弗＝一〇〇銖として換算其他は月々の爲替相場に依る×はナコン・スリータムマラートに含まる

（The Record. No. 13, 17, 23, 25）

英領馬來

□馬來貿易統計改正案

最近海峽殖民地總督兼政府最高委員は一委員會を任命して、現在迄發表して居る貿易統計の形式を擴張すべきか、然らざれば縮少すべ

きかに就き左記の通り調査を行はしめた。

一、英領馬來全體の外國貿易と英領馬來の各州間の貿易の區別

二、外國貿易、內國貿易の統計が一般商人に與へる價値

三、外國貿易、內國貿易統計の作製によつて惹起される一般社會の不便及び貿易統計の正確率を增大する方法。

調査委員會は英領馬來に於ける代表的約五十の商事會社に質問書を發し回答を求め、月曜日の立法會議に報告書を提出した。

同報告の概要は次の如くである。

海峽植民地貿易半期及年統計は廢止し、英領馬來貿易年統計を海峽植民地政府年鑑に編入する（事現在は海峽植民地貿易統計のみ）

馬來聯邦州貿易統計は三箇月毎に發表する代りに各月發表、尙發表は翌月末迄に行ふ事

海峽植民地から馬來聯邦州、非聯邦州に輸出（海路）する地方貿易統計を除いて海峽植民地の地方貿易發展を廢止する事

中央統計局を成るべく短時日中に設立すべき事

コーラムポ登記課支部長に歐洲人官吏を任命する事

支那人商人にして英語を解しない場合は積荷主から若しくは荷受人への支那語の通知狀を提出すべき規則を當植民地に設ける事

海峽植民地輸出入登記間に輸出入品檢閲の爲荷包を解く權限を與へる事

植民地及聯邦州監査官に送狀の提示要求權を與へる事

積換荷の登錄は發書の規定により行ふ事

新嘉坡政府印刷局に特別な印刷機を据え、英領馬來貿易統計表は民間に依賴するのを廢め、政府印刷局に於て印刷する事

年貿易統計には英領馬來の統計のみを發表し、同時に最近四、五年間の年統計を加へ比較對照せしめる事

英領馬來各月輸出入統計には實際輸出入の品種、到着、發送の月日等詳細記入の事

（新嘉坡フリープレス十月十二日）

□馬來半島の籐に就て（下）

半島內に產する籐は前號所揭の四種類の他、次に述べる通り十六種類の籐があるが、餘り重要なるもの無き故種類名のみを揭げることにした。海峽植民地を中心とせる籐に就ては「籐に就て」臺灣銀行調査に係る調査研究資料たるを參照せられん事を希望する。

籐の種類（續き）

第五 Rotan Tanah

第六 Rotan Batu

第七 Rotan Tunggal (Calamus penicillatus Roxb. var.?)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第八　Rotan Kertas (Calamus sp.)

第九　Rotan Lilin (Calamus penicillatus Roxb.?)

第十　Rotan Pasir, Rotan Sega Padang

第十一　Rotan Udang

第十二　Rotan Kerai (Calamus sp.)

第十三　Rotan Cherian (Daemonorops sp.)

第十四　Rotan Dahan (Plectocomia Griffithii Becc. and Korthalsia sp.)

第十五　Rotan Kikir (Calamus sp.)

第十六　Rotan Manau (Calamus ornatus Bl.?)

第十七　Rotan Sabut (Daemonorops hystrix Mart.?)

第十八　Rotan Ayer, Rotan Tawa, Rotan Getah. (Daemonorops sp.)

第十九　Rotan Ungas

第二十　Rotan Jerenang (Daemonorops spp.)

籐の取引狀況

籐は英領馬來の森林の非重要產物中最も顯著なものである。地方の家庭用には弘く使用されてゐるが、其の價値に就いては豫測し難い。英領馬來に於て輸出向に採集する原料は蘭領印度及び比律賓の各地方から新嘉坡に集つて來る。一九〇〇—二〇年間新嘉坡に於ける籐の平均取引數量は次の通りである。

輸入	四五七、七一三擔	三、七二八、七七三弗
輸出	四三六、一九三擔	四、七〇九、六一九弗

此數字は一年に付き數量二一、五二〇擔の損失と、新嘉坡に於て籐の受ける取扱によつて年當り價額約一、〇〇〇、〇〇〇弗の純利益又は平均價格一擔當り八・一四弗乃至一〇・八〇弗の增加を示して居る。

此の取引は重に輸出向籐の殆んど全部の加工をする支那人の掌中にある。(完) (Malayan Series No. XVII.)

□一九二七年上半期の新嘉坡貿易概況

英領馬來の消長は由來護謨及錫市價の如何に左右されるものであることは少しく當方面の事情を知れるものゝ等しく肯定する所である。卽ち當領に於ける產業としての栽培護謨竝錫鑛業は蘭領東印度等に比して單一企業の弊はあるがそれ丈全馬來の好況不況に大なる關係を有するのみならず實に其のバロメーターとなつて居るのである。而して其出入口を扼する新嘉坡の盛衰又之に伴つて浮沈のあることは蓋し必然の結果であると謂はねばならぬ。

されど本年度の如き護謨の不況に陷つては、一九二二年頃のどん底に比較すればまだ其限界はあるが、どうしても一昨年のやうな景氣の出ないのも當然の事である。之を通貨關係から見ても本年一月一日現

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

在紙幣發行高一億六千三百二十七萬九千七百十三弗が六月末日にたては一億三千八十五萬六千九百二十三弗に縮少して居り爲替方面も手堅いが至極弱い。之を要するに本年上半期の景氣は一般に畏縮狀態である。

最近發表された當地商業會議所の報告を見ても其貿易上に及ぼした影響として、昨年上半期に於ては輸入五億七百六十六萬一百五十二弗であつたものが本年は四億六千九百八十六萬七千九百五十八弗となつて居つて三千七百七十九萬二千一百九十四弗の減少となつて居り、輸出に於ても亦昨年度四億五千八百八十八萬八千八百八十五弗のものが本年度は四億七百五十九萬五千八百五弗で差引五千一百二十九萬三千八十弗の減少となつて居る。即ち其總額に於ては昨年度九億六千六百五十四萬九千三十七弗に對して本年度は八億七千七百四十六萬三千七百六十三弗となつて居つて結局八千九百八萬五千二百七十四弗の減少を示して居る狀態である。尙之を左に表示すれば次の如くである。

一九二七年上半期一般貿易

（一九二六年度）	
輸入、貨幣金銀塊以外のもの	五〇七、六六〇、一五二弗
（一九二七年度）	
輸入、貨幣金銀塊以外のもの	四六九、八六七、九五八弗
（一九二六年度）	
輸出、貨幣金銀塊以外のもの	四五八、八八八、八八五弗
（一九二七年度）	
輸出、貨幣金銀塊以外のもの	四〇七、五九五、八〇五弗

輸入、一九二六年度上半期

錫	一、六二二噸	三、七六三、三二九弗
錫鑛	一九、六一三噸	三三、〇九八、〇二〇弗
パラ護謨	一〇〇、三八九噸	一六〇、三五〇、四二一弗
其他商品		三一〇、四四八、三八二弗
計		五〇七、六六〇、一五二弗
貨幣並に金銀塊		二一、六〇四、四三二弗
合計		五二九、二六四、五八四弗

輸出、一九二六年度上半期

錫	一五、八六三噸	三七、〇五八、三九一弗
パラ護謨	九〇、二四一噸	一九四、〇二一、一三三弗
其他商品		二二七、八〇九、三六一弗
計		四五八、八八八、八八五弗
貨幣並に金銀塊		七、八九二、九二八弗
合計		四四六、七八一、八一三弗

輸出、一九二七年度上半期

錫	一、八八四噸	四、八〇一、七七一弗
錫鑛	二一、二〇六噸	三八、八二三、六二七弗

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

パラ護謨	一一七、四八一噸	一三二、四九五、一四五弗
其他商品		二九三、七四七、四一五弗
計		四六九、八六七、九五八弗
貨幣金銀塊		一三、七二七、六七六弗
合計		四八三、五九五、六三四弗
輸出、一九二七年上半期		
錫	一六、八四六噸	四三、〇五二、三一六弗
パラ護謨	一〇二、五八五噸	一四六、五四〇、四二三弗
其他商品		二一八、〇〇三、〇六六弗
計		四〇七、五九五、八〇五弗
貨幣金銀塊		五、三一八、三三九弗
合計		四一二、九一四、一三四弗

概況

輸出の部

護謨。護謨は標準物一月六五仙半を唱へ六月の六〇仙四分の三で閉んだ。此間最高七二仙、最低五九仙半となつて居る。而して其最高相場は六月に現はれ爾後急戟に下落を見せロンドン在荷増、各方面の本年度過剰豫想等が一般先行を暗くして居る。さればクーポン切捨て或は最低輸出制限率を今一層下げよと云ふが如き供給者側の聲が出て居る。本年上半期英領馬來よりの積出量は一九六、八六〇噸で前年同期の一八一、四八七噸に對比すれば一五、三七二噸の増加となつては居るけれども價格に於ては逆に一八一、二二三、二六一弗が二八九、七二三、二六一弗となつて結局一億八百五十一萬弗の減額となつて居る。之は市價が安くなつて居るから當然の歸結であると云はねばならぬ。又輸入護謨の關係を見ても本年度は八七、四一八噸で昨年度より二一、一四〇噸の増加となつて居る。競賣に附せられたもの亦本年度は九、七四九噸で昨年同期は六、六四〇噸であつた。

錫。錫の年明相場は二九四磅一二志六片に初まり多少の變動はありつゝも一般に上景味で二月二十五日には三〇四磅一〇志に達し本年上半期中の最高相場を示したが、之又漸落五月十六日の二八三磅二志六片を最低に六月末の閉値は二八五磅一〇志である。海峽植民地相場は三月一日の最高一五九弗、五月十七日の一四五弗七五仙が最低で平均擔當一五一弗三二仙となつて居る。

其他の物産一般市場不況氣なれば取引商品の量は一般に減退して居る。特にコプラと鳳梨が著しく輸出減となつて居るが之は本年春季の水害に基因して居るものと思はれる。尙鳳梨としては多少コンサイメントの出過ぎもあつたようである。胡椒も亦大した事はないが減少して居る。然し乍ら之は比較的高値である事と自ら不作である事が一般に知られて居る關係上取引が進まぬものと見ねばならぬ。サゴ粉は至極手堅く五弗六七十仙を保持して居るが、タピオカは本年度は多少増加して居るから下半期には減少をするであらう。

ガムビヤの生産は大體に於て一割二分方減じて居る。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

輸入の部

綿布。年初の市場在庫は比較的僅少であり二三月に入つて少量の入荷はあつたけれども要するに出拂ふ方が多かつて一昨年度より一割減ー其結果は年初よりすると約二割方減退して居る。英國に於ける綿製品の相場は此處六箇月間は堅實な足取りで進んで居るのに之が地方相場と殆んど出合はなかつたのであるが輸入業者竝に小賣業者自身としては却而昨年よりも好かつたやうである。尚ゴム市場の不況から綿布の需要も痛切に影響を及ぼして來て居るが昨年よりも手持は少ないーマンチエスター建値も依然として上昇して居るやうな關係もあるから自然下半期は大に樂觀出來るであらう。

石炭。本年度の石炭輸入は前年同期に比し八三、三二六噸の增加である卽ち本年度四三七、六七八噸に對し前年度は三五四・三五二噸である此數字は棧橋場に港内積取の數字を加へたものである。新嘉坡港務局は棧橋場出入高に付左の通り表示して居る。

	一九二六年度上半期	一九二七年上半期
入	一七〇、六一五噸	二〇六、一〇九噸
出	二一四、六七七噸	一九九、四四二噸

目下石炭は產地よりも寧ろ新嘉坡の方が安値を唱ふる爲澁々しく商賣にならずウエールス竝にアフリカなりの輸入は減少したが印度や我々日本よりの輸入は增加をして居る。其他スマトラ、オーストラリヤ竝にボルネオよりの輸入は昔の儘である。

其他一般雜貨類にしても商況鈍調を妨れぬ。一面に於て一九二二年の不況時代に嘗めた苦い經驗があるので一般にストツクをすることを手控へて居るやうである。要するに前にも述べた通りゴム市價の回復と云ふ事が當地方人の總てが希望し且つ其時機を待つて居るのである。

常に例外として目下都市計畫遂行中の當市は建築及土木工事用材料の必要がある爲我國よりもセメントの輸入が增大して居る事は顯著なる事實である。

食料品の輸入も思はしくない目下カリフオルニヤの鮭が相當ストツクされて居るやうである。其他麥粉は薄利なものであるので今迄通つて居る商標以外に割込む事はなか〱困難である。

食料品類の競爭は隨分猛烈で時には原價を割つて賣られて居るものさへある。

（新嘉坡商品陳列館報第三四二號）

蘭領東印度

□蘭領印度の華僑

一、華僑の渡航より今日までの經緯
二、華僑の政治的・經濟的地位
三、蘭印當局の華僑に對する態度

一、華僑の渡航より今日までの經緯

支那人が最初に爪哇に渡航したのは西歷四一四年であつて、それは佛典の蒐集、サンスクリツト研究の爲、三九九年に支那を發足して英領印度錫倫を巡歷海路歸國の途次暴風に遭遇し、圖らずも爪哇に到着した法顯三藏を以つて嚆矢とする。當時爪哇には未だ一人の支那人も居らず爪哇を初めて支那政府に紹介したのも彼であつた。其以來、支那は爪哇の沿岸地方の土候と外交關係を結び、且つ通商を開始するに至つたが、事實上の接觸は第六世紀の初めからである。

一二九二年に支那は爪哇の土候を遠征したことがあり、此の事があつて以來、支那、爪哇間の關係は一時長い間中絶の狀態にあつた。後明朝に至つて再び相互に使節を送り、爪哇に於ける支那人植民地には多數の有力な支那人が定住する樣になつた。

和蘭人が初めて爪哇に渡來したのは一五九六年であるが、當時既に多數の華僑が爪哇に在留して居た。

一七四〇年に至つて、爪哇の華僑は暴動を起し、爲に多數の支那人は、其の老若男女、富貴貧賤を問はず、約一〇、〇〇〇人虐殺された。其後華僑は年々概して規則的に移住し、東印度會社が其の末期に於て土地を賣却するに際し、土地を購入する者多く地主或は土地賃貸者として相當の地位に立つ者が相當あつた。

爾來華僑は增加する一方であつて、最近に於ては、每年平均三、五〇〇人以上の華僑が流込んで居る。

華僑の移住が盛んになつた原因を見るに、先づ次の五項を擧げればならない。

一、南部支那に於ける人口の急激なる增加
二、母國に於ける生活難
三、母國に於ける政治上竝に社會上の不安
四、支那民船が古より發達せる事
五、旅商の流行

今、蘭領印度に在留する華僑の數を見るに次の樣である（一九二〇年國勢調査に依る）

	男	女	計
爪哇マヅラ	二〇九、七〇七	一七四、五二一	三八四、二二八
外領	三〇八、六四七	一二六、七八一	四三五、四二九
計	五一八、三五五	三〇一、三〇二	八〇九、六四七

內經濟的に活動して居る者と見做される十五歲以上の男子は三七三、〇〇〇人であつて當時歐人と同待遇を受けて居る支那人は五二八名であつた。

尙本年在バタヴィア佛國領事の本國政府に報告せるものに依れば、一九二七年に於ける蘭印華僑の總數は爪哇マヅラ三八四、四五三人、外領四二五、七三二人合計八一〇、一八五人と爲されて居る。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

蘭印に渡航する華僑は、極少の例外を除き總て南部支那の廣東省及び福建省の者である。商業に從事するもの〻大部分は、厦門竝に其の隣接地方の漳州、泉州、同安等からの移民で、之に反し、工藝業に從事する者の多くは、客家或は廣東人である。客家の方は概ね靴屋、籐細工屋であり、廣東人の方は時計屋、家具屋或は大工等である。

一九二〇年の國勢調査に據れば、蘭領印度の土人の人口は四八、五〇〇、〇〇〇人である。之に對し華僑は八〇九、六四七人であるから、土人對華僑の人口比率は約六〇對一の割合である。

二、華僑の政治的經濟的地位

從來在蘭印華僑は、土人、歐人と離れて、支那人獨特の社會を構成して居たものである　一六一九年に至り支那人蘇鳴崗なる者支那人のキャプテンに任命され、在留華僑間の治安を維持し、同時に輕い民事々件を裁判する事となつた。當時支那人は大體に於て平和なものが多かつたが、中には無職者　浮浪者等の無頼漢もあり、種々の方面に於て蘭印當局と衝突事件相續いて起り、暴動事件さい惹起するに至つたこともある。斯の如き波瀾曲折を過ぎた今日に於ける華僑の法律地位如何と見るに、大體次に掲げる通りである。

一八五五年以前に於ては、民事をも含む華僑關係の爭議は全て土人裁判所に於て取扱はれ、利害關係者は常に不利益な結果を蒙つて居た。然るに、一八五五年の法令第七九號は本狀態を改善し、現在に於ては、蘭領印度の大部分に亙つて、民法及び商法中に規定してある歐人財產法規は東洋外國人にも適用されることゝなつた。本事實は華僑の社會的地位を著しく向上せしめ、且つ經濟的地位をも鞏固にした。又、一九一七年法令第一二九號によつて親族法と相續法に於ても、亦歐人と同等の待遇を受ける樣になり之れに關聯して華僑の戶籍原簿規定も制定された。從つて、同年以後は若干の例外はあるが、大體に於て商法、破產法竝に民事訴訟法は歐人と同等の規定が適用されることゝなつたのである。卽ち右に掲げた以外の法律に於ては對土人法の適用を受けて居るのである。又以前に於ては華僑は到る處に所謂秘密結社なるものを組織し種々の社會的不滿を除去する機關として居たのであるが、一九一八年に至つて蘭印に國民參議會なるものが創設せられるや彼等は之れに自己の議員を送り、彼等を通じて其の苦情を陳述する充分の機會を獲得した故に、それが機能及び勢力は著しく衰微した。

又彼等は市會、州會にも華僑の議員を選出することが出來、之は、市會議員竝に州會議員選擧條令中に明らかに規定してある。卽ち、以前に於ては、華僑は蘭領印度の政治竝に社會上何等法律を以て其の發言權が認められて居なかつたのであるが、近年に至つて漸く認められたのである。

而し、華僑間には總ての方面に於て歐人と同待遇を要求する運動が漸く盛んになりつゝあり、總ての機會に於て其運動を試みて居る。而して今年を以て終る蘭支通商條約の再締結の際に於ては、是非共本要

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

求を撤廢すべく力んで居る。本要求とは、現今の對土人司法の適用に代ふるに對歐人規定を適用せよとの要求である。歐人は本運動を支那人運動と呼んで居る。

次に、華僑の經濟的地位に就て見るに大體次の如く論ずる事が出來る。第一節の終りに述べた如く、蘭印在住の華僑數は土人の夫と比較する時は、左程憂慮する必要はない様であるが、然し蘭領印度群島に於ける華僑の意義は其數に非ずしてその經濟的地位にあるのである。

彼等は群島到る處に歐人と相竝んで最も重大な經濟的役割を演じて居り、支那人の侵入して居ない所は絶無と云つても良い位である。

彼等は商業を以つて其の生命となして居るが、中には小農園經營者製糖工場經營者もある。而し、彼等の栽培界に於ける活動は、商業界に於ける發展に比すれば殆んど論ずるに足らないのである。

其他華僑の從事して居る職業を擧げて見れば、精米所、更紗工場、煙草工場、瓦及び煉瓦工場。藤細工竝に家具工場の經營、雇主或は職人としては家具屋、大工、裁縫師、靴屋、寫眞屋、金銀細工屋、時計屋、パン屋、肉屋、洗濯屋等である。又稼業的に海運業を營なんで居るものも相當ある。之以外に苦力として、勞役に從事するものも相當にあつてスマトラ東海岸の農園に二九、〇〇〇人強、バンカ及びビリトンの錫山に各二一、〇〇〇人餘及び一五、〇〇〇餘り、卽ち全體で六五、〇〇〇强である。

智識階級には醫者、新聞記者、支那人學校教師及び銀行會社員等が

ある。猶バガン・シ・アピアピ及びセラツトパンジヤンに漁夫として働いて居る華僑が一三、〇〇〇人位ある。

次に、華僑の生命たる商業に關して、大體直輸入、直輸出、仲買商人及び小賣旅商と區分して概略的に述ぶれば、大略左の通りである。

華僑の從事する最大の直輸入は蘭貢、西貢及暹羅からの米の輸入である。爪哇向の米の買付は大部分輸出港に特別關係を有する當領の仲立商館を通じて行はれたるが、又爪哇竝に外領の華僑仲立人を經由せず新嘉坡支那人と直接米の取引を行つて居る。是等は總て歐人銀行に依り、金融されて居り其他の直輸入品として大豆、日本商品(燐寸)食料品バター等がある。

直輸出に於て見るに、華商輸出品の大宗は砂糖である。而し、砂糖輸出に於ける支那人の地位は、米輸入に於けるが如く重大な意義を有するものではない。是等の輸出は殆んど總て歐人銀行に依つて金融される。

一九一九年乃至一九二四年すでに支那商人が爪哇糖生産者組合から直接買取つた割合は各々全收穫の二割六分、一割九分、三割二分、二割九分、二割一分、及び三割一分に達して居る。華商の主なる者はスマランの郭河東、建源及び黄仲で、輸出砂糖の金融に就いては、左記の二種に大別出來る。

一は前記の三商を主とする資力強大な大商館で、歐米、支那、香港、英領印度等への砂糖輸出に從事し、且つ概ね輸出先に自己の事務

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

所又はコレスポンデントを有するもの

二、主として新嘉坡、彼南及び外領（ポンチヤナ及びパレムバン）への砂糖移輸出に從事する小規模輸出業者

砂糖以外の直輸品中には此處に列擧する價値あるものは殆んどない。

次に仲買商であるが之れは華僑の商行爲中最も重要なものであつて、彼等は其の競爭者たるアラビヤ人と共に中間商人を形作り、百貨の取引に缺くべからざる連鎖を爲すものである。即ち、歐商が土人農産物の輸出を營むに當つては、必ず支那人の仲介を經て内地より物産を買集むることを要し、又歐洲よりの輸入品の販賣には、大部分華僑問屋の手を經て土人小賣商或は消費者に賣捌かれる有様である。即ち土人の大部分は農夫であつて商人の數尠く、其の上土商は信用及び資力の點に於て歐商の取引相手になり得る者が頗る僅かであるからである。換言すれば、蘭領印度土人の消費する日用雜貨は、何一つとして支那人の手を經ぬものはない位である。故に、彼等華商は蘭領印度に於ける島内商業の覇權を握つて居り、最早や拔くべからざる根據を築いて居るのである。

又華商の間には巨萬の富を藏する者多く、之は彼等が生命財産の不安な本國を去り自己の運命を開拓し、數代に互つて孜々として其の業に勵んだ結果であつて、爪哇スマランの建源號の主人黄冲涵或は先年物故したスマトラ第一の富豪張亞輝等は其の最大のものであつて、何れも數千萬の資産を擁し、其他百萬數百萬の産を積んで居るものは枚擧に遑あらずと云ふ有様である、之等資産家は支那革命以來華僑の名に於て支那本國の政界を（殊に廣東政府）多少動かすに至つた。

最後に小賣旅商に就いて見るに、之れは單に大都會の周圍のみならず、樋く奥地の寒村僻地にまで浸入して居る。彼等は普通小錢を入れた財布を懷中して安物のカインやサロン、漂白反物、光澤付更紗等を積んだ自轉車に乘つて村落を馳廻はる。

是等行商人は惡名を有つて居り、村落では彼等のことを詐僞師、高利貸、吸血鬼と云つて居るが、是には稍か理由がないでもない。

華僑行商人は寒村に取つては非常に便利なものであり、掛賣が非常に多い、此種の支那人行商の小資業は多く地方に於て左の樣な方法で行はれる。

内地の各主都には概ね是れを本業とする若干の支那人が定住し、各々數名の店員を抱へ、後者に金と安物の商品を與へて村落に出歩かせる。店員の多くは關門に到着したばかりの新客である。彼等は讀書きが出來ないが親方は文句なく雇入れる。是等行商人一人當の一箇月當の賣上金は百五十盾位に昇る。

行商人は金代をも兼業し、普通の利子は一盾に就き一日當り二仙とされて居る。

行商支那人は若干の貯金が出來れば、本國に歸つて店を開くか又は爪哇の比較的大きい都會に店舗を設けるのが常である。

彼上の如く支那人は商業上に於ては殆んど其の覇權を握つて居る

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

が農業其他の産業に於ては差したる根抵又は勢力を有つて居ない。企業家としては、多少の資本家を除いては大多數は資本も小であつて經營方法も在來の支那式のものが多い。

又支那人は投機的取引を爲すを好む風習があり、爲に自ら破産の憂目に遭ふこと或は又市場を攪亂すること等が屢々ある。

華僑の不買同盟は頗る警戒を要するもので、特に廣東人の排他は猛烈であつて、時として盲目的に一致行動に出ることがある。華僑の外貨排斥は必ずしも對日排貨に非ず排他にして排日でないことがある。彼等は、政治上軍事上弱者の地位に立つ場合には、自己防衛の手段として、此れが報復と索利の爲め、最も其の得意とする經濟上の手段に訴へるのである。爪哇に起るボイコットは、其大部分は彼等の本國對外國の紛爭が生じた場合殆んど其の都度起る本國の外貨排斥運動に呼應して起るのである。

三、蘭印當局の華僑に對する態度

古より蘭領印度政府は華僑に對して種々の態度を示して來た。ヤンピーターソーン・クーン總督の如きは頗る支那人を重寶がり、和蘭本國の東印度會社重役連も支那人を親切に保護する樣命じたことがある。而し一般に蘭領印度政府竝に權威ある植民地研究者達は支那人竝に支那人の移住に對し餘り良い感じは持つて居なかつた。植民大臣であつたフオック氏の如きは東洋外國人の入國、居住に關する規定を改正する必要ありと稱へ、又有名な植民問題に關する著述家マルハクント氏の如きも、支那人の移民に對しては頗る反對して居たのである。下つて晩近に至つて蘭印當局は、支那人は土人の利益を著しく浸すものとして何等かの是れが對策を講じやうとして居る。即ち、土人は概ね貧困であるのにつけ込んで、華僑は土人農作物の先物取引契約を爲し、是れに對し前貸をなす。若し不幸にして作柄不良の場合には、土人は其の前借の分さい返却出來ず、積り積つて多額の負務を負込むに至る。斯る場合に支那人はそれが代償として土人所有の土地を占領するに至り、土人は益々困難な状態に陷るのである。是れは土人の利害と相反するものであるからである。即ち土人の利益擁護上の見地からである。

又事の輕重を問はず、華僑の利益と支那人の利害とが抵觸した場合には歷代の政廳は常に支那人を壓迫して來たのである。

戰時中竝に戰後、支那方面より共産主義の宣傳に來る者漸やく多きを數え、蘭印政府は是に對し細心の注意を拂ひ、不買同盟等の事件の背後には必ず是等の不逞華僑があつて暴力を以つて、壓迫煽動するものがあることを探知し、其首領を追放したこともある。斯る不買同盟は最近に於ては殆んど、日貨に對して行はるものゝみであつて、日貨排斥に對する蘭領印度政府は、支那人が自由意志によつて日貨を排斥することは政府の關知するところではないが、煽動者があつて商業の自由を妨害する樣な行動に對しては嚴重な取締を爲すと聲明して居る。又昨年より本年に亙て爪哇竝にスマトラ、ボルネオの諸島に共産

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

黨の煽動が勃發したが何れも其の背後には支那人共産主義があり、無智盲目な土人を煽動したことに原因して居るのである。又前述の通り華僑社會には秘密結社多く、其の會議を開催するや蘭印當局は是れに嚴重な監視を付して警戒して居る。

又最近に至つて蘭領印度政府は入國規定に大改革を施したが、是れは一方に於ては支那共産主義者の潜入を警戒する爲め、又他方に於ては蘭領印度の社會の安寧秩序を亂すものを國外に追放し得る範圍を擴張したもので、追放するに當つては今後別に訴訟を起す必要がなくなつたのである。

其他三年前に蘭印政府は入國稅を在來の五十盾より百盾に引上げたが、是れも亦其の主眼とする所は、華僑移民の流入を防止する一策と見られるものである。

□一九二七年度外領土人護謨輸出見積

左に掲げる表は、一九二七年度の最初の七、八箇月間に於けるヘヴイア護謨の地方別輸出數字を示すものである。本數字は、年産額見積に從つて同期間中に生産さるべき農園護謨の數量を差引いたものであつて、又他欄の數字も同樣の方法で全年度の指數を割出し、斯くして一九二七年度の土人護謨（ウエツトラバー）輸出見積高を計算したのである。

地方名	月間の收穫		同數月間に於ける農園護謨の生産見積	土人護謨輸出高	同一の計算に據る一九二七年度	一九二六年	一九二五年
スマトラ東海岸	八箇月間	—	—	一〇、七七七	一六、〇七六	一三、一九六	一六、六四八
アツチエー		—	—	—	（土）五〇〇		
タパヌリ	七箇月間	四、五〇一	一、六一六	二、八八五	四、九四四	三、七七八	三、五五八
スマトラ西海岸	同	八三四	一九五	六三九	一、〇九五	四二七	一、九二一
ベンクーレン	同	三三	二六	六	一〇	九七	九五三
ランポン地方	同	二、〇六四	一、七六九	二九五	五〇六	一八五	一九三
パレムバン	八箇月間	一四、一六〇	二七八	一三、八八二	二〇、八二三	一六、六五〇	一七、〇七三
ジヤンビ港	同	三一、一一六	三三	三一、〇八三	三一、六六五	三〇、六六一	三〇、五二一
其他の港	七箇月間	一、一三八	—	一、一三八	一、九五一		

リオー及屬領	六箇月間	五、七一四	一、二四二	四、五七四	九、一四八	七、八四〇	七、八六三
バンカ	七箇月間	一、三八六	―	一、三八六	二、二〇五	一、八七〇	二、一六三
ビリトン	同	一〇二	―	一〇二	一七四	一七四	一四〇
西部ボルネオ	同	一五、〇七七	六一八	一四、四五九	一四、七八七	三、八八六	二、一一三
南東部ボルネオ	同	一五、四九三	四六五	一五、〇二八	一三、七六三	一三、四三六	二六、三九九
合計	……				三九、六〇六	三〇、一六三	三八、四三五
乾燥重量	……				（土）九三、〇〇〇	（土）八〇、〇〇〇	八五、〇〇〇
フイカス護謨	……				一、八二四	一、八三六	二、六八二

前記數字は地方毎に乾燥重量に換算したものではない。一九二五年の數字は、充分に信用出來るものと云ふことが出來るが、其れ以後は、各港に於ける土人護謨の品質は種々雜多となり、是れを正確に知る由もなかつた。現在に於ては洗滌損失の新調査が行はれて居り、この結果に依れば、各地に於ける洗滌損失量が增加して居ることが判明した。然し乍ら是に關する具體的のことは未だ發表してない

一九二七、二六、二五年の合計乾燥重量はウエツトラバーの三分の二とされた。一九二五年度に於ては此の比率は丁度であつたが、他の年に於ては若干高かつた樣である。

此處に、ウエツト土人護謨の輸出數字（一三九、五〇〇、一二〇、〇〇〇及び一二八、五〇〇噸）を比率して見る時は、第一に一九二六年の輸出は其の初めに於ては、一九二五年度のそれと同額に見積られたのであつたが、事實可なり尠なかつた。是れは主としてスマトラ東海岸（三五〇〇噸）、スマトラ西海岸（一一、五〇〇噸）、ベンクーレン（一八五〇噸）及び南東部ボルネオ（一一、九〇〇噸）よりの輸出が減少した事に原因して居るのである。然し乍ら、スマトラ西海岸並にベンクーレンに於ては生産が減少した譯ではない。即ち一九二五年に於ては相當數量のフイカス護謨がヘヴイア護謨の名の下に輸出されたらしく、スマトラ西海岸より輸出さるべきものゝ一部は他の經路（タパヌリ又はベカン・バルー）を以つて輸出され、又スマトラ東海岸及び南東部ボルネオの輸出減少に就いては何等是れに說明を與へる材料無く、寧ろ一九二七年に於ては一九二五年の輸出額を凌駕して居るのである。

一九二六年の輸出の變調は、一九二五年の高市價の反動として重な地方は一九二六年の最初の五箇月間通常能力より著しく尠なく生產せること、及び一九二六年の初めに於ける市價暴落の結果地方的取引は市場に於て其の信用を失ひ、買上げに際しては極端の安値を付けら

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

れ、又一九二五年末の高市價に慣れた採集者は、其の一部は罷業したるに依り、生産が減少したことに原因して居るのである。本狀態は一九二六年の後半期に護謨價が安定し奥地に於ける異常な經濟狀態が恢復すると共に改善され、再び一日〇・八〇乃至一盾の日給で勞働され、一九二六年六月からは再び通常能力を以つて生産されるに至つた。

一九二七年に於ては、輸出は今日まで概して變らず、一九二六年度後半期の程度にあり、結局一九二七年度の年度輸出は一九二六年を凌駕するものと豫期されて居る。一九二五年に於ては、輸出は四月―十二月まで殆んど同一額を示して居た。

一九二七年の輸出が一九二五年のそれより增加したことは、左の諸原因に依るものである。即ち

a 一九二五年の當初數箇月に於ては、多くの若農園が猶完全に採液の域に達して居なかつた爲の生産僅少。

b 各地方(パレムバン、スマトラ東海岸及び或はタパヌリ)に於ける輸出護謨の水分含有率の高かつたこと。

c 他の地方より以上に多くの護謨樹を有する或は該地方在住勞働者を以つて採集することの出來る地方に於けるより完全な採集。

d 栽培が好適地(タパヌリ及び西部ボルネオ)に於て集約的に行はれて居る地方に於ける若農園(一九二二―二三年)が、除々に生産の域に達せること。

是等諸要素に因るものであるとは雖も、內何れが其の最大原因であるやは現今の所的確に云ふことは出來ない。

(Korte berichten voor landbouw, nijverheid en handel oct 7 '27 No. 40)

□スマトラ東海岸州の栽培業の成績

一九二六年末に於ける各國の投資せる各種栽培農作物の植付面積及生産數量の統計見込數は此の程發表せられた。此の見込數は或る細目に渉つては實際數量と多少の差異あるも、概して實際數量に近いと看做されて居るものである。

一、護謨

投資國別	植付面積 エーカー	生産面積 エーカー	生産、數量(封度)	植付面積當生産高(封度)
和蘭	一六三、一七二	一一九、七五四	四〇、六〇五、六七〇	三三九
英國	一六二、五一五	一三三、六六七	四二、〇七九、一五六	三一五
米國	七三、八〇[illegible]	六三、三七〇	二五、八〇八、六三八	四〇七
佛國・白國	六四、一五三	四四、四七八	一五、七〇七、八四二	三五三

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本	一〇、〇八六	五、〇五六	一、二八八、七五〇	二五四
獨逸	六、〇七九	四、九六二	二、二四八、四八三	四五三
瑞西	五、六二六	三、三二六	一、三六九、七六七	四二四
其他	七、三一九	五、五五八	一、七二一、九四四	三〇八
計	四九二、八五一	三八〇、〇七一	一三一、八二〇、二四〇	三四七

前表の數字を其の前年度の數字と比較するに、最も注目に價する事實は、植付面積の增加ではなくして、(植付面積は約二五〇〇〇エーカーの增加を示した。此の植付面積の增加の顯著ならざるは一九二五年に於ける護謨價の高騰に依る)寧ろ五一、〇〇〇噸より五九、七九三噸に上れる生產高の增加にあるのである。此の生產增加は生產能力の激增を促し、一九二五年に一エーカー當り四〇七封度の平均高率を示した。英國人經營の農園は一九二五年に一エーカー當り二八二封度であつたが、一九二六年に於ては三二二封度に達した。英國人經營の農園生產總額は獨逸農園の夫れよりも多かつた。

前記一九二六年生產高五九、七九三噸は、農園護謨の稅關輸出統計に於ける東海岸五四、九四七噸、ランサ三、〇一六噸計五九、七九三噸で正しく一致して居る。然しベラワン港よりの八月の最初三週間に於ける數字は、火災に依り燒失した故に表はれて居ない。豫て稅關統計の示した處に據れば災害期中の見込數は約一千七百噸と見られて居るを以て、從つて生產數量と輸出數量は正に一致して居ると云ふことが出來る。

二、茶

投資國別	植付面積 エーカー	生產面積 エーカー	生產高 (封度)	植付面積一エーカー當 生產(封度)
英國	一五、八一七	二、九九九	八、一七九、七七六	六八一
和蘭	一六、八七四	一三、六五五	九、一七六、四四五	六七二
獨逸	二、三四三	一、六八三	一、二四〇、五六一	七三七
計	三五、〇三四	二七、三三七	一八、五九六、七八二	六八〇

茶の生產も亦增加を示して居るが、護謨に於けるとは亦趣を異にして居り、一九二六年以前には一エーカー當り六六七封度の生產高を示して居た故に、一エーカー當り一三封度の增加である。而るに植付面積に於いては一九二五年末二九、五二八エーカーを示し、一九二六年に於いては實に五、五〇六エーカーの增加を見たことは重要なる意味を有するものと云ふことが出來る。

三、油椰子

投資國別	植付面積 エーカー	生產面積 エーカー	生產高 (封度)	植付面積一エーカー當 生產(封度)
白國、佛國	三七、七〇〇	一〇、二〇五	九、六四六、九三二	九四五
和蘭	一八、七〇八	七、二〇八	八、四二八、〇三八	一、一六九
英國	三、三一四	—	—	一、七六七
獨逸	五、四六六	四、〇一八	—	九〇七
其他	一、八七八	一、一三三	—	一、三五〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

計	六七、〇六六	二三、〇三五	一	一、〇四五

油椰子は植付面積及生産面積共に増加を示した。殊に獨人所有の農園は最近愈々生産期に入り、從つて總輸出額に影響を及ぼし、此の事實は税關の輸出統計に明に認めらるゝ所である。該税關輸出統計には、アムステルダム・ハンデルス・フレエーナフイング（H.V.A）所有農園の數字を含んで居ないが故に、輸出實數は夥しい額に上るものと推定せねばならない。

四、コプラ

投資國	植付面積 エーカー	生産面積 エーカー	生産高（封度）	植付面積一エーカー當生産（封度）
英國	三、二〇〇	一、二二一	六、二三八、〇〇五	五五六
和蘭	九、七七〇	四、四二三	二、九九一、五二八	六七六
其他	四四七	三七八	三二六、一〇七	八六二
計	一三、八一七	一六、〇二二	九、五五五、六四〇	五九六

植付面積及一エーカー當り生産高は幾分増大した、生産高は一九二五年に比し三六〇噸増加を示して居る。

五　煙草

投資國別	植付面積 エーカー	生産面積 エーカー	生産高（封度）	植付面積一エーカー當生産（封度）

和蘭	五、六二三	三、三五八	五五六、七一九	一六六
英國	八、二六五	五、六二一	一、七八六、七二四	三一七
獨逸	一、七三七	五五九	一〇三、一九七	一八四
計	一五、六二四	九、五四八	二、四四六、六三〇	二五六

珈琲の栽培は一九二六年と一九二五年とは略同様であつた。

スマトラ東海岸州の農業栽培に投資せる各國資本總額は纖維類に對する投資額をも合算して英貨四千萬磅と稱せられて居る。

スラバヤ日本商品陳列所十月二十四日（調受）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

英領印度

□緬甸米作第一回豫想

一九二七―二八年度緬甸米作第一豫想次表の如し（單位英反）

		一九二七―二八年	昨年度第一回豫想と比較	昨年度收穫高との比較
植付面積	下緬甸	九、五四五、七〇〇	一八五、二〇〇増	七、三〇〇減
	上緬甸	二、六二七、三〇〇	七五、六〇〇減	二七一、〇〇〇減
	緬甸合計	一二、一七三、〇〇〇	一〇九、六〇〇増	二七八、三〇〇減
不作面積	下緬甸	三二二、〇〇〇	一六、二〇〇減	一九四、八〇〇増
	上緬甸	四三、四〇〇	―	一四三、九〇〇減
	緬甸合計	三六五、四〇〇	一六、二〇〇減	五〇、九〇〇増
生産面積	下緬甸	九、二二三、七〇〇	二〇一、四〇〇増	二〇二、二〇〇減
	上緬甸	二、五八三、九〇〇	七五、六〇〇減	一二七、一〇〇減
	緬甸合計	一一、八〇七、六〇〇	一二五、八〇〇増	三二九、三〇〇減

下緬甸に於てはモンスーン一般に順調であつて、農作は大部分異常なく、成育不良でインセイン地方に於て廣面積が洪水の被害を受けたにも拘らず豫想は良好である。

上緬甸に於ては乾燥地帶には降雨不充分であつたが成育は一般に良好である。

全體に就ては大體に於て豐作と見られてゐる。特にもし十月の降雨が順調であれば一層豐作と見られてゐる。

(Rangoon Gazette, No. 43, Oct. 24 '27)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

一千九百二十七年上半期に於ける爪哇及びマドラの外國貿易(N. S. J. Vol. 14, No. 11)

英　領　印　度

Bombay Port Administrtion (T. O. I. Vo. XC, No. 40, Oct. 1, P, 7)

Final Jute Forecast (T. O. I. Vol. XC, No. 40, Oct. 1, P. 11)

The Indian Reforms Commission (S. F. P. Nov. 10)

Bamboo Forests of India. Last Hope of Imperial Pulp Supply (S. F. P. Oct. 17)

印度綿製品の海外市場調査 (T. K. S. Nov. 19)

緬甸の家内工業狀況 (T. K. S. Nov. 16)

蘭貢米第二回豫想 (T. K. S. Nov. 17)

緬甸の工場狀況(一九二六年末) (T. K. S. Nov. 14)

對印貿易の統計的觀察 (T. K. S. Nov. 6)

印度カシヤワール土侯國現狀(T. K. S. Nov. 6)

蘭貢港船舶出入狀況(一九二六—二七年)(T. K. S. Nov. 4)

印度市場に對する我が輸出發展策 (N. S. J. Vol. 14, No. 11)

濠　洲

Increase in New Zealand's Hardware Imports during 1926 (Com. R. No. 39, Sept. 26, P. 805)

Growth of Australian Textile Industry (Com. R. No. 40, Oct. 3, P. 36)

De buitenlandsche handel ven Australie gedureude de fiscale jaren 1925/26 en 1926/27 (L. N. e. H. No. 42, Oct. 21)

Fabricage van industrieelen alcohol in Australië (L. N. e. H. No. 42, Oct. 21)

サ　ラ　ワ　ク

The Progress of Sarawak (S. F, P. Nov. 1)

Sarawak Policy. General Council Meeting (S. F. P. Nov. 4)

英　領　ボ　ル　ネ　オ

British North Borneo. Administration in 1926 (S. F. P. Nov. 11)

歐　羅　巴

Le Budget de 1928 (le T. Oct. 8, P. 1)

其　他

Fonds voor de "Defense of Sugar", op Cuba L. N. e. H. No. 42, Oct. 21)

加奈陀商業會議所總會及び太平洋貿易會議狀況 (T. K. S. Nov. 8)

Landouwplannen voor Zuid-Afrika (S. Hb. Oct. 20)

マダガスカル島事情 (T. K. S. Nov. 13)

De Zeventiende Utrechsche jaarbeurs (S. Hb. Oct. 7)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

De indische begrooting in de Tweede kamer (H. N. v. d. D. Oct. 17)

Goederengeld Zegels(H. N. v. d. D. Oct. 18)

Indië op het Congres der interparlementaire Unie te Parijs (S. Hb. Oct. 18)

收穫を倍加する糖蜜の施肥試験 (J. N. Oct. 18)

Suikercongres 1928 (S. Hb. Oct. 19)

Koffiezaken (S. Hb. Oct. 20)

Toename van chineesche imigranten (H. N. v. d. D. Oct. 21)

東印度の國有鐵道と其の發達 (J. N. Oct. 21, 22, 23, 25, 26, 27, 28)

蘭印の航空事業明年九月より實施 (J. N. Oct. 23, 25)

Government of Timor. Legislative Council (S. F. P. Oct. 24)

Good Demand for Paints, Pigments, and Varnishes in Sumatra (Com. R. No. 43, Oct. 24, P. 216)

Van wegen en andere plannen in Midden-Java (S. Hb. Oct. 24, 25, 31)

Onze luchtmacht (S. Hb. Oct. 25)

土人市會議員を増し市の改善を計る(J. N. Oct. 25)

De dalende tin prijs (H. N. v. d. D. Oct. 26)

De Verponding (S. Hb. Oct. 26)

De opcenten kwestie (S. Hb. Oct. 26)

パダンセメントの生産能力擴張一日二千樽 (J. N. Oct. 27)

Het Nijverheidsonderwijs in Ned-Indië (S. Hb. Oct. 27)

Het Bantam ropport (S. Hb. Oct. 27, 28)

De inlandsche Tabakscultuar in kedoe(S. Hb. Oct. 28, 29, Nov. 2)

Havenaangelegenheid in Zuid-Sumatra (H. N. v. d. D. Oct. 29)

Tin en begrooting (S. Hb. Oct. 29)

Havenaangelegenheid in Zuid-Sumatra(S. Hb. Oct. 31)

Verslag van het Boschwezen over 1926 (H. N, v. d. D. Nov. 3)

De opium regie gedurende 1926 (H. N. v. d. D. Nov. 3)

Een vliegveld in Medan (H. N. v. d. D. Nov. 3)

Samenvoeging Batavia en Meester cornelis (H. N. v. d. D. Nov. 4)

Het financieel beleid der regeering (H. N. v. d. D. Nov. 4)

東印度の果物雜考 (J. N. Nov. 5, 6)

De oorlogs-Winst-belasting (H. N. v. d. D. Nov. 7)

Ned-Indië en Indo-China (H. N. v. d. D. Nov. 8)

Bedevaart naar Mekka(H. N. v. d. D. Nov. 9)

ハルマヘラ近海の鰹漁業は大に有望 (J. N. Nov. 10)

Het financieel bereid der regeering (H. N. v. d. D. Nov. 11)

De inlandsche Volksraad Meerderheid (H. N. v. d. D. Nov. 11)

Chinese Banks in the Dutch East Indies. (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3347. Oct. 13, P. 747)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Legislative Council. Monday. October 31st (S. F. P. Nov. 1)

The Harbour Board. Year's Work and Accounts (S. F. P. Nov. 2)

British Malaya Rubber. October Statistics (S. F. P. Nov. 3)

Research Work in Malaya. Discussions in London (S. F. P. Nov. 9)

Future of Rubber Restriction. Ceylon Unlikely to Follw Malaya's Lead (S. F. P. Nov. 11)

Preservation of F. M. S. Fauna (B. T. Nov. 15)

蘭 領 東 印 度

爪哇支那日本線汽船會社の活躍と日蘭貿易の影響 (R. J. Vol. 4, No. 8, Aug. 31)

蘭領印度に於ける日本燐寸の輸入減少の理由と其の挽回策(R. J. Vol. 4, No. 8, Aug. 31)

Het Jaarmarktwezen in Ned-Indië (K. S. Vol. 11, No. 5, Oct.)

Klein landbouw in kolonisatie (K. S. Vol. 11, No. 5, Oct.)

De inlandich Meerderheid in den Volksraad (K. S. 11, No. 5, Oct.)

Zijn de regenten op Java volkshoofdens (K. S. Vol. 11, No. 5, Oct.)

Bibitbehandeling en Bibitvoorziening ten behoeve de aanplanting van Suikerondernemning (S. I. N. I. No. 43, Oct.)

Een inlandsche meerderheid in den volksraad (S. Hb. Oct. 1)

Van eilanden in apkomst (S. Hb. Oct. 1, 3, 4, 5, 7, 11, 13, 15, 18, 20, 22, 25, 27, 31)

De Ned-industrie en N. oost indië (S. Hb. Oct. 4)

Het rekest tegen de inlandsche Meerderheid (H. N. v. d. D. Vol. Oct. 5)

Volksraad gewogen (H. N. v. d. D. Oct. 5)

De inlandsche Meerderheid in den volksraad (H. N. v. d. D. Oct. 6)

De wijziging van de Wet op de staatsinrichting (S. Hb. Oct. 6)

De Kuo Min Tang in Oost-Borneo (S. Hb. Oct. 6)

Het normalisatie vraagstuk (S. Hb. Oct. 8)

De Macht van Buitenzorg (S. Hb. Oct. 8)

Overdracht Presidum Suikersijndi-Caat en Java Suikerwerkgevers bond (S. Hb. Oct. 11)

國際的興味の中心地たる蘭領東印度 (J. N. Oct. 11, 12, 15, 16, 18, 19, 20)

Java to-day (S. Hb. Oct. 14)

De Positie van de wetenchappelijke kracht aan de indische proefstations (S. Hb. Oct. 14)

Vaststelling van het, gedurende het le kwartaal van 1928, te heffen uitvoerrecht van Copra, Peper Peper en klapperolie (L. N. e. H. 41, Oct. 14)

Dessawezen, of Oostersche practijk en westersche theorie (H. N. v. d. D. Oct. 15)

Leerplicht in Inddie (S. Hb. Oct. 15)

Haaien als handelsproducten(S. Hb. Oct. 15)

De indische begrooting (S. Hb. Oct. 17)

Nederland neemt de leiding der kleine staten (S. Hb. Oct. 17)

Oliewets ontwerpen (S. Hb. Oct. 17)

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

L' Indochine paie une une lourde contribution aux dépenses de suzeraineté (le C. S. Oct. 12, P. 1)

Conquête de Trois provinces de l' Ouest (le C. S. Oct. 12, P. 1)

Le Conseil de Gouvernement de l' Indochine (le C. H. Oct. 13, P. 1)

L' Enseignement en Indochine (le T. Oct. 13, P. 1)

Où en est le grand programme de l'électrification de nos Chemins de fer (F. I. Oct. 14, P. 1)

Le Budget de la ville de Saigon (le C. S. Oct. 15, P. 1)

De Saigon à Bangkok par voie de terre (E. E. I. No. 540, Oct. 16, P. 6)

Le régime de la propriété foncière en Cochinchine (le C. S. Oct. 18, P. 1)

Ce que la France exporte en Cochinchine (le C. S. Oct. 18, P. 1)

Les Affaires coloniales Franco-Japanaises (F. I. Oct. 19, P. 1)

Les rapports entre l' Indochine et le Japon (le C. S. Oct. 19, P. 1)

Un intéressant arrêt du Conseil d' État sur la bonification Coloniale (le C. S. Oct. 19, P. 1)

Les forces Motrices en Indochine (le C. H. Oct. 21, P. 1)

Le Crédit Agricole indigène se développe en Cochinchine (le C. S. Oct. 22, P. 1)

Sur le Mékong. Quand déblo uera-t-on le Laos? (E. E. I. No. 541, Oct. 23, P. 1)

Causeries sur l' histoire d' Annam (E. E. I. No. 541, Oct. 23, P. 4)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 541, Oct. 23, P. 14)

Conseil de Gouvernement de l' Indochine (le C. H. Oct. 23, 25, 26, 27, 28, P. 7)

Soldes Militaires en Indochine (le C. H. Oct. 26, P. 1)

La Construction du Pnompenh-Battambang est approuvée par le Conseil de Gouvernement (le C. S. Oct. 27, P. 1)

Les Routes du Laos (E. E. I. No. 542, Oct. 30, P. 1)

L' Institution du Crédit Populaire Agricole (E. E. I. No. 542, Oct. 30, P. 4)

暹　　　羅

Royal State Railways (F. E. R. Vol. XXIII, No. 10, Oct. P. 452)

Big Trees in Siam (B. T, Oct. 14)

The Siam Commercial Bank (B. T. Oct. 17)

Lopburi and Faulcon-Major Seidenfaden's Address at Rotarian Dinner (B. T. Oct. 27, 28)

Enkele economische gegevens omtrent Siam (L. N. e. H. No. 41, Oct. 14)

英　領　馬　來

南洋遍歷(五)馬來半島其の十七、八、九、二十 (N. O. N. Oct. 20, 27, Nov. 5, 13)

新西蘭の貿易狀況 (四、五、六、七) (N. O. N. Oct. 20, 27, Nov. 5, 13)

Anti-Malarial Works or Development. The Angullia Case (S. F. P. Oct. 17)

Fighting the Mosquito. Malaria Problems Still to be Solved (S. F. P. Oct. 19)

British Malaya Rubber, 5th Restriction Year (S. F. P. Oct. 24)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Finance Measures Include Means of Aiding Mindanao (P. H. Nov. 2)

Guevara Plan For Parley on P. I. Endorsed (P. H. Nov. 2)

Capital for P. I. is Hard to Get in Ja-pan-Yamamura (P. H. Nov. 2)

Nacionalista Party Called on Now to Stand by Policy of P. I. Trade Protectionism (P. H. Nov. 3)

Quezon, Osmena to Call on President C. Coolidge Today (P. H. Nov. 3)

Port Developments Cnsidered Urgent by A. D. Williams (P. H. Nov. 3)

Senate to Confirm Nomination of Tomas Earnshaw as Mayor of Manila Today, Leaders Announce (P. H. Nov. 4)

Davis is Confident Filipinos will Win Control Board Case (P. H. Nov. 4)

Next G. G. is Approved by P. I. Leaders (P. H. Nov. 5)

The Nacionalista Party in Philippine Politics (P. H. Nov. 6)

マニラ及び外國諸港郵便日數 (T. K. S. Nov. 17)

佛領印度支那

French Indo-China: Its History and Organization (I. O. Vol. VIII, No. 8-9, Aug-Sept, P. 455)

The People and Cities of Indo-China (I. O. Vol. VIII, No. 8-9, Aug-Sept, P. 461)

The Economic Position of Indo-China (I. O. Vol. VIII, No. 8-9, Aug-Sept, P. 493)

Public Warks and Progress. (I. O. Vo. VIII, No. 8-9, Aug-Sept, P. 501)

佛領印度支那主要品輸出入數量 (自一月至三月) (T. K. S. Nov. 13)

印度支那の工業概況 (T. K. S. Nov. 16)

Le Réforme des Services Postaux (F. I. Oct. 1, P. 1)

Trois projets d'arretê pour la protection de la Main-d'oeuvre agri cole (le C. S. Oct. 1, P. 1)

Nos Services Martimes et postaux (E. E. I. No. 538, Oct. 2, P. 1)

Conquête de Trois provinces de l'Ouest (le C. S. Oct. 3, P. 1)

Une Grande Solennité Judiciaire (A. T. Oct. 4, 5, P. 1)

Le Colonisation européenne (le C. S. Oct. 4, P. 1)

L' Avis des planteurs Cochinchinois (le C. S. Oct. 6, P. 1)

Le Syndicat des Planteurs (le C. S. Oct. 7, P. 1)

Causeries sur l' histoire d' Annam (E. E. I. No. 539, Oct. 9, P. 4)

La question de la Main-d' oeuvre sur les plantations de Cochinchine (E. E. I. No. 539, Oct. 9, P. 5)

Chronique des Mines (E. E. I. No. 539, Oct. 9, P. 14)

La Justice en Indochine (F. I. Oct. 9, P. 1)

La sériculture en Cochinchine (le C. S. Oct. 10, P. 1)

Le Recrutement et l' Émigration de la Main-d'oeuvre Tonkinoise (A. T. Oct. 11, P. 1)

Le Budget géneral pour l' exercice 1928 s'élève à près de 92 Millions de piastres. (le C. S. Oct 11, P. 1)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

What is the People's Revolution? By C. Y. W. Meng (C. W. R. Vol. XLII, No. 10, Nov. 5)

Japan in Manchuria. By Thomas Ming-Heng Chao (C. W. R. Vol. XLII, No. 10, Nov. 5)

Foreign Genius and Chinese Skill in the Egg-Freezing Business. (C. W. R. Vol. XLII, No. 10, Nov. 5)

Japan's Subsidized Press in China. By J. A. J. (C. W. R. Vol. XLII, No. 10, Nov. 5)

Is Canton Planning Another Nationalist Govermnen. By J. B. P. (C. W. R. XLII, No. 10, Nov. 5)

Hankow Falls to Nanking Forces-Tang Sheu-tse Flees. By J. B. P. (C. W. R. XLII, No. 12, Nov. 19)

Silk Industry of Huchow, Chekiang (C. E. B. Vol. XI, No. 352, Nov. 19)

香港の人口(一九二六年) (T. K. S. Nov. 11)

The Joss Paper Industry of Foochow (C. E. B. Vol. XI, No. 351, Nov. 12)

The Attempted Raid on the USSR Consulate (C. W. R. Vol. XLII, No. 11, Nov. 12)

Will the Chinese Revolution be Able to Succeed? By Albert Y. Hugh (C. W. R. Vol. XLII, No. 11, Nov. 12)

Chinese Christians Facing a Brighter Future. By Dr. Frank Rawlinson (C. W. R. Vol. XLII, No. 11, Nov. 12)

The S. M. R. Railway in Politics. By J. A. J. (C. W. R. Vol. XLII, No. 11, Nov. 12)

Japan's Present Policy Toward China (Reprinted from the Japan Chronicle) (C. W. R. Vol. XLII, No. 11, Nov. 12)

"Anti-Foreignism and the China Political System" (C. W. R. Vol. XLII, No. 11, Nov. 12)

Marshal Feng Yu-hsiang Advances Eastward. By J. B. P. (C. W. R. Vol. XLII, No. 11, Nov. 12)

The Advantages of Consolidating the Three Shanghais. By B. Y. Lee (C. W. R. Vol. XLII, No. 12, Nov. 19)

香港口内一部航行禁止 (T. K. S. Nov. 15)

南京貿易年報(大正十五年)(T. K. S. Nov. 13)

Intellectual Leaders of the Chinese Revolution. By Robert Merrill Bartlett (C. W. R. Vol. XLII, No. 12, Nov. 19)

Chinese Labor Migration to Manchuria. By C. Walter Young, M. A. (C. W. R. Vol. XLII, No. 12, Nov. 19)

比 律 賓

改正ダバオ部職業稅(部令第二六四號) (D. N. K. No. 115)

比島の覺醒(四) (D. N. K. No. 115)

The Future of the Philippines (F. E. R. Vol. XXIII, No. 10, Oct. P. 435)

比島陶器製造業に就て(N. S. J. Vol. 14, No. 11)

New Dutch Machine May Revolutionize Coconut Industry (P. H. Oct. 25)

Carpenter Among Candidates for G. G. (P. H. Oct. 29)

Philippine Politics and Partiesa: Nature and Organization By Elisco Quirino (P. H. Oct. 30)

To Improve Iloilo Port (P. H. Oct. 30)

1625 Fishes are Listed by Science Bureau Man. By Albert W. Herre (P. H. Oct. 30)

Improvement of P. I. Hat Market in U. S. is Forecast (P. H. Oct. 30)

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Marshal Feng Yu-Hsiang and the Kuominchun. By a Chinese Writer (C. W. R. Special No. Oct. 29)

An Interview with General Chiang Kai-Shek. By Henry F. Misselwitz (C. W. R. Special No. Oct. 29)

The Problem of Municipal Government at Shanghai (An interview with Gen. Hwang Fu, the First Real "Mayor" of Shanghai) (C. W. R. Special No. Oct. 29)

Educational Program of the Nationalist Government. By King Shu (C. W. R. Special No. Oct. 29)

我對於收回租界之感想。張葆眞女士 (C. W. R. Special No. Oct. 29)

The British and American Friendly Gestures to China (C. W. R. Special No. Oct. 29)

The Operations of Imperialistic Russia in China. By Count Carlo Sfarza (C. W. R. Special No. Oct. 29)

The Nationalist Revolutionary Movement of China. By Gen. Bei Tsung-hsi (C. W. R. Special No. Oct. 29)

The Money Market and Retail Prices in Mukden (C. E. B. Vol. XI, No. 349, Oct. 29)

The Bamboo Shoot Trade of Foochow (C. E. B. Vol. XI, No. 349, Oct. 29)

The Basic Aims of the Chinese Nationalists. By P. T. Lau (C. W. R. Special Oct. 29)

The New Split Between Hankow and Nanking. By J. B. P. (C. W. R. Special Oct. 29)

The Nationlist Movement in China: Its Significance and its Results (P. H. Oct. 30)

The Imperial Religions of Ch'in and Han. By . C. Waldlow (C. R. Vol. LVIII, No. 11)

What "Religion" Means in China. By A. Symposium (C. R. Vol. LVIII, No. 11)

The First General Assembly of the Church of Christ in China. By Andrew Weir (C. R. Vol. LVIII, No. 11)

Impressions ons of Christian Work in Kiangsi. By L. J. Birney (C. R. Vol. LVIII, No. 11)

Economic, Agricultural, Industrial and Trade Conditins of Wenchow, Chekiang (C. E. J. Vol. 1, No. 11)

Business Practices of Foochow Merchants (C. E. J. 1, No. 11)

Analysis of Strikes in China, from 1918 to 1926. By Ta Chen (Continued from Oct. issue) (C. E. J. Vol, No. 11)

A Study of the Sugar Industry in China (Continued from Oct. issue) (C. E. J. Vol, 1, No. 11)

Export Peanut Trade of China (C. E. J. Vol. 1, No. 11)

主要邦品の廣東輸入狀況(六月一九日) (T. K. S. Nov. 1)

Post and Present Trade along Yangtsze (H. D. P. Nov. 1)

Missionaries in China (C. E. T. Vol. LXIX, No. 3350, Nov. 3, P. 797)

Szechwan Wood Oil (C. E. B. Vol. XI, No. 350, Nov. 5)

Summary of Strikes During the Month of September (C. E. B. Vol. XI, No. 350, Nov. 5)

Undermining American Policy in China. By Thomas F. Millard (C. W. R. VLII, No. 10, Nov. 5)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

□世　界□
General

International Trade in Butter and Cheese (Com. R. No. 40, Oct. 3, P. 22.)

Een economisch vraagstuk van den eersten rang (S. Hb. Oct. 5)

□亞　細　亞□

日　本

Japan in Mantjoerije (S. Hb. Oct. 17)

Het herstel van het Japansche Bankwezen (S. Hb. Oct. 26)

Japansche douanepolitiek (S. Hb. Oct. 27)

De beteekenis van Mantsjoerije voor Japan (S. Hb. Oct. 29)

Was America Peopled From Asia? The Lost Junks of Japan (S. F. P. Nov. 11)

The winning of Oriental Trade (F. E. R. Vol. XXIII, No. 10, Oct. P. 433)

American Car a symbol of Modern transport system in the Orient (Com. R. No. 40, Oct. 3, P. 16)

Trans-Pacific Communications (Com. R. No. 42, Oct. 17, P. 138)

支　那　及　香　港

The Development of Manchuria (F. E. R. XXIII, No. 10, Oct. P. 430)

Work of British Banks in China (F. E. R. Vo. XXIII, No, 10, Oct. P. 438)

China's Future Motorcar Civilization (F. E. R. Vol. XXIII, No. 10, Oct. P. 441)

Is Shanghai outgrowing itself? (F. E. R. Vol. XXIII, No. 10, Oct. P. 445)

The British Concession at Hankow. (C. F. T. Vol. LXIX, No. 3346, Oct. 6, P. 721)

Yangtsze trade paralysis.(C. E. T. Vol. LXIX, No. 3347, Oct. 13, P. 747)

Ta Chine en France en 1827 (le C. H. Oct. 15, P. 1)

Trade tendencies in China(H. D. P. Oct. 29)

From the Mixed Court to the Provisional Court. (C. W. R. Special No. Oct. 29)

Why the Shanghai Question Has Become a World Problem! (C. W. R. Special No. Oct. 29)

Is America Doing Her Share at Shanghai? (C. W. R. Special No. Oct. 29)

The Views of the Minister of Foreign Affairs. (C. W. R. Special. No. Oct. 29)

"Chinese Nationalism is a Living Reality!" By Quo Tai-chi (C. W. R. Special No. Oct. 29)

China's Politics During the Past Decade. By C. T. Wang(C. W. R. Special No. Oct. 29)

Chinese Favor "Moderate" Redemption of Shanghai. By G. Zay Wood (C. W. R. Special No. Oct. 29)

An Analysis of the "International" Settlement at Shanghai. By Manley O. (C. W. R. Special No. Oct. 29)

The Legal Basis of the Municipality of Shanghai (This article, by a Former Member of the Faculty of the Comparative Law School of Shanghai) (C. W. R. Special No. Oct. 29)

The Chinese Revolutionary Movement. By C. S. Hoh (C. W. R. Special No. Oct. 29)

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

支那南洋其他海外
重要記事索引

臺灣總督官房調査課

◈ 新聞雜誌略號一覽表 ◈

A. T.	L'avenir du Tonkin (Oct. 1-31)
B. T.	Bangkok Times (Oct. 12-Nov. 17)
C. E. B.	Chinese Economic Bulletin (Vol. XI, No. 349, Oct. 29-No. 352, Nov. 19)
C. E. J.	Chinese Economic Journal (Vol. 1, No. 11, Nov.)
C. E. T.	China Express and Telegraph (Vol. LXIX, No. 3346, Oct. 6-No. 3350, Nov. 3)
C. R.	Chinese Recorder (Vol. LVIII, No. 11, Nov.)
Com. R.	Commerce Reports (No. 39, Sept. 26-No. 42, Oct. 17)
C. W. R.	China Weekly Review (Special No. Oct. 29-No. 12, Nov. 19)
D. N. K.	Davao Nihonjin Kaiho (No. 115, Oct.)
E. E. I.	L'éveil économique de l' Indochine (Oct. 2-30)
F. E. R.	Far Eastern Review (Vol. XXIII, No. 10, Oct.)
F. I.	France-Indochine (Oct. 1-31)
E. D. P.	Hongkong Daily Press (Oct. 15-Nov. 1)
H. N. v. d. D.	Het Nieuws van den Dag (Oct. 5-Nov. 11)
I. O.	Inter Ocean (Vol. VIII, No. 8-9, Aug. -Sept.)
J. N.	Java Nippo (Oct. 6-Nov. 10)
K. S.	Koloniale Studië (Vol. 11, No. 5, Oct.)
le C. H.	Le Courrier d' Haiphong (Oct. 1-31)
le C. S.	Le Courrier Saigonnais (Oct. 1-31)
L. N. e. H.	Landbouw, Nijverheid en Handel (Oct. 14-21)
le T.	Le Temps (Oct. 1-31)
N. O. N.	Nanyo Oyobi Nihon-Jin (Oct. 20-Nov. 13)
N. S. J.	Naigai Shoko Jiho (Vol. 14, No. 11, Nov.)
P. H.	Philippine Herald (Oct. 23-Nov. 6)
R. J.	Ranin Joho (Vol. 4, No. 8, Aug. 31)
S. F. P.	Singapore Free Press (Oct. 15-Nov. 11)
S. Hb.	Soerabajasch Handelsblad (Oct. 1-31)
S. i. N. I.	Suikerindustrië in Ned-Indië (No. 43, Oct.)
T. K. S.	The Kaigai Shoho (Nov. 1-19)
T. O. I.	Times of India (Vol. XC, No. 40, Oct. 1)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN